

令和8年3月18日（水）
第6回
地震津波災害対策等検討部会

資料2

被害想定の算定について

◆被害想定の算定および前提条件

1. 建物被害
2. 人的被害
3. ライフライン・インフラの被害
4. 生活への影響
5. その他の被害
6. 地域別の被害
7. 複合災害

◆被害想定項目一覧

被害想定項目 (1/2)

✓ 今回審議については、ライフライン事業に係る項目を除いた赤枠の項目が対象。

1. 建物被害等

- 1.1 揺れによる被害★
- 1.2 液状化による被害★
- 1.3 津波による被害★
- 1.4 急傾斜地崩壊による被害★
- 1.5 地震火災による被害★
- 1.6 津波火災による被害★
- 1.7 ブロック塀等の転倒被害★
- 1.8 自動販売機等の転倒被害★
- 1.9 屋外落下物の被害★

2. 人的被害

- 2.1 建物倒壊（揺れ）による被害★
- 2.2 屋内収容物の移動・転倒による被害★
- 2.3 屋内落下物による被害★
- 2.4 地震火災による被害★
- 2.5 津波による被害★
- 2.6 急傾斜地崩壊による被害★
- 2.7 ブロック塀等の転倒による被害★
- 2.8 自動販売機の転倒による被害★
- 2.9 屋外落下物による被害★
- 2.10 揺れによる建物被害に伴う要救助者★
- 2.11 津波に伴う要救助者・要搜索者★
- 2.12 災害関連死★

3. ライフライン・インフラの被害

- 3.1 上下道の被害★
- 3.2 下水道の被害★
- 3.3 電力の被害★
- 3.4 通信（固定電話）の被害★
- 3.5 通信（携帯電話）の被害★
- 3.6 通信（インターネット）の被害★
- 3.7 都市ガスの被害★
- 3.8 道路の被害★
- 3.9 鉄道の被害★
- 3.10 港湾の被害★
- 3.11 空港の被害
- 3.12 燃料の供給に関する影響
- 3.13 移動・物流に与える影響

4. 生活への影響

- 4.1 避難者数★
- 4.2 要配慮者数★
- 4.3 帰宅困難者数★
- 4.4 物資★
- 4.5 医療機能★
- 4.6 保健衛生・防疫・遺体処理等

★：定量評価を行う項目 ：算出結果を提示

◆被害想定項目一覧

被害想定項目 (2/2)

✓ 今回審議については、ライフライン事業に係る項目を除いた赤枠の項目が対象。

5. その他の被害

- 5.1 震災廃棄物量★
- 5.2 道路閉塞（道路リンク）★
- 5.3 文化財★
- 5.4 エレベーター閉じ込め・停止★
- 5.5 長周期地震動（資料1で整理）
- 5.6 道路上の自動車への落石・崩土
- 5.7 交通人的被害（道路）
- 5.8 交通人的被害（鉄道）
- 5.9 治安
- 5.10 海岸保全施設・河川管理施設の沈下
- 5.11 孤立集落★
- 5.12 地域コミュニティ関係
- 5.13 行政機能
- 5.14 宅地造成地
- 5.15 危険物・コンビナート施設
- 5.16 堰堤・ため池等の決壊
- 5.17 漁船・船舶・水産関連施設

6. 地域別の被害

- 6.1 繁華街（商業施設、雑居ビル、地下街等）
- 6.2 ターミナル駅
- 6.3 超高層オフィスビル街
- 6.4 タワーマンション
- 6.5 密集市街地（資料1で整理）
- 6.6 海拔ゼロメートル地帯
- 6.7 山間部

7. 複合災害

- 7.1 複合災害（高潮・河川氾濫・感染症拡大等）
- 7.2 時間差での地震の発生★

8. 経済被害

- 8.1 資産等の被害★
- 8.2 生産・サービス低下による影響★

★：定量評価を行う項目 ：今回結果を提示

(1) 被害想定算定ケース

- ✓ 6つの想定地震について被害想定を実施する
- ✓ 人的被害および火災による焼失棟数については、季節・時間帯3ケース、風速2ケースを設定し、計6ケースを想定。
- ✓ 津波による人的被害については、上記に避難行動別3ケースを加えた計18ケースを想定。

〈想定地震〉

区分	想定地震	備考
海溝型	南海トラフ地震	計測震度：陸側、基本、東側の3ケースの最大値
直下型	上町断層帯①	震度6強以上曝露人口、府域全体への影響等を考慮して選定した1ケース
	上町断層帯②	〃
	生駒断層帯	震度6強以上の曝露人口が最多となる1ケース
	有馬高槻断層帯	〃
	中央構造線断層帯	〃

〈被害想定算定ケース〉

項目	検討条件	ケース数	適用する算定項目
季節・時間帯	冬深夜、夏12時、冬18時	3ケース	人的被害、火災による焼失棟数
風速	平均風速、強風	2ケース	火災に関する項目
津波の避難行動	<ul style="list-style-type: none"> ● 早期避難率が高い場合 + 呼びかけ ● 早期避難率が低い場合 ● アンケート結果に基づく避難意識 	3ケース	南海トラフ地震の津波による人的被害のみ

◆被害想定的前提条件

(2) 風速

- ◆ 火災による建物被害について、1棟ごとの延焼シミュレーションを実施するにあたり、気象庁の府内8観測点における過去20年間（2006年～2025年）の気象観測記録を基に、平均風速および最大風速を算定した。
- ◆ なお、風速については、観測地点ごとに標高の差があることから、標高10mにおける値へ換算している。

採用値：平均4m/s、最大風速8m/s

※右図の観測地点のうち、降雪量・積雪量のための観測点（茨木・箕面・河内長野）および関空島を除く



図1 大阪府内の気象観測点

※気象庁HP「過去の気象データ・ダウンロード」より

(3) 被害の重複除去

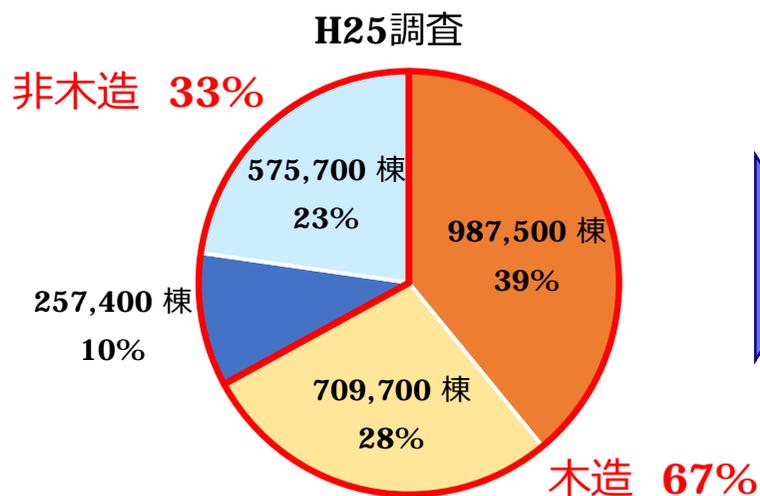
建物被害および人的被害については、被害要因の重複を避けるため、次に示す順で被害の重複除去を行う。（下記に示す項目以外については、重複処理は行わない）

- ◆ 建物被害：「液状化」→「揺れ」→「急傾斜地崩壊」→「津波」→「火災焼失」
- ◆ 人的被害：「建物倒壊」→「急傾斜地崩壊」→「津波」→「火災」

1. 建物被害

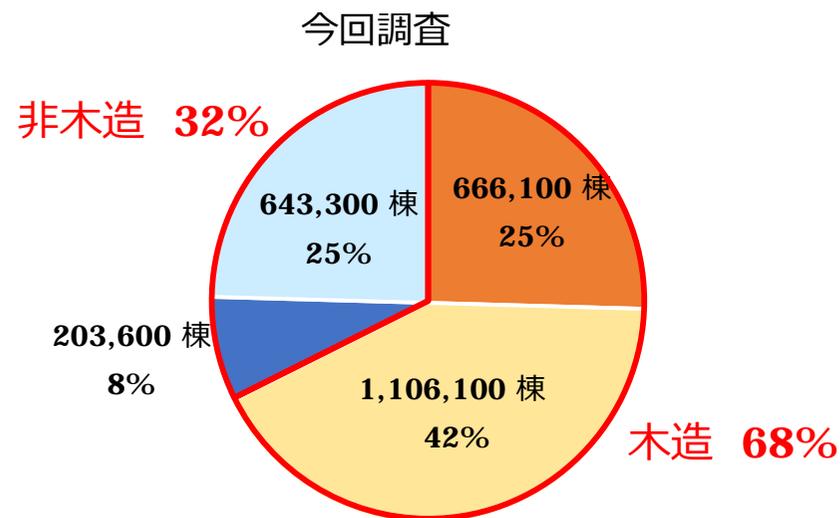
◆ 建物データの整理(構造／建築年代別内訳)

- ✓ 令和7年8月に府内市町村から収集した固定資産台帳・非課税データに基づき、建物データを整理した結果、平成25年調査と比較して、全体の建物棟数が約9万棟、増加していることを確認。
- ✓ なお、木造建物については、昭和55年以前（旧耐震基準）の建物棟数が減少する一方、昭和56年以降（新耐震基準）の建物棟数が増加していることを確認。



■ 木造_昭和55年以前 ■ 木造_昭和56年以降
■ 非木造_昭和55年以前 ■ 非木造_昭和56年以降

木造 : 約170万棟
非木造 : 約 83万棟



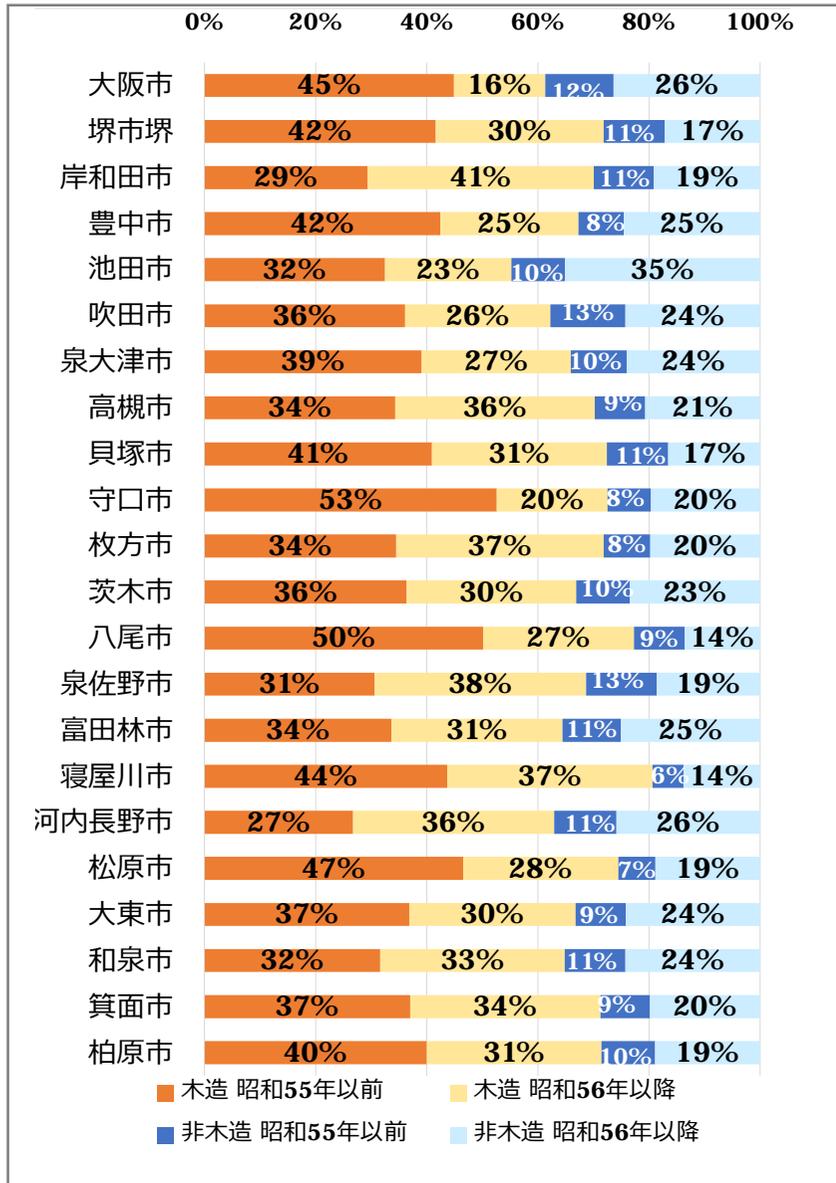
■ 木造_昭和55年以前 ■ 木造_昭和56年以降
■ 非木造_昭和55年以前 ■ 非木造_昭和56年以降

木造 : 約177万棟
非木造 : 約 85万棟

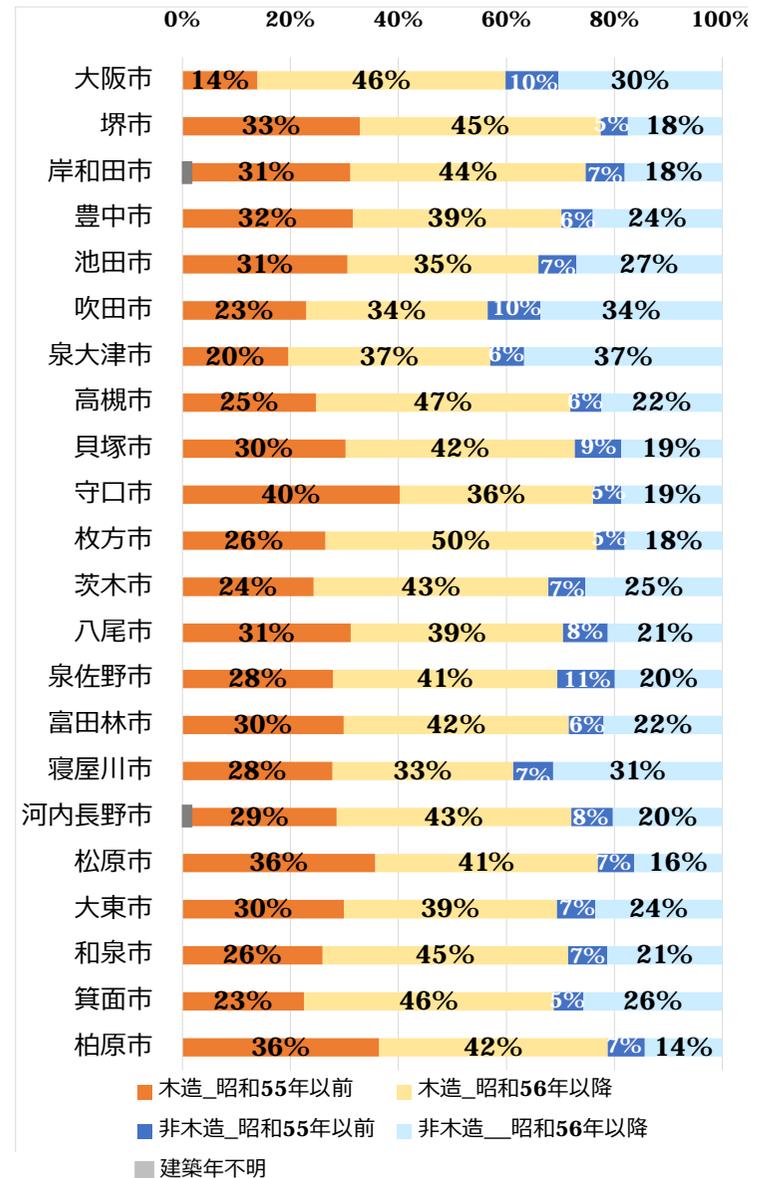
1. 建物被害

◆ 建物データの整理(市町村／構造／建築年代別内訳)

H25調査



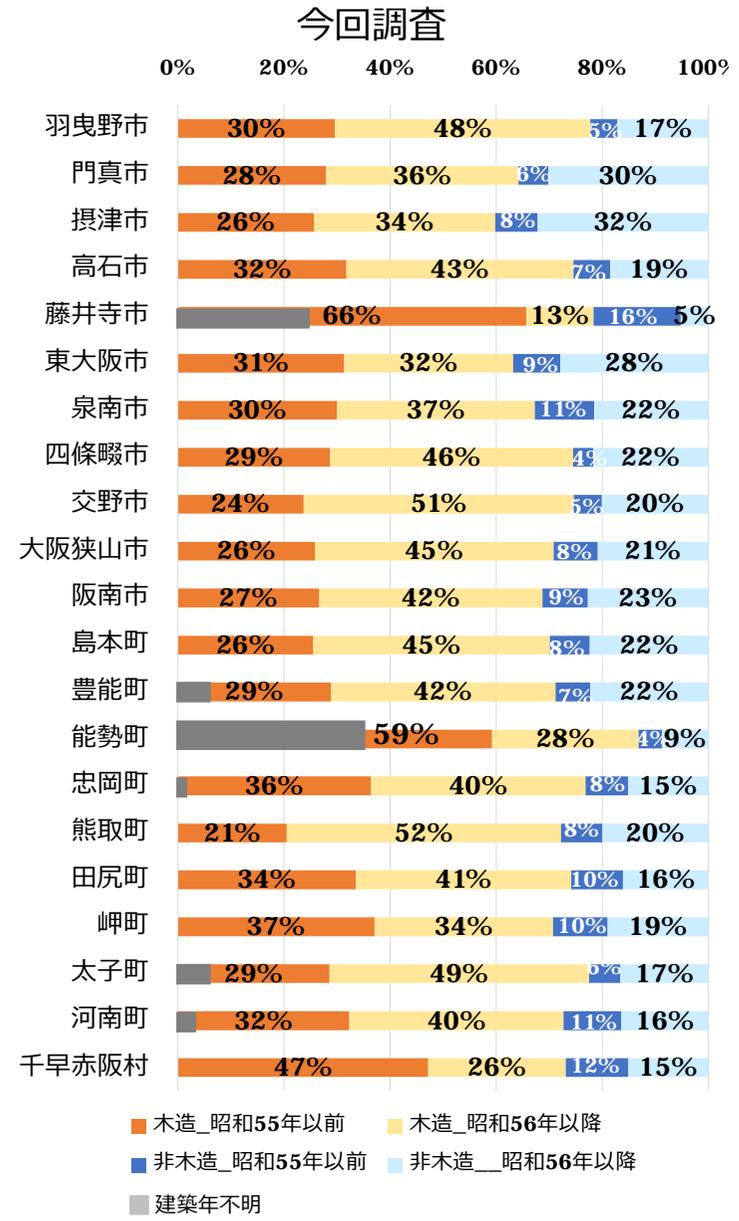
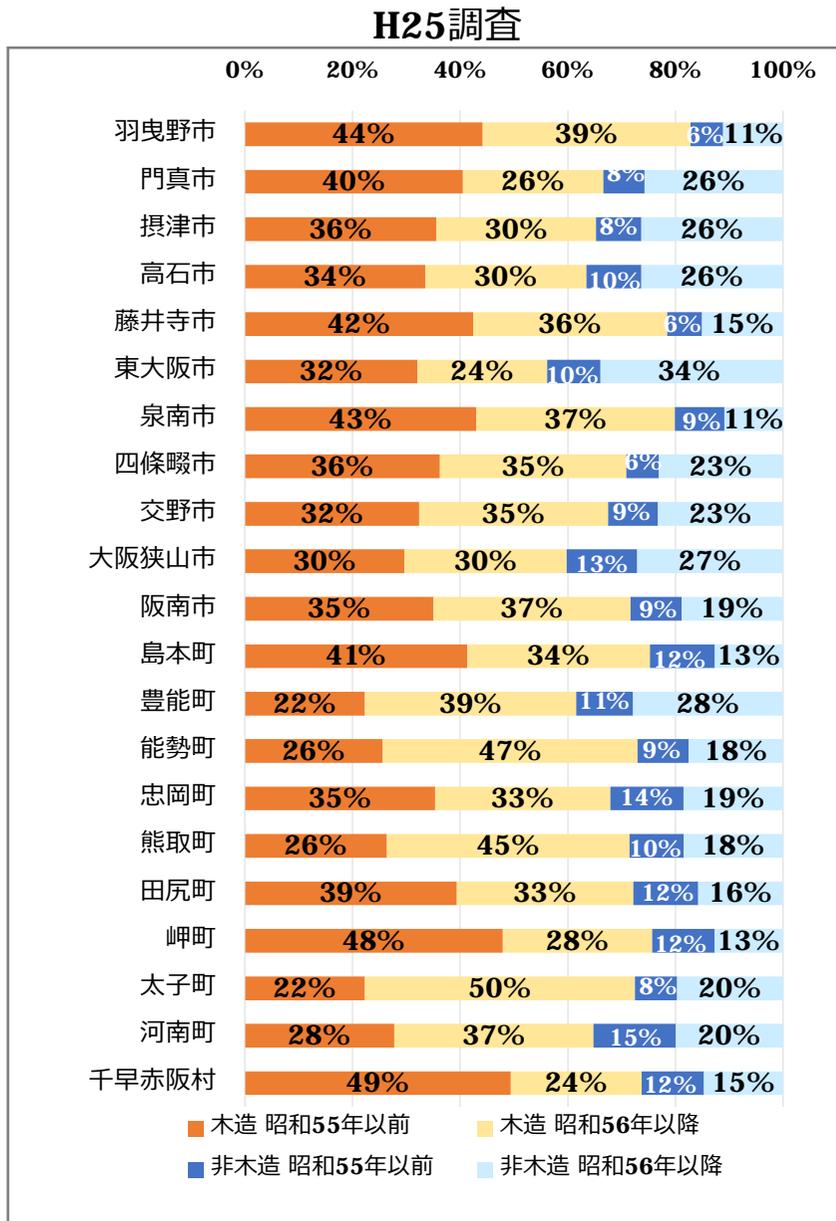
今回調査



※建築年が不明の建物については、昭和55年以前のものとして算定

1. 建物被害

◆ 建物データの整理(市町村／構造／建築年代別内訳)



※建築年が不明の建物については、昭和55年以前のものとして算定

1. 建物被害

◆ 建物データの整理

- ✓ これまで整理してきた建物データより、建物分布図を作成。
- ✓ 建物分布について、平成25年調査と今回調査で、概ね近い傾向であることを確認。
また、大阪市域においては建物の増加傾向がみられる。

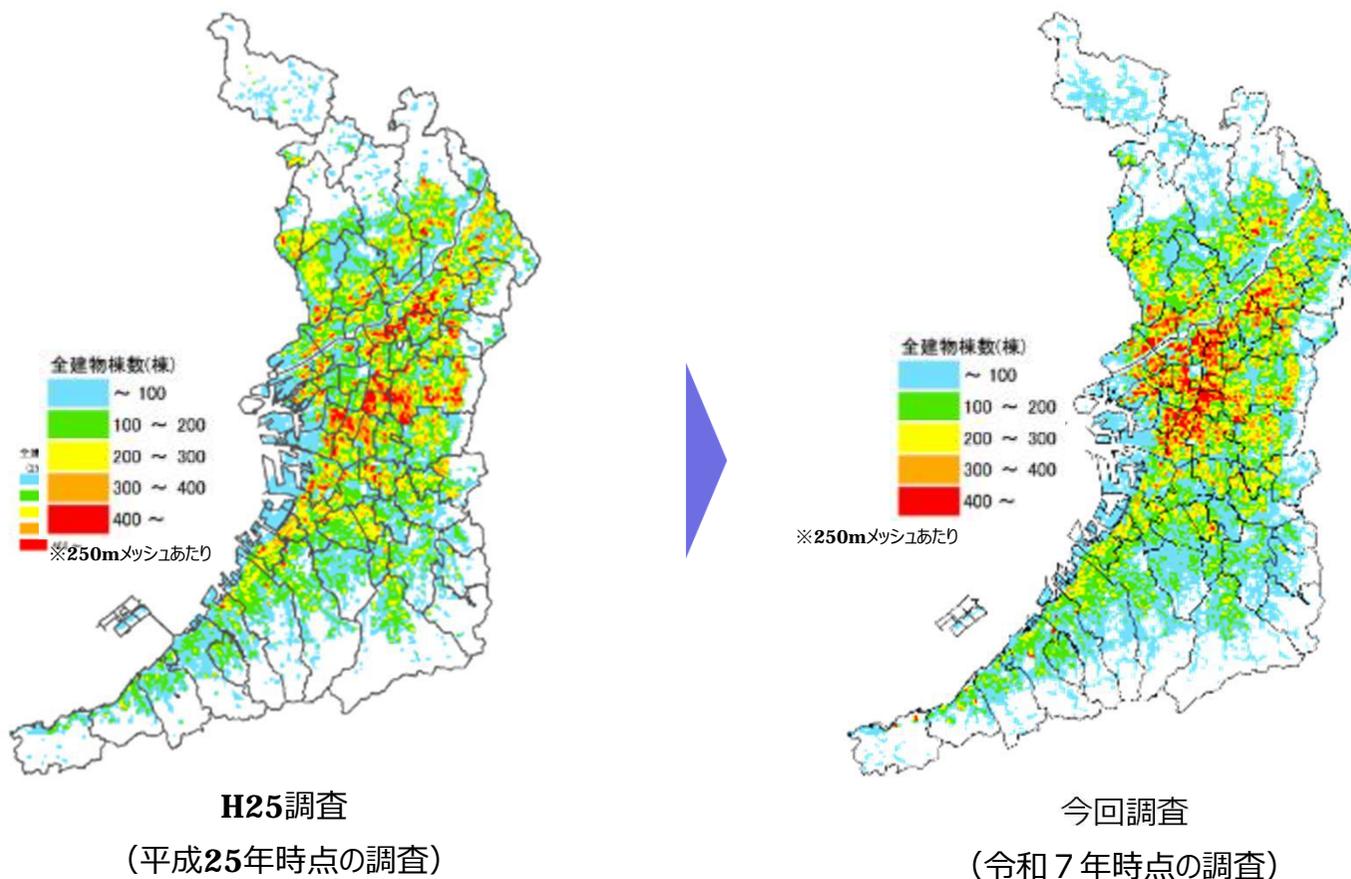


図1.1 全建物分布

1. 建物被害等

◆建物被害等の想定結果まとめ

今回調査の想定結果

地震名	建物棟数 (棟)	1.2 液状化		1.1 揺れ		1.4 急傾斜地崩壊		1.3 津波		1.5 火災	合計	
		全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	冬18時	全壊・焼失 棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)
										最大風速 焼失棟数 (棟)		
南海トラフ地震	2,619,010	37,235	183,438	21,589	132,828	197	428	11,626	92,720	94,829	165,476	409,414
上町断層帯①		36,933	182,046	190,415	324,996	165	345	対象外		479,692	707,205	507,387
上町断層帯②		36,651	180,534	179,731	261,203	152	332			356,938	573,472	442,069
生駒断層帯		35,871	176,415	38,885	140,783	95	203			132,070	206,921	317,401
有馬高槻断層帯		35,240	174,006	53,726	123,742	91	200			138,133	227,190	297,948
中央構造線断層帯		35,235	173,400	97,012	174,529	142	316			216,770	349,159	348,245

※冬18時（夕刻）での被害が大阪府全域で最大となる。

前回調査の想定結果

地震名	建物棟数 (棟)	1.2 液状化		1.1 揺れ		1.4 急傾斜地崩壊		1.3 津波		1.5 火災	合計		
		全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	冬18時	全壊・焼失 棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	
										最大風速 焼失棟数 (棟)			
南海トラフ地震	2,530,162	71,091	181,566	15,375	160,378	79	105	31,135	116,925	61,473	179,153	458,974	
上町断層帯A	2,169,065	液状化による被害は、 揺れによる被害に合算		362,576	329,455	過年度調査では 実施せず		対象外			39,933	402,509	329,455
上町断層帯B				219,222	212,859						20,650	239,872	212,859
生駒断層帯				275,316	244,221						89,236	364,552	244,221
有馬高槻断層帯				85,700	93,222						9,433	95,133	93,222
中央構造線断層帯				28,142	41,852						8	28,150	41,852

※冬18時（夕刻）での被害が大阪府全域で最大となる。

1. 建物被害等

建物被害の差分

増加（赤字）、減少（▲青字）

地震名	建物棟数 (棟)	1.2 液状化		1.1 揺れ		1.4 急傾斜地崩壊		1.3 津波		1.5 火災	合計	
		全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	冬18時	全壊・焼失 棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)
										最大風速 焼失棟数 (棟)		
南海トラフ地震	88,848	▲33,856	1,872	6,214	▲27,550	118	323	▲19,509	▲24,205	33,356	▲13,677	▲49,560
上町断層帯① (A)	449,945	液状化による被害は、 揺れによる被害に合算		▲135,228	177,587	過年度調査では 実施せず		対象外		439,759	304,696	177,932
上町断層帯② (B)				▲2,840	228,878					336,288	333,600	229,210
生駒断層帯				▲200,560	72,977					42,834	▲157,631	73,180
有馬高槻断層帯				3,266	204,526					128,700	132,057	204,726
中央構造線断層帯				104,105	306,077					216,762	321,009	306,393

※直下型地震の揺れによる被害の差分は、H19の実施項目に合わせ、液状化被害も含めた差分を記載

（液状化・揺れによる建物被害）

- 南海トラフ地震における建物被害について、木造建物の建替え・新築が増加したことにより、①液状化②揺れによる被害棟数が減少。
- 直下型地震についても、震度分布が大きくなった影響により、全体的に被害棟数が増加しているが、一部地域では、木造建物の建替え・新築が増加したことにより被害棟数が減少。⇒ P 12～27参照

（津波による建物被害）

- 防潮堤等の耐震対策により、木造建物の約45%が全壊するとされる浸水深2.0m以上の浸水面積が1,950haから513haに約74%減少したことから、津波による被害棟数が減少。⇒ P 28～30参照

（火災による建物被害）

- 火災による被害については、前回調査では風向の設定を季節変動に応じて設定していたが、今回、内閣府による見直しにあわせ、風向きを設定せず、常に風下になる想定としているため、焼失棟数が増加。さらに、直下型地震では、震度分布が大きくなったことで、出火率が高まり火災による被害が増加。⇒ P 35～42参照

（急傾斜地崩壊による建物被害）

- 南海トラフ地震による急傾斜地崩壊の被害者数が増加しているのは、前回調査時から危険個所が増加したため。⇒ P 31～34参照

1. 建物被害等

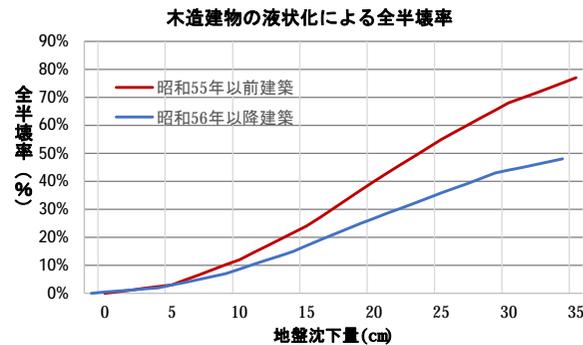
1.1-1.2 揺れ・液状化による被害

昭和55年以前/昭和56年以降の木造建築物棟数の比較
(単位：棟)

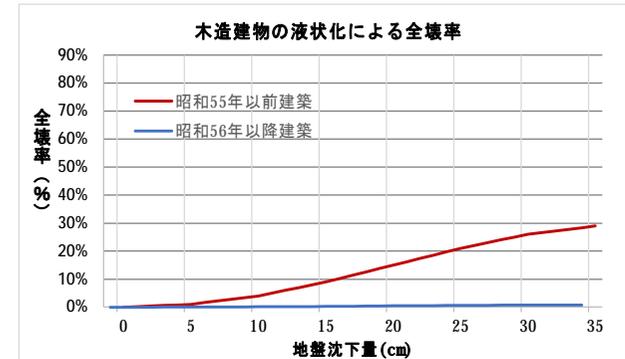
	H25	今回	差
S55以前	987,465	666,056	▲321,409
S56以降	709,658	1,106,088	396,430

- ※ 表中の建物棟数は、市町村提供の課税建物台帳、非課税建物台帳による。
- ※ 府内の建物棟数は、約6.8万戸/年の新築、うち約2万戸/年の建替えが実施。(平成26年～令和5年の10年平均)
出典：国土交通省「建築着工統計調査」

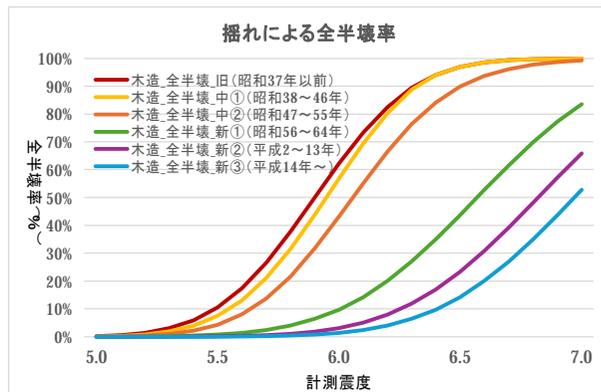
木造建物の液状化による 全半壊率



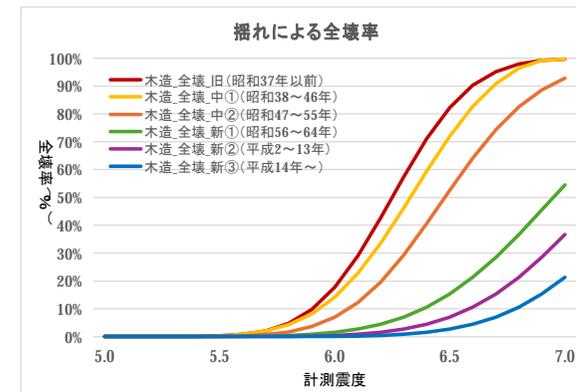
木造建物の液状化による 全壊率



木造建物の揺れによる 全半壊率



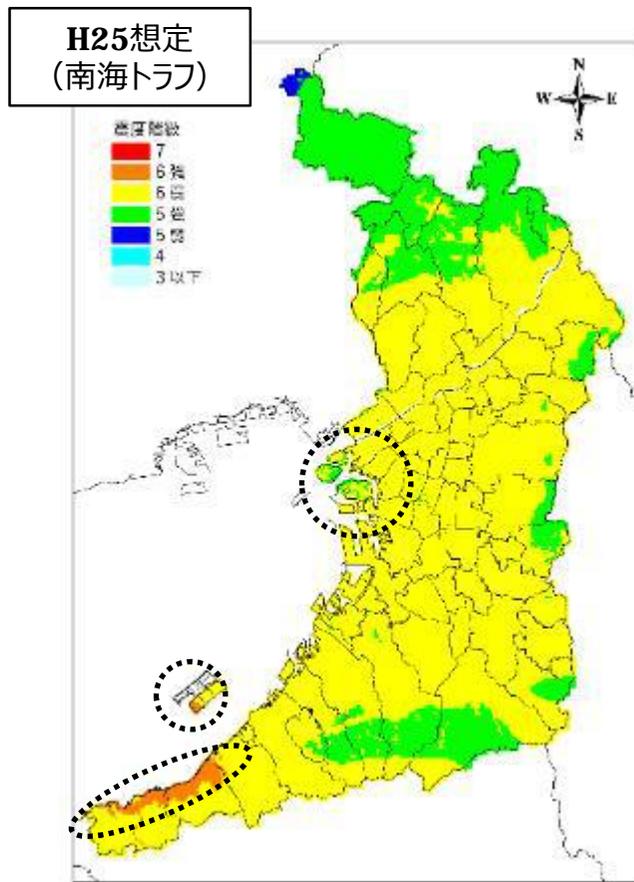
木造建物の揺れによる 全壊率



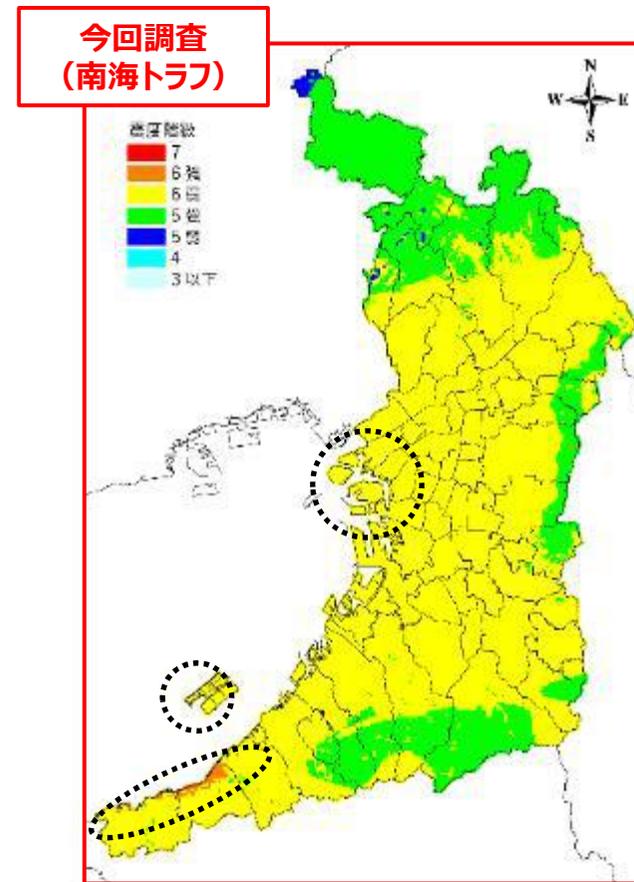
※南海トラフ巨大地震の被害想定項目及び手法の概要（内閣府、令和7年3月）を基に作成

1. 建物被害等（参考資料：震度分布比較） 第5回部会再掲

H25想定（南海トラフ）時との比較



H25調査（南海トラフ）の地表震度

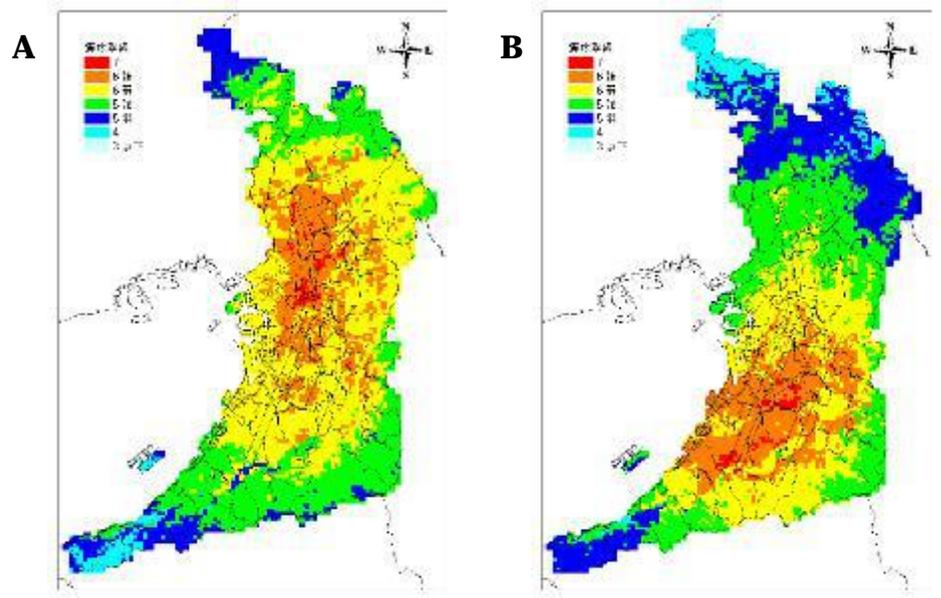


今回調査（南海トラフ）の地表震度

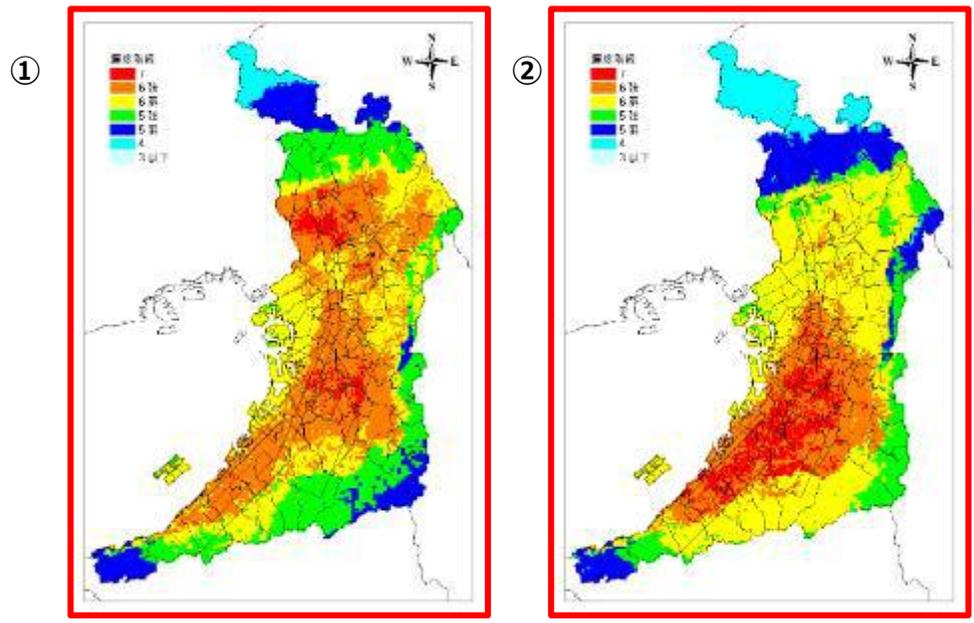
1. 建物被害等（参考資料：震度分布比較） 第5回部会再掲

上町断層帯

H19調査
(直下)



今回調査
(直下)



震源断層凡例
— : 地表投影線
□ : 断層帯
★ : 破壊開始点

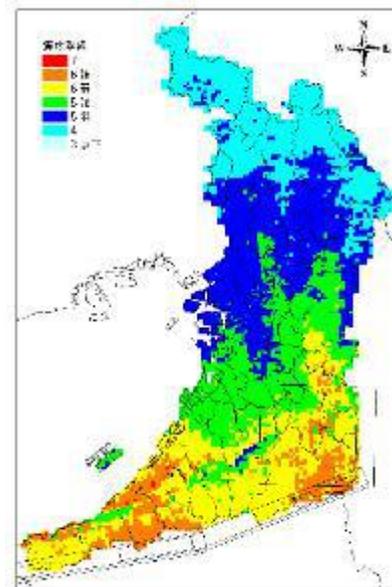
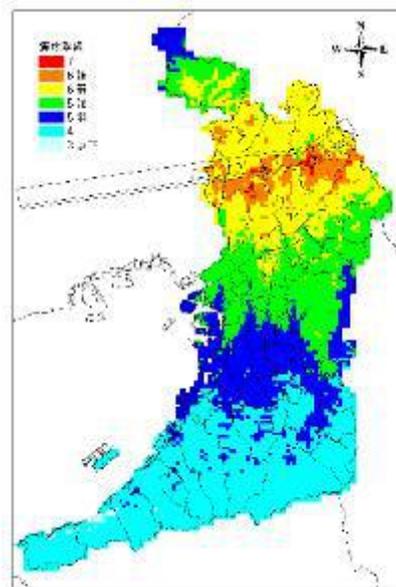
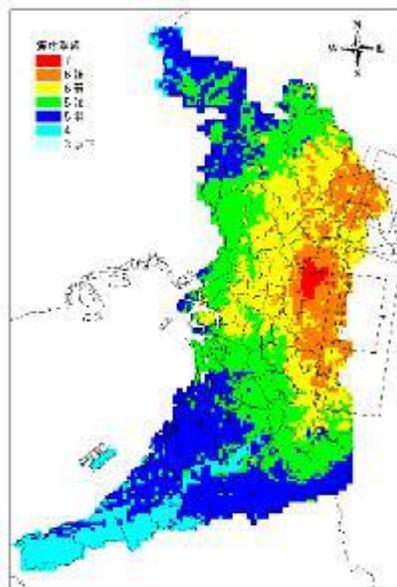
1. 建物被害等（参考資料：震度分布比較） 第5回部会再掲

生駒断層帯

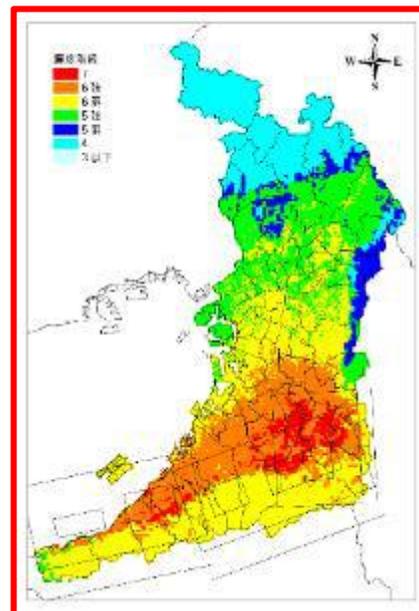
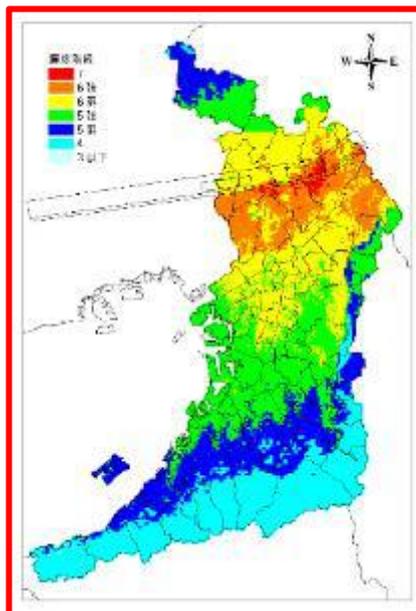
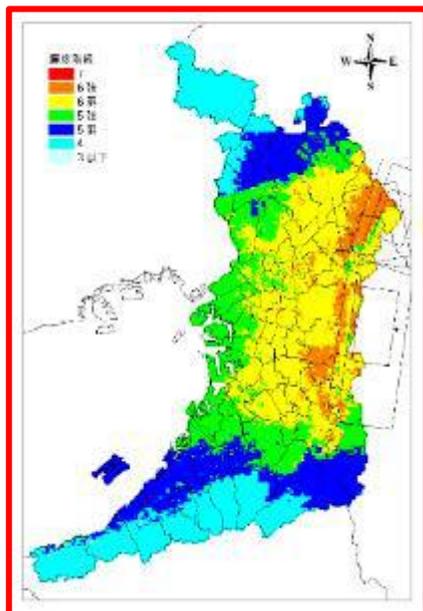
有馬高槻断層帯

中央構造線断層帯

H19調査
(直下)



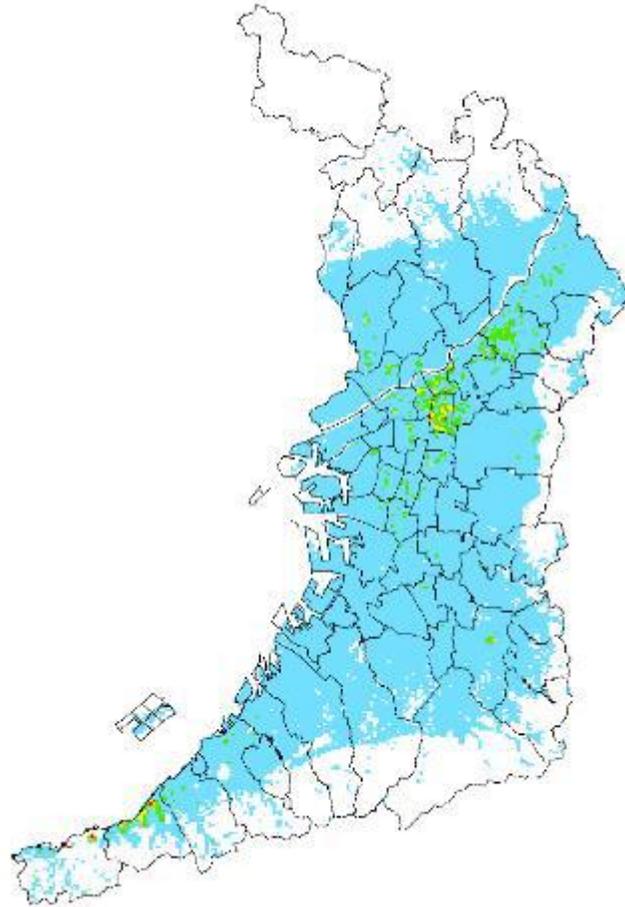
今回調査
(直下)



1. 建物被害等

1.1 揺れによる被害

(1) 南海トラフ地震



揺れによる全壊棟数

市区町村別の揺れによる被害

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	339	1,069
大阪市福島区	157	695
大阪市此花区	143	655
大阪市西区	189	709
大阪市港区	158	824
大阪市大正区	161	987
大阪市天王寺区	138	607
大阪市浪速区	63	267
大阪市西淀川区	160	973
大阪市東淀川区	345	1,815
大阪市東成区	163	984
大阪市生野区	338	2,218
大阪市旭区	510	1,535
大阪市城東区	952	2,682
大阪市阿倍野区	255	1,140
大阪市住吉区	327	1,180
大阪市東住吉区	339	1,105
大阪市西成区	252	742
大阪市淀川区	397	2,188
大阪市鶴見区	337	1,080
大阪市住之江区	188	688
大阪市平野区	250	1,060
大阪市北区	321	1,344
大阪市中央区	266	957
堺市堺区	254	2,399
堺市中区	228	2,143
堺市東区	331	2,629
堺市西区	237	2,299
堺市南区	176	1,341
堺市北区	279	2,127
堺市美原区	134	913
岸和田市	373	3,726
豊中市	801	5,809
池田市	79	1,060
吹田市	399	2,659

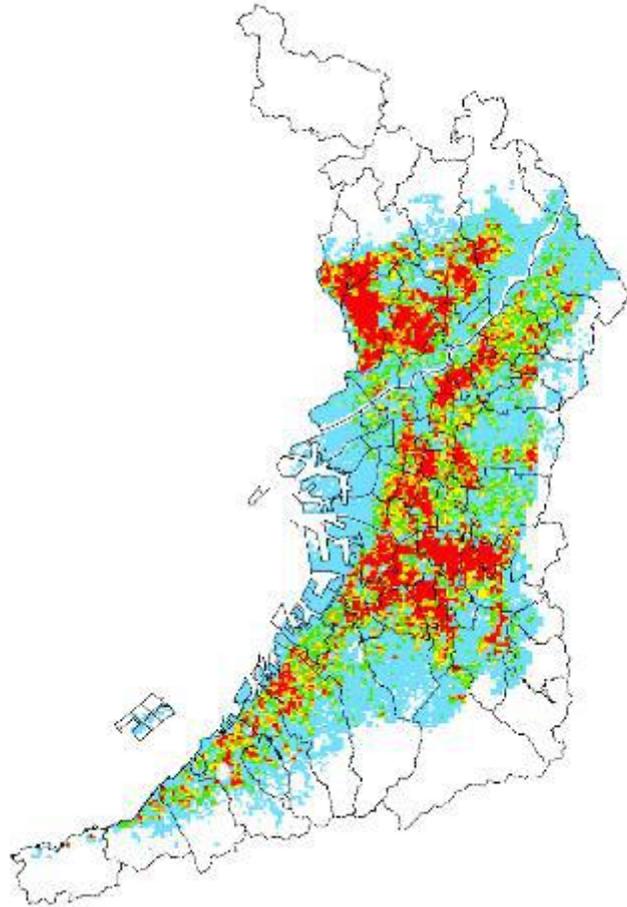
市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
泉大津市	102	765
高槻市	493	3,847
貝塚市	231	1,915
守口市	539	3,382
枚方市	1,189	7,553
茨木市	209	2,173
八尾市	339	3,159
泉佐野市	374	2,618
富田林市	515	3,173
寝屋川市	1,343	6,421
河内長野市	285	2,324
松原市	314	2,644
大東市	335	2,071
和泉市	250	2,597
箕面市	159	1,323
柏原市	51	818
羽曳野市	284	2,385
門真市	437	2,534
摂津市	237	1,370
高石市	98	905
藤井寺市	166	2,121
東大阪市	1,163	8,752
泉南市	420	2,255
四條畷市	114	831
交野市	173	1,308
大阪狭山市	226	1,405
阪南市	866	3,020
島本町	25	230
豊能町	3	177
能勢町	0	159
忠岡町	26	372
熊取町	114	807
田尻町	30	240
岬町	247	1,131
太子町	48	387
河南町	106	702
千早赤阪村	39	345
合計	21,589	132,828

大阪市	6,748	27,504
堺市	1,639	13,851

1. 建物被害等

1.1 揺れによる被害

(2) 上町断層帯①



揺れによる全壊棟数

市区町村別の揺れによる被害

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	258	888
大阪市福島区	381	1,086
大阪市此花区	160	676
大阪市西区	267	920
大阪市港区	142	729
大阪市大正区	226	1,142
大阪市天王寺区	1,178	2,375
大阪市浪速区	415	942
大阪市西淀川区	398	1,596
大阪市東淀川区	1,382	3,520
大阪市東成区	741	1,963
大阪市生野区	3,499	6,167
大阪市旭区	2,179	3,503
大阪市城東区	2,508	4,736
大阪市阿倍野区	2,093	4,018
大阪市住吉区	1,814	3,859
大阪市東住吉区	2,460	3,868
大阪市西成区	1,047	1,787
大阪市淀川区	1,207	3,768
大阪市鶴見区	1,133	2,457
大阪市住之江区	876	1,751
大阪市平野区	1,986	3,702
大阪市北区	1,161	2,856
大阪市中央区	1,576	3,432
堺市堺区	6,269	6,725
堺市中区	4,969	7,094
堺市東区	5,799	6,136
堺市西区	4,182	7,212
堺市南区	1,417	3,650
堺市北区	5,687	5,876
堺市美原区	2,335	2,703
岸和田市	5,972	12,017
豊中市	16,942	16,502
池田市	3,151	4,976
吹田市	12,467	11,936

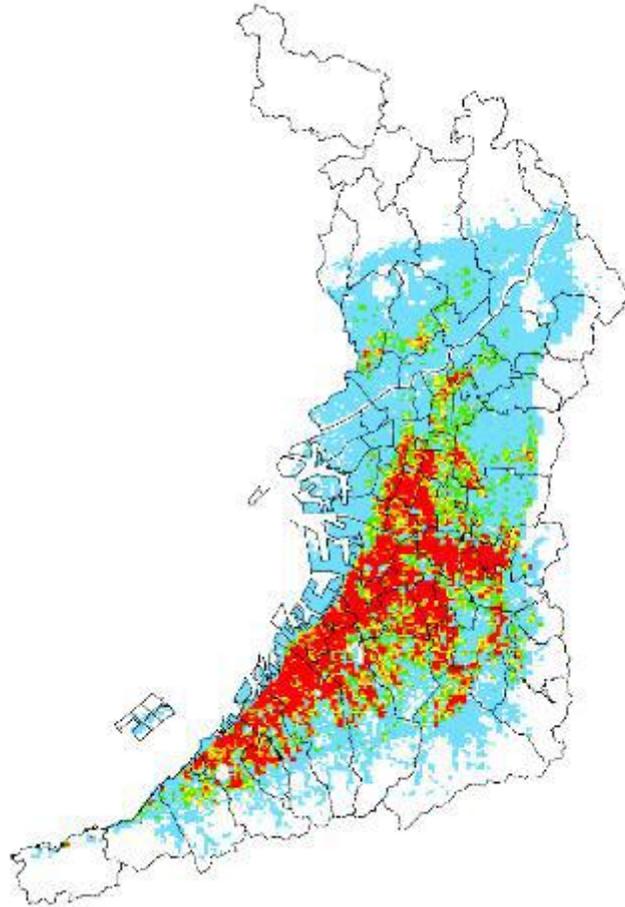
市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
泉大津市	895	2,530
高槻市	4,104	9,992
貝塚市	2,886	5,022
守口市	5,967	6,848
枚方市	3,506	12,743
茨木市	6,919	9,994
八尾市	3,059	9,712
泉佐野市	4,294	6,417
富田林市	3,653	5,785
寝屋川市	4,523	12,225
河内長野市	983	3,246
松原市	8,350	8,131
大東市	1,183	3,767
和泉市	2,527	6,732
箕面市	4,077	5,531
柏原市	690	2,301
羽曳野市	5,902	7,923
門真市	2,386	5,170
摂津市	2,285	3,625
高石市	1,225	2,797
藤井寺市	5,154	6,504
東大阪市	7,174	19,532
泉南市	1,922	3,765
四條畷市	959	2,186
交野市	1,188	3,210
大阪狭山市	2,352	3,190
阪南市	1,276	2,608
島本町	66	401
豊能町	0	60
能勢町	0	0
忠岡町	637	1,340
熊取町	1,096	2,297
田尻町	171	466
岬町	111	642
太子町	163	586
河南町	413	952
千早赤阪村	42	198
合計	190,415	324,996

大阪市	29,087	61,741
堺市	30,658	39,396

1. 建物被害等

1.1 揺れによる被害

(3) 上町断層帯②



揺れによる全壊棟数

市区町村別の揺れによる被害

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	96	491
大阪市福島区	94	482
大阪市此花区	63	408
大阪市西区	148	584
大阪市港区	73	507
大阪市大正区	307	1,302
大阪市天王寺区	1,003	2,158
大阪市浪速区	566	1,085
大阪市西淀川区	94	711
大阪市東淀川区	406	1,965
大阪市東成区	497	1,714
大阪市生野区	2,709	5,731
大阪市旭区	753	2,005
大阪市城東区	1,182	3,187
大阪市阿倍野区	3,518	5,207
大阪市住吉区	3,138	5,266
大阪市東住吉区	3,963	5,320
大阪市西成区	1,740	2,559
大阪市淀川区	272	1,687
大阪市鶴見区	499	1,397
大阪市住之江区	1,339	2,220
大阪市平野区	2,117	3,804
大阪市北区	265	1,192
大阪市中央区	1,095	2,634
堺市堺区	8,300	6,871
堺市中区	7,539	7,603
堺市東区	6,992	6,093
堺市西区	9,063	7,964
堺市南区	5,585	5,544
堺市北区	7,259	5,911
堺市美原区	2,386	2,763
岸和田市	15,440	14,296
豊中市	1,354	7,164
池田市	30	639
吹田市	1,395	5,109

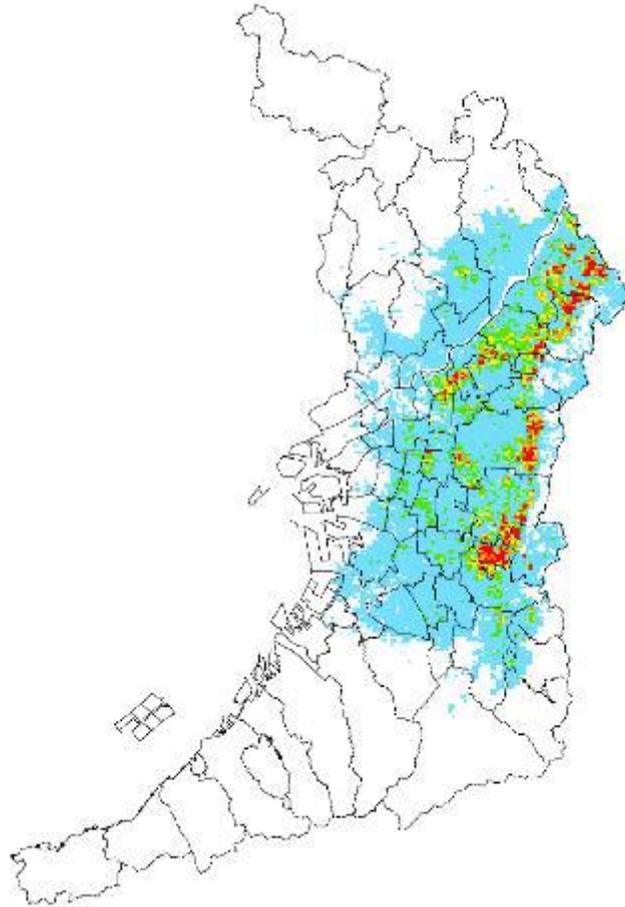
市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
泉大津市	3,165	3,792
高槻市	322	2,968
貝塚市	6,805	5,775
守口市	1,037	4,280
枚方市	212	2,807
茨木市	726	3,911
八尾市	2,448	8,295
泉佐野市	8,215	7,136
富田林市	4,850	6,285
寝屋川市	679	4,121
河内長野市	4,093	5,511
松原市	8,837	8,059
大東市	302	1,863
和泉市	12,299	11,256
箕面市	114	1,029
柏原市	974	2,846
羽曳野市	5,641	8,091
門真市	519	2,634
摂津市	425	1,890
高石市	3,778	3,611
藤井寺市	5,998	6,505
東大阪市	4,293	15,701
泉南市	1,713	3,623
四條畷市	132	879
交野市	107	944
大阪狭山市	3,396	3,493
阪南市	567	2,026
島本町	4	87
豊能町	0	0
能勢町	0	0
忠岡町	1,739	1,374
熊取町	3,213	3,348
田尻町	682	540
岬町	113	702
太子町	256	719
河南町	682	1,161
千早赤阪村	115	368
合計	179,731	261,203

大阪市	25,937	53,616
堺市	47,124	42,749

1. 建物被害等

1.1 揺れによる被害

(4) 生駒断層帯



揺れによる全壊棟数

市区町村別の揺れによる被害

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	34	279
大阪市福島区	6	166
大阪市此花区	2	143
大阪市西区	27	264
大阪市港区	4	169
大阪市大正区	7	242
大阪市天王寺区	181	752
大阪市浪速区	63	312
大阪市西淀川区	3	195
大阪市東淀川区	148	1,160
大阪市東成区	156	931
大阪市生野区	537	2,784
大阪市旭区	616	1,780
大阪市城東区	556	2,197
大阪市阿倍野区	261	1,150
大阪市住吉区	240	1,123
大阪市東住吉区	528	1,346
大阪市西成区	158	681
大阪市淀川区	20	555
大阪市鶴見区	472	1,398
大阪市住之江区	118	622
大阪市平野区	594	1,746
大阪市北区	81	614
大阪市中央区	285	1,065
堺市堺区	230	2,212
堺市中区	115	1,363
堺市東区	211	1,952
堺市西区	87	1,286
堺市南区	8	242
堺市北区	195	1,631
堺市美原区	180	1,016
岸和田市	0	110
豊中市	64	1,891
池田市	2	260
吹田市	262	2,165

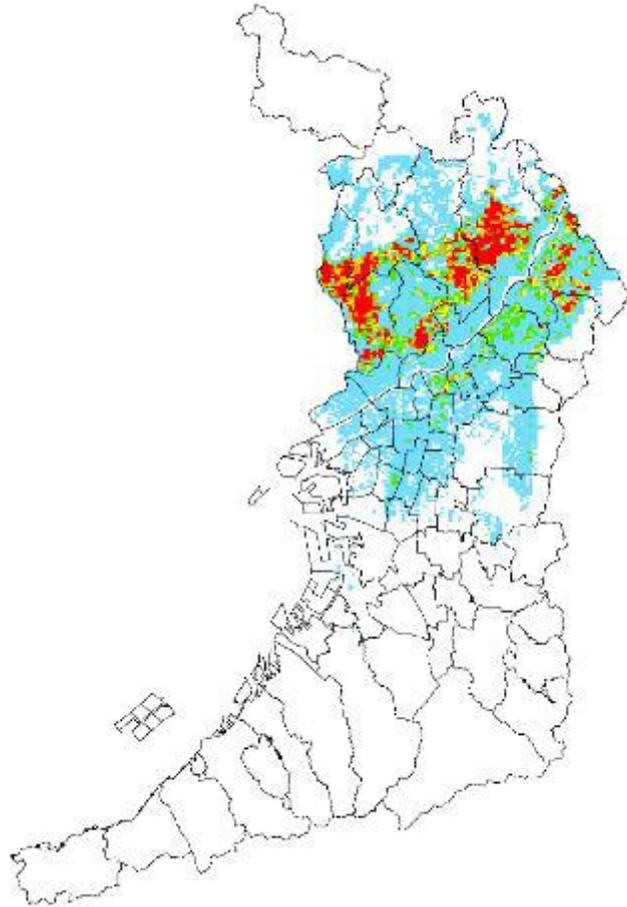
市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
泉大津市	0	258
高槻市	827	5,064
貝塚市	0	4
守口市	1,203	4,903
枚方市	6,234	15,446
茨木市	822	4,183
八尾市	3,333	9,489
泉佐野市	0	0
富田林市	530	2,420
寝屋川市	2,894	9,600
河内長野市	6	343
松原市	650	3,807
大東市	851	3,369
和泉市	1	242
箕面市	3	266
柏原市	1,345	3,396
羽曳野市	1,284	5,176
門真市	838	3,439
摂津市	325	1,676
高石市	3	290
藤井寺市	2,967	6,452
東大阪市	5,131	16,674
泉南市	0	0
四條畷市	643	1,959
交野市	1,932	3,769
大阪狭山市	80	680
阪南市	0	3
島本町	90	459
豊能町	0	0
能勢町	0	0
忠岡町	0	55
熊取町	0	1
田尻町	0	0
岬町	0	0
太子町	205	647
河南町	221	802
千早赤阪村	16	109
合計	38,885	140,783

大阪市	5,097	21,674
堺市	1,026	9,702

1. 建物被害等

1.1 揺れによる被害

(5) 有馬高槻断層帯



揺れによる全壊棟数

市区町村別の揺れによる被害

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	31	276
大阪市福島区	29	260
大阪市此花区	21	251
大阪市西区	30	271
大阪市港区	9	212
大阪市大正区	15	298
大阪市天王寺区	81	434
大阪市浪速区	45	253
大阪市西淀川区	113	772
大阪市東淀川区	508	2,135
大阪市東成区	53	523
大阪市生野区	100	1,375
大阪市旭区	439	1,484
大阪市城東区	361	1,832
大阪市阿倍野区	92	782
大阪市住吉区	40	736
大阪市東住吉区	61	901
大阪市西成区	162	666
大阪市淀川区	293	1,682
大阪市鶴見区	121	886
大阪市住之江区	21	487
大阪市平野区	13	685
大阪市北区	113	716
大阪市中央区	215	861
堺市堺区	0	402
堺市中区	0	135
堺市東区	0	98
堺市西区	2	321
堺市南区	0	21
堺市北区	0	196
堺市美原区	0	37
岸和田市	0	77
豊中市	7,098	13,446
池田市	3,686	5,304
吹田市	3,869	8,164

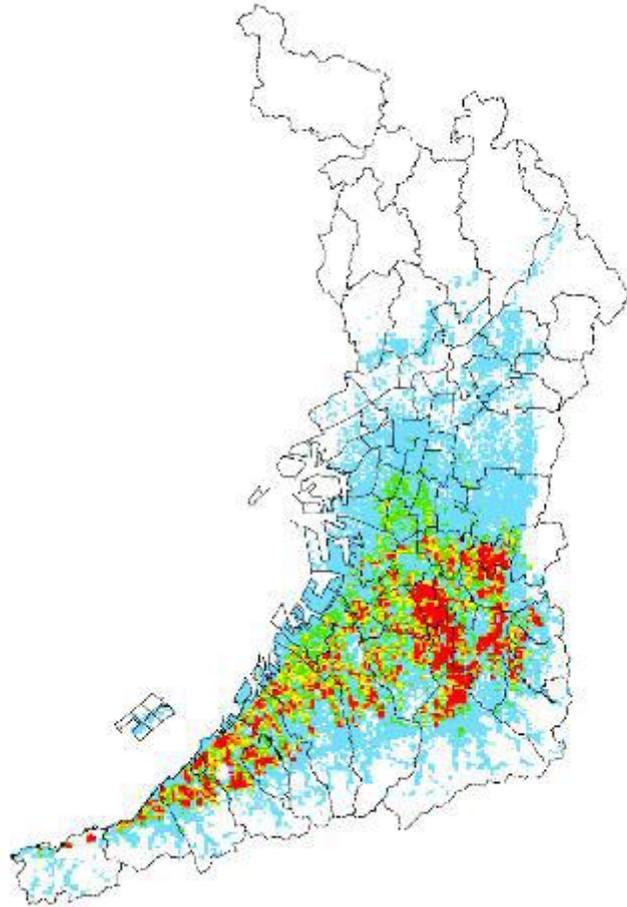
市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
泉大津市	0	140
高槻市	13,149	16,062
貝塚市	0	42
守口市	543	3,357
枚方市	6,051	15,151
茨木市	6,835	10,116
八尾市	47	1,513
泉佐野市	0	17
富田林市	0	60
寝屋川市	1,711	7,277
河内長野市	0	5
松原市	0	374
大東市	158	1,318
和泉市	0	99
箕面市	3,919	5,631
柏原市	3	226
羽曳野市	0	180
門真市	264	1,830
摂津市	856	2,603
高石市	0	128
藤井寺市	0	362
東大阪市	341	4,601
泉南市	0	1
四條畷市	219	1,119
交野市	1,037	2,818
大阪狭山市	0	10
阪南市	0	0
島本町	927	1,186
豊能町	45	442
能勢町	0	53
忠岡町	0	18
熊取町	0	5
田尻町	0	0
岬町	0	0
太子町	0	7
河南町	0	11
千早赤阪村	0	1
合計	53,726	123,742

大阪市	2,966	18,778
堺市	2	1,210

1. 建物被害等

1.1 揺れによる被害

(6) 中央構造線断層帯



揺れによる全壊棟数

市区町村別の揺れによる被害

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	7	183
大阪市福島区	12	182
大阪市此花区	6	169
大阪市西区	34	272
大阪市港区	17	271
大阪市大正区	44	468
大阪市天王寺区	143	625
大阪市浪速区	52	263
大阪市西淀川区	6	245
大阪市東淀川区	20	507
大阪市東成区	33	421
大阪市生野区	217	1,857
大阪市旭区	27	760
大阪市城東区	92	1,392
大阪市阿倍野区	406	1,576
大阪市住吉区	767	2,236
大阪市東住吉区	733	1,686
大阪市西成区	374	883
大阪市淀川区	10	469
大阪市鶴見区	87	846
大阪市住之江区	397	1,044
大阪市平野区	463	1,454
大阪市北区	33	453
大阪市中央区	171	772
堺市堺区	1,421	4,971
堺市中区	3,563	6,715
堺市東区	5,628	6,312
堺市西区	2,019	5,743
堺市南区	4,600	5,357
堺市北区	1,831	4,775
堺市美原区	2,217	2,844
岸和田市	6,035	12,059
豊中市	29	1,494
池田市	0	151
吹田市	52	1,006

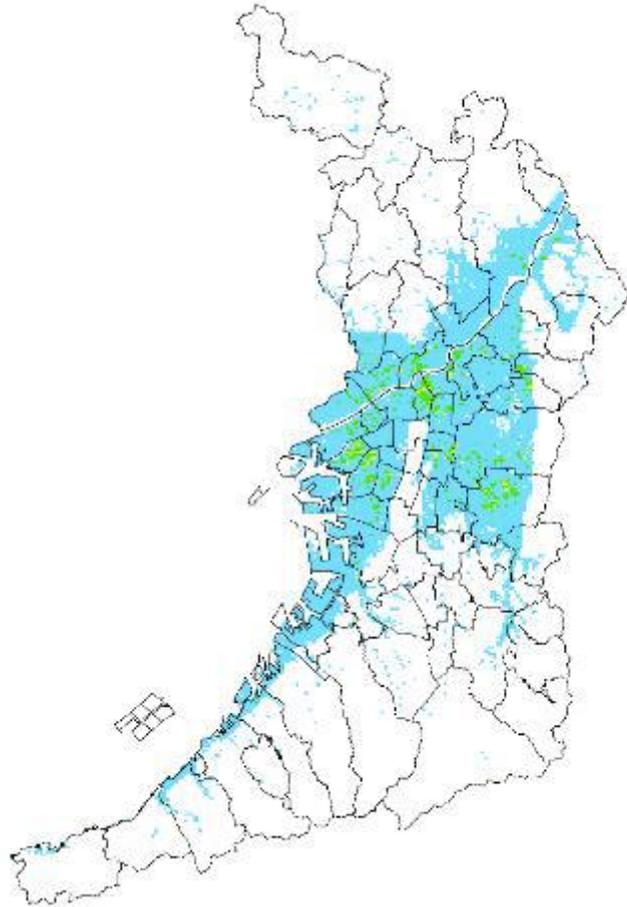
市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
泉大津市	862	2,533
高槻市	1	584
貝塚市	3,708	5,327
守口市	39	1,039
枚方市	11	856
茨木市	9	646
八尾市	699	4,350
泉佐野市	6,498	6,934
富田林市	9,526	6,973
寝屋川市	129	2,002
河内長野市	6,952	6,873
松原市	2,500	6,885
大東市	30	688
和泉市	6,173	9,644
箕面市	0	131
柏原市	536	2,309
羽曳野市	4,353	7,827
門真市	83	1,119
摂津市	16	504
高石市	729	2,443
藤井寺市	3,136	6,529
東大阪市	508	5,798
泉南市	4,002	4,610
四條畷市	12	294
交野市	0	202
大阪狭山市	4,694	3,756
阪南市	2,099	3,442
島本町	0	26
豊能町	0	0
能勢町	0	0
忠岡町	550	1,279
熊取町	2,284	2,971
田尻町	636	547
岬町	1,238	1,613
太子町	910	994
河南町	1,916	1,532
千早赤阪村	627	808
合計	97,012	174,529

大阪市	4,151	19,034
堺市	21,279	36,717

1. 建物被害等

1.2 液状化による被害

(1) 南海トラフ地震



液状化による全壊棟数

市区町村別の液状化による被害

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	1,450	11,050
大阪市福島区	674	4,557
大阪市此花区	810	4,609
大阪市西区	582	4,933
大阪市港区	1,643	7,504
大阪市大正区	1,477	5,263
大阪市天王寺区	19	174
大阪市浪速区	263	2,206
大阪市西淀川区	863	6,444
大阪市東淀川区	1,525	7,780
大阪市東成区	579	4,079
大阪市生野区	885	4,296
大阪市旭区	931	3,435
大阪市城東区	1,124	3,932
大阪市阿倍野区	15	108
大阪市住吉区	16	94
大阪市東住吉区	141	451
大阪市西成区	804	2,299
大阪市淀川区	1,571	9,805
大阪市鶴見区	418	1,531
大阪市住之江区	980	3,146
大阪市平野区	531	2,305
大阪市北区	712	4,734
大阪市中央区	206	1,926
堺市堺区	547	2,278
堺市中区	26	146
堺市東区	6	30
堺市西区	265	1,470
堺市南区	16	104
堺市北区	5	33
堺市美原区	1	11
岸和田市	169	831
豊中市	1,030	3,849
池田市	11	73
吹田市	355	1,780

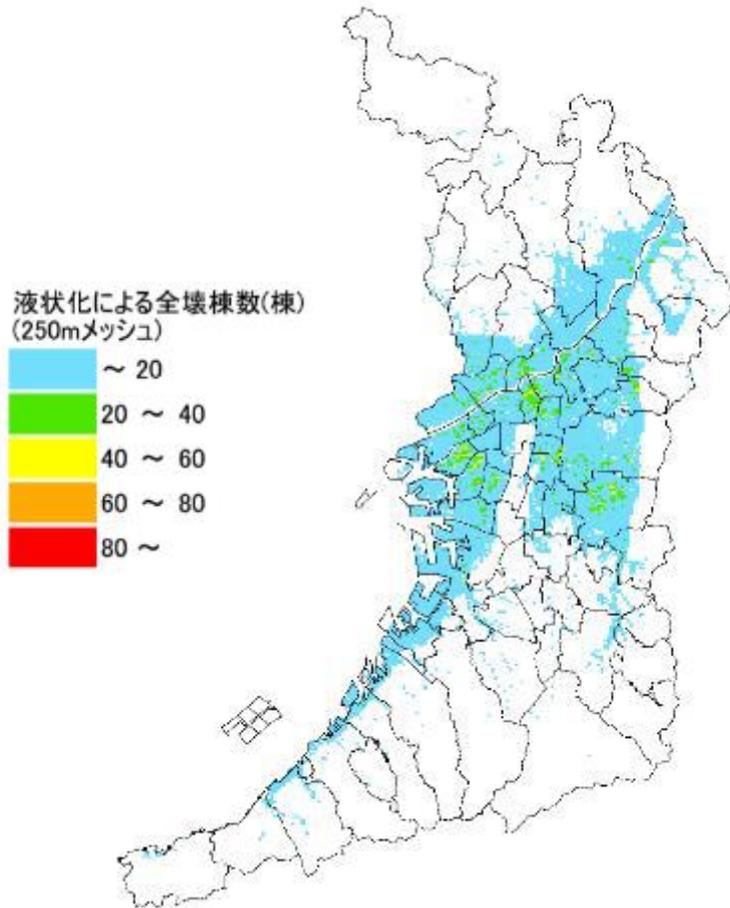
市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
泉大津市	88	941
高槻市	1,156	6,527
貝塚市	125	702
守口市	1,724	6,287
枚方市	989	5,064
茨木市	169	1,248
八尾市	3,518	15,318
泉佐野市	56	309
富田林市	10	94
寝屋川市	1,505	7,080
河内長野市	1	4
松原市	38	222
大東市	909	4,106
和泉市	2	25
箕面市	2	15
柏原市	415	1,811
羽曳野市	27	161
門真市	647	3,648
摂津市	413	2,403
高石市	72	586
藤井寺市	41	153
東大阪市	3,886	15,944
泉南市	93	499
四條畷市	517	1,929
交野市	50	392
大阪狭山市	0	4
阪南市	7	49
島本町	11	96
豊能町	2	10
能勢町	19	64
忠岡町	17	124
熊取町	0	0
田尻町	33	163
岬町	30	122
太子町	8	42
河南町	5	30
千早赤阪村	0	0
合計	37,235	183,438

大阪市	18,219	96,661
堺市	866	4,072

1. 建物被害等

1.2 液状化による被害

(2) 上町断層帯①



液状化による全壊棟数

市区町村別の液状化による被害

市区町村	全壊(棟)	半壊(棟)
大阪市都島区	1,447	11,030
大阪市福島区	672	4,547
大阪市此花区	804	4,579
大阪市西区	580	4,920
大阪市港区	1,642	7,496
大阪市大正区	1,476	5,260
大阪市天王寺区	19	173
大阪市浪速区	263	2,208
大阪市西淀川区	861	6,432
大阪市東淀川区	1,509	7,702
大阪市東成区	577	4,063
大阪市生野区	881	4,284
大阪市旭区	925	3,418
大阪市城東区	1,121	3,925
大阪市阿倍野区	15	108
大阪市住吉区	16	94
大阪市東住吉区	141	450
大阪市西成区	800	2,290
大阪市淀川区	1,565	9,771
大阪市鶴見区	417	1,528
大阪市住之江区	976	3,136
大阪市平野区	530	2,301
大阪市北区	681	4,526
大阪市中央区	201	1,890
堺市堺区	541	2,256
堺市中区	25	144
堺市東区	6	29
堺市西区	263	1,463
堺市南区	16	104
堺市北区	5	33
堺市美原区	1	12
岸和田市	168	825
豊中市	1,028	3,844
池田市	11	72
吹田市	355	1,779

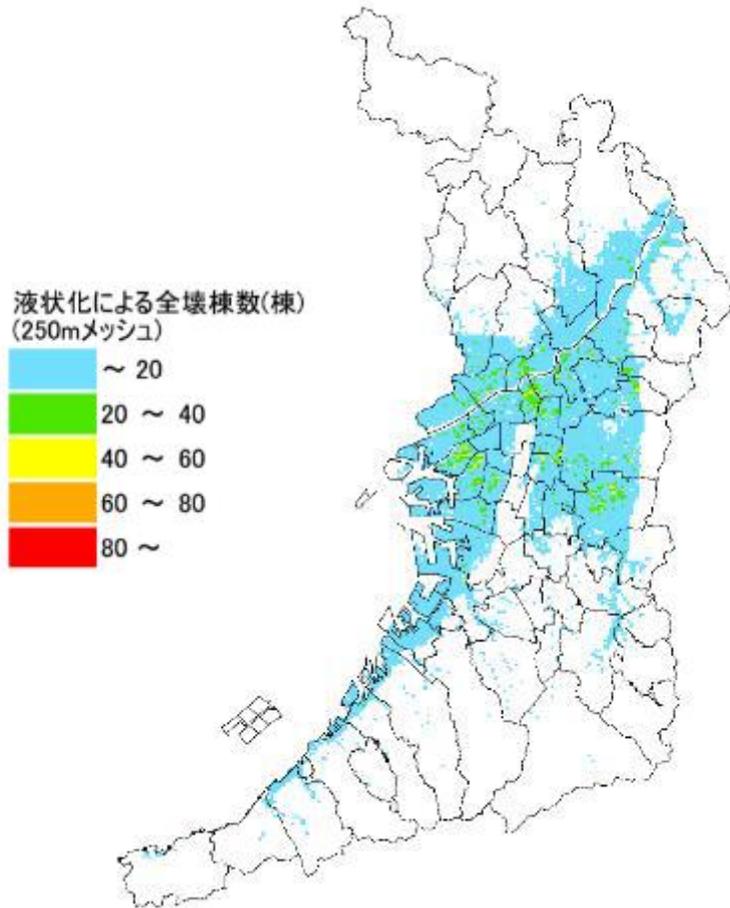
市区町村	全壊(棟)	半壊(棟)
泉大津市	87	934
高槻市	1,115	6,325
貝塚市	124	696
守口市	1,716	6,260
枚方市	981	5,016
茨木市	170	1,251
八尾市	3,499	15,243
泉佐野市	55	305
富田林市	10	94
寝屋川市	1,487	7,006
河内長野市	0	2
松原市	39	223
大東市	905	4,094
和泉市	2	25
箕面市	2	17
柏原市	393	1,716
羽曳野市	26	158
門真市	645	3,638
摂津市	412	2,398
高石市	70	577
藤井寺市	39	148
東大阪市	3,864	15,856
泉南市	91	486
四條畷市	512	1,914
交野市	49	381
大阪狭山市	0	4
阪南市	6	46
島本町	10	83
豊能町	2	7
能勢町	4	15
忠岡町	17	124
熊取町	0	0
田尻町	31	158
岬町	20	82
太子町	7	42
河南町	5	30
千早赤阪村	0	0
合計	36,933	182,046

大阪市	18,119	96,131
堺市	857	4,041

1. 建物被害等

1.2 液状化による被害

(3) 上町断層帯②



液状化による全壊棟数

市区町村別の液状化による被害

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	1,445	11,018
大阪市福島区	671	4,541
大阪市此花区	803	4,575
大阪市西区	577	4,891
大阪市港区	1,641	7,492
大阪市大正区	1,476	5,260
大阪市天王寺区	19	173
大阪市浪速区	263	2,209
大阪市西淀川区	855	6,389
大阪市東淀川区	1,491	7,613
大阪市東成区	574	4,045
大阪市生野区	880	4,278
大阪市旭区	917	3,392
大阪市城東区	1,121	3,924
大阪市阿倍野区	15	109
大阪市住吉区	16	94
大阪市東住吉区	141	451
大阪市西成区	803	2,298
大阪市淀川区	1,555	9,712
大阪市鶴見区	415	1,520
大阪市住之江区	978	3,140
大阪市平野区	530	2,302
大阪市北区	654	4,335
大阪市中央区	193	1,828
堺市堺区	547	2,277
堺市中区	26	149
堺市東区	6	30
堺市西区	266	1,478
堺市南区	16	105
堺市北区	5	33
堺市美原区	1	11
岸和田市	171	841
豊中市	1,023	3,822
池田市	9	60
吹田市	351	1,756

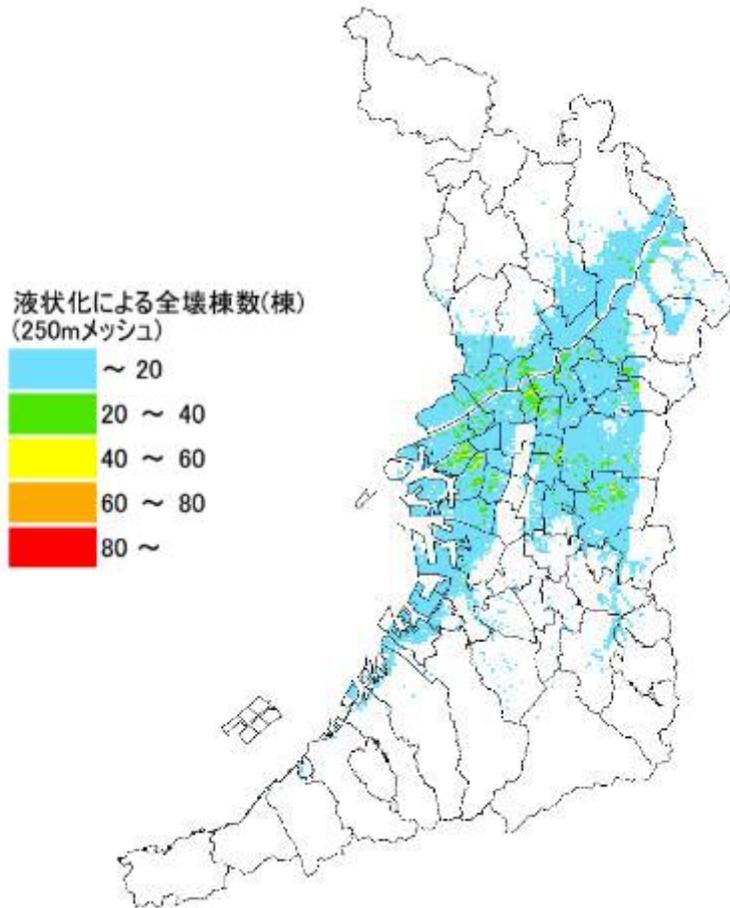
市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
泉大津市	89	950
高槻市	1,069	6,084
貝塚市	126	708
守口市	1,701	6,208
枚方市	937	4,802
茨木市	160	1,178
八尾市	3,486	15,187
泉佐野市	56	311
富田林市	10	93
寝屋川市	1,446	6,821
河内長野市	1	4
松原市	39	226
大東市	892	4,041
和泉市	2	26
箕面市	1	10
柏原市	403	1,762
羽曳野市	27	160
門真市	635	3,588
摂津市	409	2,373
高石市	72	587
藤井寺市	39	148
東大阪市	3,860	15,830
泉南市	91	487
四條畷市	503	1,876
交野市	46	350
大阪狭山市	0	4
阪南市	6	45
島本町	8	74
豊能町	0	0
能勢町	0	0
忠岡町	17	126
熊取町	0	0
田尻町	34	167
岬町	20	85
太子町	7	42
河南町	5	30
千早赤阪村	0	0
合計	36,651	180,534

大阪市	18,033	95,589
堺市	867	4,083

1. 建物被害等

1.2 液状化による被害

(4) 生駒断層帯



液状化による全壊棟数

市区町村別の液状化による被害

市区町村	全壊(棟)	半壊(棟)
大阪市都島区	1,439	10,973
大阪市福島区	665	4,501
大阪市此花区	798	4,545
大阪市西区	571	4,841
大阪市港区	1,629	7,435
大阪市大正区	1,454	5,186
大阪市天王寺区	19	168
大阪市浪速区	260	2,178
大阪市西淀川区	833	6,221
大阪市東淀川区	1,459	7,458
大阪市東成区	571	4,027
大阪市生野区	857	4,180
大阪市旭区	908	3,357
大阪市城東区	1,116	3,910
大阪市阿倍野区	13	98
大阪市住吉区	15	89
大阪市東住吉区	137	434
大阪市西成区	741	2,125
大阪市淀川区	1,508	9,436
大阪市鶴見区	414	1,519
大阪市住之江区	952	3,059
大阪市平野区	526	2,284
大阪市北区	602	3,968
大阪市中央区	185	1,757
堺市堺区	517	2,163
堺市中区	24	132
堺市東区	5	24
堺市西区	247	1,376
堺市南区	15	95
堺市北区	5	32
堺市美原区	1	11
岸和田市	66	363
豊中市	985	3,699
池田市	7	43
吹田市	341	1,709

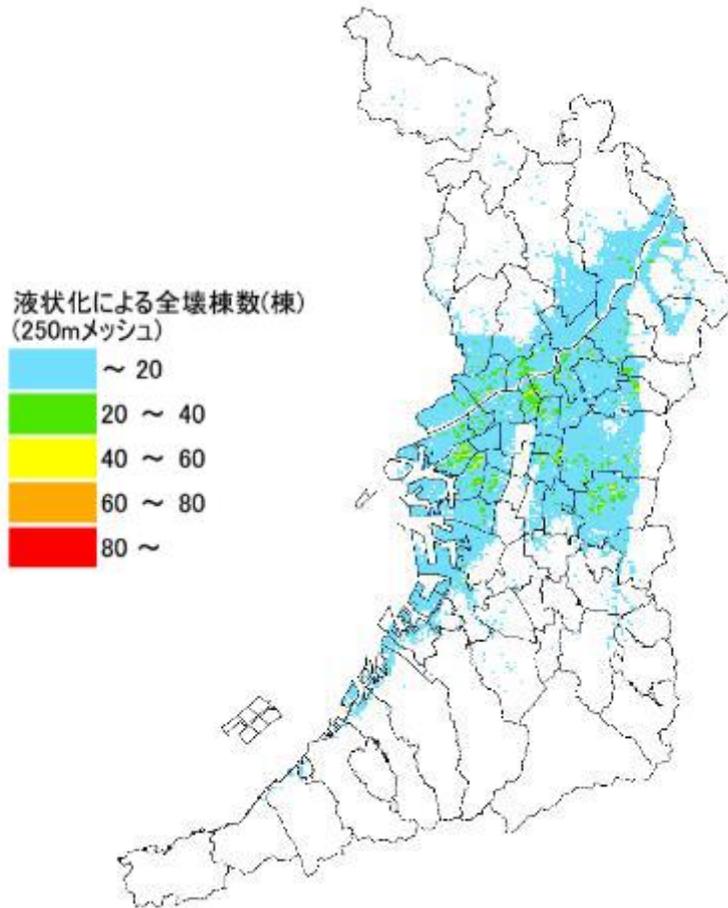
市区町村	全壊(棟)	半壊(棟)
泉大津市	57	657
高槻市	1,099	6,241
貝塚市	47	236
守口市	1,704	6,220
枚方市	973	4,984
茨木市	162	1,192
八尾市	3,497	15,241
泉佐野市	6	31
富田林市	10	92
寝屋川市	1,471	6,931
河内長野市	0	0
松原市	38	214
大東市	905	4,090
和泉市	0	13
箕面市	1	6
柏原市	410	1,782
羽曳野市	26	155
門真市	640	3,608
摂津市	408	2,365
高石市	49	454
藤井寺市	39	146
東大阪市	3,851	15,815
泉南市	1	12
四條畷市	510	1,906
交野市	49	384
大阪狭山市	0	2
阪南市	0	0
島本町	10	89
豊能町	0	0
能勢町	0	0
忠岡町	8	62
熊取町	0	0
田尻町	3	22
岬町	0	0
太子町	7	41
河南町	5	28
千早赤阪村	0	0
合計	35,871	176,415

大阪市	17,672	93,749
堺市	814	3,833

1. 建物被害等

1.2 液状化による被害

(5) 有馬高槻断層帯



液状化による全壊棟数

市区町村別の液状化による被害

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	1,440	10,978
大阪市福島区	670	4,538
大阪市此花区	801	4,564
大阪市西区	569	4,831
大阪市港区	1,632	7,451
大阪市大正区	1,457	5,197
大阪市天王寺区	18	165
大阪市浪速区	260	2,177
大阪市西淀川区	856	6,390
大阪市東淀川区	1,479	7,558
大阪市東成区	568	4,006
大阪市生野区	836	4,082
大阪市旭区	903	3,332
大阪市城東区	1,112	3,902
大阪市阿倍野区	12	90
大阪市住吉区	12	77
大阪市東住吉区	130	409
大阪市西成区	745	2,131
大阪市淀川区	1,557	9,718
大阪市鶴見区	410	1,506
大阪市住之江区	921	2,964
大阪市平野区	506	2,197
大阪市北区	613	4,058
大阪市中央区	186	1,765
堺市堺区	472	1,989
堺市中区	20	108
堺市東区	4	19
堺市西区	212	1,226
堺市南区	12	75
堺市北区	5	29
堺市美原区	0	1
岸和田市	70	377
豊中市	1,024	3,830
池田市	11	72
吹田市	353	1,768

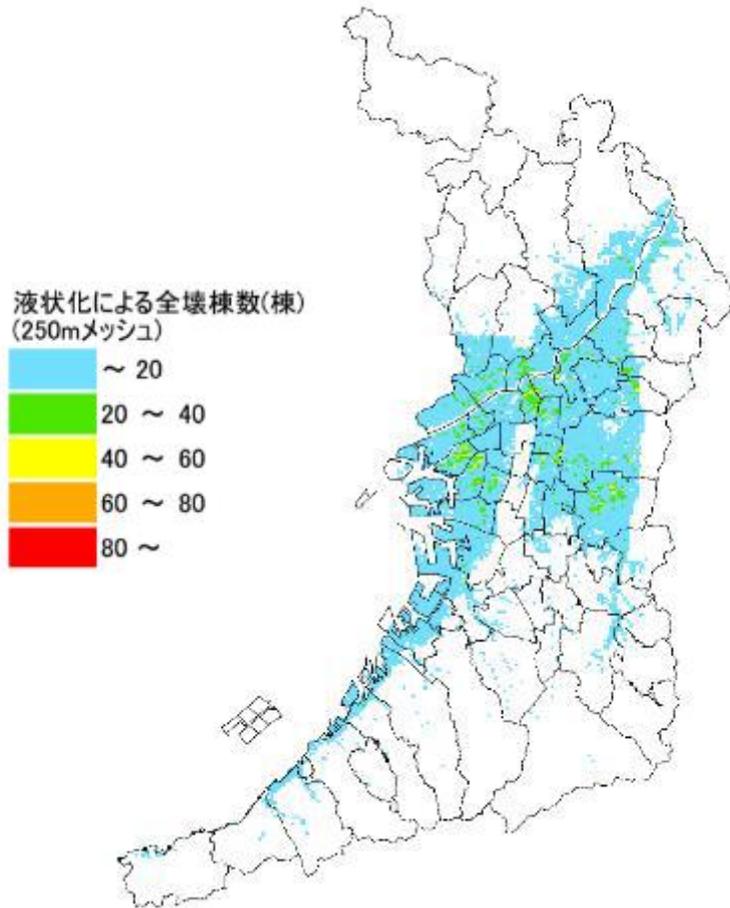
市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
泉大津市	36	470
高槻市	1,145	6,479
貝塚市	70	364
守口市	1,694	6,186
枚方市	979	5,005
茨木市	169	1,246
八尾市	3,186	13,919
泉佐野市	6	34
富田林市	4	52
寝屋川市	1,462	6,898
河内長野市	0	0
松原市	31	166
大東市	892	4,034
和泉市	0	11
箕面市	2	15
柏原市	302	1,298
羽曳野市	17	90
門真市	627	3,550
摂津市	410	2,383
高石市	35	362
藤井寺市	26	96
東大阪市	3,660	15,139
泉南市	8	66
四條畷市	506	1,888
交野市	48	377
大阪狭山市	0	2
阪南市	0	0
島本町	11	93
豊能町	2	10
能勢町	14	43
忠岡町	6	55
熊取町	0	0
田尻町	9	55
岬町	0	0
太子町	5	27
河南町	2	13
千早赤阪村	0	0
合計	35,240	174,006

大阪市	17,693	94,086
堺市	725	3,447

1. 建物被害等

1.2 液状化による被害

(6) 中央構造線断層帯



液状化による全壊棟数

市区町村別の液状化による被害

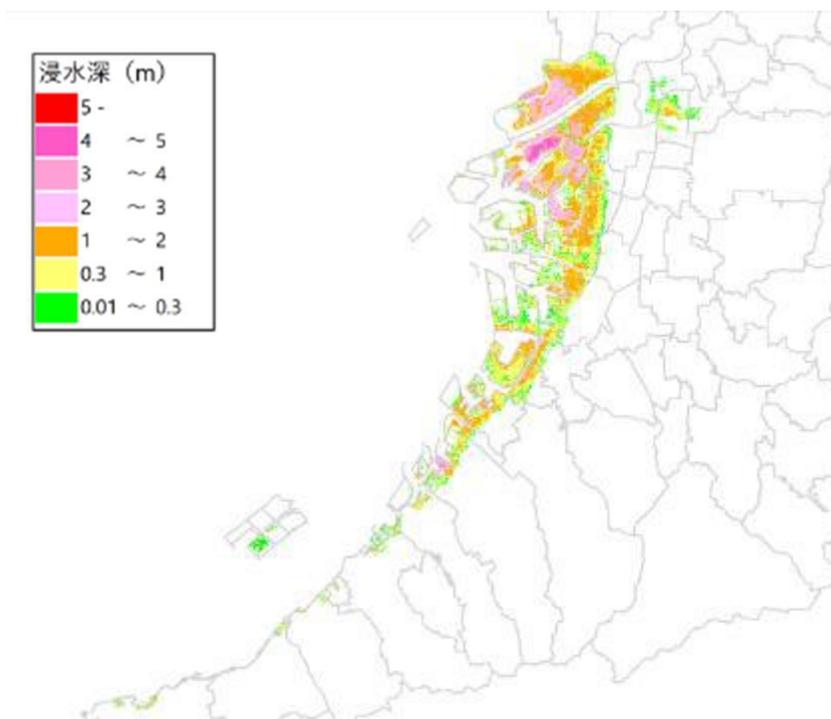
市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	1,435	10,939
大阪市福島区	662	4,482
大阪市此花区	799	4,551
大阪市西区	570	4,836
大阪市港区	1,637	7,469
大阪市大正区	1,469	5,238
大阪市天王寺区	18	165
大阪市浪速区	260	2,177
大阪市西淀川区	837	6,256
大阪市東淀川区	1,358	6,935
大阪市東成区	566	3,996
大阪市生野区	847	4,128
大阪市旭区	809	3,028
大阪市城東区	1,104	3,884
大阪市阿倍野区	14	101
大阪市住吉区	16	94
大阪市東住吉区	136	433
大阪市西成区	784	2,241
大阪市淀川区	1,489	9,317
大阪市鶴見区	407	1,497
大阪市住之江区	968	3,110
大阪市平野区	525	2,276
大阪市北区	570	3,752
大阪市中央区	180	1,722
堺市堺区	536	2,235
堺市中区	26	146
堺市東区	6	29
堺市西区	255	1,427
堺市南区	16	105
堺市北区	5	33
堺市美原区	1	11
岸和田市	167	821
豊中市	990	3,710
池田市	5	28
吹田市	332	1,653

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
泉大津市	86	927
高槻市	860	4,883
貝塚市	124	694
守口市	1,573	5,758
枚方市	867	4,416
茨木市	121	872
八尾市	3,428	14,954
泉佐野市	56	308
富田林市	10	94
寝屋川市	1,371	6,493
河内長野市	1	4
松原市	38	218
大東市	858	3,897
和泉市	2	25
箕面市	0	3
柏原市	395	1,728
羽曳野市	27	160
門真市	619	3,504
摂津市	387	2,245
高石市	69	569
藤井寺市	38	142
東大阪市	3,789	15,553
泉南市	93	495
四條畷市	490	1,828
交野市	30	218
大阪狭山市	0	4
阪南市	7	48
島本町	5	53
豊能町	0	0
能勢町	0	0
忠岡町	17	124
熊取町	0	0
田尻町	34	167
岬町	29	119
太子町	7	42
河南町	5	30
千早赤阪村	0	0
合計	35,235	173,400

大阪市	17,460	92,627
堺市	845	3,986

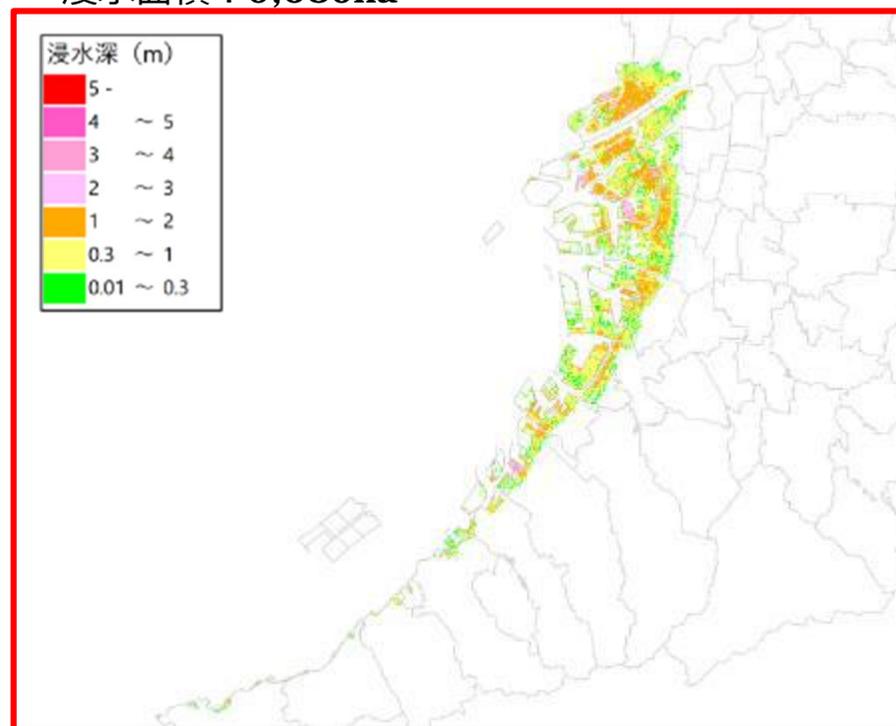
1.3 津波による被害

【浸水深を考慮した浸水面積の変化（府全域）】			
(H25調査) 津波浸水想定		(今回調査) 津波浸水想定	
①全浸水面積	: 11,072ha	⇒ 9,580ha	(13%減)
②浸水深0.3m以上の浸水面積	: 9,592ha	⇒ 7,872ha	(18%減)
③浸水深1.0m以上の浸水面積	: 5,625ha	⇒ 3,332ha	(41%減)
④浸水深2.0m以上の浸水面積	: 1,950ha	⇒ 513ha	(74%減)
⑤浸水深4.0m以上の浸水面積	: 119ha	⇒ 5ha	(95%減)



(H25調査) 津波浸水想定区域

浸水面積 : 9,580ha

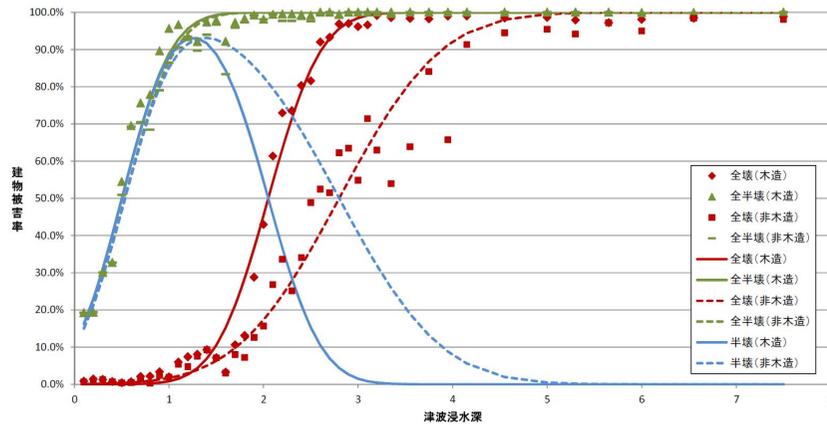


(今回調査) 津波浸水想定区域

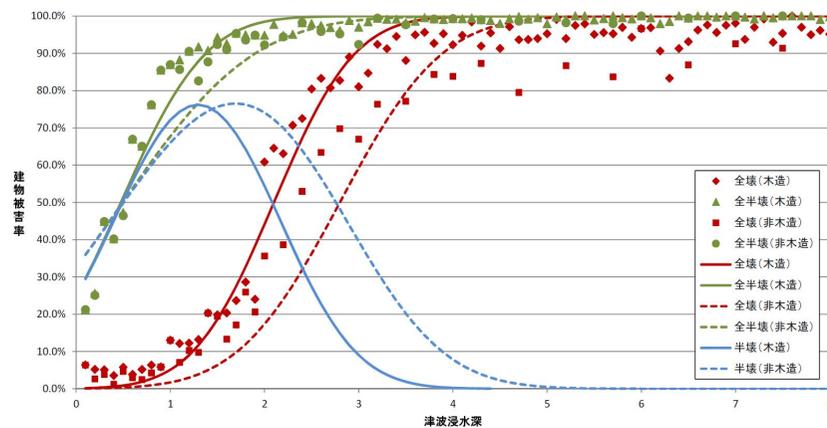
1. 建物被害等

1.3 津波による被害

- ✓ 津波浸水想定区域は、**DID**地区内にあるため上図の被害率を適用した。
- ✓ 津波浸水深に応じた被害率を建物棟数に乘じ、全壊棟数、半壊棟数を求めた。

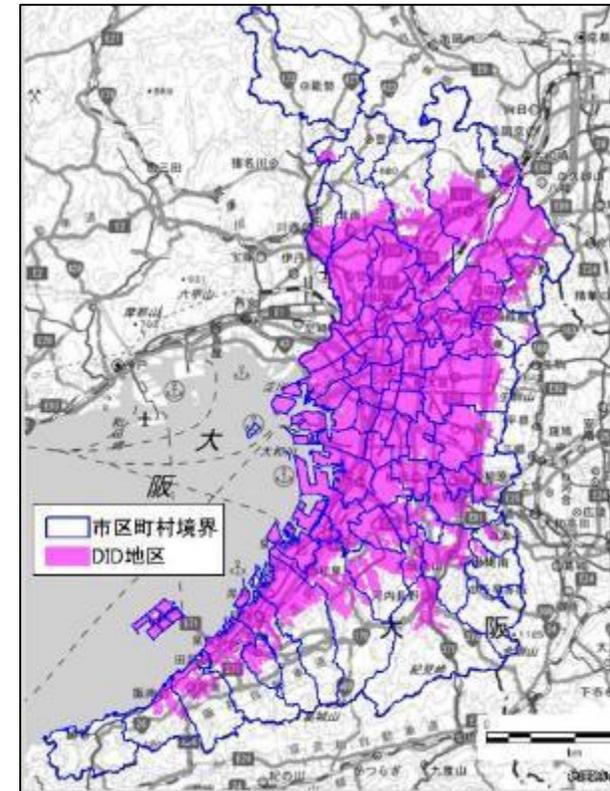


津波浸水深-被害率曲線 (DID地区)



津波浸水深-被害率曲線 (DID地区以外)

- ◆ 全壊(木造)
- ▲ 全半壊(木造)
- 全壊(非木造)
- 全半壊(非木造)
- 全壊(木造)
- 全半壊(木造)
- - 全壊(非木造)
- - 全半壊(非木造)
- 半壊(木造)
- - 半壊(非木造)

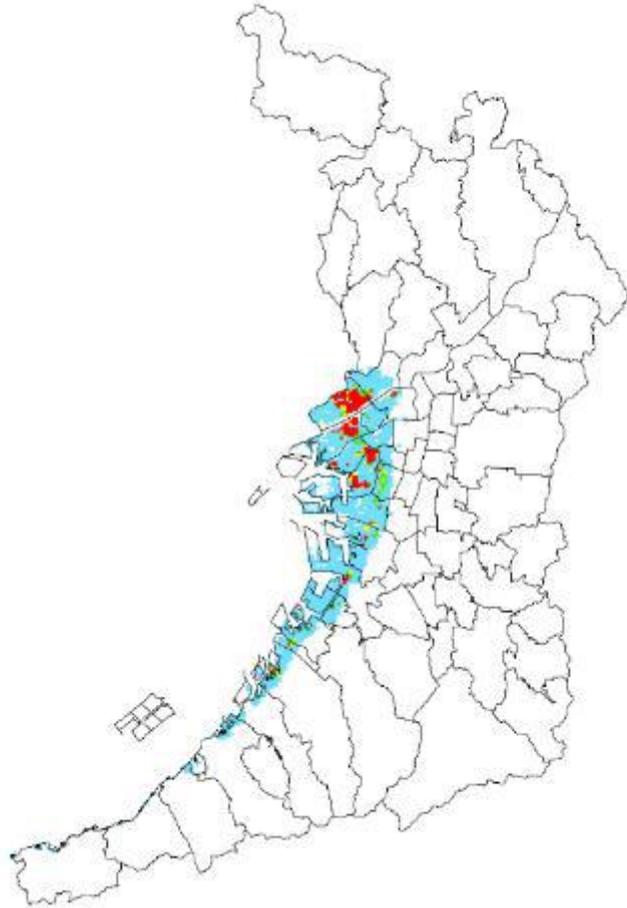


大阪府内のDID地区

1. 建物被害等

1.3 津波による被害

(1) 南海トラフ地震



津波による全壊棟数

市区町村別の津波による被害

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	0	0
大阪市福島区	68	6,498
大阪市此花区	1,964	6,358
大阪市西区	28	5,013
大阪市港区	557	7,349
大阪市大正区	2,909	6,660
大阪市天王寺区	0	0
大阪市浪速区	27	1,335
大阪市西淀川区	4,241	14,832
大阪市東淀川区	0	0
大阪市東成区	0	0
大阪市生野区	0	0
大阪市旭区	0	0
大阪市城東区	0	0
大阪市阿倍野区	0	0
大阪市住吉区	2	98
大阪市東住吉区	0	0
大阪市西成区	327	7,770
大阪市淀川区	232	9,138
大阪市鶴見区	0	0
大阪市住之江区	212	7,128
大阪市平野区	0	0
大阪市北区	127	3,076
大阪市中央区	3	10
堺市堺区	217	4,484
堺市中区	0	0
堺市東区	0	0
堺市西区	244	3,197
堺市南区	0	0
堺市北区	0	0
堺市美原区	0	0
岸和田市	181	2,473
豊中市	0	4
池田市	0	0
吹田市	0	0

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
泉大津市	67	1,768
高槻市	0	0
貝塚市	17	708
守口市	0	0
枚方市	0	0
茨木市	0	0
八尾市	0	0
泉佐野市	30	445
富田林市	0	0
寝屋川市	0	0
河内長野市	0	0
松原市	0	0
大東市	0	0
和泉市	0	0
箕面市	0	0
柏原市	0	0
羽曳野市	0	0
門真市	0	0
摂津市	0	0
高石市	89	2,762
藤井寺市	0	0
東大阪市	0	0
泉南市	2	225
四條畷市	0	0
交野市	0	0
大阪狭山市	0	0
阪南市	3	48
島本町	0	0
豊能町	0	0
能勢町	0	0
忠岡町	55	860
熊取町	0	0
田尻町	1	85
岬町	23	396
太子町	0	0
河南町	0	0
千早赤阪村	0	0
合計	11,626	92,720

大阪市	10,697	75,265
堺市	461	7,681

1. 建物被害等

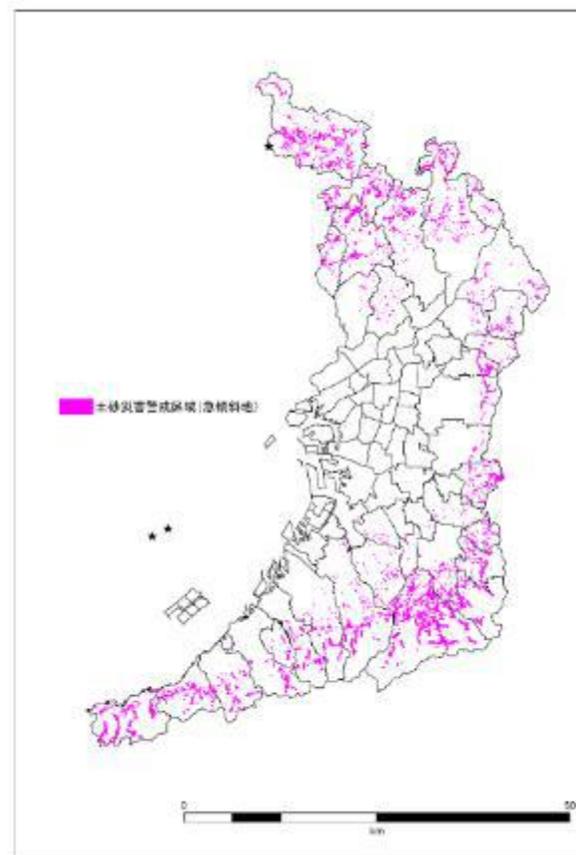
1.4 急傾斜地崩壊による被害

- ✓ 南海トラフ地震については、**H25年調査**では「急傾斜地崩壊危険箇所（**864箇所**）」を対象としていたが、今回調査では土砂法による調査に基づく「土砂災害警戒区域 急傾斜地の崩壊（**6,651箇所**）」を対象として算定。
- ✓ このため、評価対象となる箇所数が増加したため、急傾斜地崩壊による被害棟数が増加。



H25調査

(急傾斜地崩壊危険箇所 危険度ランクA **864箇所**)



今回調査

(土砂災害警戒区域 **6,651箇所**)

出典：国土数値情報（令和6年6月30日時点）

1. 建物被害等

1.4 急傾斜地崩壊による被害

(1) 南海トラフ地震

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	0	0
大阪市福島区	0	0
大阪市此花区	0	0
大阪市西区	0	0
大阪市港区	0	0
大阪市大正区	0	0
大阪市天王寺区	0	0
大阪市浪速区	0	0
大阪市西淀川区	0	0
大阪市東淀川区	0	0
大阪市東成区	0	0
大阪市生野区	0	0
大阪市旭区	0	0
大阪市城東区	0	0
大阪市阿倍野区	0	0
大阪市住吉区	0	0
大阪市東住吉区	0	0
大阪市西成区	0	0
大阪市淀川区	0	0
大阪市鶴見区	0	0
大阪市住之江区	0	0
大阪市平野区	0	0
大阪市北区	0	0
大阪市中央区	0	0
堺市堺区	0	0
堺市中区	2	4
堺市東区	0	1
堺市西区	0	0
堺市南区	1	3
堺市北区	0	0
堺市美原区	0	0
大阪市	0	0
堺市	3	8
合計	197	428

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
岸和田市	4	10
豊中市	0	0
池田市	5	12
吹田市	2	5
泉大津市	0	0
高槻市	10	20
貝塚市	3	7
守口市	0	0
枚方市	9	19
茨木市	5	12
八尾市	1	2
泉佐野市	3	7
富田林市	3	7
寝屋川市	2	5
河内長野市	39	84
松原市	0	0
大東市	5	9
和泉市	13	29
箕面市	5	12
柏原市	7	15
羽曳野市	1	2
門真市	0	0
摂津市	0	0
高石市	0	0
藤井寺市	0	0
東大阪市	5	10
泉南市	2	5
四條畷市	2	4
交野市	4	9
大阪狭山市	1	1
阪南市	10	20
島本町	1	3
豊能町	8	18
能勢町	17	38
忠岡町	0	0
熊取町	2	3
田尻町	0	0
岬町	5	9
太子町	3	6
河南町	7	15
千早赤阪村	10	22

(2) 上町断層帯①

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	0	0
大阪市福島区	0	0
大阪市此花区	0	0
大阪市西区	0	0
大阪市港区	0	0
大阪市大正区	0	0
大阪市天王寺区	0	0
大阪市浪速区	0	0
大阪市西淀川区	0	0
大阪市東淀川区	0	0
大阪市東成区	0	0
大阪市生野区	0	0
大阪市旭区	0	0
大阪市城東区	0	0
大阪市阿倍野区	0	0
大阪市住吉区	0	0
大阪市東住吉区	0	0
大阪市西成区	0	0
大阪市淀川区	0	0
大阪市鶴見区	0	0
大阪市住之江区	0	0
大阪市平野区	0	0
大阪市北区	0	0
大阪市中央区	0	0
堺市堺区	0	0
堺市中区	2	4
堺市東区	0	1
堺市西区	0	0
堺市南区	2	3
堺市北区	0	0
堺市美原区	0	0
大阪市	0	0
堺市	4	8
合計	165	345

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
岸和田市	4	8
豊中市	0	1
池田市	5	11
吹田市	3	6
泉大津市	0	0
高槻市	9	17
貝塚市	4	8
守口市	0	0
枚方市	10	20
茨木市	5	10
八尾市	1	2
泉佐野市	3	7
富田林市	3	6
寝屋川市	3	5
河内長野市	30	64
松原市	0	0
大東市	5	10
和泉市	11	24
箕面市	5	12
柏原市	6	13
羽曳野市	1	2
門真市	0	0
摂津市	0	0
高石市	0	0
藤井寺市	0	0
東大阪市	5	9
泉南市	1	3
四條畷市	2	4
交野市	4	8
大阪狭山市	1	1
阪南市	9	18
島本町	1	2
豊能町	7	16
能勢町	6	14
忠岡町	0	0
熊取町	2	4
田尻町	0	0
岬町	2	4
太子町	2	5
河南町	5	10
千早赤阪村	6	13

1. 建物被害等

1.4 急傾斜地崩壊による被害

(3) 上町断層帯②

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)	市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	0	0	岸和田市	4	11
大阪市福島区	0	0	豊中市	0	0
大阪市此花区	0	0	池田市	3	6
大阪市西区	0	0	吹田市	2	4
大阪市港区	0	0	泉大津市	0	0
大阪市大正区	0	0	高槻市	5	10
大阪市天王寺区	0	0	貝塚市	4	9
大阪市浪速区	0	0	守口市	0	0
大阪市西淀川区	0	0	枚方市	7	15
大阪市東淀川区	0	0	茨木市	3	6
大阪市東成区	0	0	八尾市	1	2
大阪市生野区	0	0	泉佐野市	3	7
大阪市旭区	0	0	富田林市	3	7
大阪市城東区	0	0	寝屋川市	2	4
大阪市阿倍野区	0	0	河内長野市	40	89
大阪市住吉区	0	0	松原市	0	0
大阪市東住吉区	0	0	大東市	3	7
大阪市西成区	0	0	和泉市	14	34
大阪市淀川区	0	0	箕面市	3	7
大阪市鶴見区	0	0	柏原市	7	15
大阪市住之江区	0	0	羽曳野市	1	2
大阪市平野区	0	0	門真市	0	0
大阪市北区	0	0	摂津市	0	0
大阪市中央区	0	0	高石市	0	0
堺市堺区	0	0	藤井寺市	0	0
堺市中区	2	5	東大阪市	4	7
堺市東区	1	1	泉南市	2	4
堺市西区	0	0	四條畷市	1	3
堺市南区	2	4	交野市	2	3
堺市北区	0	0	大阪狭山市	1	1
堺市美原区	0	0	阪南市	9	18
			島本町	1	1
			豊能町	2	6
			能勢町	0	0
			忠岡町	0	0
			熊取町	2	4
			田尻町	0	0
			岬町	2	4
			太子町	2	5
			河南町	5	11
			千早赤阪村	9	20
大阪市	0	0			
堺市	5	10			
合計	152	332			

(4) 生駒断層帯

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)	市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	0	0	岸和田市	0	1
大阪市福島区	0	0	豊中市	0	0
大阪市此花区	0	0	池田市	1	2
大阪市西区	0	0	吹田市	2	3
大阪市港区	0	0	泉大津市	0	0
大阪市大正区	0	0	高槻市	7	14
大阪市天王寺区	0	0	貝塚市	1	2
大阪市浪速区	0	0	守口市	0	0
大阪市西淀川区	0	0	枚方市	10	20
大阪市東淀川区	0	0	茨木市	3	6
大阪市東成区	0	0	八尾市	2	3
大阪市生野区	0	0	泉佐野市	0	0
大阪市旭区	0	0	富田林市	2	5
大阪市城東区	0	0	寝屋川市	3	6
大阪市阿倍野区	0	0	河内長野市	17	40
大阪市住吉区	0	0	松原市	0	0
大阪市東住吉区	0	0	大東市	5	10
大阪市西成区	0	0	和泉市	2	4
大阪市淀川区	0	0	箕面市	2	4
大阪市鶴見区	0	0	柏原市	9	18
大阪市住之江区	0	0	羽曳野市	1	2
大阪市平野区	0	0	門真市	0	0
大阪市北区	0	0	摂津市	0	0
大阪市中央区	0	0	高石市	0	0
堺市堺区	0	0	藤井寺市	0	0
堺市中区	2	4	東大阪市	6	12
堺市東区	0	1	泉南市	0	0
堺市西区	0	0	四條畷市	2	5
堺市南区	1	2	交野市	4	8
堺市北区	0	0	大阪狭山市	0	1
堺市美原区	0	0	阪南市	0	0
			島本町	1	3
			豊能町	1	3
			能勢町	0	0
			忠岡町	0	0
			熊取町	0	0
			田尻町	0	0
			岬町	0	0
			太子町	2	5
			河南町	5	10
			千早赤阪村	4	9
大阪市	0	0			
堺市	3	7			
合計	95	203			

1. 建物被害等

1.4 急傾斜地崩壊による被害 (5) 有馬高槻断層帯

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)	市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	0	0	岸和田市	0	0
大阪市福島区	0	0	豊中市	0	0
大阪市此花区	0	0	池田市	6	13
大阪市西区	0	0	吹田市	3	5
大阪市港区	0	0	泉大津市	0	0
大阪市大正区	0	0	高槻市	12	25
大阪市天王寺区	0	0	貝塚市	0	1
大阪市浪速区	0	0	守口市	0	0
大阪市西淀川区	0	0	枚方市	10	19
大阪市東淀川区	0	0	茨木市	6	13
大阪市東成区	0	0	八尾市	1	1
大阪市生野区	0	0	泉佐野市	0	0
大阪市旭区	0	0	富田林市	1	1
大阪市城東区	0	0	寝屋川市	2	5
大阪市阿倍野区	0	0	河内長野市	3	8
大阪市住吉区	0	0	松原市	0	0
大阪市東住吉区	0	0	大東市	3	6
大阪市西成区	0	0	和泉市	1	2
大阪市淀川区	0	0	箕面市	6	14
大阪市鶴見区	0	0	柏原市	3	8
大阪市住之江区	0	0	羽曳野市	0	1
大阪市平野区	0	0	門真市	0	0
大阪市北区	0	0	摂津市	0	0
大阪市中央区	0	0	高石市	0	0
堺市堺区	0	0	藤井寺市	0	0
堺市中区	1	2	東大阪市	2	5
堺市東区	0	1	泉南市	0	0
堺市西区	0	0	四條畷市	2	3
堺市南区	0	1	交野市	2	5
堺市北区	0	0	大阪狭山市	0	0
堺市美原区	0	0	阪南市	0	0
			島本町	2	3
			豊能町	10	23
			能勢町	14	32
			忠岡町	0	0
			熊取町	0	0
			田尻町	0	0
			岬町	0	0
			太子町	1	2
			河南町	0	1
			千早赤阪村	0	0
大阪市	0	0			
堺市	1	4			
合計	91	200			

(6) 中央構造線断層帯

市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)	市区町村	全壊 (棟)	半壊 (棟)
大阪市都島区	0	0	岸和田市	5	10
大阪市福島区	0	0	豊中市	0	0
大阪市此花区	0	0	池田市	1	2
大阪市西区	0	0	吹田市	1	3
大阪市港区	0	0	泉大津市	0	0
大阪市大正区	0	0	高槻市	2	4
大阪市天王寺区	0	0	貝塚市	4	9
大阪市浪速区	0	0	守口市	0	0
大阪市西淀川区	0	0	枚方市	6	13
大阪市東淀川区	0	0	茨木市	0	1
大阪市東成区	0	0	八尾市	1	2
大阪市生野区	0	0	泉佐野市	3	7
大阪市旭区	0	0	富田林市	3	9
大阪市城東区	0	0	寝屋川市	2	4
大阪市阿倍野区	0	0	河内長野市	41	97
大阪市住吉区	0	0	松原市	0	0
大阪市東住吉区	0	0	大東市	2	3
大阪市西成区	0	0	和泉市	15	31
大阪市淀川区	0	0	箕面市	1	2
大阪市鶴見区	0	0	柏原市	7	14
大阪市住之江区	0	0	羽曳野市	1	2
大阪市平野区	0	0	門真市	0	0
大阪市北区	0	0	摂津市	0	0
大阪市中央区	0	0	高石市	0	0
堺市堺区	0	0	藤井寺市	0	0
堺市中区	2	4	東大阪市	2	4
堺市東区	1	1	泉南市	2	4
堺市西区	0	0	四條畷市	1	2
堺市南区	2	4	交野市	1	1
堺市北区	0	0	大阪狭山市	1	2
堺市美原区	0	0	阪南市	9	20
			島本町	0	1
			豊能町	0	0
			能勢町	0	0
			忠岡町	0	0
			熊取町	2	4
			田尻町	0	0
			岬町	4	9
			太子町	3	7
			河南町	7	18
			千早赤阪村	10	22
大阪市	0	0			
堺市	5	9			
合計	142	316			

1. 建物被害等

1.5 地震火災による被害

- ✓ 地震火災による建物被害については、出火件数から消火可能件数を差し引いた残出火件数を算定し、建物1棟単位での延焼シミュレーションにより、地震火災による焼失棟数を算定。
- ✓ 今回調査では、全方位で常に風下になる想定としているため、どの方向へも燃えやすい条件となったことから、**H25年調査と比較して、地震火災による焼失棟数が大幅に増加。**
⇒直下型地震については、地震動を大きく見直した結果、出火率も高くなっている。

①感震ブレーカー設置率（第5回部会資料再掲）

H25調査

考慮していない



今回調査

大阪府における感震ブレーカー設置率

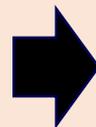
5.7%

※令和5年度内閣府（都道府県別）アンケート結果より

②風向（第5回部会資料再掲）

H25調査

季節に応じた風向



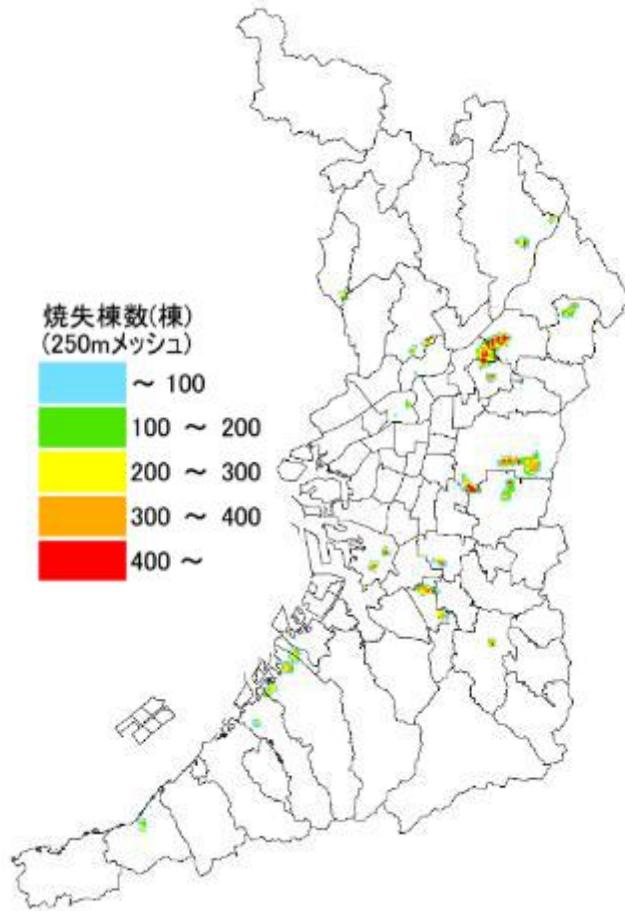
今回調査

全方位で常に風下になる想定

1. 建物被害等

1.5 地震火災による被害

(1) 南海トラフ地震



地震火災による焼失棟数
(冬18時・強風)

地震火災による被害

市区町村	全出火(棟)	炎上出火(棟)	焼失(棟)
大阪市都島区	2	1	0
大阪市福島区	2	1	0
大阪市此花区	1	1	0
大阪市西区	2	1	0
大阪市港区	2	1	0
大阪市大正区	2	1	0
大阪市天王寺区	2	1	0
大阪市浪速区	1	0	0
大阪市西淀川区	2	1	0
大阪市東淀川区	3	1	19
大阪市東成区	2	1	0
大阪市生野区	4	2	0
大阪市旭区	3	1	0
大阪市城東区	4	2	0
大阪市阿倍野区	3	1	0
大阪市住吉区	3	1	0
大阪市東住吉区	3	1	0
大阪市西成区	3	1	0
大阪市淀川区	4	2	0
大阪市鶴見区	2	1	0
大阪市住之江区	2	1	0
大阪市平野区	3	1	33
大阪市北区	3	1	786
大阪市中央区	3	1	0
堺市堺区	3	1	3,768
堺市中区	3	1	0
堺市東区	3	1	7,026
堺市西区	3	1	0
堺市南区	2	1	0
堺市北区	3	1	797
堺市美原区	1	1	282

大阪市	61	26	838
堺市	18	7	11,873

合計	214	89	94,829
-----------	------------	-----------	---------------

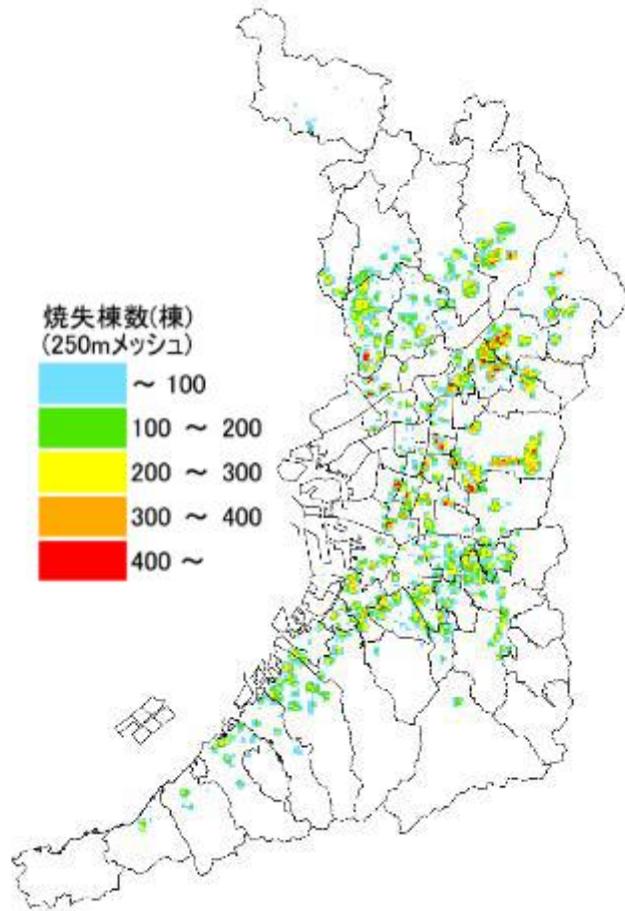
※炎上出火89棟のうち、消防活動等で消火できなかった残出火44棟を対象に延焼シミュレーションを実施

市区町村	全出火(棟)	炎上出火(棟)	焼失(棟)
岸和田市	6	2	7,530
豊中市	7	3	774
池田市	2	1	531
吹田市	5	2	3,261
泉大津市	2	1	1
高槻市	8	3	3,701
貝塚市	3	1	861
守口市	4	2	13,080
枚方市	11	4	1
茨木市	5	2	0
八尾市	7	3	5,538
泉佐野市	3	1	0
富田林市	3	1	1,576
寝屋川市	9	4	10,810
河内長野市	3	1	0
松原市	3	1	1,942
大東市	3	1	42
和泉市	5	2	0
箕面市	3	1	0
柏原市	2	1	0
羽曳野市	3	1	5
門真市	4	1	4,413
摂津市	2	1	0
高石市	1	1	0
藤井寺市	2	1	0
東大阪市	13	6	21,643
泉南市	2	1	0
四條畷市	1	1	0
交野市	2	1	3,176
大阪狭山市	2	1	0
阪南市	4	3	1,716
島本町	1	0	263
豊能町	0	0	0
能勢町	0	0	0
忠岡町	1	0	1,254
熊取町	1	1	0
田尻町	0	0	0
岬町	1	0	0
太子町	0	0	0
河南町	1	0	0
千早赤阪村	0	0	0

1. 建物被害等

1.5 地震火災による被害

(2) 上町断層帯①



地震火災による焼失棟数
(冬18時・強風)

地震火災による被害

市区町村	全出火(棟)	炎上出火(棟)	焼失(棟)
大阪市都島区	3	1	3,158
大阪市福島区	3	2	1,869
大阪市此花区	1	1	100
大阪市西区	3	1	0
大阪市港区	2	1	0
大阪市大正区	2	1	0
大阪市天王寺区	6	4	2,546
大阪市浪速区	3	2	653
大阪市西淀川区	3	2	228
大阪市東淀川区	7	5	1,620
大阪市東成区	5	3	5,338
大阪市生野区	13	10	10,260
大阪市旭区	8	5	6,204
大阪市城東区	10	7	2,687
大阪市阿倍野区	10	7	8,760
大阪市住吉区	10	7	5,257
大阪市東住吉区	11	8	7,376
大阪市西成区	6	4	3,429
大阪市淀川区	8	5	5,804
大阪市鶴見区	5	4	939
大阪市住之江区	4	3	2,435
大阪市平野区	11	8	3,502
大阪市北区	7	5	2,266
大阪市中央区	10	7	986
堺市堺区	18	14	8,199
堺市中区	16	13	15,375
堺市東区	18	15	11,721
堺市西区	14	10	19,333
堺市南区	7	5	363
堺市北区	18	14	4,538
堺市美原区	9	7	5,206

大阪市	151	103	75,417
堺市	100	78	64,735

合計	734	532	479,692
-----------	------------	------------	----------------

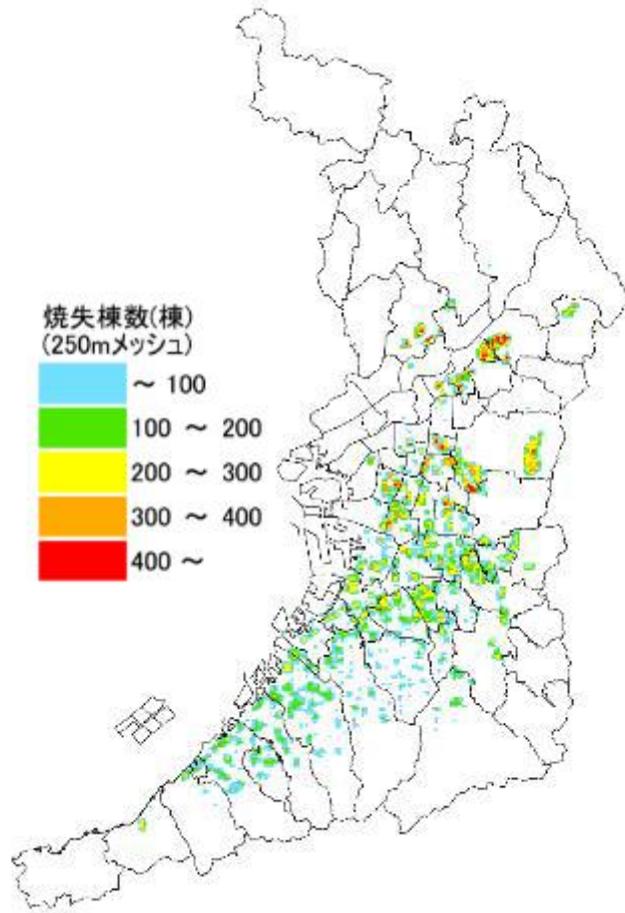
市区町村	全出火(棟)	炎上出火(棟)	焼失(棟)
岸和田市	21	15	21,278
豊中市	56	46	37,014
池田市	10	7	4,678
吹田市	46	38	16,061
泉大津市	5	4	1,535
高槻市	19	12	21,525
貝塚市	10	7	2,533
守口市	18	14	21,313
枚方市	21	14	7,947
茨木市	24	18	13,951
八尾市	15	9	9,900
泉佐野市	14	10	5,997
富田林市	12	8	8,067
寝屋川市	22	16	21,244
河内長野市	5	3	1,423
松原市	24	19	16,334
大東市	6	4	6,817
和泉市	12	8	5,560
箕面市	15	11	5,073
柏原市	3	2	1,979
羽曳野市	18	14	19,117
門真市	10	7	11,190
摂津市	9	6	704
高石市	5	3	3,013
藤井寺市	10	8	10,034
東大阪市	30	19	46,477
泉南市	7	5	1,452
四條畷市	4	3	4,198
交野市	6	5	5,932
大阪狭山市	8	6	2,813
阪南市	5	3	1,773
島本町	1	0	0
豊能町	0	0	0
能勢町	0	0	432
忠岡町	2	2	2,055
熊取町	5	4	121
田尻町	1	0	0
岬町	1	0	0
太子町	1	0	0
河南町	2	1	0
千早赤阪村	0	0	0

※炎上出火532棟のうち、消防活動等で消火できなかった
残出火484棟を対象に延焼シミュレーションを実施

1. 建物被害等

1.5 地震火災による被害

(3) 上町断層帯②



地震火災による焼失棟数
(冬18時・強風)

地震火災による被害

市区町村	全出火(棟)	炎上出火(棟)	焼失(棟)
大阪市都島区	2	1	0
大阪市福島区	1	1	0
大阪市此花区	1	1	0
大阪市西区	2	1	0
大阪市港区	2	1	0
大阪市大正区	2	1	1,477
大阪市天王寺区	6	4	1,939
大阪市浪速区	3	3	492
大阪市西淀川区	2	1	0
大阪市東淀川区	4	2	323
大阪市東成区	4	2	6,309
大阪市生野区	11	8	11,486
大阪市旭区	4	2	5,046
大阪市城東区	5	3	746
大阪市阿倍野区	17	14	7,743
大阪市住吉区	15	12	10,825
大阪市東住吉区	19	15	7,754
大阪市西成区	10	8	8,420
大阪市淀川区	4	2	0
大阪市鶴見区	3	1	69
大阪市住之江区	6	4	3,353
大阪市平野区	11	8	9,867
大阪市北区	3	1	22
大阪市中央区	8	6	2,087
堺市堺区	25	21	8,923
堺市中区	25	21	16,455
堺市東区	23	20	16,123
堺市西区	28	23	17,462
堺市南区	20	17	2,826
堺市北区	26	22	8,028
堺市美原区	9	7	3,029

大阪市	145	102	77,958
堺市	156	131	72,846

合計	703	525	356,938
-----------	------------	------------	----------------

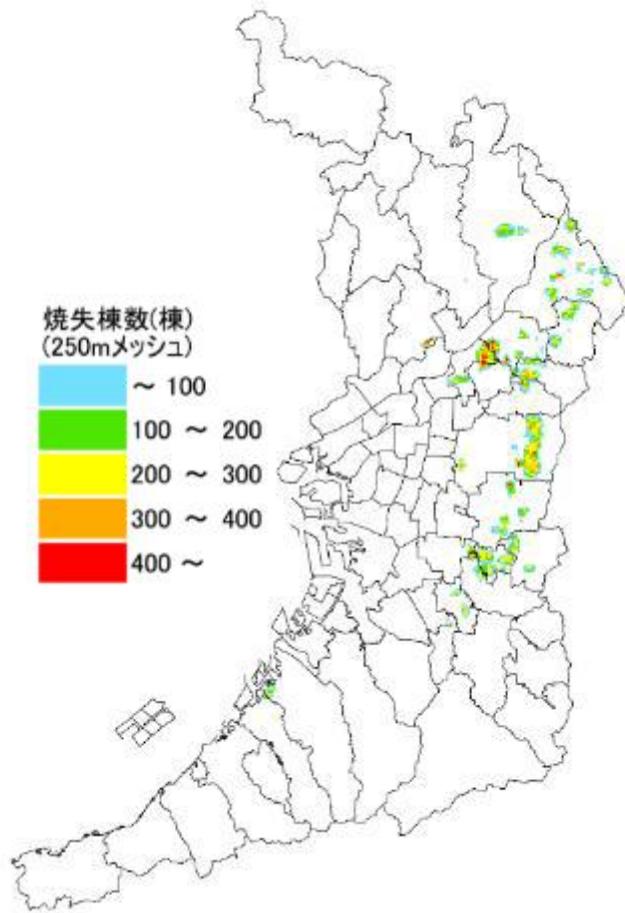
市区町村	全出火(棟)	炎上出火(棟)	焼失(棟)
岸和田市	52	43	19,535
豊中市	8	3	0
池田市	1	1	0
吹田市	9	5	9,437
泉大津市	13	10	2,912
高槻市	7	3	4
貝塚市	22	19	7,110
守口市	5	3	17,712
枚方市	6	3	0
茨木市	6	3	603
八尾市	12	7	5,486
泉佐野市	27	22	9,889
富田林市	15	11	6,610
寝屋川市	7	3	12,569
河内長野市	14	11	3,092
松原市	25	20	20,239
大東市	3	1	14
和泉市	48	40	8,948
箕面市	2	1	0
柏原市	4	3	4,974
羽曳野市	17	12	16,497
門真市	4	2	976
摂津市	3	1	730
高石市	11	9	3,646
藤井寺市	12	9	5,863
東大阪市	21	12	34,305
泉南市	7	5	1,334
四條畷市	1	1	0
交野市	2	1	3,184
大阪狭山市	11	9	2,859
阪南市	3	2	1,738
島本町	0	0	0
豊能町	0	0	0
能勢町	0	0	0
忠岡町	5	4	1,697
熊取町	12	10	3,068
田尻町	2	1	1,103
岬町	1	0	0
太子町	1	1	0
河南町	2	1	0
千早赤阪村	1	0	0

※炎上出火525棟のうち、消防活動等で消火できなかった残出火472棟を対象に延焼シミュレーションを実施

1. 建物被害等

1.5 地震火災による被害

(4) 生駒断層帯



地震火災による焼失棟数
(冬18時・強風)

地震火災による被害

市区町村	全出火(棟)	炎上出火(棟)	焼失(棟)
大阪市都島区	1	1	0
大阪市福島区	1	0	0
大阪市此花区	0	0	0
大阪市西区	2	1	0
大阪市港区	1	0	0
大阪市大正区	1	0	0
大阪市天王寺区	2	1	0
大阪市浪速区	1	0	0
大阪市西淀川区	1	0	0
大阪市東淀川区	3	1	4
大阪市東成区	2	1	0
大阪市生野区	4	2	0
大阪市旭区	3	2	0
大阪市城東区	4	2	0
大阪市阿倍野区	3	1	0
大阪市住吉区	3	1	0
大阪市東住吉区	3	1	0
大阪市西成区	2	1	0
大阪市淀川区	2	1	0
大阪市鶴見区	3	1	0
大阪市住之江区	2	1	0
大阪市平野区	4	2	0
大阪市北区	2	1	0
大阪市中央区	3	1	0
堺市堺区	3	1	0
堺市中区	3	1	0
堺市東区	2	1	0
堺市西区	2	1	0
堺市南区	1	0	0
堺市北区	2	1	0
堺市美原区	1	1	2,183

大阪市	53	22	4
堺市	14	6	2,183

合計	235	124	132,070
-----------	------------	------------	----------------

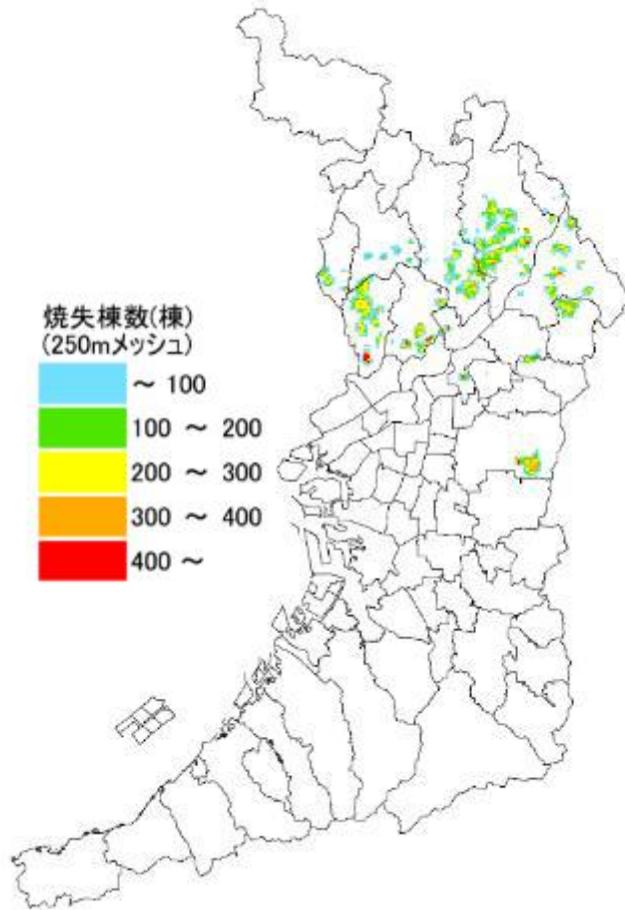
※炎上出火124棟のうち、消防活動等で消火できなかった
残出火83棟を対象に延焼シミュレーションを実施

市区町村	全出火(棟)	炎上出火(棟)	焼失(棟)
岸和田市	1	0	1,631
豊中市	4	2	0
池田市	1	0	0
吹田市	4	2	2,321
泉大津市	1	0	0
高槻市	8	4	4,958
貝塚市	0	0	174
守口市	5	3	15,709
枚方市	27	19	16,617
茨木市	6	3	82
八尾市	15	9	8,055
泉佐野市	0	0	0
富田林市	3	2	0
寝屋川市	14	8	10,754
河内長野市	1	0	0
松原市	4	2	1,628
大東市	5	3	3,378
和泉市	1	0	0
箕面市	1	0	0
柏原市	5	3	4,342
羽曳野市	7	4	4,800
門真市	5	2	2,179
摂津市	2	1	0
高石市	1	0	0
藤井寺市	8	5	10,391
東大阪市	24	14	30,384
泉南市	0	0	0
四條畷市	3	2	6,387
交野市	8	6	5,934
大阪狭山市	1	0	159
阪南市	0	0	0
島本町	1	0	0
豊能町	0	0	0
能勢町	0	0	0
忠岡町	0	0	0
熊取町	0	0	0
田尻町	0	0	0
岬町	0	0	0
太子町	1	1	0
河南町	1	1	0
千早赤阪村	0	0	0

1. 建物被害等

1.5 地震火災による被害

(5) 有馬高槻断層帯



地震火災による焼失棟数
(冬18時・強風)

地震火災による被害

市区町村	全出火(棟)	炎上出火(棟)	焼失(棟)
大阪市都島区	2	1	0
大阪市福島区	1	0	0
大阪市此花区	1	0	0
大阪市西区	1	1	0
大阪市港区	1	0	0
大阪市大正区	1	0	0
大阪市天王寺区	1	1	0
大阪市浪速区	1	0	0
大阪市西淀川区	2	1	0
大阪市東淀川区	4	2	47
大阪市東成区	2	1	0
大阪市生野区	3	1	0
大阪市旭区	2	1	0
大阪市城東区	3	1	0
大阪市阿倍野区	2	1	0
大阪市住吉区	1	1	0
大阪市東住吉区	2	1	0
大阪市西成区	2	1	0
大阪市淀川区	4	2	0
大阪市鶴見区	2	1	0
大阪市住之江区	1	0	0
大阪市平野区	1	1	0
大阪市北区	2	1	0
大阪市中央区	3	1	0
堺市堺区	1	0	0
堺市中区	1	0	0
堺市東区	1	0	0
堺市西区	1	0	0
堺市南区	0	0	0
堺市北区	1	0	0
堺市美原区	0	0	0

大阪市	45	20	47
堺市	5	0	0

合計	270	169	138,133
-----------	------------	------------	----------------

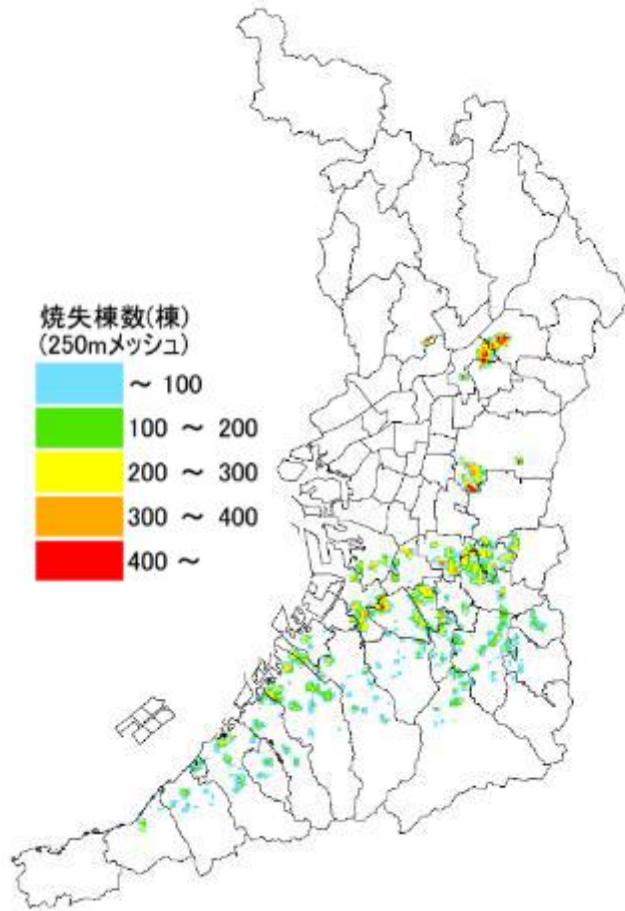
市区町村	全出火(棟)	炎上出火(棟)	焼失(棟)
岸和田市	1	0	0
豊中市	24	17	27,594
池田市	11	8	3,327
吹田市	16	11	12,258
泉大津市	1	0	0
高槻市	51	41	40,558
貝塚市	0	0	0
守口市	4	2	1,526
枚方市	26	18	14,254
茨木市	25	19	14,066
八尾市	3	1	0
泉佐野市	0	0	0
富田林市	0	0	0
寝屋川市	10	5	878
河内長野市	0	0	0
松原市	1	0	0
大東市	3	1	0
和泉市	1	0	0
箕面市	14	11	2,139
柏原市	1	0	0
羽曳野市	1	0	0
門真市	3	1	367
摂津市	4	3	1,046
高石市	0	0	0
藤井寺市	1	0	0
東大阪市	8	3	11,740
泉南市	0	0	0
四條畷市	2	1	1,336
交野市	5	4	6,646
大阪狭山市	0	0	0
阪南市	0	0	0
島本町	3	3	351
豊能町	1	0	0
能勢町	0	0	0
忠岡町	0	0	0
熊取町	0	0	0
田尻町	0	0	0
岬町	0	0	0
太子町	0	0	0
河南町	0	0	0
千早赤阪村	0	0	0

※炎上出火169棟のうち、消防活動等で消火できなかった残出火135棟を対象に延焼シミュレーションを実施

1. 建物被害等

1.5 地震火災による被害

(6) 中央構造線断層帯



地震火災による焼失棟数
(冬18時・強風)

地震火災による被害

市区町村	全出火(棟)	炎上出火(棟)	焼失(棟)
大阪市都島区	1	0	0
大阪市福島区	1	0	0
大阪市此花区	1	0	0
大阪市西区	2	1	0
大阪市港区	1	0	0
大阪市大正区	1	1	0
大阪市天王寺区	2	1	0
大阪市浪速区	1	0	0
大阪市西淀川区	1	0	0
大阪市東淀川区	2	1	4
大阪市東成区	1	1	0
大阪市生野区	3	1	0
大阪市旭区	1	0	0
大阪市城東区	2	1	0
大阪市阿倍野区	3	1	0
大阪市住吉区	5	3	0
大阪市東住吉区	4	2	5
大阪市西成区	3	1	0
大阪市淀川区	2	1	0
大阪市鶴見区	1	1	0
大阪市住之江区	2	1	0
大阪市平野区	4	2	47
大阪市北区	2	1	0
大阪市中央区	3	1	0
堺市堺区	6	4	6,382
堺市中区	13	9	12,480
堺市東区	16	13	13,044
堺市西区	9	6	14,461
堺市南区	16	13	1,747
堺市北区	8	6	5,799
堺市美原区	7	6	2,027

大阪市	49	21	56
堺市	75	57	55,940

合計	413	281	216,770
-----------	------------	------------	----------------

※炎上出火281棟のうち、消防活動等で消火できなかった
残出火240棟を対象に延焼シミュレーションを実施

市区町村	全出火(棟)	炎上出火(棟)	焼失(棟)
岸和田市	22	16	19,058
豊中市	3	1	0
池田市	1	0	0
吹田市	2	1	2,329
泉大津市	5	4	2,205
高槻市	2	1	0
貝塚市	12	9	3,879
守口市	2	1	13,286
枚方市	3	1	0
茨木市	2	1	0
八尾市	8	4	4,302
泉佐野市	20	16	6,039
富田林市	32	27	11,164
寝屋川市	5	2	9,780
河内長野市	25	20	4,182
松原市	11	8	15,288
大東市	2	1	0
和泉市	22	16	4,843
箕面市	1	0	0
柏原市	3	1	3,260
羽曳野市	15	11	17,208
門真市	2	1	2,221
摂津市	1	0	0
高石市	3	2	998
藤井寺市	8	6	10,615
東大阪市	10	4	15,923
泉南市	13	10	2,115
四條畷市	1	0	0
交野市	1	0	0
大阪狭山市	18	15	2,860
阪南市	7	5	1,632
島本町	0	0	0
豊能町	0	0	0
能勢町	0	0	0
忠岡町	2	1	2,380
熊取町	9	7	1,264
田尻町	2	1	1,124
岬町	3	2	0
太子町	3	2	1,952
河南町	6	5	862
千早赤阪村	2	1	5

1. 建物被害等

1.6 津波火災による被害

✓ 内閣府と同様に下記の式により、津波による出火件数を算定。

想定地震	前回調査	今回調査
(1) 南海トラフ地震	過年度調査では実施せず	70件

■ 津波火災件数の算定

(津波火災件数)

= (車両火災件数) + (その他の火災件数)

(車両火災件数)

= { (世帯当たり所有者台数) × (浸水建物数) × 0.000024 - 0.798 }^e

(その他の火災件数)

= (浸水建物数) × 0.000264 + (プロパン使用率) × 1.080

※津波火災に関する東日本大震災を対象とした質問紙調査の報告と出火件数予測手法の提案. 地域安全学会論文集(24). pp.111-121 (2014,廣井悠) より

津波火災件数 (南海トラフ地震)

市町村名	浸水建物数 (棟)	津波火災による出火件数 (件)		
		車両火災件数	その他の火災件数	
都島区	0	0	0	0
福島区	15,971	5	1	4
此花区	13,419	4	1	4
西区	13,029	4	1	4
港区	18,879	6	1	5
大正区	16,444	5	1	4
天王寺区	0	0	0	0
浪速区	3,564	1	0	1
西淀川区	26,852	8	1	7
東淀川区	0	0	0	0
東成区	0	0	0	0
生野区	0	0	0	0
旭区	0	0	0	0
城東区	0	0	0	0
阿倍野区	0	0	0	0
住吉区	256	1	0	0
東住吉区	0	0	0	0
西成区	15,527	5	0	4
淀川区	22,399	7	1	6
鶴見区	0	0	0	0
住之江区	16,178	5	1	4
平野区	0	0	0	0
北区	7,085	2	0	2
中央区	16	1	0	0
堺区	9,483	3	1	3
中区	0	0	0	0
東区	0	0	0	0
西区	6,574	2	1	2
南区	0	0	0	0
北区	0	0	0	0
美原区	0	0	0	0

市町村名	浸水建物数 (棟)	津波火災による出火件数 (件)		
		車両火災件数	その他の火災件数	
岸和田市	5,523	2	0	2
豊中市	37	1	0	0
池田市	0	0	0	0
吹田市	0	0	0	0
泉大津市	3,709	2	0	1
高槻市	0	0	0	0
貝塚市	1,700	1	0	1
守口市	0	0	0	0
枚方市	0	0	0	0
茨木市	0	0	0	0
八尾市	0	0	0	0
泉佐野市	1,077	1	0	0
富田林市	0	0	0	0
寝屋川市	0	0	0	0
河内長野市	0	0	0	0
松原市	0	0	0	0
大東市	0	0	0	0
和泉市	0	0	0	0
真面目	0	0	0	0
柏原市	0	0	0	0
羽曳野市	0	0	0	0
門真市	0	0	0	0
摂津市	0	0	0	0
高石市	6,324	2	1	2
藤井寺市	0	0	0	0
東大阪市	0	0	0	0
泉南市	647	1	0	0
四條畷市	0	0	0	0
交野市	0	0	0	0
大阪狭山市	0	0	0	0
阪南市	104	1	0	0
島本町	0	0	0	0
豊能町	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0
忠岡町	1,484	1	0	0
熊取町	0	0	0	0
田尻町	199	1	0	0
岬町	997	1	0	0
太子町	0	0	0	0
河南町	0	0	0	0
千早赤阪村	0	0	0	0
合計	207,475	70	13	56

1. 建物被害等

1.7 ブロック塀等の転倒被害

✓内閣府と同様の地表最大加速度と被害率の関係式を用いて、各想定地震におけるブロック塀等の転倒被害を算定。

ブロック塀の被害数 = 木造建物棟数 × 塀等の件数比率
 × 倒壊対象となる塀等の割合 × (地表最大加速度から求めた) 被害率

塀件数

	ブロック塀	石瓶	コンクリート塀
今回調査	0.16 × (木造住宅棟数)	0.027 × (木造住宅棟数)	0.016 × (木造住宅棟数)
H25調査	0.16 × (木造住宅棟数)	0.035 × (木造住宅棟数)	0.036 × (木造住宅棟数)

倒壊対象となる塀の割合 (H25調査と同じ)

塀の種類	外見調査の結果特に改善が 必要ない塀の比率 (A)	倒壊対象となる割合 (1-0.5A)
ブロック塀	0.500	0.750
石瓶	0.362	0.819
コンクリート塀	0.576	0.712

被害率 (H25調査と同じ)

- ブロック塀被害率 (%) = -12.6 + 0.07 × (地表最大加速度) (gal)
- 石瓶被害率 (%) = -26.6 + 0.168 × (地表最大加速度) (gal)
- コンクリート塀被害率 (%) = -12.6 + 0.07 × (地表最大加速度) (gal)

1. 建物被害等

1.7 ブロック塀等の転倒被害

南海トラフ地震について、

- ✓ ブロック塀のは、木造住宅棟数が増加したことで、塀の数の増加に伴い、転倒被害も増加。
- ✓ 石瓶及びコンクリート塀は塀の件数比率の減少に伴い、転倒被害も減少。

地震別のブロック塀等の転倒被害（件）

想定地震	前回調査				今回調査			
	ブロック塀等				ブロック塀等			
		ブロック塀	石塀	コンクリート塀		ブロック塀	石塀	コンクリート塀
(1) 南海トラフ地震	72,989	39,920	24,543	8,527	76,659	48,988	23,021	4,650
(2) 上町断層帯①	過年度調査では実施せず				99,496	67,371	25,730	6,395
(3) 上町断層帯②					85,904	58,524	21,821	5,559
(4) 生駒断層帯					53,293	34,265	15,775	3,253
(5) 有馬高槻断層帯					55,347	36,627	15,244	3,476
(6) 中央構造断層帯					65,738	44,465	17,047	4,226

1. 建物被害等

1.7 ブロック塀等の転倒被害

ブロック塀等(ブロック塀、石塀、コンクリート塀)の転倒被害 (件)

市区町村	(1) 南海トラフ地震	(2) 上町断層帯①	(3) 上町断層帯②	(4) 生駒断層帯	5) 有馬高槻断層帯	(6) 中央構造線断層帯
大阪市都島区	1,432	461	395	229	301	178
大阪市福島区	826	465	272	116	277	166
大阪市此花区	671	302	253	86	232	130
大阪市西区	964	663	357	205	306	237
大阪市港区	878	380	288	140	233	194
大阪市大正区	741	348	297	154	219	198
大阪市天王寺区	635	825	741	498	384	381
大阪市浪速区	379	441	391	227	252	215
大阪市西淀川区	1,216	565	412	238	620	259
大阪市東淀川区	1,617	1,040	959	505	974	370
大阪市東成区	1,032	953	604	418	361	351
大阪市生野区	1,495	1,524	1,357	1,081	707	777
大阪市旭区	592	450	381	231	339	188
大阪市城東区	915	718	478	332	333	289
大阪市阿倍野区	837	961	1,287	683	565	636
大阪市住吉区	527	825	980	465	323	635
大阪市東住吉区	284	433	565	304	209	302
大阪市西成区	245	246	265	137	147	161
大阪市淀川区	2,214	1,023	863	475	922	484
大阪市鶴見区	241	188	118	121	111	72
大阪市住之江区	296	248	278	152	131	180
大阪市平野区	582	743	779	552	299	618
大阪市北区	1,381	807	717	379	571	320
大阪市中央区	1,126	1,452	1,050	687	685	585
堺市堺区	1,127	2,148	2,113	993	593	1,492
堺市中区	1,442	2,691	2,713	1,055	575	2,078
堺市東区	1,233	2,330	2,346	1,141	489	2,235
堺市西区	1,405	2,447	2,644	929	693	1,734
堺市南区	895	1,914	2,422	465	145	2,111
堺市北区	1,105	2,426	2,510	1,079	516	1,769
堺市美原区	589	1,139	1,175	712	190	1,299
岸和田市	1,984	3,483	4,742	589	380	3,516
豊中市	2,722	5,294	2,338	1,585	4,153	1,082
池田市	643	1,770	592	507	2,070	321
吹田市	1,452	3,719	1,501	1,112	2,540	659

市区町村	(1) 南海トラフ地震	(2) 上町断層帯①	(3) 上町断層帯②	(4) 生駒断層帯	5) 有馬高槻断層帯	(6) 中央構造線断層帯
泉大津市	523	827	1,083	377	275	698
高槻市	2,878	3,942	2,045	2,750	6,120	790
貝塚市	904	1,522	1,951	120	138	1,637
守口市	1,288	1,154	813	702	834	403
枚方市	4,580	5,081	2,493	6,128	6,193	1,376
茨木市	1,545	3,326	1,687	1,747	3,432	698
八尾市	2,239	2,372	1,901	2,166	1,249	1,583
泉佐野市	1,142	1,993	2,418	118	125	2,187
富田林市	1,265	1,899	2,110	1,247	244	2,936
寝屋川市	2,924	2,755	1,540	2,069	2,331	893
河内長野市	1,190	1,481	2,384	544	80	3,226
松原市	1,317	2,807	3,086	1,704	800	2,214
大東市	1,194	788	553	842	528	383
和泉市	1,483	3,104	4,633	598	467	3,380
箕面市	938	2,541	951	612	2,816	320
柏原市	638	683	894	1,277	309	859
羽曳野市	1,454	2,814	2,947	2,377	701	3,040
門真市	1,223	825	534	612	681	340
摂津市	701	702	464	389	679	251
高石市	549	964	1,183	346	303	695
藤井寺市	634	1,067	1,209	1,198	401	1,114
東大阪市	4,163	3,592	2,529	3,278	2,007	2,048
泉南市	840	1,158	1,086	22	23	1,377
四條畷市	572	660	357	710	433	211
交野市	887	966	555	1,111	920	355
大阪狭山市	709	1,387	1,495	628	139	1,747
阪南市	1,078	1,121	923	22	6	1,269
島本町	173	233	127	281	474	61
豊能町	147	103	31	5	380	1
能勢町	135	41	0	0	205	0
忠岡町	112	186	233	66	46	157
熊取町	531	1,056	1,384	61	77	1,394
田尻町	100	117	101	3	14	127
岬町	352	304	320	9	2	480
太子町	186	191	258	258	35	442
河南町	249	243	328	280	30	583
千早赤阪村	93	69	115	54	5	241
合計	76,659	99,496	85,904	53,293	55,347	65,738

1. 建物被害等

1.8 自動販売機等の転倒被害

- ✓ 内閣府と同様に、自動販売機の転倒数は、震度**6弱**以上となる地域の自動販売機を対象とし、屋外設置比率と転倒防止措置未対応率より転倒の対象となる自動販売機台数をもとめ、転倒率（一律）を乗じて算定。

自動販売機の転倒数（震度**6弱**以上の地域に適用）
= 全国の自動販売機台数※¹ × 昼夜間人口の対全国比
× 屋外設置比率（**6割**） × 転倒防止措置未対応率（**1割**） × 転倒率（**20.9%**）※²

※¹：3,910,300台・・・日本自動販売システム機械工業会による2024年12月末時点の全国の自動販売機台数

※²：20.9%=25,880台/124,000台・・・阪神・淡路大震災の概ね6弱以上の地域における転倒率

地震別の自動販売機等の転倒被害

想定地震	転倒数（台）
(1) 南海トラフ地震	3,468
(2) 上町断層帯①	3,444
(3) 上町断層帯②	3,254
(4) 生駒断層帯	2,433
(5) 有馬高槻断層帯	2,051
(6) 中央構造線断層帯	2,131

1. 建物被害等

1.8 自動販売機等の転倒被害

自動販売機等の転倒被害（台）

市区町村	(1) 南海トラフ地震	(2) 上町断層帯①	(3) 上町断層帯②	(4) 生駒断層帯	5) 有馬高槻断層帯	(6) 中央構造線断層帯
大阪市都島区	41	41	39	23	28	13
大阪市福島区	35	35	35	11	27	14
大阪市此花区	25	25	24	4	17	10
大阪市西区	60	60	58	45	43	48
大阪市港区	31	30	29	5	10	19
大阪市大正区	24	24	24	5	12	19
大阪市天王寺区	40	40	40	40	38	39
大阪市浪速区	34	34	34	33	29	32
大阪市西淀川区	37	37	35	4	35	8
大阪市東淀川区	62	62	61	55	58	21
大阪市東成区	32	32	32	31	28	22
大阪市生野区	47	47	47	47	36	42
大阪市旭区	32	32	31	29	29	7
大阪市城東区	60	60	60	53	52	30
大阪市阿倍野区	43	43	43	43	34	43
大阪市住吉区	54	54	54	51	13	54
大阪市東住吉区	48	48	48	47	18	46
大阪市西成区	40	40	40	27	29	38
大阪市淀川区	80	80	78	32	78	13
大阪市鶴見区	39	39	39	38	32	20
大阪市住之江区	46	45	43	25	4	35
大阪市平野区	68	68	68	68	8	65
大阪市北区	127	127	125	77	103	61
大阪市中央区	128	128	128	121	122	123
堺市堺区	62	62	62	53	0	62
堺市中区	46	46	46	41	0	46
堺市東区	29	29	29	29	0	29
堺市西区	50	50	50	34	2	50
堺市南区	50	50	50	6	0	50
堺市北区	55	55	55	52	0	55
堺市美原区	16	16	16	16	0	16
岸和田市	69	69	70	0	0	70
豊中市	144	144	121	45	143	14
池田市	36	37	13	1	40	0
吹田市	147	149	138	76	148	40

市区町村	(1) 南海トラフ地震	(2) 上町断層帯①	(3) 上町断層帯②	(4) 生駒断層帯	5) 有馬高槻断層帯	(6) 中央構造線断層帯
泉大津市	27	27	27	0	0	27
高槻市	123	125	96	112	127	0
貝塚市	31	31	32	0	0	31
守口市	56	56	55	55	53	21
枚方市	145	143	82	146	143	9
茨木市	105	105	97	93	108	9
八尾市	102	103	103	103	23	98
泉佐野市	38	38	38	0	0	38
富田林市	41	40	41	26	0	41
寝屋川市	84	84	75	84	83	47
河内長野市	34	23	37	3	0	37
松原市	45	45	45	45	0	45
大東市	47	47	44	48	36	17
和泉市	65	63	66	1	1	66
箕面市	44	46	29	2	48	0
柏原市	20	19	24	25	1	20
羽曳野市	40	41	41	41	0	41
門真市	47	47	47	47	42	31
摂津市	36	36	36	36	36	8
高石市	21	21	21	2	0	21
藤井寺市	24	24	24	24	0	24
東大阪市	197	195	194	197	78	133
泉南市	22	21	22	0	0	22
四條畷市	18	18	15	20	15	8
交野市	26	25	23	26	24	0
大阪狭山市	21	21	21	10	0	21
阪南市	18	15	13	0	0	18
島本町	10	9	2	10	11	0
豊能町	1	0	0	0	6	0
能勢町	0	0	0	0	0	0
忠岡町	6	6	6	0	0	6
熊取町	15	16	16	0	0	16
田尻町	3	3	3	0	0	3
岬町	5	3	3	0	0	5
太子町	5	4	4	4	0	5
河南町	7	5	5	5	0	7
千早赤阪村	2	1	2	1	0	2
合計	3,468	3,444	3,254	2,433	2,051	2,131

1. 建物被害等

1.9 屋外落下物の被害

✓内閣府と同様に、全壊する建物および震度6弱以上の地域に立地する3階建て以上の非木造建物のうち、落下危険物を有する建物を対象として、屋外落下物の被害を算定。

屋外落下物が生じる建物棟数

= {揺れによる全壊棟数 + 揺れによって全壊しない非木造建物棟数 × 3階以上建物比率 × 落下危険性のある屋外落下物（飛散物及び非飛散物）を有する建物比率 × (1 - 建物改修率87%) } × (地表最大加速度から求められる) 落下率

落下危険性のある屋外落下物を保有する建物棟数比率

建築年代	飛散物（窓ガラス、壁面等）	非飛散物（吊り看板等）
～昭和45年	30%	17%
昭和46年～55年	6%	8%
昭和56年～	0%	3%

落下率

(落下率) (%)

= -12.6 + 0.07 × (地表最大加速度) (gal)

地震別の屋外落下物が発生する建物数（棟）

想定地震	今回調査
(1) 南海トラフ地震	4,081
(2) 上町断層帯①	78,896
(3) 上町断層帯②	87,108
(4) 生駒断層帯	10,186
(5) 有馬高槻断層帯	24,444
(6) 中央構造線断層帯	50,628

1. 建物被害等

1.9 屋外落下物による被害

屋外落下物が発生する建物数（棟）

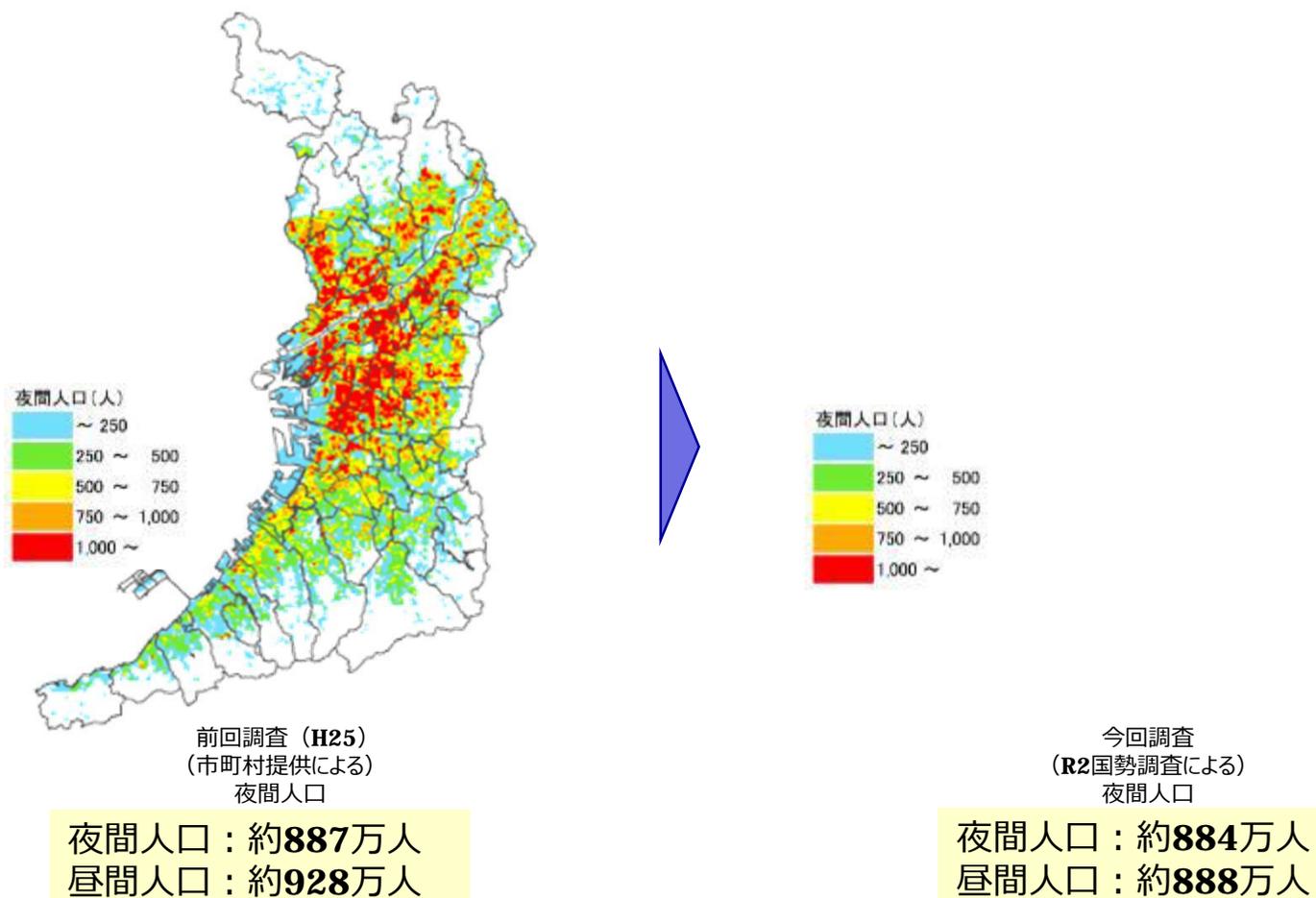
市区町村	(1) 南海トラフ地震	(2) 上町断層帯①	(3) 上町断層帯②	(4) 生駒断層帯	5) 有馬高槻断層帯	(6) 中央構造線断層帯
大阪市都島区	93	27	6	1	2	0
大阪市福島区	30	54	6	0	2	0
大阪市此花区	31	16	5	0	2	0
大阪市西区	20	28	6	0	1	1
大阪市港区	32	14	5	0	1	1
大阪市大正区	35	28	36	0	1	3
大阪市天王寺区	11	344	274	19	4	7
大阪市浪速区	5	122	186	5	3	3
大阪市西淀川区	31	46	7	0	12	0
大阪市東淀川区	62	323	63	10	93	1
大阪市東成区	30	183	79	14	3	2
大阪市生野区	45	872	601	84	9	20
大阪市旭区	27	239	44	22	17	1
大阪市城東区	49	267	55	20	7	1
大阪市阿倍野区	15	422	1,031	14	4	26
大阪市住吉区	9	338	798	6	1	65
大阪市東住吉区	8	277	670	15	1	28
大阪市西成区	6	83	220	3	3	8
大阪市淀川区	74	146	21	1	29	0
大阪市鶴見区	6	52	7	10	1	1
大阪市住之江区	6	69	140	2	0	13
大阪市平野区	10	317	409	54	1	31
大阪市北区	39	188	21	3	5	1
大阪市中央区	18	399	248	16	9	6
堺市堺区	51	3,389	4,134	46	0	468
堺市中区	53	2,783	4,110	25	0	1,413
堺市東区	86	3,624	4,392	51	0	3,240
堺市西区	53	2,060	4,673	15	0	707
堺市南区	38	847	4,017	2	0	2,866
堺市北区	62	3,728	4,853	52	0	813
堺市美原区	33	1,316	1,389	56	0	1,438
岸和田市	82	2,343	9,013	0	0	2,647
豊中市	171	9,266	236	12	3,104	3
池田市	21	1,787	8	1	2,378	0
吹田市	62	6,677	265	37	1,250	7

市区町村	(1) 南海トラフ地震	(2) 上町断層帯①	(3) 上町断層帯②	(4) 生駒断層帯	5) 有馬高槻断層帯	(6) 中央構造線断層帯
泉大津市	20	266	1,352	0	0	206
高槻市	100	1,662	52	160	7,609	0
貝塚市	54	1,256	3,761	0	0	1,754
守口市	124	1,776	213	193	95	4
枚方市	296	1,108	37	2,706	2,378	1
茨木市	37	3,072	134	164	3,207	1
八尾市	79	622	469	744	11	122
泉佐野市	89	1,966	4,400	0	0	3,246
富田林市	134	1,572	2,425	194	0	6,592
寝屋川市	238	1,060	59	490	296	10
河内長野市	66	423	2,574	2	0	5,445
松原市	73	4,637	5,597	192	0	1,014
大東市	72	211	34	149	21	4
和泉市	59	1,267	8,905	0	0	3,215
箕面市	27	2,544	26	1	2,670	0
柏原市	14	143	290	456	1	131
羽曳野市	63	3,019	3,024	509	0	2,317
門真市	94	492	64	106	40	8
摂津市	48	701	67	41	219	2
高石市	22	599	2,116	1	0	229
藤井寺市	46	1,878	2,487	1,235	0	1,233
東大阪市	210	1,485	619	1,211	49	66
泉南市	115	818	707	0	0	2,059
四條畷市	23	303	23	218	47	2
交野市	39	311	18	613	287	0
大阪狭山市	55	1,341	2,059	27	0	3,361
阪南市	307	674	226	0	0	1,039
島本町	7	15	1	28	556	0
豊能町	1	0	0	0	15	0
能勢町	0	0	0	0	0	0
忠岡町	7	212	750	0	0	154
熊取町	23	506	1,972	0	0	1,489
田尻町	8	52	171	0	0	202
岬町	80	42	41	0	0	642
太子町	12	42	89	72	0	609
河南町	26	132	270	73	0	1,168
千早赤阪村	9	15	48	5	0	482
合計	4,081	78,896	87,108	10,186	24,444	50,628

2. 人的被害

◆人口データの整理(市区町村内訳)

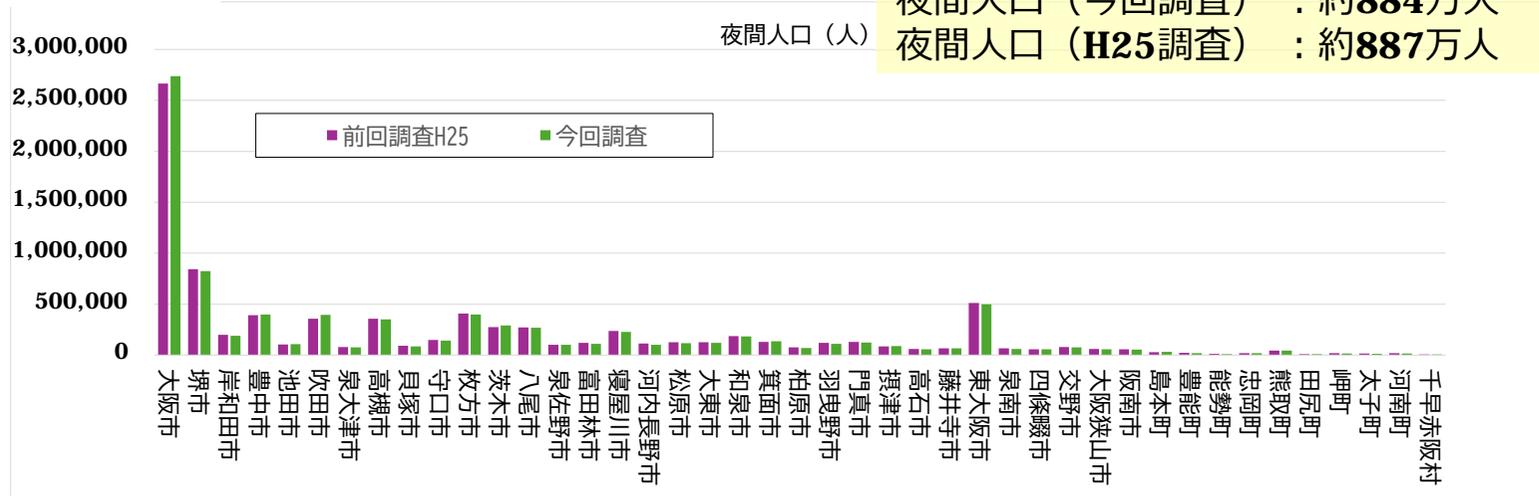
- ✓ 令和2年の国勢調査に基づき、人口データを整理した結果、今回調査における夜間人口は約**884**万人であり、**H25**年調査から約**3**万人減少。昼間人口は、約**888**万人であり、**H25**調査より約**40**万人減少。
- ✓ 人口分布について、平成**25**年調査と今回調査で、概ね近い傾向であることを確認。



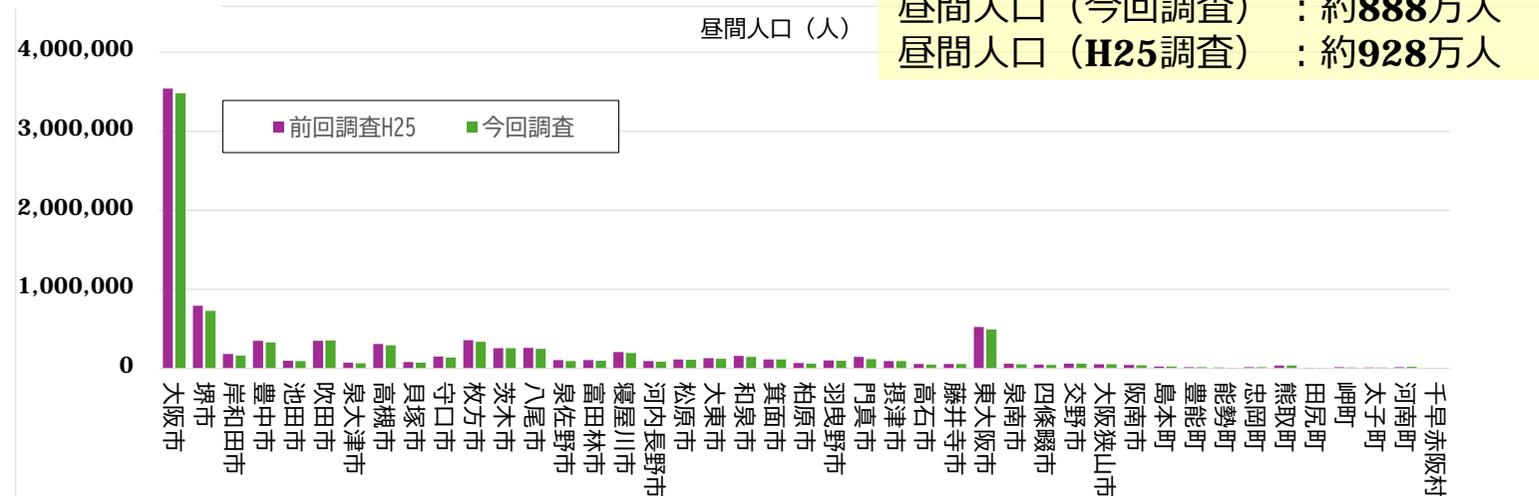
2. 人的被害

◆人口データの整理(市町村内訳)

夜間人口 (人)



昼間人口 (人)



※今回調査の夜間人口：令和2年国勢調査

※前回調査 (H25) の夜間人口：市町村提供

2. 人的被害

今回調査の想定結果

地震名	津波避難行動	人口 (人)	2.1 揺れ		2.6 急傾斜地崩壊		2.5 津波		2.4 火災		2.7~2.9 ブロック塀等		合計	
			死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)
南海トラフ地震	早期避難率低 ※1		650	24,650	67	82	5,149	3,510	5,810	3,970	30	1,431	11,706	33,643
	避難迅速化 ※2												1,832	57
上町断層帯①	対象外	夜間：8,837,675 昼間：8,880,088 夕刻：8,863,016	7,319	69,143	58	73	対象外		36,524	23,000	37	1,654	43,938	93,870
上町断層帯②			6,913	61,806	51	66			26,945	16,784	27	1,318	33,936	79,974
生駒断層帯			1,401	25,811	33	43			8,144	5,396	14	859	9,592	32,109
有馬高槻断層帯			2,068	26,095	34	38			11,007	7,036	19	923	13,128	34,092
中央構造線断層帯			3,820	37,094	46	57			13,993	8,976	16	821	17,875	46,948

⇒ 冬18時（夕刻）での被害が大阪府全域で最大となる。

※1 早期避難低（直後避難者20%/用事後避難者50%/切迫避難もしくは避難しない者30%）

※2 避難開始迅速化（直後避難者100%/用事後避難者0%/切迫避難もしくは避難しない者0%）

※夕刻人口は市町村別の人々の活動状況により設定

前回調査の想定結果

地震名	津波避難行動	人口 (人)	2.1 揺れ		2.6 急傾斜地崩壊		2.5 津波		2.4 火災		2.7~2.9 ブロック塀等		合計		
			死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	
南海トラフ地震	早期避難率低	夜間：8,865,245 昼間：9,280,560 夕刻：9,072,903	735	21,972	2	2	132,967	63,945	176	3,526	11	1,155	133,891	90,600	
	避難迅速化						7,882	117					8,806	26,772	
上町断層帯A	対象外	屋内人口 夜間：8,806,321 昼間：7,099,367 夕刻：7,072,301	10,338	100,648	過年度調査では 実施せず	対象外			952	5,156	過年度調査では 実施せず			11,290	105,804
上町断層帯B			4,015	65,247					411	2,228				4,426	67,475
生駒断層帯			5,702	70,023					1,945	10,512				7,647	80,535
有馬高槻断層帯			1,462	30,407					222	1,195				1,684	31,602
中央構造線断層帯			233	11,057					0	3				233	11,060

2. 人的被害

人的被害の差分

増加（赤字）、減少（▲青字）

地震名	津波避難行動	人口 (人)	2.1 揺れ		2.6 急傾斜地崩壊		2.5 津波		2.4 火災		2.7～2.9 ブロック塀等		合計	
			死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)
南海トラフ地震	早期避難率低	夜間：▲27,570	▲85	2,678	65	80	▲127,818	▲60,435	5,634	444	19	276	▲122,185	▲56,957
	避難迅速化	昼間：▲400,472					▲6,050	▲60	5,637	447			▲414	3,421
	夕刻：▲209,887													
上町断層帯A	対象外	夜間：31,354 昼間：1,780,721 夕刻：1,790,715	▲3,019	▲31,505	過年度調査では 実施せず	対象外			35,572	17,844	過年度調査では 実施せず		32,648	▲11,934
上町断層帯B			2,898	▲3,441					26,534	14,556			29,510	12,499
生駒断層帯			▲4,301	▲44,212					6,199	▲5,116			1,945	▲48,426
有馬高槻断層帯			606	▲4,312					10,785	5,841			11,444	2,490
中央構造線断層帯			3,587	26,037					13,993	8,973			17,642	35,888

（津波による人的被害）

- 防潮堤等の耐震対策により、浸水面積および浸水深が軽減した。加えて防潮堤等の沈下を防ぐ液状化対策の実施により、即時浸水が解消し、死者数・負傷者数が大幅に減少。
- さらに、前回調査より避難ビルが増加（967→1885箇所）したことにより、切迫避難（ギリギリまで避難しない）もしくは避難しない方の逃げ遅れが軽減され、死者数が減少。
⇒ P 70～72参照

（火災による人的被害）

- 火災による被害については、前回調査では風向の設定を季節変動に応じて設定していたが、今回、内閣府による見直しにあわせ、風向きを設定せず、常に風下になる想定としているため、焼失棟数が増加。さらに、直下型地震では、震度分布が大きくなったことで、出火率が高まり火災による被害者数が増加。

（急傾斜地崩壊による人的被害）

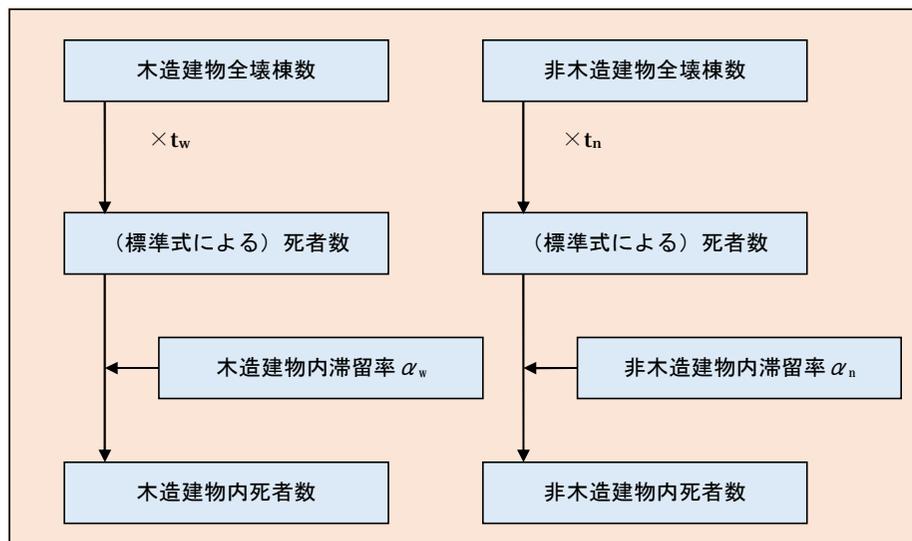
- 南海トラフ地震による急傾斜地崩壊の被害者数が増加しているのは、前回調査時から危険個所が増加したため。
⇒ P 31参照

※ 揺れによる人的被害については、建物被害による影響が大きいため、P 10、11を参照。

2. 人的被害

2.1 建物倒壊(揺れ)による被害

- ✓ 内閣府と同様に、建物倒壊による被害は、揺れによる被害建物内に滞留する屋内滞留人口に死傷者率を乗じて算定。



$$t_w = 0.0676 \quad t_n = 0.00840 \times \left(\frac{P_{w0}}{B_w} \right) + \left(\frac{P_{n0}}{B_n} \right)$$

P_{w0} : 夜間人口(木造) P_{n0} : 夜間人口(非木造)
 B_w : 建物棟数(木造) B_n : 建物棟数(非木造)

死者数予測フロー

南海トラフ巨大地震の被害想定項目及び手法の概要（内閣府、令和7年3月）より

建物倒壊による被害

想定地震	前回調査		今回調査	
	死者(人)	負傷者(人)	死者(人)	負傷者(人)
(1) 南海トラフ地震	735	21,972	650	24,650
(2) 上町断層帯①	10,338	100,648	7,319	69,143
(3) 上町断層帯②	4,015	65,247	6,913	61,806
(4) 生駒断層帯	5,702	70,023	1,401	25,811
(5) 有馬高槻断層帯	1,462	30,407	2,068	26,095
(6) 中央構造線断層帯	233	11,057	3,820	37,094

2. 人的被害

2.1 建物倒壊(揺れ)による被害

(1) 南海トラフ地震

市区町村	建物倒壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
大阪市都島区	16	358	202
大阪市福島区	6	193	109
大阪市此花区	6	163	92
大阪市西区	5	244	138
大阪市港区	7	224	127
大阪市大正区	7	213	120
大阪市天王寺区	3	160	90
大阪市浪速区	2	105	60
大阪市西淀川区	7	258	146
大阪市東淀川区	14	467	264
大阪市東成区	7	242	137
大阪市生野区	10	460	260
大阪市旭区	6	415	235
大阪市城東区	10	722	408
大阪市阿倍野区	4	278	157
大阪市住吉区	2	298	168
大阪市東住吉区	1	286	161
大阪市西成区	1	214	121
大阪市淀川区	18	567	320
大阪市鶴見区	1	288	163
大阪市住之江区	1	191	108
大阪市平野区	2	277	157
大阪市北区	9	352	199
大阪市中央区	5	297	168
堺市堺区	9	362	205
堺市中区	10	339	191
堺市東区	14	332	188
堺市西区	9	344	195
堺市南区	6	226	127
堺市北区	10	314	177
堺市美原区	5	155	88
大阪市	150	7,272	4,110
堺市	63	2,072	1,171
大阪府	650	24,650	13,925

市区町村	建物倒壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
岸和田市	13	612	346
豊中市	28	851	481
池田市	2	179	101
吹田市	8	503	284
泉大津市	2	157	89
高槻市	16	758	428
貝塚市	8	304	172
守口市	22	537	304
枚方市	45	1,234	697
茨木市	6	423	239
八尾市	11	678	383
泉佐野市	12	418	236
富田林市	19	443	250
寝屋川市	39	1,124	635
河内長野市	9	369	209
松原市	12	390	220
大東市	11	363	205
和泉市	8	457	258
箕面市	4	241	136
柏原市	2	163	92
羽曳野市	10	377	213
門真市	14	414	234
摂津市	6	251	142
高石市	3	142	80
藤井寺市	6	263	148
東大阪市	33	1,540	870
泉南市	14	339	191
四條畷市	4	149	84
交野市	6	221	125
大阪狭山市	8	217	122
阪南市	33	455	257
島本町	1	45	25
豊能町	0	44	25
能勢町	0	44	25
忠岡町	1	58	33
熊取町	3	158	89
田尻町	1	36	20
岬町	10	146	82
太子町	2	57	32
河南町	4	101	57
千早赤阪村	1	45	25

(2) 上町断層帯①

市区町村	建物倒壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
大阪市都島区	12	304	172
大阪市福島区	16	294	166
大阪市此花区	7	168	95
大阪市西区	8	301	170
大阪市港区	6	207	117
大阪市大正区	10	240	136
大阪市天王寺区	42	634	358
大阪市浪速区	15	303	171
大阪市西淀川区	18	376	212
大阪市東淀川区	60	837	473
大阪市東成区	32	465	262
大阪市生野区	139	1,349	762
大阪市旭区	40	1,082	611
大阪市城東区	48	1,377	778
大阪市阿倍野区	65	1,041	588
大阪市住吉区	38	1,020	576
大阪市東住吉区	36	1,275	720
大阪市西成区	14	612	346
大阪市淀川区	54	910	514
大阪市鶴見区	12	722	408
大阪市住之江区	15	523	295
大阪市平野区	44	1,059	598
大阪市北区	42	738	417
大阪市中央区	51	1,019	576
堺市堺区	257	1,536	868
堺市中区	212	1,405	794
堺市東区	248	1,283	725
堺市西区	178	1,221	690
堺市南区	56	606	342
堺市北区	235	1,425	805
堺市美原区	96	666	376
大阪市	824	16,856	9,521
堺市	1,282	8,142	4,600
大阪府	7,319	69,143	39,062

市区町村	建物倒壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
岸和田市	244	2,066	1,167
豊中市	692	4,274	2,414
池田市	127	921	520
吹田市	458	3,627	2,049
泉大津市	32	462	261
高槻市	162	1,830	1,034
貝塚市	117	940	531
守口市	256	1,536	868
枚方市	141	1,978	1,118
茨木市	273	2,162	1,222
八尾市	119	1,747	987
泉佐野市	170	1,330	751
富田林市	149	1,064	601
寝屋川市	164	2,211	1,249
河内長野市	39	513	290
松原市	347	1,937	1,094
大東市	46	639	361
和泉市	100	1,135	641
箕面市	162	1,234	697
柏原市	29	364	206
羽曳野市	247	1,579	892
門真市	93	930	526
摂津市	88	783	443
高石市	50	443	250
藤井寺市	214	1,117	631
東大阪市	277	3,406	1,924
泉南市	75	690	390
四條畷市	41	367	208
交野市	48	519	293
大阪狭山市	95	686	388
阪南市	51	478	270
島本町	2	65	37
豊能町	0	25	14
能勢町	0	0	0
忠岡町	26	206	116
熊取町	43	448	253
田尻町	7	73	41
岬町	4	90	51
太子町	7	87	49
河南町	16	155	88
千早赤阪村	2	28	16

2. 人的被害

2.1 建物倒壊(揺れ)による被害

(3) 上町断層帯②

市区町村	建物倒壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
大阪市都島区	4	197	111
大阪市福島区	4	148	83
大阪市此花区	3	115	65
大阪市西区	4	208	118
大阪市港区	3	160	91
大阪市大正区	14	270	152
大阪市天王寺区	35	564	318
大阪市浪速区	21	367	207
大阪市西淀川区	4	208	118
大阪市東淀川区	17	466	263
大阪市東成区	21	389	220
大阪市生野区	106	1,178	665
大阪市旭区	10	536	303
大阪市城東区	16	835	472
大阪市阿倍野区	112	1,528	863
大阪市住吉区	73	1,528	863
大阪市東住吉区	61	1,849	1,044
大阪市西成区	28	913	516
大阪市淀川区	12	461	260
大阪市鶴見区	3	381	215
大阪市住之江区	26	710	401
大阪市平野区	46	1,113	629
大阪市北区	8	311	176
大阪市中央区	35	770	435
堺市堺区	342	1,873	1,058
堺市中区	322	1,885	1,065
堺市東区	299	1,467	829
堺市西区	386	2,098	1,185
堺市南区	225	1,495	845
堺市北区	300	1,721	972
堺市美原区	98	676	382
大阪市	666	15,205	8,588
堺市	1,972	11,215	6,336
大阪府	6,913	61,806	34,912

市区町村	建物倒壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
岸和田市	635	3,840	2,169
豊中市	53	1,012	572
池田市	1	123	70
吹田市	46	885	500
泉大津市	122	1,003	567
高槻市	10	598	338
貝塚市	277	1,673	945
守口市	43	640	362
枚方市	7	624	352
茨木市	24	650	367
八尾市	92	1,507	851
泉佐野市	325	2,111	1,192
富田林市	199	1,278	722
寝屋川市	17	766	433
河内長野市	166	1,179	666
松原市	368	2,006	1,133
大東市	10	335	189
和泉市	496	3,301	1,865
箕面市	3	199	112
柏原市	41	452	255
羽曳野市	235	1,549	875
門真市	17	428	242
摂津市	14	317	179
高石市	156	927	524
藤井寺市	250	1,209	683
東大阪市	159	2,634	1,488
泉南市	66	650	367
四條畷市	5	140	79
交野市	4	168	95
大阪狭山市	137	898	507
阪南市	22	322	182
島本町	0	24	13
豊能町	0	0	0
能勢町	0	0	0
忠岡町	73	370	209
熊取町	127	944	533
田尻町	28	155	88
岬町	4	96	54
太子町	11	110	62
河南町	27	210	118
千早赤阪村	5	53	30

(4) 生駒断層帯

市区町村	建物倒壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
大阪市都島区	1	140	79
大阪市福島区	0	74	42
大阪市此花区	0	63	36
大阪市西区	1	113	64
大阪市港区	0	88	50
大阪市大正区	0	92	52
大阪市天王寺区	5	188	106
大阪市浪速区	2	106	60
大阪市西淀川区	0	109	62
大阪市東淀川区	6	317	179
大阪市東成区	7	233	132
大阪市生野区	19	536	303
大阪市旭区	8	469	265
大阪市城東区	7	537	303
大阪市阿倍野区	4	283	160
大阪市住吉区	2	271	153
大阪市東住吉区	3	371	209
大阪市西成区	1	176	99
大阪市淀川区	1	242	137
大阪市鶴見区	3	374	211
大阪市住之江区	1	161	91
大阪市平野区	9	444	251
大阪市北区	2	186	105
大阪市中央区	6	316	178
堺市堺区	8	335	189
堺市中区	5	254	144
堺市東区	9	266	150
堺市西区	4	238	134
堺市南区	0	80	45
堺市北区	7	256	144
堺市美原区	7	169	96
大阪市	88	5,889	3,327
堺市	40	1,598	902
大阪府	1,401	25,811	14,584

市区町村	建物倒壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
岸和田市	0	58	33
豊中市	2	383	216
池田市	0	76	43
吹田市	7	400	226
泉大津市	0	76	43
高槻市	29	891	504
貝塚市	0	2	1
守口市	50	706	399
枚方市	255	2,639	1,491
茨木市	28	685	387
八尾市	131	1,728	976
泉佐野市	0	0	0
富田林市	21	368	208
寝屋川市	99	1,680	949
河内長野市	0	94	53
松原市	25	527	298
大東市	32	551	312
和泉市	0	93	53
箕面市	0	91	51
柏原市	57	534	302
羽曳野市	52	723	409
門真市	30	548	310
摂津市	10	286	162
高石市	0	73	41
藤井寺市	123	863	487
東大阪市	194	2,805	1,585
泉南市	0	0	0
四條畷市	26	315	178
交野市	79	678	383
大阪狭山市	3	122	69
阪南市	0	1	1
島本町	3	72	41
豊能町	0	0	0
能勢町	0	0	0
忠岡町	0	23	13
熊取町	0	0	0
田尻町	0	0	0
岬町	0	0	0
太子町	8	98	55
河南町	8	121	68
千早赤阪村	1	14	8

2. 人的被害

2.1 建物倒壊(揺れ)による被害

(5) 有馬高槻断層帯

市区町村	建物倒壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
大阪市都島区	1	139	78
大阪市福島区	1	97	55
大阪市此花区	1	85	48
大阪市西区	1	115	65
大阪市港区	0	100	56
大阪市大正区	1	102	58
大阪市天王寺区	2	123	70
大阪市浪速区	1	91	51
大阪市西淀川区	5	221	125
大阪市東淀川区	22	496	280
大阪市東成区	2	161	91
大阪市生野区	4	317	179
大阪市旭区	5	381	215
大阪市城東区	3	441	249
大阪市阿倍野区	1	198	112
大阪市住吉区	0	167	95
大阪市東住吉区	0	185	104
大阪市西成区	1	174	98
大阪市淀川区	13	462	261
大阪市鶴見区	0	200	113
大阪市住之江区	0	113	64
大阪市平野区	0	161	91
大阪市北区	3	210	119
大阪市中央区	4	267	151
堺市堺区	0	130	73
堺市中区	0	90	51
堺市東区	0	62	35
堺市西区	0	123	70
堺市南区	0	10	6
堺市北区	0	85	48
堺市美原区	0	20	11
大阪市	71	5,006	2,828
堺市	0	520	294
大阪府	2,068	26,095	14,741

市区町村	建物倒壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
岸和田市	0	38	21
豊中市	288	2,343	1,324
池田市	148	1,021	577
吹田市	137	1,595	901
泉大津市	0	47	26
高槻市	531	3,902	2,205
貝塚市	0	19	11
守口市	22	501	283
枚方市	247	2,551	1,441
茨木市	270	2,154	1,217
八尾市	1	417	235
泉佐野市	0	7	4
富田林市	0	23	13
寝屋川市	54	1,250	706
河内長野市	0	2	1
松原市	0	135	76
大東市	5	254	143
和泉市	0	47	27
箕面市	155	1,226	693
柏原市	0	67	38
羽曳野市	0	95	54
門真市	8	313	177
摂津市	31	452	255
高石市	0	51	29
藤井寺市	0	95	54
東大阪市	10	937	529
泉南市	0	1	0
四條畷市	9	175	99
交野市	42	460	260
大阪狭山市	0	4	2
阪南市	0	0	0
島本町	38	266	150
豊能町	1	78	44
能勢町	0	25	14
忠岡町	0	8	5
熊取町	0	2	1
田尻町	0	0	0
岬町	0	0	0
太子町	0	3	2
河南町	0	4	2
千早赤阪村	0	1	0

(6) 中央構造線断層帯

市区町村	建物倒壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
大阪市都島区	0	113	64
大阪市福島区	0	79	45
大阪市此花区	0	68	39
大阪市西区	1	117	66
大阪市港区	1	113	64
大阪市大正区	2	130	74
大阪市天王寺区	3	163	92
大阪市浪速区	1	97	55
大阪市西淀川区	0	119	67
大阪市東淀川区	1	201	114
大阪市東成区	1	143	81
大阪市生野区	7	389	220
大阪市旭区	0	175	99
大阪市城東区	1	315	178
大阪市阿倍野区	8	368	208
大阪市住吉区	12	547	309
大阪市東住吉区	5	481	272
大阪市西成区	2	268	151
大阪市淀川区	0	223	126
大阪市鶴見区	0	185	105
大阪市住之江区	4	298	168
大阪市平野区	5	383	216
大阪市北区	1	151	86
大阪市中央区	4	243	137
堺市堺区	56	714	403
堺市中区	152	1,155	653
堺市東区	240	1,263	713
堺市西区	86	833	471
堺市南区	186	1,274	720
堺市北区	75	735	415
堺市美原区	90	648	366
大阪市	59	5,369	3,036
堺市	885	6,622	3,741
大阪府	3,820	37,094	20,961

市区町村	建物倒壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
岸和田市	246	2,074	1,172
豊中市	1	322	182
池田市	0	57	32
吹田市	1	218	123
泉大津市	30	458	259
高槻市	0	225	127
貝塚市	151	1,086	614
守口市	2	224	126
枚方市	0	333	188
茨木市	0	192	109
八尾市	23	839	474
泉佐野市	259	1,754	991
富田林市	389	2,206	1,247
寝屋川市	3	440	249
河内長野市	281	1,802	1,018
松原市	103	988	558
大東市	1	167	95
和泉市	248	1,974	1,115
箕面市	0	56	32
柏原市	22	350	198
羽曳野市	180	1,362	770
門真市	2	218	123
摂津市	0	115	65
高石市	29	346	195
藤井寺市	130	884	500
東大阪市	15	1,097	620
泉南市	157	1,108	626
四條畷市	0	67	38
交野市	0	73	41
大阪狭山市	187	1,194	675
阪南市	84	678	383
島本町	0	7	4
豊能町	0	0	0
能勢町	0	0	0
忠岡町	23	192	108
熊取町	91	719	406
田尻町	26	149	84
岬町	51	314	177
太子町	38	227	128
河南町	77	434	245
千早赤阪村	26	154	87

2. 人的被害

2.2 屋内収容物の移動・転倒による被害

- ✓ 大破建物※1内人口に震度別死傷者率を乗じ、屋内収容物の移動・転倒による被害を算定。
⇒震度別死傷者率については、阪神・淡路大震災の震度別死傷者率に、令和5年度に大阪府が実施した意識調査による転倒防止対策実施率（27.1%）を用いて補正（補正係数**0.84**※2）
- ✓ 屋内収容物の移動・転倒による被害は、建物倒壊（揺れ）による被害の内数として、取り扱う。

※1：内閣府同様、木造大破率 = 木造全壊率 × 0.7、非木造大破率 = 非木造全壊率 とした

※2：補正係数の算定

（阪神・淡路大震災当時の阪神地区転倒防止実施率） = 7.8% （未実施率） = 92.2%

（大阪府における令和5年度調査の転倒防止対策実施率） = 27.1% （未実施率） = 72.9%

（転倒防止措置有の場合の転倒率） = 0.23 ※内閣府の値を採用

（補正係数） = $(72.9\% + 0.23 \times 27.1\%) / (92.2\% + 0.23 \times 7.8\%) = 0.84$

屋内収容物の移動・転倒物による死者率

震度階	大破の場合		中破以下の場合	
	木造建物	非木造建物	木造建物	非木造建物
7	0.314%	0.192%	0.00955%	0.000579%
6強	0.255%	0.156%	0.00689%	0.000471%
6弱	0.113%	0.0688%	0.00343%	0.000208%
5強	0.0235%	0%	0.000715%	0.0000433%
5弱	0.00264%	0%	0.0000803%	0.00000487%

屋内収容物の移動・転倒物による負傷者率

震度階	大破の場合		中破以下の場合	
	負傷者率	重傷者率	負傷者率	重傷者率
7	3.69%	0.995%	0.112%	0.0303%
6強	3.00%	0.809%	0.0809%	0.0218%
6弱	1.32%	0.357%	0.0402%	0.0109%
5強	0.276%	0%	0.00839%	0.00226%
5弱	0.0310%	0%	0.000943%	0.000255%

※阪神・淡路大震災時の震度別死傷者率

2. 人的被害

2.2 屋内収容物の移動・転倒による被害

屋内収容物の移動・転倒物による死者率

震度階	大破の場合		中破以下の場合	
	木造建物	非木造建物	木造建物	非木造建物
7	0.264%	0.161%	0.00802%	0.000486%
6強	0.214%	0.131%	0.00579%	0.000396%
6弱	0.0949%	0.05779%	0.00288%	0.000175%
5強	0.0197%	0%	0.000601%	0.0000364%
5弱	0.00222%	0%	0.0000675%	0.00000409%

屋内収容物の移動・転倒物による負傷者率

震度階	大破の場合		中破以下の場合	
	負傷者率	重傷者率	負傷者率	重傷者率
7	3.10%	0.836%	0.0941%	0.0255%
6強	2.52%	0.680%	0.0680%	0.0183%
6弱	1.11%	0.300%	0.0338%	0.00916%
5強	0.232%	0%	0.00705%	0.00190%
5弱	0.0260%	0%	0.000792%	0.000214%

※令和5年度調査の転倒防止対策実施率で補正した震度別死傷者率

屋内収容物の移動・転倒による被害（冬18時）

想定地震	前回調査			今回調査		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
(1) 南海トラフ地震	89	2,351	627	120	2,857	773
(2) 上町断層帯①	86	3,431	過年度調査では 実施せず	639	10,738	2,896
(3) 上町断層帯②	28	1,899		532	8,921	2,407
(4) 生駒断層帯	37	2,084		138	2,959	800
(5) 有馬高槻断層帯	14	1,082		218	4,093	1,102
(6) 中央構造線断層帯	2	741		266	4,785	1,292

2. 人的被害

2.3 屋内落下物による被害

- ✓ 大破建物内人口に震度階別死傷者率を乗じ、屋内落下物による死傷者を算定。
⇒震度階別死傷者率については、2.2 屋内収容物同様の補正を行う。
- ✓ 屋内落下物による被害は、建物倒壊（揺れ）による被害の内数として、取り扱う。

屋内落下物による死者率

震度階	大破の場合		中破以下の場合	
	木造建物	非木造建物	木造建物	非木造建物
7	0.0652%	0.0400%	0.00227%	0.000138%
6強	0.0455%	0.0295%	0.00158%	0.000102%
6弱	0.0209%	0.0166%	0.000727%	0.0000573%
5強	0.00983%	0%	0.000342%	0.0000339%
5弱	0.00492%	0%	0.000171%	0.0000191%

屋内落下物による負傷者率

震度階	大破の場合		中破以下の場合	
	負傷者率	重傷者率	負傷者率	重傷者率
7	1.48%	0.163%	0.0515%	0.00567%
6強	1.03%	0.113%	0.0360%	0.00396%
6弱	0.475%	0.0523%	0.0165%	0.00181%
5強	0.223%	0%	0.00778%	0.000857%
5弱	0.112%	0%	0.00389%	0.000428%

※補正後の震度別死傷者率

屋内落下物による被害（冬18時）

想定地震	前回調査			今回調査		
	死者(人)	負傷者(人)	重傷者(人)	死者(人)	負傷者(人)	重傷者(人)
(1) 南海トラフ地震	40	2,435	258	20	1,366	152
(2) 上町断層帯①	11	1,912	過年度調査では 実施せず	150	4,924	539
(3) 上町断層帯②	4	955		126	4,156	456
(4) 生駒断層帯	5	1,041		28	1,467	157
(5) 有馬高槻断層帯	1	551		47	1,992	217
(6) 中央構造線断層帯	0	379		61	2,326	259

2. 人的被害

2.3 屋内落下物による被害

- ✓ 大破建物内人口に震度階別死傷者率を乗じることで屋内落下物による死傷者を算定。
- ✓ 屋内ガラス被害は、建物倒壊（揺れ）による被害の内数として、取り扱う。

屋内ガラス被害による死傷者率

震度階	死者率	負傷者率	重傷者率
7	0.000299%	0.0564%	0.00797%
6強	0.000259%	0.0490%	0.00691%
6弱	0.000180%	0.0340%	0.00480%
5強	0.000101%	0.0190%	0.00269%
5弱	0.0000216%	0.00408%	0.000576%

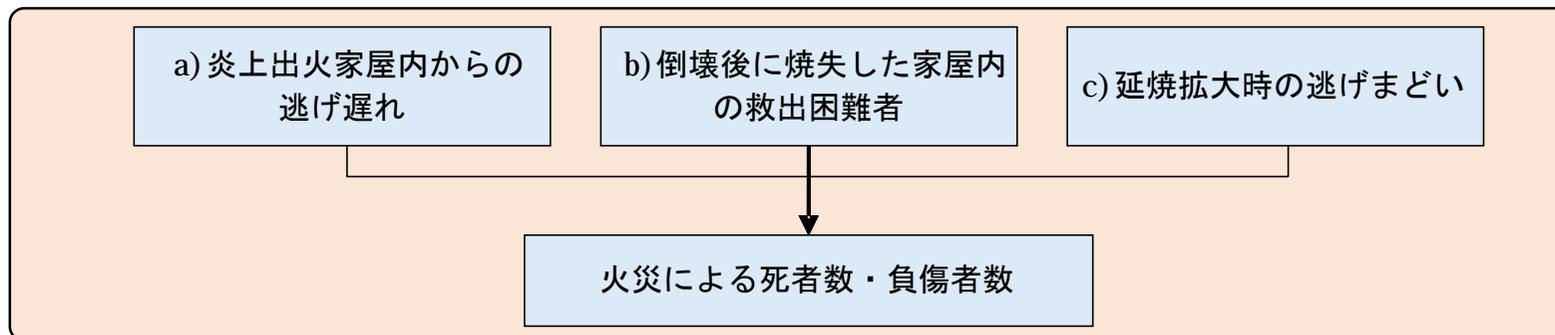
屋内ガラスによる被害（冬18時）

想定地震	前回調査			今回調査		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
(1) 南海トラフ地震	7	3,756	529	1	1,892	267
(2) 上町断層帯①	過年度調査では 実施せず			4	2,443	346
(3) 上町断層帯②				1	2,192	311
(4) 生駒断層帯				2	1,745	244
(5) 有馬高槻断層帯				4	1,755	243
(6) 中央構造線断層帯				1	1,773	249

2. 人的被害

2.4 地震火災による被害

- ✓ 地震火災による被害については、前回調査と比較して、焼失棟数の増加に伴い、死者数が増加。
- ✓ 一方で、出火件数の影響を受ける負傷者数については、前回調査と比較して大きな変化はみられなかった。



地震火災による人的被害予測フロー

a) 炎上出火家屋からの逃げ遅れ

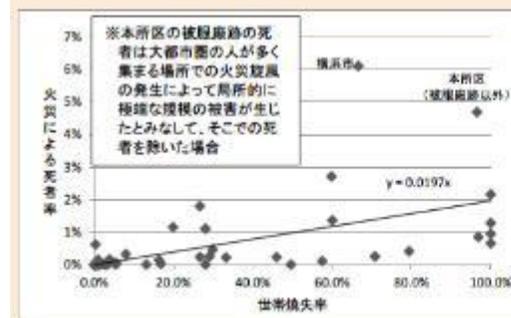
(炎上出火家屋内から逃げ遅れた死者数)
 $= 0.055 \times \text{出火件数} \times (\text{屋内滞留人口比率})$
 ※係数0.055は、平成30年～令和4年の5年間の全国における1建物出火(放火を除く)当たりの死者数
 ここで、(屋内滞留人口比率) = (発生時刻の屋内滞留人口) ÷ (屋内滞留人口の24時間平均)

b) 倒壊後に焼失した家屋内の救出困難者

(閉込めによる死者数) = (倒壊かつ焼失家屋内の救出困難な人) × (1 - 生存救出率(0.387))
 ここで、
 (倒壊かつ焼失家屋内の救出困難な人)
 $= (1 - \text{早期救出可能な割合}(0.72)) \times (\text{倒壊かつ焼失家屋内の要救助者数})$
 (倒壊かつ焼失家屋内の要救助者数)
 $= (\text{建物倒壊による自力脱出困難者数}) \times (\text{倒壊かつ焼失の棟数} / \text{倒壊建物数})$

c) 延焼拡大時の逃げまどい

- 通常の大火は地震火災とは状況が異なると考え、関東地震と、大火のうち被害が大きかった函館大火を基にした焼失率と火災による死者率の関係を適用



(諸井・武村(2004)及び函館大火災害誌より作成)

(注) 炎上家屋内における死傷者数及び延焼家屋内における死傷者数とのダブルカウントの除去を行うものとする。

各項目における算定式

2. 人的被害

2.4 地震火災による被害

地震火災による死者数（冬18時）

想定地震	前回調査	今回調査			
	死者	死者	逃げ遅れ	救出困難	逃げまどい
(1) 南海トラフ地震	176	5,810	0	48	5,762
(2) 上町断層帯①	952	36,524	21	2,340	34,163
(3) 上町断層帯②	411	26,945	22	1,946	24,977
(4) 生駒断層帯	1,945	8,144	2	219	7,923
(5) 有馬高槻断層帯	222	11,007	7	600	10,400
(6) 中央構造線断層帯	0	13,993	10	732	13,251

地震火災による負傷者数（冬18時）

想定地震	前回調査	今回調査		
	負傷者	負傷者	逃げ遅れ	逃げまどい
(1) 南海トラフ地震	3,526	3,970	5	3,965
(2) 上町断層帯①	5,156	23,000	88	22,912
(3) 上町断層帯②	2,228	16,784	83	16,701
(4) 生駒断層帯	10,512	5,396	13	5,383
(5) 有馬高槻断層帯	1,195	7,036	24	7,012
(6) 中央構造線断層帯	3	8,976	43	8,933

②負傷者数

a) 炎上出火家屋からの逃げ遅れ

$$\begin{aligned}
 & \text{(出火直後の火災による重傷者数)} \\
 & = 0.073 \times \text{出火件数} \times \text{(屋内滞留人口比率)} \\
 & \text{(出火直後の火災による軽傷者数)} \\
 & = 0.182 \times \text{出火件数} \times \text{(屋内滞留人口比率)} \\
 & \text{ここで、(屋内滞留人口比率)} = \frac{\text{(発生時刻の屋内滞留人口)}}{\text{(屋内滞留人口の24時間平均)}}
 \end{aligned}$$

b) 延焼拡大時の逃げまどい

$$\begin{aligned}
 & \text{(延焼火災による重傷者数)} = 0.0053 \times \text{焼失人口} \\
 & \text{(延焼火災による軽傷者数)} = 0.0136 \times \text{焼失人口} \\
 & \text{ここで、焼失人口} = \text{(市区町村別焼失率)} \times \text{(発生時刻の市区町村別滞留人口)}
 \end{aligned}$$

2. 人的被害

2.4 地震火災による被害

(1) 南海トラフ地震

市区町村	死者			
	逃げ遅れ	閉じ込め	逃げまどい	
大阪市都島区	0	0	0	0
大阪市福島区	0	0	0	0
大阪市此花区	0	0	0	0
大阪市西区	0	0	0	0
大阪市港区	0	0	0	0
大阪市大正区	0	0	0	0
大阪市天王寺区	0	0	0	0
大阪市浪速区	0	0	0	0
大阪市西淀川区	0	0	0	0
大阪市東淀川区	2	0	0	2
大阪市東成区	0	0	0	0
大阪市生野区	0	0	0	0
大阪市旭区	0	0	0	0
大阪市城東区	0	0	0	0
大阪市阿倍野区	0	0	0	0
大阪市住吉区	0	0	0	0
大阪市東住吉区	0	0	0	0
大阪市西成区	0	0	0	0
大阪市淀川区	0	0	0	0
大阪市鶴見区	0	0	0	0
大阪市住之江区	0	0	0	0
大阪市平野区	3	0	0	3
大阪市北区	152	0	1	151
大阪市中央区	0	0	0	0
堺市堺区	316	0	2	314
堺市中区	0	0	0	0
堺市東区	345	0	3	342
堺市西区	0	0	0	0
堺市南区	0	0	0	0
堺市北区	73	0	1	72
堺市美原区	16	0	0	16
大阪市	157	0	1	156
堺市	750	0	6	744
大阪府	5,810	0	48	5,762

市区町村	死者			
	逃げ遅れ	閉じ込め	逃げまどい	
岸和田市	358	0	2	356
豊中市	64	0	1	63
池田市	33	0	0	33
吹田市	357	0	2	355
泉大津市	0	0	0	0
高槻市	222	0	1	221
貝塚市	42	0	0	42
守口市	918	0	11	907
枚方市	0	0	0	0
茨木市	0	0	0	0
八尾市	324	0	1	323
泉佐野市	0	0	0	0
富田林市	89	0	1	88
寝屋川市	483	0	7	476
河内長野市	0	0	0	0
松原市	111	0	1	110
大東市	3	0	0	3
和泉市	0	0	0	0
箕面市	0	0	0	0
柏原市	0	0	0	0
羽曳野市	0	0	0	0
門真市	265	0	3	262
摂津市	0	0	0	0
高石市	0	0	0	0
藤井寺市	0	0	0	0
東大阪市	1,346	0	9	1,337
泉南市	0	0	0	0
四條畷市	0	0	0	0
交野市	150	0	1	149
大阪狭山市	0	0	0	0
阪南市	65	0	1	64
島本町	18	0	0	18
豊能町	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0
忠岡町	55	0	0	55
熊取町	0	0	0	0
田尻町	0	0	0	0
岬町	0	0	0	0
太子町	0	0	0	0
河南町	0	0	0	0
千早赤阪村	0	0	0	0

2. 人的被害

2.4 地震火災による被害

(2) 上町断層帯①

市区町村	死者			
	逃げ遅れ	閉じ込め	逃げまどい	
大阪市都島区	256	0	3	253
大阪市福島区	197	0	4	193
大阪市此花区	9	0	0	9
大阪市西区	0	0	0	0
大阪市港区	0	0	0	0
大阪市大正区	0	0	0	0
大阪市天王寺区	300	0	13	287
大阪市浪速区	102	0	3	99
大阪市西淀川区	15	0	0	15
大阪市東淀川区	144	0	4	140
大阪市東成区	357	0	9	348
大阪市生野区	611	1	29	581
大阪市旭区	406	0	22	384
大阪市城東区	203	0	8	195
大阪市阿倍野区	622	0	27	595
大阪市住吉区	429	0	16	413
大阪市東住吉区	488	0	26	462
大阪市西成区	244	0	8	236
大阪市淀川区	495	0	11	484
大阪市鶴見区	81	0	2	79
大阪市住之江区	275	0	6	269
大阪市平野区	302	0	12	290
大阪市北区	452	0	10	442
大阪市中央区	210	0	6	204
堺市堺区	874	1	62	811
堺市中区	1,176	1	77	1,098
堺市東区	761	1	64	696
堺市西区	1,357	1	67	1,289
堺市南区	36	0	1	35
堺市北区	552	1	55	496
堺市美原区	362	0	30	332

大阪市	6,198	1	219	5,978
堺市	5,118	5	356	4,757

大阪府	36,524	21	2,340	34,163
-----	--------	----	-------	--------

市区町村	死者			
	逃げ遅れ	閉じ込め	逃げまどい	
岸和田市	1,149	1	64	1,084
豊中市	4,104	2	436	3,666
池田市	343	0	23	320
吹田市	2,404	2	291	2,111
泉大津市	88	0	3	85
高槻市	1,372	1	44	1,327
貝塚市	142	0	8	134
守口市	1,823	1	123	1,699
枚方市	487	1	11	475
茨木市	1,295	1	92	1,202
八尾市	610	0	16	594
泉佐野市	340	1	21	318
富田林市	520	0	31	489
寝屋川市	1,004	1	38	965
河内長野市	65	0	1	64
松原市	1,301	1	148	1,152
大東市	455	0	10	445
和泉市	312	0	9	303
箕面市	390	1	26	363
柏原市	99	0	2	97
羽曳野市	1,111	1	88	1,022
門真市	736	0	36	700
摂津市	57	0	3	54
高石市	186	0	8	178
藤井寺市	771	0	98	673
東大阪市	3,076	1	98	2,977
泉南市	69	0	3	66
四條畷市	234	0	7	227
交野市	298	0	9	289
大阪狭山市	184	0	11	173
阪南市	69	0	2	67
島本町	0	0	0	0
豊能町	0	0	0	0
能勢町	6	0	0	6
忠岡町	102	0	5	97
熊取町	6	0	0	6
田尻町	0	0	0	0
岬町	0	0	0	0
太子町	0	0	0	0
河南町	0	0	0	0
千早赤阪村	0	0	0	0

2. 人的被害

2.4 地震火災による被害

(3) 上町断層帯②

市区町村	死者			
	逃げ遅れ	閉じ込め	逃げまどい	
大阪市都島区	0	0	0	0
大阪市福島区	0	0	0	0
大阪市此花区	0	0	0	0
大阪市西区	0	0	0	0
大阪市港区	0	0	0	0
大阪市大正区	110	0	2	108
大阪市天王寺区	226	0	8	218
大阪市浪速区	78	0	3	75
大阪市西淀川区	0	0	0	0
大阪市東淀川区	28	0	0	28
大阪市東成区	415	0	8	407
大阪市生野区	666	0	26	640
大阪市旭区	302	0	6	296
大阪市城東区	54	0	1	53
大阪市阿倍野区	590	1	40	549
大阪市住吉区	944	1	60	883
大阪市東住吉区	552	1	46	505
大阪市西成区	628	0	36	592
大阪市淀川区	0	0	0	0
大阪市鶴見区	6	0	0	6
大阪市住之江区	392	0	13	379
大阪市平野区	856	0	37	819
大阪市北区	4	0	0	4
大阪市中央区	435	0	8	427
堺市堺区	1,038	1	95	942
堺市中区	1,410	1	133	1,276
堺市東区	1,118	1	112	1,005
堺市西区	1,490	1	151	1,338
堺市南区	360	1	43	316
堺市北区	1,067	1	129	937
堺市美原区	211	0	17	194

大阪市	6,286	3	294	5,989
堺市	6,694	6	680	6,008

大阪府	26,945	22	1,946	24,977
-----	--------	----	-------	--------

市区町村	死者			
	逃げ遅れ	閉じ込め	逃げまどい	
岸和田市	1,321	2	166	1,153
豊中市	0	0	0	0
池田市	0	0	0	0
吹田市	1,057	0	17	1,040
泉大津市	197	1	20	176
高槻市	0	0	0	0
貝塚市	489	1	58	430
守口市	1,260	0	19	1,241
枚方市	0	0	0	0
茨木市	48	0	1	47
八尾市	334	0	7	327
泉佐野市	663	1	73	589
富田林市	450	1	35	414
寝屋川市	553	0	4	549
河内長野市	160	1	10	149
松原市	1,645	1	195	1,449
大東市	1	0	0	1
和泉市	660	2	78	580
箕面市	0	0	0	0
柏原市	252	0	7	245
羽曳野市	951	1	73	877
門真市	59	0	1	58
摂津市	52	0	1	51
高石市	284	0	32	252
藤井寺市	480	0	67	413
東大阪市	2,203	1	44	2,158
泉南市	62	0	3	59
四條畷市	0	0	0	0
交野市	150	0	1	149
大阪狭山市	204	0	18	186
阪南市	64	0	1	63
島本町	0	0	0	0
豊能町	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0
忠岡町	109	0	13	96
熊取町	175	1	18	156
田尻町	82	0	10	72
岬町	0	0	0	0
太子町	0	0	0	0
河南町	0	0	0	0
千早赤阪村	0	0	0	0

2. 人的被害

2.4 地震火災による被害

(4) 生駒断層帯

市区町村	死者			
	逃げ遅れ	閉じ込め	逃げまどい	
大阪市都島区	0	0	0	0
大阪市福島区	0	0	0	0
大阪市此花区	0	0	0	0
大阪市西区	0	0	0	0
大阪市港区	0	0	0	0
大阪市大正区	0	0	0	0
大阪市天王寺区	0	0	0	0
大阪市浪速区	0	0	0	0
大阪市西淀川区	0	0	0	0
大阪市東淀川区	0	0	0	0
大阪市東成区	0	0	0	0
大阪市生野区	0	0	0	0
大阪市旭区	0	0	0	0
大阪市城東区	0	0	0	0
大阪市阿倍野区	0	0	0	0
大阪市住吉区	0	0	0	0
大阪市東住吉区	0	0	0	0
大阪市西成区	0	0	0	0
大阪市淀川区	0	0	0	0
大阪市鶴見区	0	0	0	0
大阪市住之江区	0	0	0	0
大阪市平野区	0	0	0	0
大阪市北区	0	0	0	0
大阪市中央区	0	0	0	0
堺市堺区	0	0	0	0
堺市中区	0	0	0	0
堺市東区	0	0	0	0
堺市西区	0	0	0	0
堺市南区	0	0	0	0
堺市北区	0	0	0	0
堺市美原区	121	0	1	120

大阪市	0	0	0	0
堺市	121	0	1	120

大阪府	8,144	2	219	7,923
-----	-------	---	-----	-------

市区町村	死者			
	逃げ遅れ	閉じ込め	逃げまどい	
岸和田市	76	0	0	76
豊中市	0	0	0	0
池田市	0	0	0	0
吹田市	253	0	1	252
泉大津市	0	0	0	0
高槻市	299	0	3	296
貝塚市	8	0	0	8
守口市	1,124	0	19	1,105
枚方市	1,053	1	35	1,017
茨木市	7	0	0	7
八尾市	498	0	13	485
泉佐野市	0	0	0	0
富田林市	0	0	0	0
寝屋川市	492	0	12	480
河内長野市	0	0	0	0
松原市	94	0	1	93
大東市	222	0	4	218
和泉市	0	0	0	0
箕面市	0	0	0	0
柏原市	225	0	7	218
羽曳野市	235	0	5	230
門真市	133	0	2	131
摂津市	0	0	0	0
高石市	0	0	0	0
藤井寺市	673	0	52	621
東大阪市	1,964	1	42	1,921
泉南市	0	0	0	0
四條畷市	347	0	8	339
交野市	311	0	14	297
大阪狭山市	9	0	0	9
阪南市	0	0	0	0
島本町	0	0	0	0
豊能町	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0
忠岡町	0	0	0	0
熊取町	0	0	0	0
田尻町	0	0	0	0
岬町	0	0	0	0
太子町	0	0	0	0
河南町	0	0	0	0
千早赤阪村	0	0	0	0

2. 人的被害

2.4 地震火災による被害

(5) 有馬高槻断層帯

市区町村	死者			
	逃げ遅れ	閉じ込め	逃げまどい	
大阪市都島区	0	0	0	0
大阪市福島区	0	0	0	0
大阪市此花区	0	0	0	0
大阪市西区	0	0	0	0
大阪市港区	0	0	0	0
大阪市大正区	0	0	0	0
大阪市天王寺区	0	0	0	0
大阪市浪速区	0	0	0	0
大阪市西淀川区	0	0	0	0
大阪市東淀川区	4	0	0	4
大阪市東成区	0	0	0	0
大阪市生野区	0	0	0	0
大阪市旭区	0	0	0	0
大阪市城東区	0	0	0	0
大阪市阿倍野区	0	0	0	0
大阪市住吉区	0	0	0	0
大阪市東住吉区	0	0	0	0
大阪市西成区	0	0	0	0
大阪市淀川区	0	0	0	0
大阪市鶴見区	0	0	0	0
大阪市住之江区	0	0	0	0
大阪市平野区	0	0	0	0
大阪市北区	0	0	0	0
大阪市中央区	0	0	0	0
堺市堺区	0	0	0	0
堺市中区	0	0	0	0
堺市東区	0	0	0	0
堺市西区	0	0	0	0
堺市南区	0	0	0	0
堺市北区	0	0	0	0
堺市美原区	0	0	0	0

大阪市	4	0	0	4
堺市	0	0	0	0

大阪府	11,007	7	600	10,400
-----	--------	---	-----	--------

市区町村	死者			
	逃げ遅れ	閉じ込め	逃げまどい	
岸和田市	0	0	0	0
豊中市	2,529	1	117	2,411
池田市	251	0	19	232
吹田市	1,465	1	62	1,402
泉大津市	0	0	0	0
高槻市	2,993	2	254	2,737
貝塚市	0	0	0	0
守口市	107	0	1	106
枚方市	902	1	30	871
茨木市	1,301	1	90	1,210
八尾市	0	0	0	0
泉佐野市	0	0	0	0
富田林市	0	0	0	0
寝屋川市	40	0	1	39
河内長野市	0	0	0	0
松原市	0	0	0	0
大東市	0	0	0	0
和泉市	0	0	0	0
箕面市	164	1	11	152
柏原市	0	0	0	0
羽曳野市	0	0	0	0
門真市	22	0	0	22
摂津市	76	0	2	74
高石市	0	0	0	0
藤井寺市	0	0	0	0
東大阪市	722	0	1	721
泉南市	0	0	0	0
四條畷市	70	0	1	69
交野市	331	0	9	322
大阪狭山市	0	0	0	0
阪南市	0	0	0	0
島本町	30	0	2	28
豊能町	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0
忠岡町	0	0	0	0
熊取町	0	0	0	0
田尻町	0	0	0	0
岬町	0	0	0	0
太子町	0	0	0	0
河南町	0	0	0	0
千早赤阪村	0	0	0	0

2. 人的被害

2.4 地震火災による被害

(6) 中央構造線断層帯

市区町村	死者			
	逃げ遅れ	閉じ込め	逃げまどい	
大阪市都島区	0	0	0	0
大阪市福島区	0	0	0	0
大阪市此花区	0	0	0	0
大阪市西区	0	0	0	0
大阪市港区	0	0	0	0
大阪市大正区	0	0	0	0
大阪市天王寺区	0	0	0	0
大阪市浪速区	0	0	0	0
大阪市西淀川区	0	0	0	0
大阪市東淀川区	0	0	0	0
大阪市東成区	0	0	0	0
大阪市生野区	0	0	0	0
大阪市旭区	0	0	0	0
大阪市城東区	0	0	0	0
大阪市阿倍野区	0	0	0	0
大阪市住吉区	0	0	0	0
大阪市東住吉区	0	0	0	0
大阪市西成区	0	0	0	0
大阪市淀川区	0	0	0	0
大阪市鶴見区	0	0	0	0
大阪市住之江区	0	0	0	0
大阪市平野区	4	0	0	4
大阪市北区	0	0	0	0
大阪市中央区	0	0	0	0
堺市堺区	561	0	11	550
堺市中区	898	0	42	856
堺市東区	840	1	71	768
堺市西区	940	0	27	913
堺市南区	208	1	21	186
堺市北区	571	0	20	551
堺市美原区	139	0	11	128

大阪市	4	0	0	4
堺市	4,157	2	203	3,952

大阪府	13,993	10	732	13,251
-----	--------	----	-----	--------

市区町村	死者			
	逃げ遅れ	閉じ込め	逃げまどい	
岸和田市	1,028	1	55	972
豊中市	0	0	0	0
池田市	0	0	0	0
吹田市	252	0	0	252
泉大津市	126	0	4	122
高槻市	0	0	0	0
貝塚市	226	0	15	211
守口市	907	0	1	906
枚方市	0	0	0	0
茨木市	0	0	0	0
八尾市	253	0	2	251
泉佐野市	375	1	33	341
富田林市	953	1	138	814
寝屋川市	425	0	1	424
河内長野市	245	1	26	218
松原市	953	0	38	915
大東市	0	0	0	0
和泉市	299	1	18	280
箕面市	0	0	0	0
柏原市	161	0	3	158
羽曳野市	946	1	60	885
門真市	131	0	0	131
摂津市	0	0	0	0
高石市	59	0	2	57
藤井寺市	696	0	56	640
東大阪市	981	0	3	978
泉南市	114	1	10	103
四條畷市	0	0	0	0
交野市	0	0	0	0
大阪狭山市	230	1	28	201
阪南市	67	0	3	64
島本町	0	0	0	0
豊能町	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0
忠岡町	116	0	5	111
熊取町	66	0	5	61
田尻町	82	0	9	73
岬町	0	0	0	0
太子町	94	0	8	86
河南町	47	0	6	41
千早赤阪村	0	0	0	0

2.5 津波による被害

- ✓ 下表②、③のケースを実施するとともに、大阪府独自のアンケート調査によるケースを④として実施する。なお、ケース①は対策が進んだ場合の減災効果算出で採用する。

津波に対する避難速度

時間帯	地形	健常者	避難行動 要支援者同行
昼間	平野部	2.72km/h	1.89km/h
	傾斜部	1.73km/h	1.20km/h
夜間	平野部	2.18km/h	1.51km/h
	傾斜部	1.38km/h	0.96km/h

※被害想定手法の概要（令和7年3月）より

避難開始時期

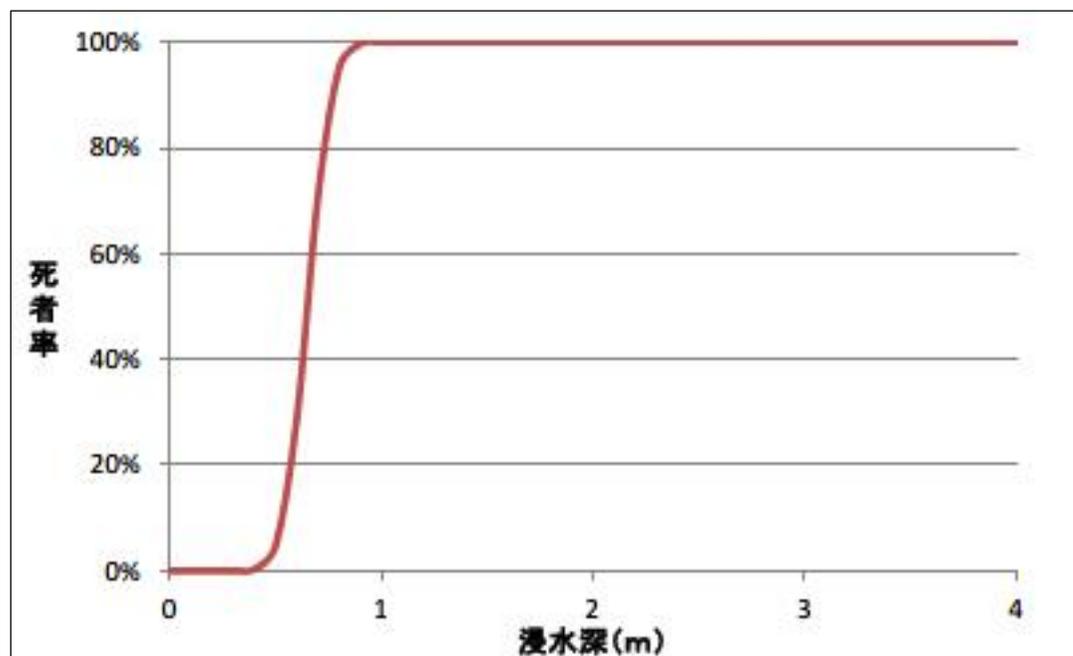
No.	ケース	避難行動別の比率		
		避難する		切迫避難あるいは避難しない
		すぐに避難する (直後避難)	避難するがすぐには避難しない (用事後避難)	
①	全員が発災後すぐに避難を開始した場合	100%	0%	0%
②	早期避難者比率が高く、さらに津波情報の伝達や避難の呼びかけが効果的に行われた場合	70%	30%	0%
③	早期避難者比率が低い場合	20%	50%	30%
④	大阪府アンケート結果の避難開始率の場合	30%	50%	20%

2. 人的被害

2.5 津波による被害

浸水深別死者率

- 津波に巻き込まれた際の死者率については、右下図の死者率を適用する。なお、生存した人も全員が負傷するものと仮定する。負傷者における重傷者と軽傷者の割合については、北海道南西沖地震における奥尻町の人的被害の事例を参考にし、重傷者数:軽傷者数=34:66とする。



津波に巻き込まれた場合の死者率

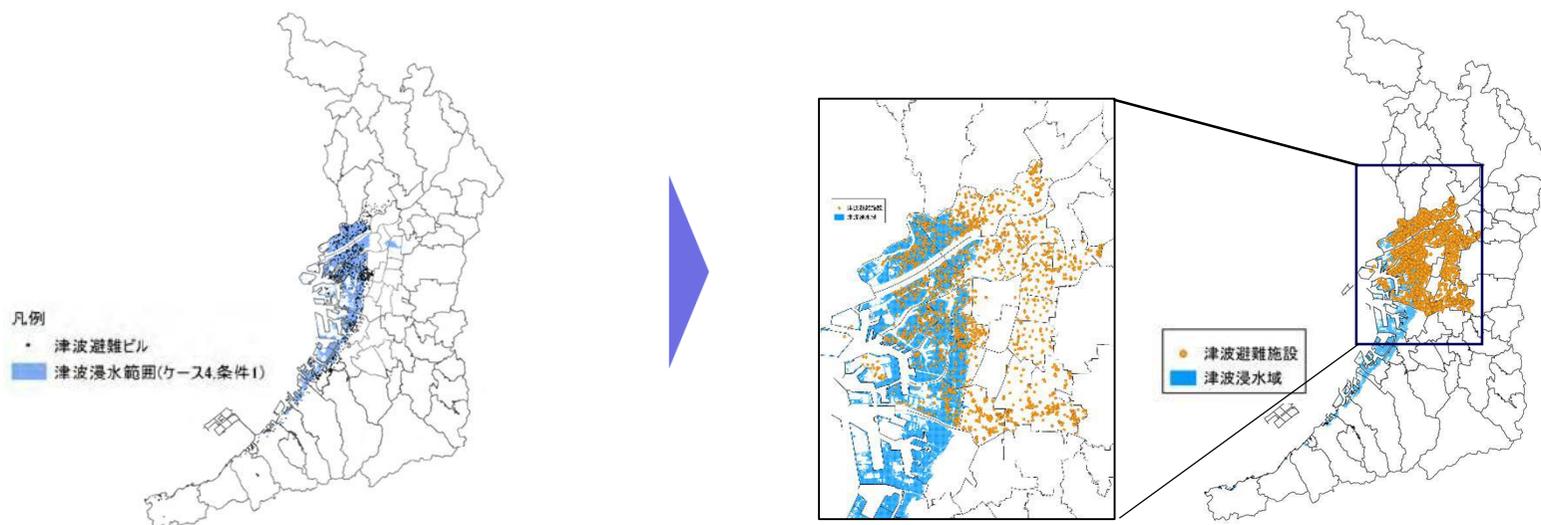
2. 人的被害

2.5 津波による被害

- ✓ 防潮堤などの耐震対策により、浸水面積および浸水深が軽減したことに加え、液状化対策によって地震後の防潮堤などの沈下に伴う即時浸水が解消されたことから、死者数・負傷者数は大幅に軽減。
- ✓ また、前回調査から今回調査にかけて、津波避難ビルが増加（967箇所 → 1,885箇所）したことにより、切迫避難または避難しない場合の死者数が軽減。

津波による被害

想定地震	行動パターン	前回調査		今回調査	
		死者（人）	負傷者（人）	死者（人）	負傷者（人）
(1) 南海トラフ地震	早期避難率低	132,967	63,945	5,149	3,510
	迅速	7,882	117	1,832	57



H25調査避難ビル（967箇所）

今回調査避難ビル（1,885箇所）

2. 人的被害

2.5 津波による被害

(1) 南海トラフ地震

市区町村	津波_早期避難低		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
大阪市都島区	0	0	0
大阪市福島区	131	0	0
大阪市此花区	144	8	3
大阪市西区	80	0	0
大阪市港区	176	1	0
大阪市大正区	201	5	2
大阪市天王寺区	0	0	0
大阪市浪速区	27	0	0
大阪市西淀川区	237	44	15
大阪市東淀川区	0	0	0
大阪市東成区	0	0	0
大阪市生野区	0	0	0
大阪市旭区	0	0	0
大阪市城東区	0	0	0
大阪市阿倍野区	0	0	0
大阪市住吉区	5	7	2
大阪市東住吉区	0	0	0
大阪市西成区	139	29	10
大阪市淀川区	163	0	0
大阪市鶴見区	0	0	0
大阪市住之江区	172	126	43
大阪市平野区	0	0	0
大阪市北区	47	0	0
大阪市中央区	0	2	1
堺市堺区	1,687	1,008	343
堺市中区	0	0	0
堺市東区	0	0	0
堺市西区	578	566	193
堺市南区	0	0	0
堺市北区	0	0	0
堺市美原区	0	0	0

大阪市	1,522	222	76
堺市	2,265	1,574	536

大阪府	5,149	3,510	1,196
------------	--------------	--------------	--------------

市区町村	津波_早期避難低		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
岸和田市	215	234	80
豊中市	0	1	0
池田市	0	0	0
吹田市	0	0	0
泉大津市	243	335	114
高槻市	0	0	0
貝塚市	134	89	30
守口市	0	0	0
枚方市	0	0	0
茨木市	0	0	0
八尾市	0	0	0
泉佐野市	36	53	18
富田林市	0	0	0
寝屋川市	0	0	0
河内長野市	0	0	0
松原市	0	0	0
大東市	0	0	0
和泉市	0	0	0
箕面市	0	0	0
柏原市	0	0	0
羽曳野市	0	0	0
門真市	0	0	0
摂津市	0	0	0
高石市	506	666	227
藤井寺市	0	0	0
東大阪市	0	0	0
泉南市	14	47	16
四條畷市	0	0	0
交野市	0	0	0
大阪狭山市	0	0	0
阪南市	8	19	7
島本町	0	0	0
豊能町	0	0	0
能勢町	0	0	0
忠岡町	170	194	66
熊取町	0	0	0
田尻町	7	10	3
岬町	29	66	23
太子町	0	0	0
河南町	0	0	0
千早赤阪村	0	0	0

2. 人的被害

2.6 急傾斜地崩壊による被害

✓ 対象とする急傾斜地の増加に伴い、急傾斜地崩壊による人的被害も増加。

急傾斜地崩壊による人的被害算出手法

(死者数) = $0.098 \times (\text{急傾斜地崩壊による全壊棟数}) \times 0.7 \times$
 (木造建物内滞留者人口比率)

(負傷者数) = $1.25 \times (\text{死者数})$

(重傷者数) = (負傷者数) $\div 2$

ここで、(木造建物内滞留人口比率)

= (発生時刻の木造建物内滞留人口)

\div (木造建物内滞留人口の24時間平均)

※南海トラフ巨大地震の被害想定項目及び手法の概要（内閣府、令和7年3月）

急傾斜地崩壊による人的被害（冬18時）

想定地震	前回調査		今回調査		差分 (今回-前回)	
	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)
(1) 南海トラフ地震	2	2	67	82	65	80
(2) 上町断層帯①	過年度調査では 実施せず		58	73	過年度調査では 実施せず	
(3) 上町断層帯②			51	66		
(4) 生駒断層帯			33	43		
(5) 有馬高槻断層帯			34	38		
(6) 中央構造線断層帯			46	57		

2. 人的被害

2.6 急傾斜地崩壊による被害

(1) 南海トラフ地震 (冬18時)

市区町村	急傾斜地崩壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
大阪市都島区	0	0	0
大阪市福島区	0	0	0
大阪市此花区	0	0	0
大阪市西区	0	0	0
大阪市港区	0	0	0
大阪市大正区	0	0	0
大阪市天王寺区	0	0	0
大阪市浪速区	0	0	0
大阪市西淀川区	0	0	0
大阪市東淀川区	0	0	0
大阪市東成区	0	0	0
大阪市生野区	0	0	0
大阪市旭区	0	0	0
大阪市城東区	0	0	0
大阪市阿倍野区	0	0	0
大阪市住吉区	0	0	0
大阪市東住吉区	0	0	0
大阪市西成区	0	0	0
大阪市淀川区	0	0	0
大阪市鶴見区	0	0	0
大阪市住之江区	0	0	0
大阪市平野区	0	0	0
大阪市北区	0	0	0
大阪市中央区	0	0	0
堺市堺区	0	0	0
堺市中区	1	1	0
堺市東区	0	0	0
堺市西区	0	0	0
堺市南区	0	1	0
堺市北区	0	0	0
堺市美原区	0	0	0
大阪市	0	0	0
堺市	1	2	0
大阪府	67	82	40

市区町村	急傾斜地崩壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
岸和田市	2	2	1
豊中市	0	0	0
池田市	2	3	1
吹田市	2	3	1
泉大津市	0	0	0
高槻市	4	5	3
貝塚市	2	2	1
守口市	0	0	0
枚方市	4	4	2
茨木市	3	3	2
八尾市	0	0	0
泉佐野市	1	1	1
富田林市	1	1	0
寝屋川市	2	2	1
河内長野市	11	14	7
松原市	0	0	0
大東市	2	3	1
和泉市	7	9	4
箕面市	2	3	1
柏原市	3	4	2
羽曳野市	0	0	0
門真市	0	0	0
摂津市	0	0	0
高石市	0	0	0
藤井寺市	0	0	0
東大阪市	2	2	1
泉南市	1	1	1
四條畷市	1	1	1
交野市	1	1	1
大阪狭山市	0	0	0
阪南市	5	6	3
島本町	1	1	0
豊能町	1	1	1
能勢町	2	3	1
忠岡町	0	0	0
熊取町	0	0	0
田尻町	0	0	0
岬町	1	1	1
太子町	0	0	0
河南町	1	1	1
千早赤阪村	2	3	1

(2) 上町断層帯① (冬18時)

市区町村	急傾斜地崩壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
大阪市都島区	0	0	0
大阪市福島区	0	0	0
大阪市此花区	0	0	0
大阪市西区	0	0	0
大阪市港区	0	0	0
大阪市大正区	0	0	0
大阪市天王寺区	0	0	0
大阪市浪速区	0	0	0
大阪市西淀川区	0	0	0
大阪市東淀川区	0	0	0
大阪市東成区	0	0	0
大阪市生野区	0	0	0
大阪市旭区	0	0	0
大阪市城東区	0	0	0
大阪市阿倍野区	0	0	0
大阪市住吉区	0	0	0
大阪市東住吉区	0	0	0
大阪市西成区	0	0	0
大阪市淀川区	0	0	0
大阪市鶴見区	0	0	0
大阪市住之江区	0	0	0
大阪市平野区	0	0	0
大阪市北区	0	0	0
大阪市中央区	0	0	0
堺市堺区	0	0	0
堺市中区	1	1	0
堺市東区	0	0	0
堺市西区	0	0	0
堺市南区	1	1	0
堺市北区	0	0	0
堺市美原区	0	0	0
大阪市	0	0	0
堺市	2	2	0
大阪府	58	73	32

市区町村	急傾斜地崩壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
岸和田市	2	2	1
豊中市	0	0	0
池田市	2	3	1
吹田市	2	3	1
泉大津市	0	0	0
高槻市	4	5	2
貝塚市	2	2	1
守口市	0	0	0
枚方市	4	5	2
茨木市	2	3	1
八尾市	0	0	0
泉佐野市	1	1	1
富田林市	1	1	0
寝屋川市	2	2	1
河内長野市	8	10	5
松原市	0	0	0
大東市	2	3	2
和泉市	6	7	4
箕面市	2	3	1
柏原市	3	4	2
羽曳野市	0	0	0
門真市	0	0	0
摂津市	0	0	0
高石市	0	0	0
藤井寺市	0	0	0
東大阪市	2	2	1
泉南市	1	1	0
四條畷市	1	1	1
交野市	1	1	1
大阪狭山市	0	0	0
阪南市	4	5	2
島本町	0	1	0
豊能町	1	1	0
能勢町	1	1	1
忠岡町	0	0	0
熊取町	0	0	0
田尻町	0	0	0
岬町	0	1	0
太子町	0	0	0
河南町	1	1	0
千早赤阪村	1	2	1

2. 人的被害

2.6 急傾斜地崩壊による被害

(3) 上町断層帯② (冬18時)

市区町村	急傾斜地崩壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
大阪市都島区	0	0	0
大阪市福島区	0	0	0
大阪市此花区	0	0	0
大阪市西区	0	0	0
大阪市港区	0	0	0
大阪市大正区	0	0	0
大阪市天王寺区	0	0	0
大阪市浪速区	0	0	0
大阪市西淀川区	0	0	0
大阪市東淀川区	0	0	0
大阪市東成区	0	0	0
大阪市生野区	0	0	0
大阪市旭区	0	0	0
大阪市城東区	0	0	0
大阪市阿倍野区	0	0	0
大阪市住吉区	0	0	0
大阪市東住吉区	0	0	0
大阪市西成区	0	0	0
大阪市淀川区	0	0	0
大阪市鶴見区	0	0	0
大阪市住之江区	0	0	0
大阪市平野区	0	0	0
大阪市北区	0	0	0
大阪市中央区	0	0	0
堺市堺区	0	0	0
堺市中区	1	1	0
堺市東区	0	0	0
堺市西区	0	0	0
堺市南区	1	1	0
堺市北区	0	0	0
堺市美原区	0	0	0
大阪市	0	0	0
堺市	2	2	0
大阪府	51	66	31

市区町村	急傾斜地崩壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
岸和田市	2	2	1
豊中市	0	0	0
池田市	1	1	1
吹田市	2	2	1
泉大津市	0	0	0
高槻市	2	3	1
貝塚市	2	2	1
守口市	0	0	0
枚方市	3	3	2
茨木市	1	2	1
八尾市	0	0	0
泉佐野市	1	1	1
富田林市	1	1	0
寝屋川市	1	2	1
河内長野市	11	14	7
松原市	0	0	0
大東市	2	2	1
和泉市	7	9	5
箕面市	1	2	1
柏原市	3	4	2
羽曳野市	0	0	0
門真市	0	0	0
摂津市	0	0	0
高石市	0	0	0
藤井寺市	0	0	0
東大阪市	1	2	1
泉南市	1	1	0
四條畷市	0	1	0
交野市	0	1	0
大阪狭山市	0	0	0
阪南市	4	5	3
島本町	0	0	0
豊能町	0	0	0
能勢町	0	0	0
忠岡町	0	0	0
熊取町	0	0	0
田尻町	0	0	0
岬町	0	1	0
太子町	0	0	0
河南町	1	1	0
千早赤阪村	2	2	1

(4) 生駒断層帯 (冬18時)

市区町村	急傾斜地崩壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
大阪市都島区	0	0	0
大阪市福島区	0	0	0
大阪市此花区	0	0	0
大阪市西区	0	0	0
大阪市港区	0	0	0
大阪市大正区	0	0	0
大阪市天王寺区	0	0	0
大阪市浪速区	0	0	0
大阪市西淀川区	0	0	0
大阪市東淀川区	0	0	0
大阪市東成区	0	0	0
大阪市生野区	0	0	0
大阪市旭区	0	0	0
大阪市城東区	0	0	0
大阪市阿倍野区	0	0	0
大阪市住吉区	0	0	0
大阪市東住吉区	0	0	0
大阪市西成区	0	0	0
大阪市淀川区	0	0	0
大阪市鶴見区	0	0	0
大阪市住之江区	0	0	0
大阪市平野区	0	0	0
大阪市北区	0	0	0
大阪市中央区	0	0	0
堺市堺区	0	0	0
堺市中区	1	1	0
堺市東区	0	0	0
堺市西区	0	0	0
堺市南区	0	0	0
堺市北区	0	0	0
堺市美原区	0	0	0
大阪市	0	0	0
堺市	1	1	0
大阪府	33	43	20

市区町村	急傾斜地崩壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
岸和田市	0	0	0
豊中市	0	0	0
池田市	0	1	0
吹田市	1	2	1
泉大津市	0	0	0
高槻市	3	4	2
貝塚市	0	0	0
守口市	0	0	0
枚方市	4	5	2
茨木市	1	2	1
八尾市	0	1	0
泉佐野市	0	0	0
富田林市	1	1	0
寝屋川市	2	2	1
河内長野市	5	6	3
松原市	0	0	0
大東市	3	3	2
和泉市	1	1	1
箕面市	1	1	0
柏原市	4	5	3
羽曳野市	0	0	0
門真市	0	0	0
摂津市	0	0	0
高石市	0	0	0
藤井寺市	0	0	0
東大阪市	2	3	1
泉南市	0	0	0
四條畷市	1	1	1
交野市	1	1	1
大阪狭山市	0	0	0
阪南市	0	0	0
島本町	0	1	0
豊能町	0	0	0
能勢町	0	0	0
忠岡町	0	0	0
熊取町	0	0	0
田尻町	0	0	0
岬町	0	0	0
太子町	0	0	0
河南町	1	1	0
千早赤阪村	1	1	1

2. 人的被害

2.6 急傾斜地崩壊による被害

(5) 有馬高槻断層帯 (冬18時)

市区町村	急傾斜地崩壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
大阪市都島区	0	0	0
大阪市福島区	0	0	0
大阪市此花区	0	0	0
大阪市西区	0	0	0
大阪市港区	0	0	0
大阪市大正区	0	0	0
大阪市天王寺区	0	0	0
大阪市浪速区	0	0	0
大阪市西淀川区	0	0	0
大阪市東淀川区	0	0	0
大阪市東成区	0	0	0
大阪市生野区	0	0	0
大阪市旭区	0	0	0
大阪市城東区	0	0	0
大阪市阿倍野区	0	0	0
大阪市住吉区	0	0	0
大阪市東住吉区	0	0	0
大阪市西成区	0	0	0
大阪市淀川区	0	0	0
大阪市鶴見区	0	0	0
大阪市住之江区	0	0	0
大阪市平野区	0	0	0
大阪市北区	0	0	0
大阪市中央区	0	0	0
堺市堺区	0	0	0
堺市中区	0	0	0
堺市東区	0	0	0
堺市西区	0	0	0
堺市南区	0	0	0
堺市北区	0	0	0
堺市美原区	0	0	0
大阪市	0	0	0
堺市	0	0	0
大阪府	34	38	18

市区町村	急傾斜地崩壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
岸和田市	0	0	0
豊中市	0	0	0
池田市	3	3	2
吹田市	2	3	1
泉大津市	0	0	0
高槻市	5	6	3
貝塚市	0	0	0
守口市	0	0	0
枚方市	4	5	2
茨木市	3	3	2
八尾市	0	0	0
泉佐野市	0	0	0
富田林市	0	0	0
寝屋川市	2	2	1
河内長野市	1	1	1
松原市	0	0	0
大東市	2	2	1
和泉市	0	1	0
箕面市	3	3	2
柏原市	2	2	1
羽曳野市	0	0	0
門真市	0	0	0
摂津市	0	0	0
高石市	0	0	0
藤井寺市	0	0	0
東大阪市	1	1	0
泉南市	0	0	0
四條畷市	1	1	0
交野市	1	1	0
大阪狭山市	0	0	0
阪南市	0	0	0
島本町	1	1	0
豊能町	1	1	1
能勢町	2	2	1
忠岡町	0	0	0
熊取町	0	0	0
田尻町	0	0	0
岬町	0	0	0
太子町	0	0	0
河南町	0	0	0
千早赤阪村	0	0	0

(6) 中央構造線断層帯 (冬18時)

市区町村	急傾斜地崩壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
大阪市都島区	0	0	0
大阪市福島区	0	0	0
大阪市此花区	0	0	0
大阪市西区	0	0	0
大阪市港区	0	0	0
大阪市大正区	0	0	0
大阪市天王寺区	0	0	0
大阪市浪速区	0	0	0
大阪市西淀川区	0	0	0
大阪市東淀川区	0	0	0
大阪市東成区	0	0	0
大阪市生野区	0	0	0
大阪市旭区	0	0	0
大阪市城東区	0	0	0
大阪市阿倍野区	0	0	0
大阪市住吉区	0	0	0
大阪市東住吉区	0	0	0
大阪市西成区	0	0	0
大阪市淀川区	0	0	0
大阪市鶴見区	0	0	0
大阪市住之江区	0	0	0
大阪市平野区	0	0	0
大阪市北区	0	0	0
大阪市中央区	0	0	0
堺市堺区	0	0	0
堺市中区	1	1	0
堺市東区	0	0	0
堺市西区	0	0	0
堺市南区	1	1	0
堺市北区	0	0	0
堺市美原区	0	0	0
大阪市	0	0	0
堺市	2	2	0
大阪府	46	57	27

市区町村	急傾斜地崩壊		
	死者 (人)	負傷者 (人)	重傷者 (人)
岸和田市	2	3	1
豊中市	0	0	0
池田市	0	1	0
吹田市	1	1	1
泉大津市	0	0	0
高槻市	1	1	1
貝塚市	2	3	1
守口市	0	0	0
枚方市	2	3	1
茨木市	0	0	0
八尾市	0	0	0
泉佐野市	1	1	1
富田林市	1	1	0
寝屋川市	1	1	1
河内長野市	11	13	7
松原市	0	0	0
大東市	1	1	0
和泉市	8	9	5
箕面市	0	0	0
柏原市	3	4	2
羽曳野市	0	0	0
門真市	0	0	0
摂津市	0	0	0
高石市	0	0	0
藤井寺市	0	0	0
東大阪市	1	1	0
泉南市	1	1	0
四條畷市	0	0	0
交野市	0	0	0
大阪狭山市	0	0	0
阪南市	4	5	3
島本町	0	0	0
豊能町	0	0	0
能勢町	0	0	0
忠岡町	0	0	0
熊取町	0	0	0
田尻町	0	0	0
岬町	1	1	1
太子町	0	1	0
河南町	1	1	1
千早赤阪村	2	3	1

2. 人的被害

2.7 ブロック塀等の転倒による被害

- ✓ 木造建物の増加に伴い、ブロック塀等の倒壊による人的被害も増加。

ブロック塀等の転倒による被害の算出手法

$$(\text{死傷者数}) = (\text{死傷者率}) \times (\text{市区町村別のブロック塀等被害件数}) \times (\text{市区町村別時刻別移動者数}) / (\text{市区町村別18時移動者数}) \times ((\text{市区町村別屋外人口密度}) / 1689.16 (\text{人}/\text{km}^2))$$

死傷者率 (=倒壊1件当たり死傷者数)

死者率	負傷者率	重傷者率
0.00116	0.04	0.0156

※南海トラフ巨大地震の被害想定項目及び手法の概要
(内閣府、令和7年3月)

ブロック塀等の転倒による被害 (冬18時)

想定地震	前回調査		今回調査	
	死者	負傷者	死者	負傷者
(1) 南海トラフ地震	11	1,081	30	1,353
(2) 上町断層帯①	過年度調査では 実施せず		37	1,472
(3) 上町断層帯②			27	1,171
(4) 生駒断層帯			14	794
(5) 有馬高槻断層帯			19	851
(6) 中央構造線断層帯			16	753

2. 人的被害

2.8 自動販売機の転倒による被害

✓ 前回調査と今回調査で大きく変化がないことを確認。

自動販売機の転倒による被害の算出手法

$$\begin{aligned} \text{(死傷者数)} &= \text{(死傷者率)} \times \text{(市区町村別の自動販売機被害件数)} \times \\ &\quad \text{(市区町村別時刻別移動者数)} \div \text{(市区町村別18時移} \\ &\quad \text{動者数)} \times \left(\text{(市区町村別屋外人口密度)} \div 1689.16 \right. \\ &\quad \left. \text{(人/km}^2\text{)} \right) \end{aligned}$$

*死傷者率はブロック塀等の倒壊と同じ値を用いる

※南海トラフ巨大地震の被害
想定項目及び手法の概要
(内閣府、令和7年3月)

自動販売機の転倒による被害 (冬18時)

想定地震	前回調査		今回調査	
	死者	負傷者	死者	負傷者
(1) 南海トラフ地震	0	68	0	77
(2) 上町断層帯①	過年度調査では 実施せず		0	77
(3) 上町断層帯②			0	76
(4) 生駒断層帯			0	61
(5) 有馬高槻断層帯			0	57
(6) 中央構造線断層帯			0	48

2. 人的被害

2.9 屋外落下物による被害

✓ 前回調査と今回調査で大きく変化がないことを確認。

屋外落下物による被害の算出手法

(死傷者数) = (死傷者率) × [(市区町村別の落下危険性のある落下物を保有する建物棟数) / (市区町村別建物棟数) × (市区町村別時刻別移動者数)] × [(市区町村別屋外人口密度) / 1689.16(人/km²)]

屋外落下物による死傷者率 (= 死傷者数 ÷ 屋外人口)

	死者率	負傷者率	重傷者率
震度7	0.00504%	1.69%	0.0816%
震度6強	0.00388%	1.21%	0.0624%
震度6弱	0.00239%	0.700%	0.0383%
震度5強	0.000604%	0.0893%	0.00945%
震度5弱	0%	0%	0%
震度4以下	0%	0%	0%

※南海トラフ巨大地震の被害
想定項目及び手法の概要
(内閣府、令和7年3月)

屋外落下物による被害 (冬18時)

想定地震	前回調査		今回調査	
	死者	負傷者	死者	負傷者
(1) 南海トラフ地震	0	6	0	1
(2) 上町断層帯①	過年度調査では 実施せず		0	105
(3) 上町断層帯②			0	71
(4) 生駒断層帯			0	4
(5) 有馬高槻断層帯			0	15
(6) 中央構造線断層帯			0	20

2. 人的被害

2.10 揺れによる建物被害に伴う要救助者

✓ 揺れによる建物の全壊棟数の増加に伴い、要救助者数は前回調査よりも増加。

$$\begin{aligned} & \text{(自力脱出困難者数)} \\ & = \text{(自力脱出困難者率} \mathbf{0.117} \text{)} \times \text{(揺れによる建物全壊率)} \times \text{(屋内滞留人口)} \end{aligned}$$

南海トラフ巨大地震の被害想定項目及び手法の概要（内閣府、令和7年3月）より

揺れによる建物被害に伴う要救助者数(冬18時)

想定地震	要救助者数（人）	
	前回調査	今回調査
(1) 南海トラフ地震	3,847	8,466
(2) 上町断層帯①	過年度調査では 実施せず	50,868
(3) 上町断層帯②		41,501
(4) 生駒断層帯		10,223
(5) 有馬高槻断層帯		16,105
(6) 中央構造線断層帯		19,452

2. 人的被害

2.10 揺れによる建物被害に伴う要救助者

市区町村別の揺れによる建物被害に伴う要救助者数(冬18時)

単位：人

市区町村	(1) 南海トラフ地震	(2) 上町断層帯①	(3) 上町断層帯②	(4) 生駒断層帯	(5) 有馬高槻 断層帯	(6) 中央構造線 断層帯
大阪市都島区	189	155	84	28	30	7
大阪市福島区	111	202	75	7	30	11
大阪市此花区	84	89	46	2	17	6
大阪市西区	205	266	164	38	39	46
大阪市港区	97	87	53	3	7	15
大阪市大正区	86	102	119	4	10	28
大阪市天王寺区	104	522	468	124	65	108
大阪市浪速区	75	284	372	67	54	60
大阪市西淀川区	97	160	63	2	74	4
大阪市東淀川区	225	525	228	114	258	18
大阪市東成区	90	235	177	81	37	23
大阪市生野区	112	662	541	145	39	72
大阪市旭区	121	511	176	137	99	6
大阪市城東区	267	690	321	156	98	25
大阪市阿倍野区	92	561	907	87	32	133
大阪市住吉区	102	613	1057	77	8	249
大阪市東住吉区	75	766	1242	122	12	178
大阪市西成区	70	414	708	49	51	107
大阪市淀川区	304	530	199	23	207	8
大阪市鶴見区	96	350	138	133	33	21
大阪市住之江区	81	302	456	37	5	126
大阪市平野区	87	808	888	223	5	179
大阪市北区	388	882	299	90	155	48
大阪市中央区	365	1195	807	310	272	194
堺市堺区	105	1382	1827	86	0	363
堺市中区	93	919	1363	46	0	651
堺市東区	77	760	913	56	0	754
堺市西区	82	733	1590	29	1	418
堺市南区	101	537	1904	5	0	1549
堺市北区	134	1721	2137	81	0	573
堺市美原区	44	413	410	49	0	404
大阪市	3,523	10,911	9,588	2,059	1,637	1,672
堺市	636	6,465	10,144	352	1	4,712
大阪府	8,466	50,868	41,501	10,223	16,105	19,452

市区町村	(1) 南海トラフ地震	(2) 上町断層帯①	(3) 上町断層帯②	(4) 生駒断層帯	(5) 有馬高槻 断層帯	(6) 中央構造線 断層帯
岸和田市	122	1180	2845	0	0	1128
豊中市	345	4840	423	30	1991	10
池田市	32	821	15	1	930	0
吹田市	264	5832	689	138	1893	36
泉大津市	34	266	865	0	0	257
高槻市	205	1193	131	314	3344	0
貝塚市	70	532	1216	0	0	660
守口市	197	1162	244	275	148	14
枚方市	439	959	101	1439	1455	7
茨木市	111	2371	330	356	2293	5
八尾市	127	799	664	793	17	229
泉佐野市	97	722	1362	0	0	1053
富田林市	148	750	984	111	0	1973
寝屋川市	348	945	180	582	416	42
河内長野市	87	216	726	2	0	1269
松原市	107	1651	1738	189	0	535
大東市	126	328	118	267	64	13
和泉市	87	580	2485	1	0	1207
箕面市	67	985	45	1	970	0
柏原市	19	138	195	238	1	122
羽曳野市	87	993	971	273	0	793
門真市	140	714	177	253	94	29
摂津市	88	645	137	112	255	6
高石市	32	251	754	1	0	165
藤井寺市	58	992	1105	569	0	596
東大阪市	403	1876	1178	1256	108	162
泉南市	89	313	276	0	0	625
四條畷市	37	176	37	138	54	5
交野市	57	240	39	350	209	0
大阪狭山市	64	403	593	18	0	836
阪南市	109	137	67	0	0	230
島本町	11	24	2	32	216	0
豊能町	0	0	0	0	9	0
能勢町	0	0	0	0	0	0
忠岡町	7	95	253	0	0	82
熊取町	33	200	537	0	0	376
田尻町	9	36	129	0	0	121
岬町	10	3	3	0	0	35
太子町	11	27	40	33	0	127
河南町	25	93	104	38	0	266
千早赤阪村	5	4	11	2	0	54

2. 人的被害

2.11 津波に伴う要救助者・要搜索者

- ✓ 津波により建物の中高層階に滞留する人を要救助者、津波に巻き込まれた人を要搜索者として算定。
- ✓ 防潮堤等の耐震対策により、浸水面積および浸水深が軽減したことに加えて、防潮堤等の沈下を防ぐ液状化対策の実施により、即時浸水が解消し、津波に伴う要救助者・要搜索者も大幅に減少。

■ 要救助者の求め方

中高層階に滞留する人が要救助対象となる。

最大浸水深別の中高層階滞留に伴う要救助者の設定

最大浸水深	中高層階滞留に伴う要救助者の設定の考え方
1m未満	自力脱出可能とみなす
1m以上6m未満	3階以上の滞留者が要救助対象
6m以上15m未満	6階以上の滞留者が要救助対象
15m以上	11階以上の滞留者が要救助対象

※南海トラフ巨大地震の被害想定項目及び手法の概要
(内閣府、令和7年3月)

■ 要搜索者の求め方

津波に巻き込まれた人（避難未完了者＝津波による死傷者）を津波被害に伴う初期の要搜索者と考える。

■ 結果

津波に伴う要救助者・要搜索者（早期避難率低・冬夕18時）

想定地震	前回調査		今回調査		差分	
	要救助者 (人)	要搜索者 (人)	要救助者 (人)	要搜索者 (人)	要救助者 (人)	要搜索者 (人)
(1) 南海トラフ地震	875,337	196,912	43,885	8,659	-831,452	-188,253

2. 人的被害

2.11 津波に伴う要救助者・要搜索者

要救助者数および要搜索者数
(早期避難率低・冬18時)

市区町	要救助者(人)	要搜索者(人)
大阪市福島区	882	131
大阪市此花区	4,662	152
大阪市西区	559	80
大阪市港区	4,990	177
大阪市大正区	4,516	206
大阪市浪速区	853	27
大阪市西淀川区	15,396	281
大阪市住吉区	5	12
大阪市西成区	2,126	168
大阪市淀川区	2,670	163
大阪市住之江区	2,326	298
大阪市北区	1,713	47
大阪市中央区	2	2
堺市堺区	1,900	2,695
堺市西区	381	1,144
岸和田市	180	449
豊中市	0	1
泉大津市	231	578
貝塚市	49	223
泉佐野市	16	89
高石市	380	1,172
泉南市	0	61
阪南市	6	27
忠岡町	33	364
田尻町	7	17
岬町	2	95
合計	43,885	8,659

3. ライフライン・インフラの被害

3.8 道路の被害

- ✓ 国道、高速道路、県道、市町村道などを対象とし、震度分布図および津波浸水深に応じた被害率を用いて道路被害を算定。
- ✓ その結果、上町断層帯②による道路被害箇所数が最も多い結果となった。

揺れによる道路被害率（箇所/km）

震度	直轄国道	補助国道、都道府県道、市町村道
震度4以下	—	—
震度5弱	0.035	0.016
震度5強	0.11	0.049
震度6弱	0.16	0.071
震度6強	0.17	0.076
震度7	0.48	0.21

津波による道路被害率（箇所/km）

浸水深（m）	直轄国道	補助国道、都道府県道、市町村道
1m未満	0.13	0.058
1～3m未満	0.37	0.16
3～5m未満	0.65	0.29
5～10m	1.52	0.68
10m以上	2.64	1.17

南海トラフ巨大地震の被害想定項目及び手法の概要（内閣府、令和7年3月）より

各地震別の道路被害箇所数

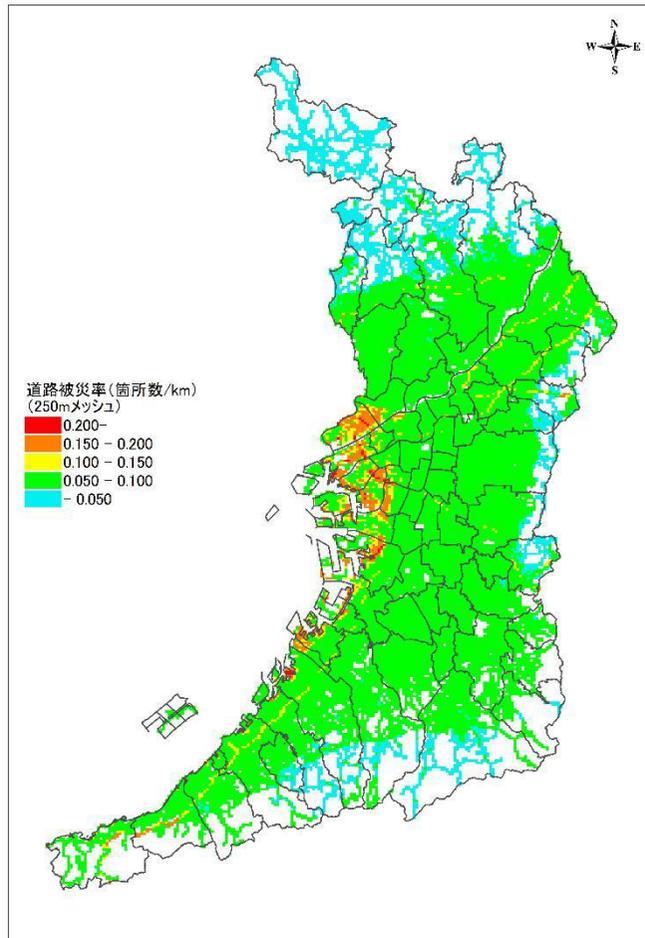
想定地震	被害箇所数（箇所）		
	前回調査	今回調査	差分 （今回－前回）
(1) 南海トラフ地震	1,883	1,869	-14
(2) 上町断層帯①	過年度調査では 実施せず	2,037	過年度調査では 実施せず
(3) 上町断層帯②		2,125	
(4) 生駒断層帯		1,466	
(5) 有馬高槻断層帯		1,414	
(6) 中央構造断層帯		1,683	

3. ライフライン・インフラの被害

3.8 道路の被害

(1) 南海トラフ地震

- ✓ 南海トラフ地震では、特に被害率の高いエリアは西部に集中し、府全域で約**1,900**箇所の被害が算定された。



道路被害率 (南海トラフ地震)

市区町村別被害箇所数 (南海トラフ地震)

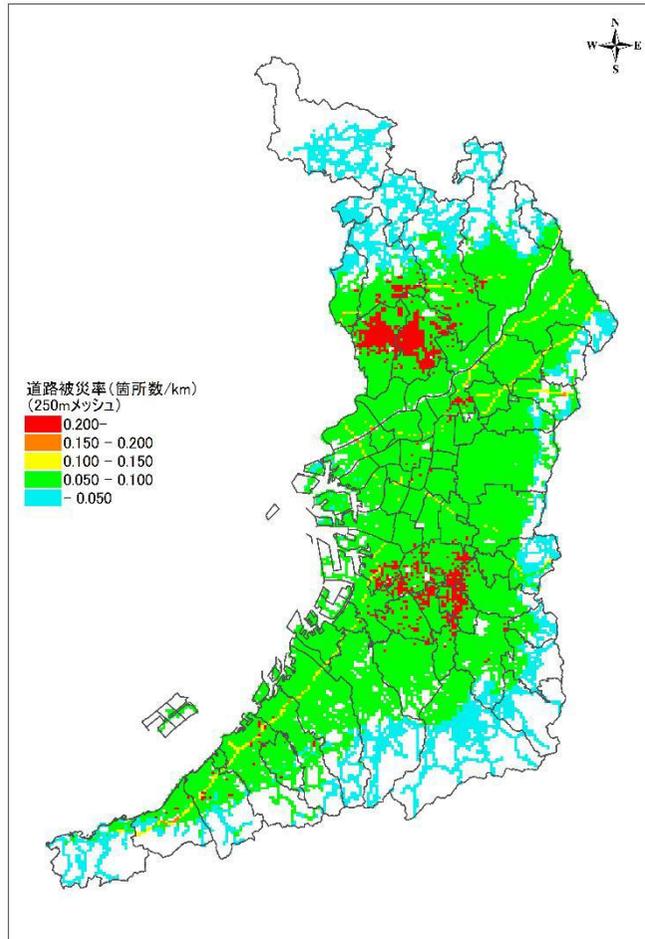
市区町村名	道路総延長 (km)	被害箇所数	市区町村名	道路総延長 (km)	被害箇所数
大阪市 都島区	156	11	岸和田市	715	54
大阪市 福島区	141	12	豊中市	939	67
大阪市 此花区	212	28	池田市	334	23
大阪市 西区	162	11	吹田市	757	54
大阪市 港区	180	19	泉大津市	267	24
大阪市 大正区	165	22	高槻市	1,167	81
大阪市 天王寺区	132	10	貝塚市	320	24
大阪市 浪速区	129	12	守口市	318	24
大阪市 西淀川区	273	39	枚方市	1,125	83
大阪市 東淀川区	303	22	茨木市	927	64
大阪市 東成区	157	11	八尾市	748	53
大阪市 生野区	287	20	泉佐野市	400	31
大阪市 旭区	188	14	富田林市	435	31
大阪市 城東区	233	17	寝屋川市	622	47
大阪市 阿倍野区	188	13	河内長野市	472	32
大阪市 住吉区	262	19	松原市	411	29
大阪市 東住吉区	293	21	大東市	315	22
大阪市 西成区	227	24	和泉市	598	42
大阪市 淀川区	339	28	箕面市	486	32
大阪市 鶴見区	182	13	柏原市	215	15
大阪市 住之江区	317	30	羽曳野市	482	34
大阪市 平野区	406	29	門真市	333	26
大阪市 北区	264	20	摂津市	288	20
大阪市 中央区	223	16	高石市	191	16
堺市 堺区	497	43	藤井寺市	215	15
堺市 中区	386	27	東大阪市	1,340	95
堺市 東区	250	18	泉南市	274	21
堺市 西区	470	38	四條畷市	209	15
堺市 南区	490	35	交野市	277	21
堺市 北区	340	24	大阪狭山市	194	14
堺市 美原区	245	17	阪南市	259	21
			島本町	110	8
			豊能町	166	9
			能勢町	194	9
			忠岡町	73	6
			熊取町	169	11
			田尻町	42	3
			岬町	149	12
			太子町	83	6
			河南町	111	8
			千早赤阪村	66	5
合計	24,893	1,869			

3. ライフライン・インフラの被害

3.8 道路の被害

(2) 上町断層帯①

- ✓ 上町断層帯①では、特に被害率の高いエリアは南部や北部の中央部に集中し、府全域で約2,000箇所の被害が算定された。



道路被害率 (上町断層帯①)

市区町村別被害箇所数
(上町断層帯①)

市区町村名	道路総延長 (km)	被害箇所数
大阪市 都島区	156	11
大阪市 福島区	141	11
大阪市 此花区	212	15
大阪市 西区	162	12
大阪市 港区	180	13
大阪市 大正区	165	12
大阪市 天王寺区	132	11
大阪市 浪速区	129	11
大阪市 西淀川区	273	21
大阪市 東淀川区	303	22
大阪市 東成区	157	12
大阪市 生野区	287	22
大阪市 旭区	188	15
大阪市 城東区	233	18
大阪市 阿倍野区	188	14
大阪市 住吉区	262	20
大阪市 東住吉区	293	23
大阪市 西成区	227	18
大阪市 淀川区	339	25
大阪市 鶴見区	182	14
大阪市 住之江区	317	23
大阪市 平野区	406	32
大阪市 北区	264	20
大阪市 中央区	223	18
堺市 堺区	497	50
堺市 中区	386	36
堺市 東区	250	29
堺市 西区	470	39
堺市 南区	490	38
堺市 北区	340	40
堺市 美原区	245	32

市名	道路総延長 (km)	被害箇所数
大阪市	5,419	413
堺市	2,678	264

合計	24,893	2,037
----	--------	-------

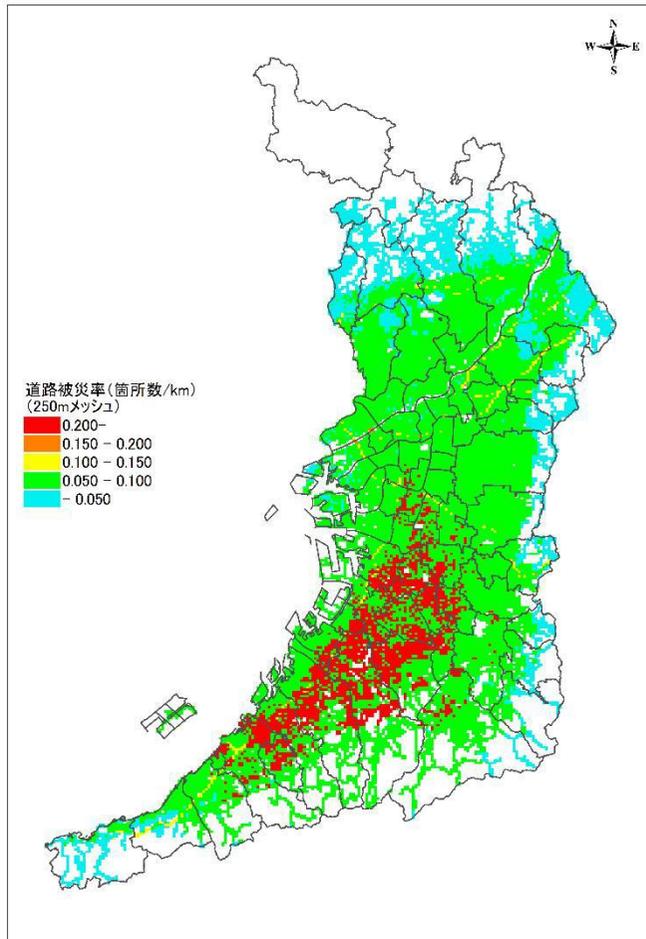
市区町村名	道路総延長 (km)	被害箇所数
岸和田市	715	54
豊中市	939	117
池田市	334	26
吹田市	757	102
泉大津市	267	20
高槻市	1,167	84
貝塚市	320	25
守口市	318	32
枚方市	1,125	85
茨木市	927	74
八尾市	748	55
泉佐野市	400	33
富田林市	435	33
寝屋川市	622	49
河内長野市	472	27
松原市	411	46
大東市	315	22
和泉市	598	43
箕面市	486	43
柏原市	215	14
羽曳野市	482	40
門真市	333	28
摂津市	288	23
高石市	191	15
藤井寺市	215	16
東大阪市	1,340	97
泉南市	274	22
四條畷市	209	16
交野市	277	22
大阪狭山市	194	18
阪南市	259	20
島本町	110	7
豊能町	166	7
能勢町	194	2
忠岡町	73	6
熊取町	169	13
田尻町	42	3
岬町	149	6
太子町	83	5
河南町	111	7
千早赤阪村	66	3

3. ライフライン・インフラの被害

3.8 道路の被害

(3) 上町断層帯②

- ✓ 上町断層帯②では、特に被害率の高いエリアは南部に集中し、府全域で約**2,100**箇所の被害が算定された。



道路被害率（上町断層帯②）

市区町村別被害箇所数 （上町断層帯②）

市区町村名	道路総延長 (km)	被害箇所数
大阪市 都島区	156	11
大阪市 福島区	141	11
大阪市 此花区	212	15
大阪市 西区	162	11
大阪市 港区	180	13
大阪市 大正区	165	12
大阪市 天王寺区	132	11
大阪市 浪速区	129	12
大阪市 西淀川区	273	20
大阪市 東淀川区	303	21
大阪市 東成区	157	11
大阪市 生野区	287	21
大阪市 旭区	188	14
大阪市 城東区	233	17
大阪市 阿倍野区	188	22
大阪市 住吉区	262	27
大阪市 東住吉区	293	33
大阪市 西成区	227	21
大阪市 淀川区	339	24
大阪市 鶴見区	182	13
大阪市 住之江区	317	23
大阪市 平野区	406	34
大阪市 北区	264	19
大阪市 中央区	223	17
堺市 堺区	497	62
堺市 中区	386	53
堺市 東区	250	38
堺市 西区	470	60
堺市 南区	490	75
堺市 北区	340	56
堺市 美原区	245	32

市区町村名	道路総延長 (km)	被害箇所数
岸和田市	715	95
豊中市	939	64
池田市	334	17
吹田市	757	53
泉大津市	267	30
高槻市	1,167	69
貝塚市	320	40
守口市	318	24
枚方市	1,125	70
茨木市	927	56
八尾市	748	54
泉佐野市	400	50
富田林市	435	35
寝屋川市	622	45
河内長野市	472	39
松原市	411	46
大東市	315	21
和泉市	598	89
箕面市	486	25
柏原市	215	15
羽曳野市	482	39
門真市	333	26
摂津市	288	21
高石市	191	24
藤井寺市	215	17
東大阪市	1,340	95
泉南市	274	23
四條畷市	209	12
交野市	277	18
大阪狭山市	194	23
阪南市	259	17
島本町	110	5
豊能町	166	2
能勢町	194	0
忠岡町	73	9
熊取町	169	22
田尻町	42	4
岬町	149	6
太子町	83	5
河南町	111	7
千早赤阪村	66	4

市名	道路総延長 (km)	被害箇所数
大阪市	5,419	433
堺市	2,678	376

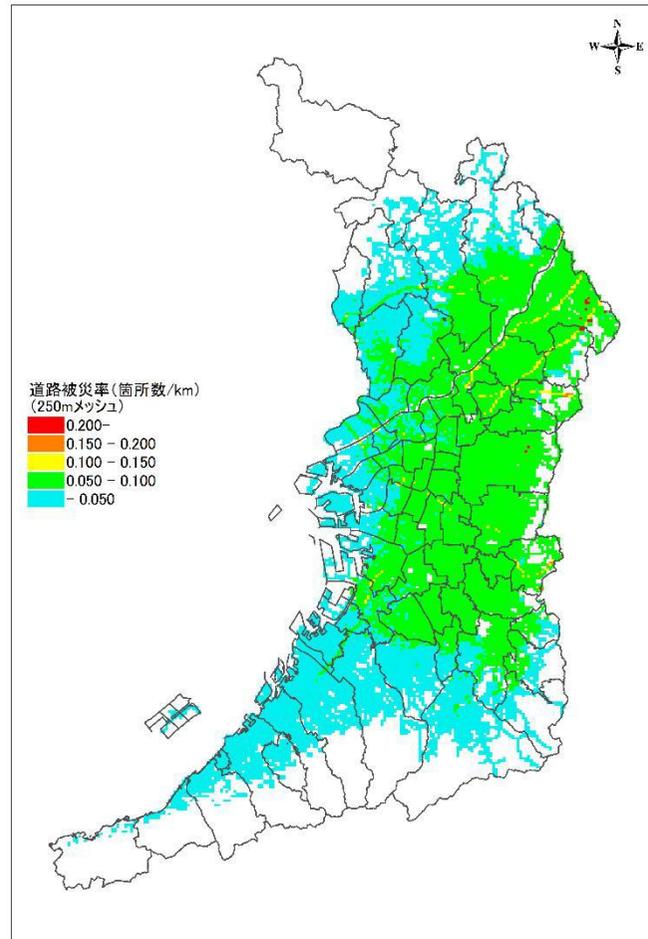
合計	24,893	2,125
----	--------	-------

3. ライフライン・インフラの被害

3.8 道路の被害

(4) 生駒断層帯

- ✓ 生駒断層帯では、特に被害率の高いエリアは東部に集中し、府全域で約1,500箇所の被害が算定された。



道路被害率 (生駒断層帯)

市区町村別被害箇所数 (生駒断層帯)

市区町村名	道路総延長 (km)	被害箇所数
大阪市 都島区	156	10
大阪市 福島区	141	8
大阪市 此花区	212	11
大阪市 西区	162	11
大阪市 港区	180	10
大阪市 大正区	165	9
大阪市 天王寺区	132	10
大阪市 浪速区	129	10
大阪市 西淀川区	273	15
大阪市 東淀川区	303	21
大阪市 東成区	157	11
大阪市 生野区	287	20
大阪市 旭区	188	14
大阪市 城東区	233	16
大阪市 阿倍野区	188	13
大阪市 住吉区	262	18
大阪市 東住吉区	293	21
大阪市 西成区	227	15
大阪市 淀川区	339	20
大阪市 鶴見区	182	13
大阪市 住之江区	317	19
大阪市 平野区	406	29
大阪市 北区	264	17
大阪市 中央区	223	16
堺市 堺区	497	34
堺市 中区	386	27
堺市 東区	250	18
堺市 西区	470	30
堺市 南区	490	24
堺市 北区	340	24
堺市 美原区	245	17

市区町村名	道路総延長 (km)	被害箇所数
岸和田市	715	18
豊中市	939	51
池田市	334	14
吹田市	757	46
泉大津市	267	13
高槻市	1,167	76
貝塚市	320	5
守口市	318	24
枚方市	1,125	88
茨木市	927	54
八尾市	748	55
泉佐野市	400	6
富田林市	435	27
寝屋川市	622	48
河内長野市	472	14
松原市	411	29
大東市	315	23
和泉市	598	19
箕面市	486	18
柏原市	215	17
羽曳野市	482	35
門真市	333	26
摂津市	288	20
高石市	191	10
藤井寺市	215	16
東大阪市	1,340	97
泉南市	274	2
四條畷市	209	17
交野市	277	23
大阪狭山市	194	12
阪南市	259	1
島本町	110	7
豊能町	166	1
能勢町	194	0
忠岡町	73	4
熊取町	169	2
田尻町	42	1
岬町	149	1
太子町	83	6
河南町	111	7
千早赤阪村	66	2

市名	道路総延長 (km)	被害箇所数
大阪市	5,419	357
堺市	2,678	174

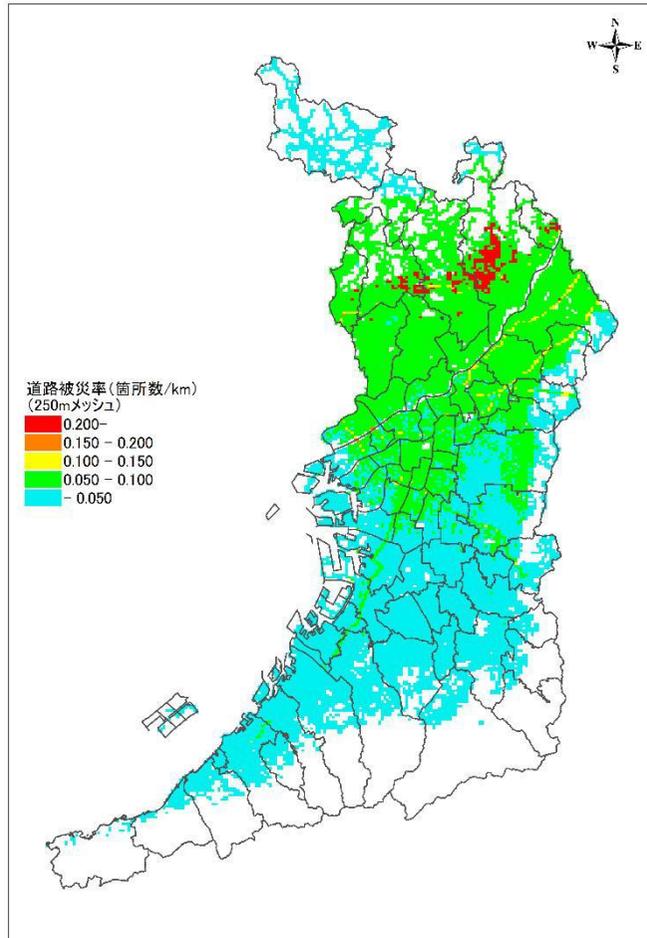
合計	24,893	1,466
----	--------	-------

3. ライフライン・インフラの被害

3.8 道路の被害

(5) 有馬高槻断層帯

- ✓ 有馬高槻断層帯では、特に被害率の高いエリアは北部に集中し、府全域で約1,400箇所の被害が算定された。



道路被害率（有馬高槻断層帯）

市区町村別被害箇所数
（有馬高槻断層帯）

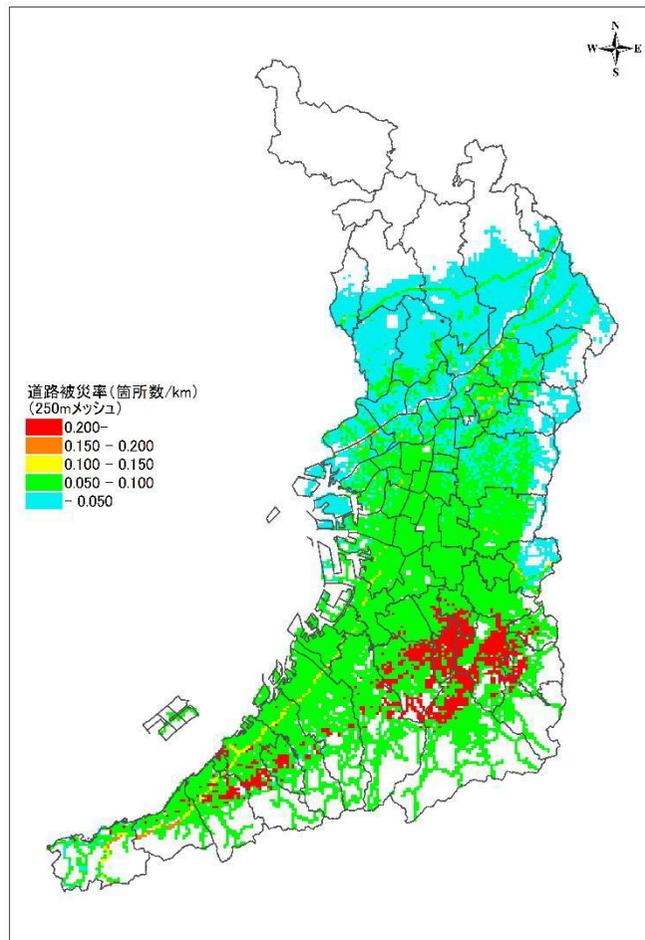
市区町村名	道路総延長 (km)	被害箇所数	市区町村名	道路総延長 (km)	被害箇所数
大阪市 都島区	156	10	岸和田市	715	15
大阪市 福島区	141	10	豊中市	939	70
大阪市 此花区	212	13	池田市	334	26
大阪市 西区	162	11	吹田市	757	57
大阪市 港区	180	10	泉大津市	267	12
大阪市 大正区	165	10	高槻市	1,167	127
大阪市 天王寺区	132	9	貝塚市	320	6
大阪市 浪速区	129	9	守口市	318	24
大阪市 西淀川区	273	20	枚方市	1,125	86
大阪市 東淀川区	303	21	茨木市	927	79
大阪市 東成区	157	11	八尾市	748	40
大阪市 生野区	287	19	泉佐野市	400	8
大阪市 旭区	188	14	富田林市	435	9
大阪市 城東区	233	16	寝屋川市	622	47
大阪市 阿倍野区	188	13	河内長野市	472	3
大阪市 住吉区	262	15	松原市	411	20
大阪市 東住吉区	293	17	大東市	315	20
大阪市 西成区	227	15	和泉市	598	14
大阪市 淀川区	339	24	箕面市	486	44
大阪市 鶴見区	182	12	柏原市	215	7
大阪市 住之江区	317	16	羽曳野市	482	19
大阪市 平野区	406	21	門真市	333	25
大阪市 北区	264	18	摂津市	288	21
大阪市 中央区	223	16	高石市	191	9
堺市 堺区	497	25	藤井寺市	215	10
堺市 中区	386	18	東大阪市	1,340	76
堺市 東区	250	11	泉南市	274	3
堺市 西区	470	23	四條畷市	209	14
堺市 南区	490	10	交野市	277	20
堺市 北区	340	16	大阪狭山市	194	4
堺市 美原区	245	8	阪南市	259	1
			島本町	110	11
			豊能町	166	11
			能勢町	194	7
			忠岡町	73	2
			熊取町	169	2
			田尻町	42	1
			岬町	149	0
			太子町	83	1
			河南町	111	2
			千早赤阪村	66	0
合計	24,893	1,414			

3. ライフライン・インフラの被害

3.8 道路の被害

(6) 中央構造線断層帯

- ✓ 中央構造断層帯では、特に被害率の高いエリアは南部に集中し、府全域で約1,700箇所の被害が算定された。



道路被害率（中央構造断層帯）

市区町村別被害箇所数
(中央構造断層帯)

市区町村名	道路総延長 (km)	被害箇所数
大阪市 都島区	156	9
大阪市 福島区	141	9
大阪市 此花区	212	12
大阪市 西区	162	11
大阪市 港区	180	11
大阪市 大正区	165	11
大阪市 天王寺区	132	9
大阪市 浪速区	129	10
大阪市 西淀川区	273	16
大阪市 東淀川区	303	17
大阪市 東成区	157	10
大阪市 生野区	287	20
大阪市 旭区	188	11
大阪市 城東区	233	14
大阪市 阿倍野区	188	13
大阪市 住吉区	262	19
大阪市 東住吉区	293	21
大阪市 西成区	227	17
大阪市 淀川区	339	18
大阪市 鶴見区	182	11
大阪市 住之江区	317	21
大阪市 平野区	406	29
大阪市 北区	264	16
大阪市 中央区	223	16
堺市 堺区	497	37
堺市 中区	386	32
堺市 東区	250	25
堺市 西区	470	35
堺市 南区	490	61
堺市 北区	340	26
堺市 美原区	245	27

市名	道路総延長 (km)	被害箇所数
大阪市	5,419	351
堺市	2,678	243

合計	24,893	1,683
----	--------	-------

市区町村名	道路総延長 (km)	被害箇所数
岸和田市	715	56
豊中市	939	43
池田市	334	13
吹田市	757	34
泉大津市	267	20
高槻市	1,167	43
貝塚市	320	26
守口市	318	20
枚方市	1,125	53
茨木市	927	36
八尾市	748	53
泉佐野市	400	39
富田林市	435	68
寝屋川市	622	40
河内長野市	472	53
松原市	411	31
大東市	315	16
和泉市	598	50
箕面市	486	14
柏原市	215	14
羽曳野市	482	38
門真市	333	24
摂津市	288	16
高石市	191	14
藤井寺市	215	16
東大阪市	1,340	83
泉南市	274	28
四條畷市	209	9
交野市	277	12
大阪狭山市	194	36
阪南市	259	22
島本町	110	3
豊能町	166	0
能勢町	194	0
忠岡町	73	6
熊取町	169	17
田尻町	42	4
岬町	149	12
太子町	83	8
河南町	111	13
千早赤阪村	66	6

3. ライフライン・インフラの被害

3.9 鉄道の被害

✓ 鉄道延長に震度別被害率を乗じて、被害箇所数を算定。

揺れによる鉄道被害率（箇所/km）

震度	新幹線	在来線
震度 4 以下	—	—
震度 5 弱	—	0.26
震度 5 強	0.26	1.01
震度 6 弱	0.4	2.03
震度 6 強以上		2.8

津波による鉄道被害率（箇所/km）

浸水深 (m)	鉄道
津波被害を受けた線区	1.97

南海トラフ巨大地震の被害想定項目及び手法の概要（内閣府、令和7年3月）より

各地震別の鉄道被害箇所数

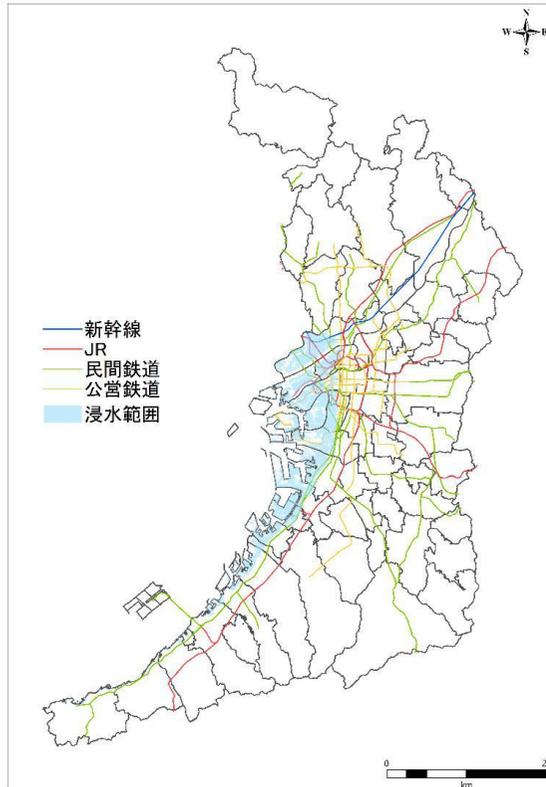
想定地震	被害箇所数（箇所）	
	前回調査	今回調査
(1) 南海トラフ地震	過年度調査では 実施せず	12,870
(2) 上町断層帯①		14,979
(3) 上町断層帯②		13,655
(4) 生駒断層帯		10,305
(5) 有馬高槻断層帯		9,885
(6) 中央構造断層帯		10,900

3. ライフライン・インフラの被害

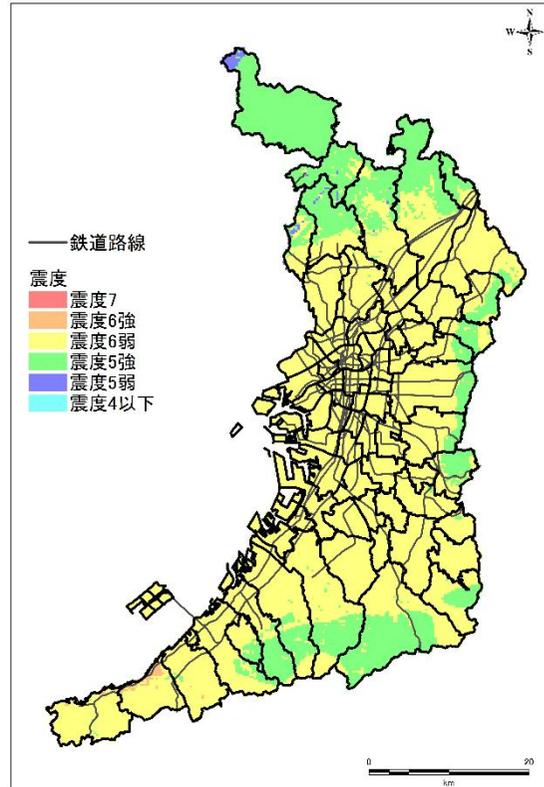
3.9 鉄道の被害

(1) 南海トラフ地震

- ✓ 南海トラフ地震では、沿岸部の複数路線が浸水し、府全域で約1万3千箇所の被害が想定される。



鉄道分布と浸水範囲
(南海トラフ地震)



鉄道分布と震度分布
(南海トラフ地震)

市区町村別被害箇所数

市区町村名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
大阪市 都島区	68	138
大阪市 福島区	77	153
大阪市 此花区	51	101
大阪市 西区	55	109
大阪市 港区	54	107
大阪市 大正区	4	9
大阪市 天王寺区	47	95
大阪市 浪速区	66	133
大阪市 西淀川区	90	178
大阪市 東淀川区	794	519
大阪市 東成区	32	65
大阪市 生野区	19	39
大阪市 旭区	48	98
大阪市 城東区	103	208
大阪市 阿倍野区	81	165
大阪市 住吉区	69	141
大阪市 東住吉区	59	120
大阪市 西成区	71	141
大阪市 淀川区	289	540
大阪市 鶴見区	38	78
大阪市 住之江区	80	159
大阪市 平野区	67	136
大阪市 北区	210	420
大阪市 中央区	95	194
堺市 堺区	91	182
堺市 中区	104	211
堺市 東区	46	93
堺市 西区	64	129
堺市 南区	65	131
堺市 北区	57	115
堺市 美原区	0	0

市名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
大阪市	2,567	4,046
堺市	427	861

合計	9,017	12,870
----	-------	--------

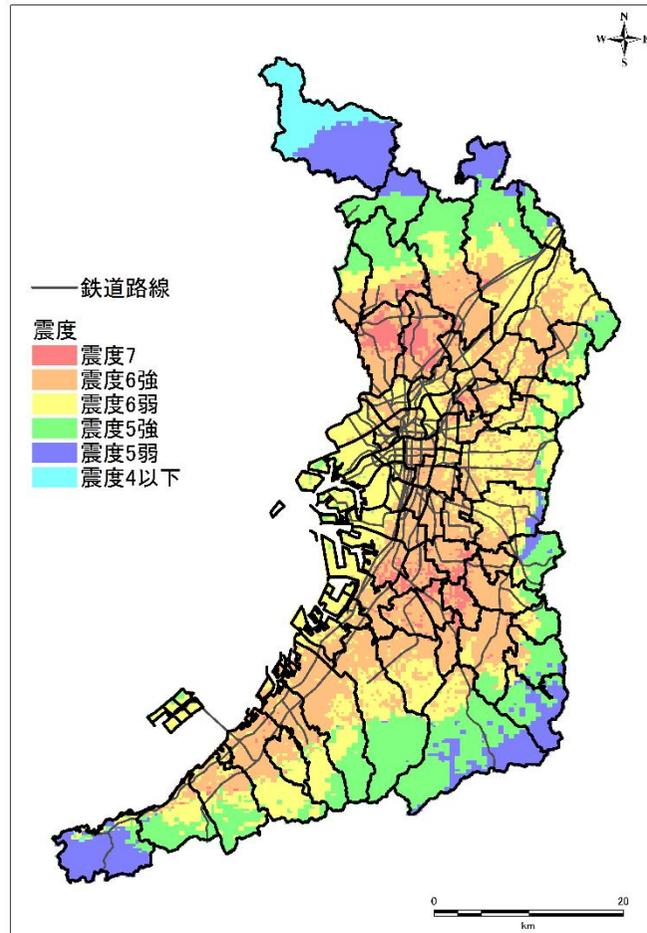
市区町村名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
岸和田市	68	139
豊中市	157	319
池田市	46	85
吹田市	247	499
泉大津市	24	49
高槻市	1,673	1,196
貝塚市	93	190
守口市	53	107
枚方市	167	338
茨木市	167	337
八尾市	130	253
泉佐野市	255	518
富田林市	72	146
寝屋川市	78	158
河内長野市	145	242
松原市	32	66
大東市	51	104
和泉市	67	135
箕面市	47	89
柏原市	114	200
羽曳野市	99	192
門真市	24	49
摂津市	896	466
高石市	39	78
藤井寺市	37	73
東大阪市	235	435
泉南市	110	220
四條畷市	21	44
交野市	102	207
大阪狭山市	20	40
阪南市	119	295
島本町	415	282
豊能町	10	10
能勢町	0	0
忠岡町	23	46
熊取町	9	17
田尻町	15	30
岬町	126	235
太子町	37	74
河南町	0	0
千早赤阪村	0	0

3. ライフライン・インフラの被害

3.9 鉄道の被害

(2) 上町断層帯①

- ✓ 上町断層帯①では、府全域で約1万5千箇所の被害が想定される。



鉄道分布と震度分布（上町断層帯①）

市区町村別被害箇所数
（上町断層帯①）

市区町村名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
大阪市 都島区	68	146
大阪市 福島区	77	187
大阪市 此花区	51	103
大阪市 西区	55	118
大阪市 港区	54	110
大阪市 大正区	4	9
大阪市 天王寺区	47	130
大阪市 浪速区	66	161
大阪市 西淀川区	90	199
大阪市 東淀川区	794	539
大阪市 東成区	32	80
大阪市 生野区	19	52
大阪市 旭区	48	123
大阪市 城東区	103	252
大阪市 阿倍野区	81	227
大阪市 住吉区	69	193
大阪市 東住吉区	59	164
大阪市 西成区	71	183
大阪市 淀川区	289	448
大阪市 鶴見区	38	87
大阪市 住之江区	80	173
大阪市 平野区	67	183
大阪市 北区	210	534
大阪市 中央区	95	257
堺市 堺区	91	247
堺市 中区	104	292
堺市 東区	46	128
堺市 西区	64	175
堺市 南区	65	173
堺市 北区	57	159
堺市 美原区	0	0

市名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
大阪市	2,567	4,658
堺市	427	1,174

合計	9,017	14,979
----	-------	--------

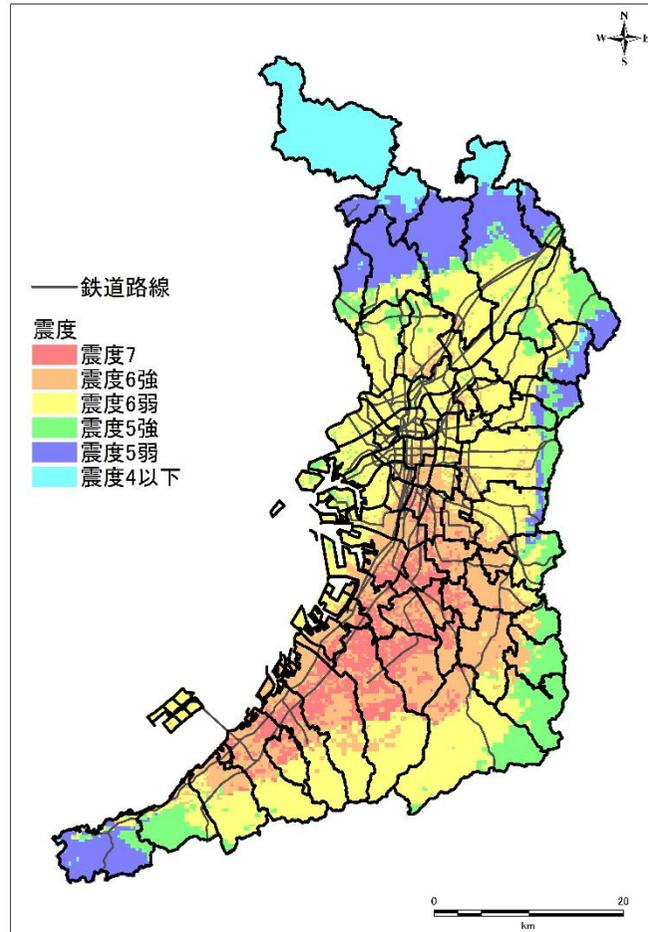
市区町村名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
岸和田市	68	190
豊中市	157	435
池田市	46	119
吹田市	247	687
泉大津市	24	62
高槻市	1,673	1,243
貝塚市	93	252
守口市	53	129
枚方市	167	377
茨木市	167	456
八尾市	130	276
泉佐野市	255	633
富田林市	72	197
寝屋川市	78	194
河内長野市	145	198
松原市	32	91
大東市	51	111
和泉市	67	183
箕面市	47	128
柏原市	114	194
羽曳野市	99	257
門真市	24	64
摂津市	896	505
高石市	39	104
藤井寺市	37	94
東大阪市	235	506
泉南市	110	277
四條畷市	21	57
交野市	102	270
大阪狭山市	20	55
阪南市	119	238
島本町	415	285
豊能町	10	10
能勢町	0	0
忠岡町	23	63
熊取町	9	24
田尻町	15	32
岬町	126	107
太子町	37	44
河南町	0	0
千早赤阪村	0	0

3. ライフライン・インフラの被害

3.9 鉄道の被害

(3) 上町断層帯②

- ✓ 上町断層帯②では、府全域で約1万4千箇所の被害が想定される。



鉄道分布と震度分布（上町断層帯②）

市区町村別被害箇所数 （上町断層帯②）

市区町村名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
大阪市 都島区	68	138
大阪市 福島区	77	157
大阪市 此花区	51	100
大阪市 西区	55	110
大阪市 港区	54	106
大阪市 大正区	4	9
大阪市 天王寺区	47	130
大阪市 浪速区	66	164
大阪市 西淀川区	90	173
大阪市 東淀川区	794	493
大阪市 東成区	32	74
大阪市 生野区	19	51
大阪市 旭区	48	105
大阪市 城東区	103	216
大阪市 阿倍野区	81	227
大阪市 住吉区	69	194
大阪市 東住吉区	59	163
大阪市 西成区	71	192
大阪市 淀川区	289	388
大阪市 鶴見区	38	78
大阪市 住之江区	80	182
大阪市 平野区	67	172
大阪市 北区	210	416
大阪市 中央区	95	239
堺市 堺区	91	254
堺市 中区	104	292
堺市 東区	46	128
堺市 西区	64	180
堺市 南区	65	181
堺市 北区	57	159
堺市 美原区	0	0

市名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
大阪市	2,567	4,277
堺市	427	1,194

合計	9,017	13,655
----	-------	--------

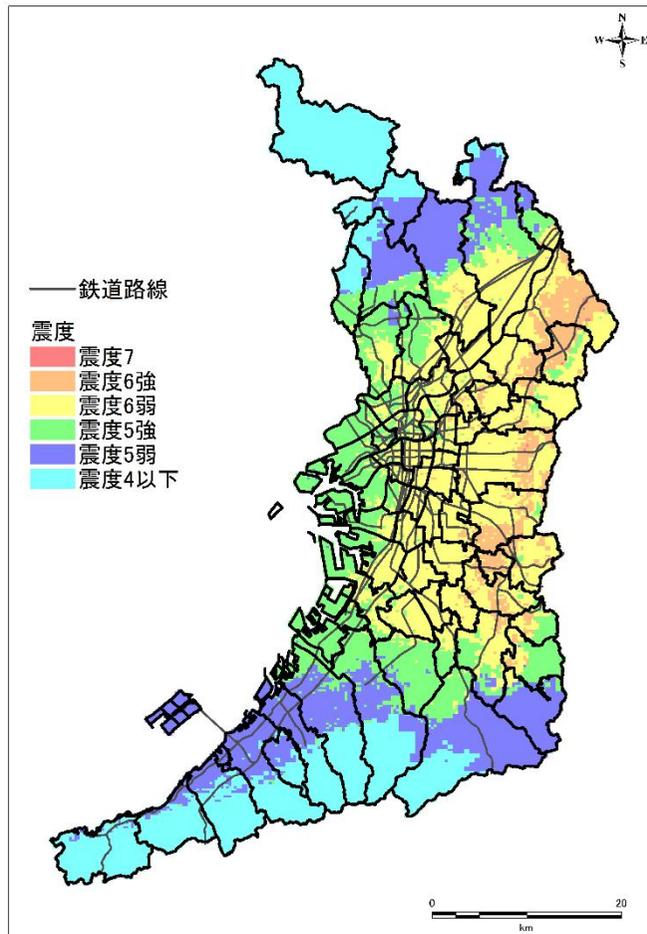
市区町村名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
岸和田市	68	191
豊中市	157	284
池田市	46	47
吹田市	247	536
泉大津市	24	68
高槻市	1,673	1,103
貝塚市	93	262
守口市	53	111
枚方市	167	289
茨木市	167	336
八尾市	130	267
泉佐野市	255	653
富田林市	72	201
寝屋川市	78	158
河内長野市	145	293
松原市	32	91
大東市	51	104
和泉市	67	187
箕面市	47	71
柏原市	114	223
羽曳野市	99	263
門真市	24	51
摂津市	896	464
高石市	39	110
藤井寺市	37	98
東大阪市	235	445
泉南市	110	265
四條畷市	21	44
交野市	102	203
大阪狭山市	20	55
阪南市	119	247
島本町	415	181
豊能町	10	3
能勢町	0	0
忠岡町	23	64
熊取町	9	24
田尻町	15	39
岬町	126	101
太子町	37	52
河南町	0	0
千早赤阪村	0	0

3. ライフライン・インフラの被害

3.9 鉄道の被害

(4) 生駒断層帯

- ✓ 生駒断層帯では、府全域で約1万箇所の被害が想定される。



鉄道分布と震度分布（生駒断層帯）

市区町村別被害箇所数
(生駒断層帯)

市区町村名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
大阪市 都島区	68	108
大阪市 福島区	77	96
大阪市 此花区	51	54
大阪市 西区	55	97
大阪市 港区	54	61
大阪市 大正区	4	6
大阪市 天王寺区	47	97
大阪市 浪速区	66	132
大阪市 西淀川区	90	96
大阪市 東淀川区	794	459
大阪市 東成区	32	67
大阪市 生野区	19	39
大阪市 旭区	48	99
大阪市 城東区	103	189
大阪市 阿倍野区	81	165
大阪市 住吉区	69	133
大阪市 東住吉区	59	120
大阪市 西成区	71	131
大阪市 淀川区	289	276
大阪市 鶴見区	38	74
大阪市 住之江区	80	115
大阪市 平野区	67	140
大阪市 北区	210	343
大阪市 中央区	95	198
堺市 堺区	91	173
堺市 中区	104	211
堺市 東区	46	93
堺市 西区	64	111
堺市 南区	65	83
堺市 北区	57	113
堺市 美原区	0	0

市名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
大阪市	2,567	3,295
堺市	427	784

合計	9,017	10,305
----	-------	--------

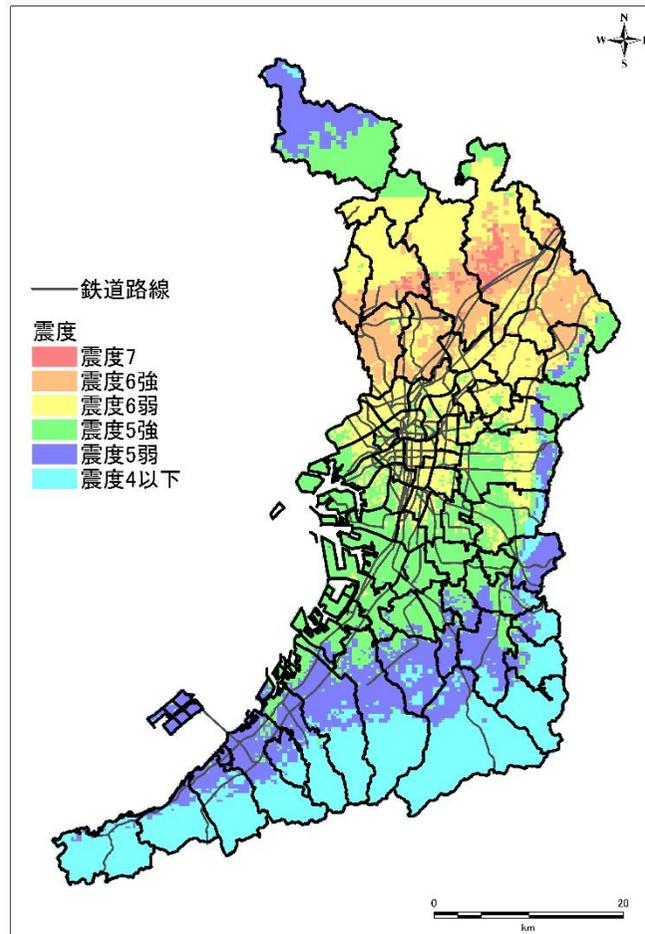
市区町村名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
岸和田市	68	35
豊中市	157	179
池田市	46	40
吹田市	247	409
泉大津市	24	24
高槻市	1,673	1,186
貝塚市	93	25
守口市	53	108
枚方市	167	382
茨木市	167	304
八尾市	130	295
泉佐野市	255	65
富田林市	72	140
寝屋川市	78	181
河内長野市	145	84
松原市	32	66
大東市	51	109
和泉市	67	55
箕面市	47	44
柏原市	114	262
羽曳野市	99	234
門真市	24	53
摂津市	896	464
高石市	39	43
藤井寺市	37	94
東大阪市	235	527
泉南市	110	16
四條畷市	21	53
交野市	102	285
大阪狭山市	20	38
阪南市	119	18
島本町	415	295
豊能町	10	0
能勢町	0	0
忠岡町	23	23
熊取町	9	2
田尻町	15	4
岬町	126	11
太子町	37	73
河南町	0	0
千早赤阪村	0	0

3. ライフライン・インフラの被害

3.9 鉄道の被害

(5) 有馬高槻断層帯

- ✓ 有馬高槻断層帯では、府全域で約1万箇所の被害が想定される。



鉄道分布と震度分布 (有馬高槻断層帯)

市区町村別被害箇所数
(有馬高槻断層帯)

市区町村名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
大阪市 都島区	68	123
大阪市 福島区	77	144
大阪市 此花区	51	73
大阪市 西区	55	98
大阪市 港区	54	66
大阪市 大正区	4	6
大阪市 天王寺区	47	91
大阪市 浪速区	66	128
大阪市 西淀川区	90	173
大阪市 東淀川区	794	473
大阪市 東成区	32	60
大阪市 生野区	19	37
大阪市 旭区	48	95
大阪市 城東区	103	191
大阪市 阿倍野区	81	155
大阪市 住吉区	69	95
大阪市 東住吉区	59	90
大阪市 西成区	71	132
大阪市 淀川区	289	378
大阪市 鶴見区	38	61
大阪市 住之江区	80	88
大阪市 平野区	67	74
大阪市 北区	210	378
大阪市 中央区	95	192
堺市 堺区	91	92
堺市 中区	104	92
堺市 東区	46	41
堺市 西区	64	66
堺市 南区	65	20
堺市 北区	57	56
堺市 美原区	0	0

市区町村名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
岸和田市	68	22
豊中市	157	385
池田市	46	124
吹田市	247	635
泉大津市	24	22
高槻市	1,673	1,421
貝塚市	93	34
守口市	53	105
枚方市	167	411
茨木市	167	458
八尾市	130	139
泉佐野市	255	78
富田林市	72	30
寝屋川市	78	161
河内長野市	145	13
松原市	32	33
大東市	51	84
和泉市	67	43
箕面市	47	129
柏原市	114	75
羽曳野市	99	82
門真市	24	48
摂津市	896	485
高石市	39	39
藤井寺市	37	37
東大阪市	235	302
泉南市	110	19
四條畷市	21	47
交野市	102	249
大阪狭山市	20	5
阪南市	119	16
島本町	415	333
豊能町	10	20
能勢町	0	0
忠岡町	23	18
熊取町	9	4
田尻町	15	4
岬町	126	5
太子町	37	2
河南町	0	0
千早赤阪村	0	0

市名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
大阪市	2,567	3,401
堺市	427	367

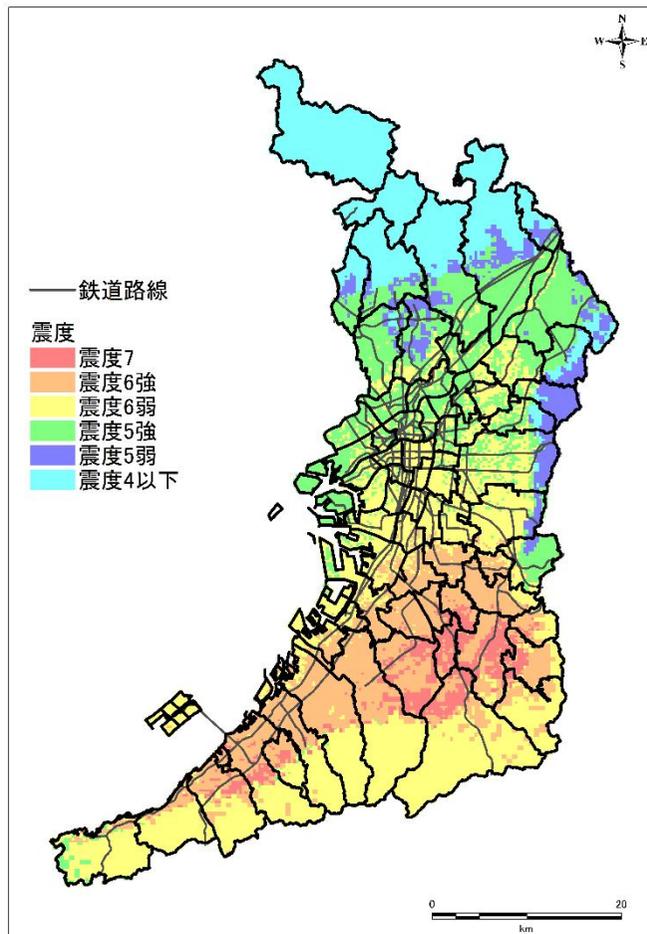
合計	9,017	9,885
----	-------	-------

3. ライフライン・インフラの被害

3.9 鉄道の被害

(6) 中央構造線断層帯

- ✓ 中央断層構造帯では、府全域で約1万1千箇所の被害が想定される。



鉄道分布と震度分布（中央断層構造帯）

市区町村別被害箇所数
(中央断層構造帯)

市区町村名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
大阪市 都島区	68	88
大阪市 福島区	77	107
大阪市 此花区	51	74
大阪市 西区	55	102
大阪市 港区	54	84
大阪市 大正区	4	7
大阪市 天王寺区	47	93
大阪市 浪速区	66	131
大阪市 西淀川区	90	113
大阪市 東淀川区	794	352
大阪市 東成区	32	55
大阪市 生野区	19	36
大阪市 旭区	48	64
大阪市 城東区	103	152
大阪市 阿倍野区	81	165
大阪市 住吉区	69	159
大阪市 東住吉区	59	118
大阪市 西成区	71	141
大阪市 淀川区	289	246
大阪市 鶴見区	38	48
大阪市 住之江区	80	134
大阪市 平野区	67	132
大阪市 北区	210	305
大阪市 中央区	95	194
堺市 堺区	91	204
堺市 中区	104	292
堺市 東区	46	128
堺市 西区	64	152
堺市 南区	65	181
堺市 北区	57	153
堺市 美原区	0	0

市名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
大阪市	2,567	3,100
堺市	427	1,110

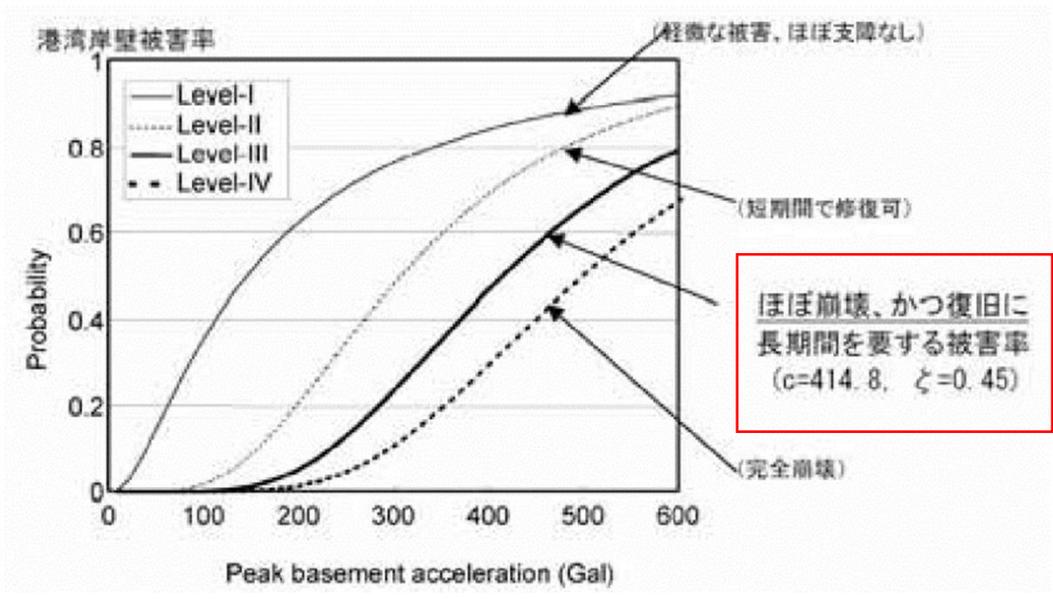
市区町村名	鉄道総延長 (km)	被害箇所数
岸和田市	68	189
豊中市	157	140
池田市	46	40
吹田市	247	290
泉大津市	24	65
高槻市	1,673	603
貝塚市	93	258
守口市	53	58
枚方市	167	196
茨木市	167	158
八尾市	130	240
泉佐野市	255	653
富田林市	72	201
寝屋川市	78	135
河内長野市	145	344
松原市	32	87
大東市	51	59
和泉市	67	185
箕面市	47	42
柏原市	114	200
羽曳野市	99	274
門真市	24	43
摂津市	896	322
高石市	39	95
藤井寺市	37	97
東大阪市	235	324
泉南市	110	292
四條畷市	21	40
交野市	102	103
大阪狭山市	20	55
阪南市	119	304
島本町	415	116
豊能町	10	0
能勢町	0	0
忠岡町	23	57
熊取町	9	24
田尻町	15	39
岬町	126	278
太子町	37	84
河南町	0	0
千早赤阪村	0	0

合計	9,017	10,900
----	-------	--------

3. ライフライン・インフラの被害

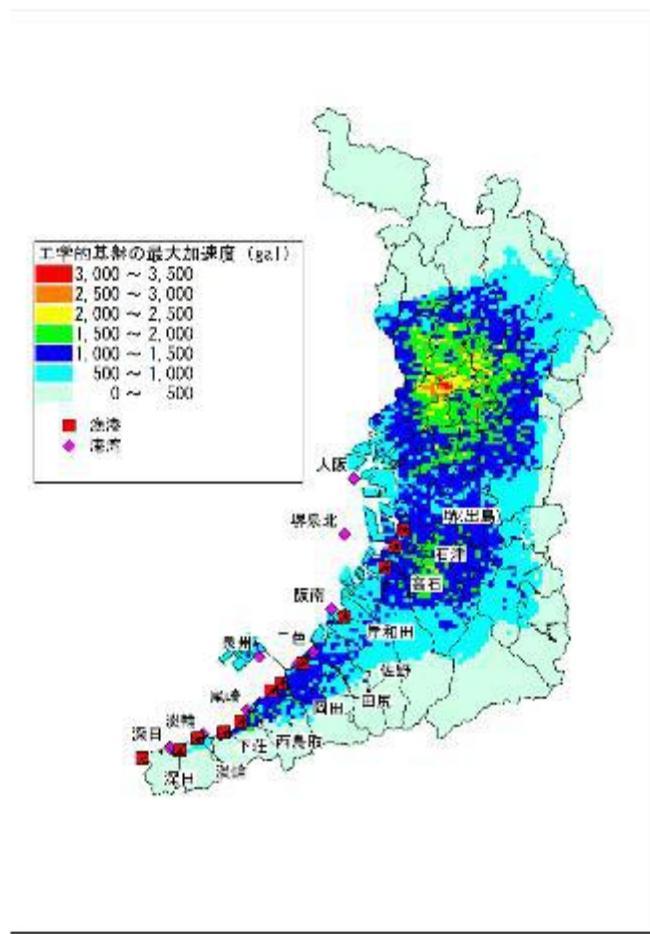
3.10 港湾の被害

- ✓ 本想定では、港湾・漁港の係留施設を対象とする。
- ✓ 揺れによる港湾被害については、ほぼ崩壊かつ復旧に長期間を要する被害を対象に工学的基盤面に作用する加速度に応じた港湾岸壁被害率により被害箇所数を算定。



港湾岸壁被害確率の累積分布関数

南海トラフ巨大地震の被害想定項目及び手法の概要（内閣府、令和7年3月）より



基盤加速度と漁港・港湾の分布図
(上町断層帯①の例)
出典：国土数値情報

3. ライフライン・インフラの被害

3.10 港湾の被害

- ✓ 上町断層帯①、②では、ほぼすべての港で大規模な被害が想定され、船舶の係留が困難となり、緊急物資輸送・救援活動に重大な支障を及ぼすほか、通常物流へも重大な影響を及ぼすことが考えられる。

被害箇所数 (箇所)

港種	港名	施設数	非耐震施設数	被害施設数					
				南海トラフ	上町断層帯①	上町断層帯②	生駒断層帯	有馬高槻断層帯	中央構造線断層帯
港湾	大阪	127	118	8	101	106	41	73	59
港湾	堺泉北	173	167	25	163	162	48	46	122
港湾	阪南	23	23	3	20	22	3	4	21
港湾	淡輪	0	0	0	0	0	0	0	0
港湾	深日	14	14	8	8	8	0	0	13
港湾	尾崎	8	8	4	8	7	0	0	8
港湾	二色	2	2	0	2	2	0	0	2
港湾	泉佐野	3	2	0	2	2	0	0	2
港湾	泉州	2	2	1	2	2	0	0	2
漁港	堺(出島)	6	6	1	6	6	2	2	5
漁港	石津	5	5	1	5	5	2	2	4
漁港	岸和田	14	14	2	12	14	1	1	13
漁港	佐野	26	25	6	25	25	1	1	25
漁港	高石	9	9	2	9	9	4	1	7
漁港	岡田	12	12	3	12	12	0	0	12
漁港	田尻	4	4	1	4	4	0	0	4
漁港	淡輪	13	13	8	9	9	0	0	12
漁港	深日	8	8	4	2	4	0	0	8
漁港	小島	5	5	2	0	0	0	0	1
漁港	西鳥取	13	13	8	13	12	0	0	13
漁港	下荘	14	14	9	14	14	0	0	14

3. ライフライン・インフラの被害

3.11 空港の被害

定性

地震別の空港被害

空港名	計測震度（最大値）					
	上町①	上町②	生駒	有馬高槻	中央構造線	南海トラフ
大阪国際空港	6.5	5.8	5.5	6.4	5.4	5.7
八尾空港	6.4	6.5	6.3	5.6	6.2	5.6
関西国際空港	5.8	6	4.8	4.7	6	5.9

空港名	PL値（最大値）					
	上町①	上町②	生駒	有馬高槻	中央構造線	南海トラフ
大阪国際空港	19.45	14.26	8.94	17.87	7.33	17.24
八尾空港	23.75	23.15	22.58	10.94	18.82	23.1
関西国際空港	—	—	—	—	—	—

✓ 大阪国際空港においては、震度7となる強い揺れが想定され、かつ、八尾空港においては液状化のリスクが非常に高いことから、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
空港	直後	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 震度6強以上の強い揺れにより、滑走路の基本施設や航空保安施設の被害が発生する恐れがあるため、点検等により空港を閉鎖 ➢ 関西国際空港では、津波浸水により漂流物や土砂の漂着、漂流物による施設の破損、場周柵の倒壊などの被害が発生 ➢ 閉鎖した空港に到着予定の便については、他空港への代替運航 ➢ 空港閉鎖により帰宅困難者が発生
	1日後	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 被災のない場合は、運行再開
	数日後	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 関西国際空港では、救援機の離着陸に必要な滑走路の土砂・がれきの除去等が完了後に再開

3. ライフライン・インフラの被害

3.12 燃料の供給に関する影響

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災 (H23.3.11) 	<ul style="list-style-type: none"> 製油所、油槽所において設備の被災や停電等による稼働停止。 稼働停止した製油所等は1週間程度で順次運転再開したが、被災した製油所等は再開に長期間（数ヶ月～1年）を要した。 道路損壊等によりガソリンスタンド等への石油配送が遅れる中、需要が増大したため、行列や混乱が発生。 病院・避難所・通信・消防・警察等の重要施設で非常用発電機を稼働させるために必要な燃料の備蓄が不足。
<ul style="list-style-type: none"> 大阪府北部地震 (H30.6.18) 	<ul style="list-style-type: none"> 大阪ガスの供給エリア内で11万1951戸の都市ガス供給が停止し、都市ガス供給の復旧に7日間を要した。

✓ 過去の災害実績から燃料不足や被災地外への影響について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
燃料	直後	<ul style="list-style-type: none"> 製油所や油槽所等が被災し、燃料となる石油製品の出荷・受入機能等が低下 ライフラインの寸断により、工業用水・施設稼働用電力が不足し、ライフラインの復旧まで製油所が停止 一部のガソリンスタンドでは設備の倒壊や損壊などにより営業不能
	数日後	<ul style="list-style-type: none"> 停電が発生している地域において、上・下水道や通信、ガスの供給・処理施設の非常用電源の燃料が枯渇すると、機能が停止する地域が拡大 広範囲の燃料精製施設が被害を受け、燃料精製が十分にできないことにより、被災地から内陸の油槽所まで燃料を輸送することが困難 災害拠点病院等における非常用電源の燃料や暖房用灯油が不足 広く石油が不足し、ガソリンスタンドでは、沿道での給油待ちの渋滞や、在庫不足や計画停電の実施に伴う時短営業



出典：東日本大震災と熊本地震における燃料供給の課題と対策
平成30年1月 中国経済産業局
資源・燃料課

3. ライフライン・インフラの被害

3.13 移動・物流に与える影響

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
➤ 東日本大震災（H23.3.11）	• 県の広域物資輸送拠点が被災し使用不能となったため、様々な混乱が発生
➤ 平成28年熊本地震（H28.4.14）	• プッシュ支援等により、支援物資が広域物資輸送拠点まで到着したものの、避難所までのラストマイル輸送が混乱し、支援物資が届かなかった
➤ 令和6年能登半島地震（R6.1.1）	• 通信途絶、道路寸断により市町経由での孤立状況や人数等の状況把握が困難となった

✓ 過去の災害実績や震度6弱以上の地震による被害想定から、移動・物流に与える影響について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相（対策なしの場合）
移動・物流に与える影響	直後	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 震度6弱以上の地震が発生する地域では、沿道建物の倒壊等による細街路の閉塞が想定され、救出救助、消火活動等の応急活動や住民の避難行動等に支障 ➤ 港湾のバース（岸壁）が被害を受け、コンテナ便やフェリーなどによる物流に大きな影響を与える可能性 ➤ 府域を中心として物流が制約され、物資不足の状況となり、特に発災から1週間は、緊急物資の輸送等が優先されるため、一般の物流が止まる可能性 ➤ 急傾斜地の崩壊等により、孤立化した地域では、車両による輸送は困難となり、ヘリコプター等での輸送が実施 ➤ スーパー・コンビニ等において、商品の在庫が枯渇



図のと里山海道（横田IC～徳田大津JCT）の道路被害

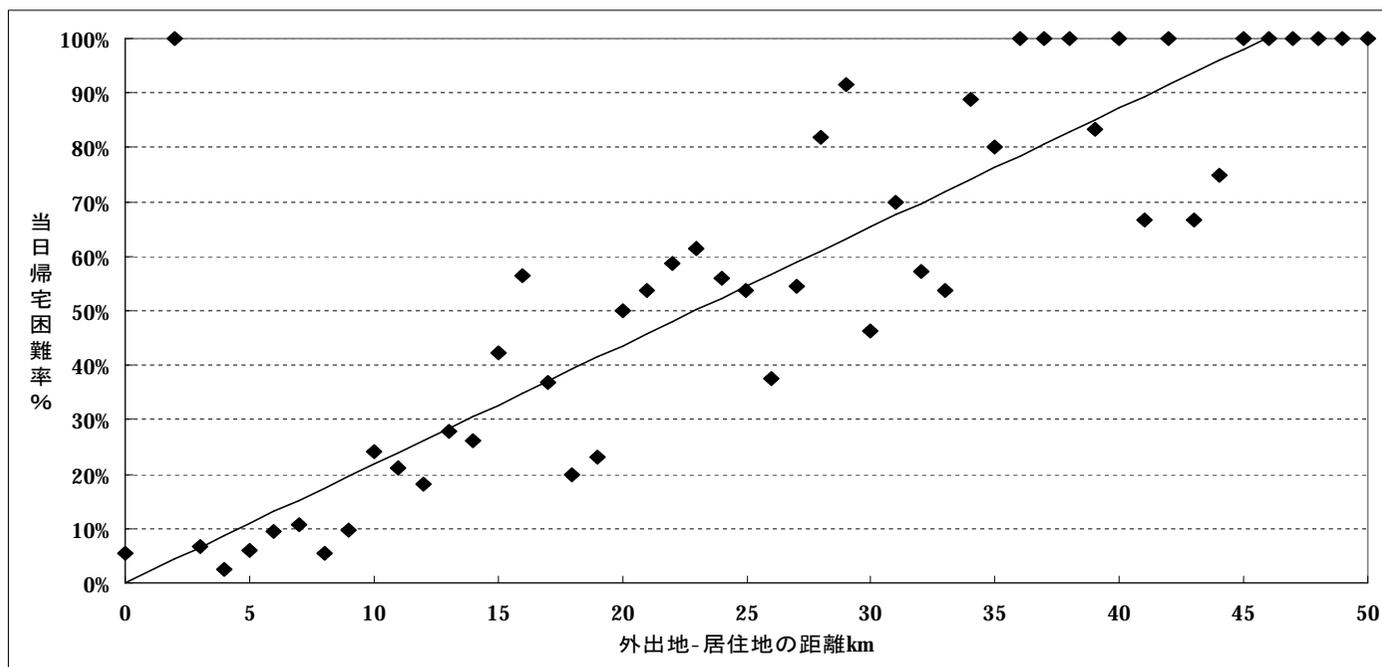
出典：石川県ホームページから

4. 生活への影響

4.3 帰宅困難者数

✓ パーソントリップ調査の居住地・移動先別の移動人口から滞留人口を把握し、移動先の距離に応じた帰宅困難率を乗じることで、帰宅困難者数を算定。なお、移動人口に関しては交通センサス（大都市交通センサス2015および道路交通センサス2021）結果を参考にした。

$$\text{帰宅困難率}\% = (0.0218 \times \text{外出距離km}) \times 100$$



外出距離別の帰宅困難率

4. 生活への影響

4.3 帰宅困難者数

✓ 前回調査（約146万人）と今回調査（約149万人）で大きな変化がないことを確認。

帰宅困難者数（冬18時）

市区町村名	帰宅困難者数 合計（人）	府内市町村間の 通勤・通学者（人）	府外からの 通勤・通学者（人）
大阪市 都島区	13,936	6,335	7,601
大阪市 福島区	13,638	5,984	7,654
大阪市 此花区	12,136	6,134	6,002
大阪市 西区	16,603	8,910	7,693
大阪市 港区	10,155	5,796	4,359
大阪市 大正区	8,857	3,827	5,030
大阪市 天王寺区	14,329	7,310	7,019
大阪市 浪速区	12,124	7,942	4,182
大阪市 西淀川区	18,644	7,076	11,568
大阪市 東淀川区	21,904	13,592	8,312
大阪市 東成区	10,372	6,297	4,075
大阪市 生野区	11,118	7,041	4,077
大阪市 旭区	11,066	5,681	5,385
大阪市 城東区	19,237	11,124	8,113
大阪市 阿倍野区	18,095	10,300	7,795
大阪市 住吉区	20,479	12,846	7,633
大阪市 東住吉区	14,110	9,297	4,813
大阪市 西成区	14,409	8,549	5,860
大阪市 淀川区	34,297	15,463	18,834
大阪市 鶴見区	13,454	9,409	4,045
大阪市 住之江区	17,988	12,188	5,800
大阪市 平野区	19,322	13,708	5,614
大阪市 北区	62,282	17,583	44,699
大阪市 中央区	33,771	15,387	18,384
堺市 堺区	24,772	18,575	6,197
堺市 中区	15,538	12,977	2,561
堺市 東区	13,415	10,027	3,388
堺市 西区	21,185	17,367	3,818
堺市 南区	26,311	19,607	6,704
堺市 北区	22,287	15,680	6,607
堺市 美原区	5,537	4,553	984

大阪市	442,326	227,779	214,547
堺市	129,045	98,786	30,259

合計	1,491,479	853,041	638,438
----	-----------	---------	---------

市区町村名	帰宅困難者数 合計（人）	府内市町村間の 通勤・通学者（人）	府外からの 通勤・通学者（人）
岸和田市	33,638	25,241	8,397
豊中市	69,227	33,150	36,077
池田市	24,717	10,891	13,826
吹田市	56,192	26,613	29,579
泉大津市	14,565	10,607	3,958
高槻市	72,315	35,405	36,910
貝塚市	12,649	10,489	2,160
守口市	16,876	10,444	6,432
枚方市	84,164	37,325	46,839
茨木市	55,420	24,625	30,795
八尾市	34,596	21,426	13,170
泉佐野市	21,652	16,593	5,059
富田林市	18,702	13,787	4,915
寝屋川市	40,216	21,731	18,485
河内長野市	21,984	15,303	6,681
松原市	14,546	10,621	3,925
大東市	19,217	10,784	8,433
和泉市	30,036	24,247	5,789
箕面市	31,203	12,751	18,452
柏原市	11,517	7,510	4,007
羽曳野市	15,522	11,138	4,384
門真市	17,126	10,293	6,833
摂津市	15,617	7,790	7,827
高石市	10,012	7,724	2,288
藤井寺市	9,513	7,056	2,457
東大阪市	62,917	34,368	28,549
泉南市	13,459	9,583	3,876
四條畷市	10,510	4,942	5,568
交野市	13,866	9,231	4,635
大阪狭山市	8,273	7,155	1,118
阪南市	13,617	9,495	4,122
島本町	10,485	4,030	6,455
豊能町	5,284	2,590	2,694
能勢町	2,775	1,210	1,565
忠岡町	3,670	2,710	960
熊取町	9,381	7,514	1,867
田尻町	2,521	1,608	913
岬町	5,558	3,742	1,816
太子町	2,734	1,582	1,152
河南町	3,003	2,563	440
千早赤阪村	833	609	224

4. 生活への影響

4.5 医療機能

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災（H23.3.11） 	<ul style="list-style-type: none"> 病院施設の全壊・一部損壊により外来・入院受け入れの停止・制限が多数発生し、医療提供体制が大規模に機能不全に陥った。
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年能登半島地震（R6.1.1） 	<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路の寸断・大規模断水により、医療機関へのアクセスや医療継続が大きく制約された。 令和6年能登地域では高齢化率が高く、入院患者・高齢者施設入所者など2,000人以上の広域搬送が実施された。

✓ 震度6強以上の揺れや沿岸域への津波襲来により医療機関の被災が想定されることから、医療機能に与える影響について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
医療機能	直後	<ul style="list-style-type: none"> 被災地内の医療機関においては建物被害やライフライン機能支障等により対応力が低下し、重傷者や軽傷者等の膨大な数の医療需要が発生 沿岸部で、津波による医療機関被害により医療空白地域が発生 医療機関自体の被災だけでなく、医師・看護師等の不足で診療機能が低下 医療機関が被災するとともに、膨大な数の負傷者が発生し、被災地内の医療機関でトリアージを実施する必要 病院の被害、停電・断水等ライフライン被害が継続し、人工透析ができずに患者が死亡 地震や津波による重篤患者を広域医療搬送する必要
	1日後	<ul style="list-style-type: none"> 燃料不足等により機能が停止する医療機関が発生 医薬品不足が相当数の医療機関で発生 医療従事者の食料や物資等が不足 停電・断水の復旧の見通しが立たない場合は、透析患者等の他医療機関への移動を余儀なくされる 外部から支援に来た医療スタッフの宿泊場所等が確保できない



東日本大震災で見られた日本赤十字社医療救護所
出典：災害写真データベース

4. 生活への影響

4.6 保健衛生・防疫・遺体処理等

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
<p>➤ 東日本大震災（H23.3.11）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 津波による死者数は約1万6千人に達し、沿岸部の被災地では、地震発生直後から棺やドライアイスの不足が深刻な課題となった。また、火葬場の被災や燃料不足により遺体の火葬が進まず、多数の遺体を長期間安置することも困難であったことから、一時的に土葬が実施された。 遺体の搜索は極めて困難を極め、消防・警察・自衛隊が大量に動員されたにもかかわらず、1年以上経過しても約3千人の行方不明者が見つからない状況が続いた。また、津波による遺体は損傷が激しく、検視による身元確認も困難であった。 避難所では、燃料不足などにより暖房が使用できない施設も多く、不衛生な環境下でインフルエンザやノロウイルスなどの感染症患者が発生した。気温の上昇に伴い、災害廃棄物の仮置場が近接する避難所や仮設住宅では、ハエなどの大量発生が生じ、保健衛生面での対応が強く求められた。

✓ 劣悪な避難所環境、多数の遺体発生が想定されることから、保健衛生・防疫・遺体処理等について、以下に想定される被害の様相を示す。

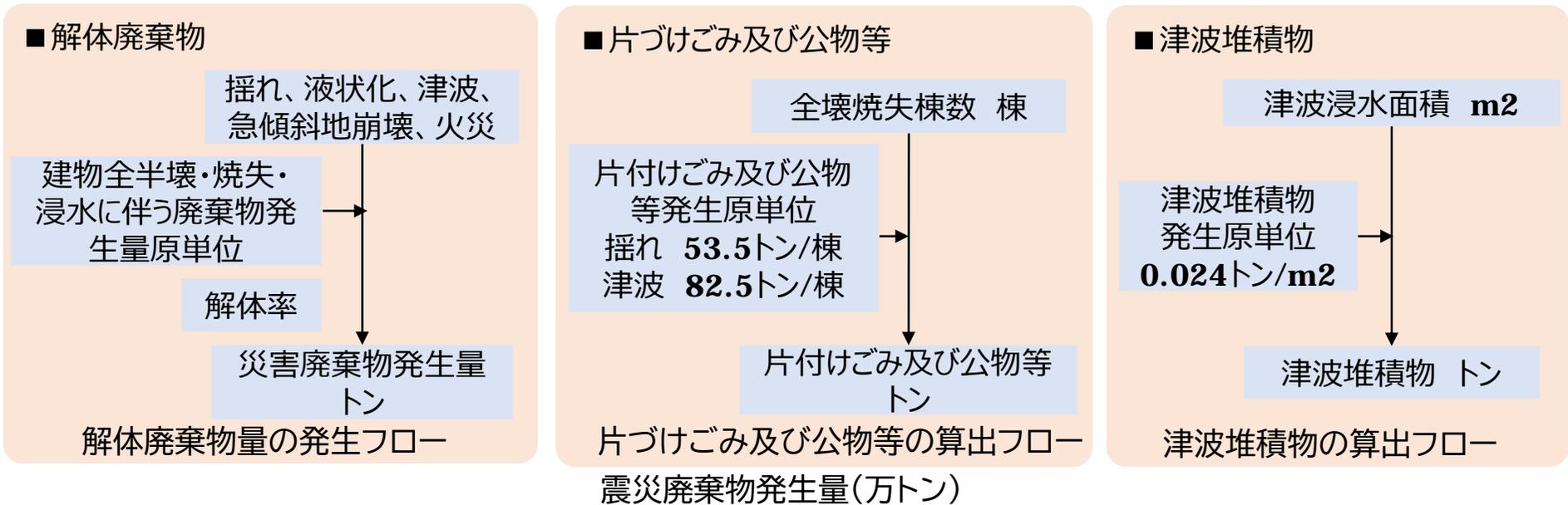
想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
保健衛生・防疫・遺体処理等	直後	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 多数の避難者が避難所に避難し、一人当たりの居住スペースの減少、十分な数の仮設トイレ等の不足、健康管理のための医師・保健師等の不足、テントや車中泊による屋外生活者の発生など、保健衛生環境が悪化し、感染症の集団感染につながる② ➤ 多数の避難者が床に座って生活するため、避難者が通路を移動することによって舞い上がるほこりにより、気管支炎等を発症
	1日後	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 死者・行方不明者の搜索範囲が極めて広範囲 ➤ 死者数が膨大であり、迅速な遺体処理が困難 ➤ 遺体の安置場所、棺、ドライアイスが不足し、夏季には遺体の腐乱等による衛生上の問題が発生 ➤ 検死が可能な人員等が不足し、多数の遺体の身元確認が困難 ➤ 停電や断水等により、熱中症が発生する危険性が高まる
	1週間後	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 夏季には、高齢者・乳幼児を中心に熱中症や脱水症状、食中毒が発生 ➤ 冬季は避難所や仮設住宅への対策が行き届かず、低体温症状等のリスクが上昇 ➤ 衛生状態の悪化により、女性は婦人科系の病気、妊婦は流産・早産や妊婦高血圧症候群、産婦は乳腺炎や膀胱炎、乳幼児は感染症にかかりやすくなり、健康リスクが上昇 ➤ 食物アレルギー対応の食事が手に入らない、哺乳瓶の消毒ができないなど、最も栄養ケアが必要な乳児がわずかな食事の変化で脱水や重大な健康障害のリスクが高まる ➤ 火葬場の被災、燃料不足等により火葬が困難 ➤ 火葬が困難な場合、衛生上の問題から土葬や仮埋葬の実施
	1年後	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 行方不明者の搜索が続く

5. その他の被害

5.1 震災廃棄物量

- ✓ 建物の全半壊・焼失等による「解体廃棄物」・「片付けごみ及び公物等」、津波により陸上に運ばれて堆積した土砂・泥状物等による「津波堆積物」を算定。
- ✓ 今回調査では、片付けごみ及び公物等を追加したことに加えて、直下型地震では、全半壊・焼失棟数も増加したため、解体廃棄物量が増加した。



想定地震	前回調査		今回調査			
	解体廃棄物	津波堆積物	合計	解体廃棄物	片付けごみ及び公物	津波堆積物
(1) 南海トラフ地震	1,847	353.9~ 566.8	2,974	2,056	918	228
(2) 上町断層帯①	4,015		9,471	5,688	3,783	
(3) 上町断層帯②	2,340		7,674	4,608	3,066	
(4) 生駒断層帯	3,135		3,063	1,953	1,110	
(5) 有馬高槻断層帯	945		3,456	2,241	1,215	
(6) 中央構造線断層帯	346		4,734	2,865	1,869	

5. その他の被害

5.1 震災廃棄物量(津波堆積物)

(1) 南海トラフ地震

市区町村名	津波堆積物 (万t)
大阪市 都島区	0
大阪市 福島区	7
大阪市 此花区	17
大阪市 西区	6
大阪市 港区	14
大阪市 大正区	17
大阪市 天王寺区	0
大阪市 浪速区	4
大阪市 西淀川区	21
大阪市 東淀川区	0
大阪市 東成区	0
大阪市 生野区	0
大阪市 旭区	0
大阪市 城東区	0
大阪市 阿倍野区	0
大阪市 住吉区	0
大阪市 東住吉区	0
大阪市 西成区	11
大阪市 淀川区	12
大阪市 鶴見区	0
大阪市 住之江区	26
大阪市 平野区	0
大阪市 北区	5
大阪市 中央区	0
堺市 堺区	19
堺市 中区	0
堺市 東区	0
堺市 西区	23
堺市 南区	0
堺市 北区	0
堺市 美原区	0

市区町村名	津波堆積物 (万t)
岸和田市	9
豊中市	0
池田市	0
吹田市	0
泉大津市	11
高槻市	0
貝塚市	3
守口市	0
枚方市	0
茨木市	0
八尾市	0
泉佐野市	3
富田林市	0
寝屋川市	0
河内長野市	0
松原市	0
大東市	0
和泉市	0
箕面市	0
柏原市	0
羽曳野市	0

市区町村名	津波堆積物 (万t)
門真市	0
摂津市	0
高石市	15
藤井寺市	0
東大阪市	0
泉南市	1
四條畷市	0
交野市	0
大阪狭山市	0
阪南市	1
島本町	0
豊能町	0
能勢町	0
忠岡町	2
熊取町	0
田尻町	0
岬町	1
太子町	0
河南町	0
千早赤阪村	0

市名	津波堆積物 (万t)
大阪市	140
堺市	42

合計	228
----	-----

5. その他の被害

5.1 震災廃棄物量(災害廃棄物)

(1) 南海トラフ地震

市区町村名	仮置き場面積(ha)			災害廃棄物量(万t)		
	可燃物	不燃物	合計	解体廃棄物	片付けごみ及び公物	合計
大阪市 都島区	37	13	50	46	10	56
大阪市 福島区	29	10	39	38	5	43
大阪市 此花区	53	19	72	58	21	79
大阪市 西区	26	9	35	34	4	38
大阪市 港区	50	18	68	61	14	75
大阪市 大正区	73	27	100	77	33	110
大阪市 天王寺区	3	1	4	3	1	4
大阪市 浪速区	10	4	14	13	2	15
大阪市 西淀川区	101	37	138	111	40	151
大阪市 東淀川区	33	12	45	40	10	50
大阪市 東成区	15	6	21	19	4	23
大阪市 生野区	22	8	30	27	7	34
大阪市 旭区	21	8	29	24	8	32
大阪市 城東区	30	11	41	34	11	45
大阪市 阿倍野区	5	2	7	5	1	6
大阪市 住吉区	5	2	7	6	2	8
大阪市 東住吉区	7	3	10	8	3	11
大阪市 西成区	32	12	44	40	8	48
大阪市 淀川区	57	21	78	73	12	85
大阪市 鶴見区	11	4	15	13	4	17
大阪市 住之江区	32	12	44	40	8	48
大阪市 平野区	13	5	18	15	4	19
大阪市 北区	33	12	45	38	11	49
大阪市 中央区	9	3	12	11	3	14
堺市 堺区	55	20	75	57	26	83
堺市 中区	6	2	8	8	1	9
堺市 東区	62	23	85	54	39	93
堺市 西区	20	7	27	25	5	30
堺市 南区	4	2	6	5	1	6
堺市 北区	13	5	18	13	6	19
堺市 美原区	5	2	7	5	2	7

大阪市	707	259	966	834	226	1,060
堺市	165	61	226	167	80	247

合計	1,985	725	2,710	2,056	918	2,974
-----------	--------------	------------	--------------	--------------	------------	--------------

市区町村名	仮置き場面積(ha)			災害廃棄物量(万t)		
	可燃物	不燃物	合計	解体廃棄物	片付けごみ及び公物	合計
岸和田市	69	25	94	59	45	104
豊中市	41	15	56	47	14	61
池田市	7	3	10	7	3	10
吹田市	53	19	72	59	21	80
泉大津市	9	3	12	12	2	14
高槻市	51	19	70	48	29	77
貝塚市	13	5	18	14	7	21
守口市	148	54	202	141	82	223
枚方市	37	13	50	43	12	55
茨木市	11	4	15	15	2	17
八尾市	101	37	138	101	50	151
泉佐野市	9	3	12	11	3	14
富田林市	19	7	26	17	11	28
寝屋川市	107	39	146	87	73	160
河内長野市	5	2	7	5	2	7
松原市	21	8	29	19	12	31
大東市	18	7	25	20	7	27
和泉市	6	2	8	7	1	8
箕面市	5	2	7	6	1	7
柏原市	7	3	10	8	3	11
羽曳野市	6	2	8	7	2	9
門真市	45	16	61	39	29	68
摂津市	11	4	15	13	3	16
高石市	9	3	12	12	2	14
藤井寺市	5	2	7	6	1	7
東大阪市	210	76	286	172	143	315
泉南市	8	3	11	9	3	12
四條畷市	9	3	12	10	3	13
交野市	24	9	33	17	18	35
大阪狭山市	4	1	5	5	1	6
阪南市	19	7	26	15	14	29
島本町	3	1	4	3	2	5
豊能町	0	0	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0	0	0
忠岡町	11	4	15	9	7	16
熊取町	2	1	3	2	1	3
田尻町	2	1	3	2	0	2
岬町	4	1	5	4	2	6
太子町	1	0	1	1	0	1
河南町	2	1	3	2	1	3
千早赤阪村	1	0	1	1	0	1

5. その他の被害

5.1 震災廃棄物量(災害廃棄物)

(2) 上町断層帯①

市区町村名	仮置き場面積(ha)			災害廃棄物量(万t)		
	可燃物	不燃物	合計	解体廃棄物	片付けごみ及び公物	合計
大阪市 都島区	60	22	82	64	26	90
大阪市 福島区	33	12	45	35	16	51
大阪市 此花区	18	7	25	22	6	28
大阪市 西区	18	6	24	22	5	27
大阪市 港区	30	11	41	36	10	46
大阪市 大正区	26	10	36	30	9	39
大阪市 天王寺区	34	13	47	32	20	52
大阪市 浪速区	16	6	22	18	7	25
大阪市 西淀川区	27	10	37	32	8	40
大阪市 東淀川区	57	21	78	62	24	86
大阪市 東成区	63	23	86	59	36	95
大阪市 生野区	135	49	184	125	78	203
大阪市 旭区	87	32	119	81	50	131
大阪市 城東区	68	25	93	68	34	102
大阪市 阿倍野区	93	34	127	81	58	139
大阪市 住吉区	63	23	86	57	38	95
大阪市 東住吉区	87	32	119	77	53	130
大阪市 西成区	50	18	68	46	28	74
大阪市 淀川区	93	34	127	93	46	139
大阪市 鶴見区	28	10	38	28	13	41
大阪市 住之江区	43	16	59	42	23	65
大阪市 平野区	59	22	81	57	32	89
大阪市 北区	46	17	63	48	22	70
大阪市 中央区	32	12	44	34	15	49
堺市 堺区	140	51	191	130	80	210
堺市 中区	176	64	240	155	109	264
堺市 東区	153	56	209	136	94	230
堺市 西区	204	74	278	179	127	306
堺市 南区	22	8	30	24	10	34
堺市 北区	96	35	131	90	55	145
堺市 美原区	66	24	90	58	40	98

大阪市	1,266	465	1,731	1,249	657	1,906
堺市	857	312	1,169	772	515	1,287

合計	6,310	2,299	8,609	5,688	3,783	9,471
-----------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

市区町村名	仮置き場面積(ha)			災害廃棄物量(万t)		
	可燃物	不燃物	合計	解体廃棄物	片付けごみ及び公物	合計
岸和田市	216	79	295	177	147	324
豊中市	492	179	671	444	294	738
池田市	75	27	102	70	42	112
吹田市	347	126	473	366	155	521
泉大津市	27	10	37	28	13	41
高槻市	204	74	278	163	143	306
貝塚市	49	18	67	43	30	73
守口市	275	100	375	257	155	412
枚方市	119	43	162	111	67	178
茨木市	218	79	297	215	113	328
八尾市	165	60	225	160	88	248
泉佐野市	88	32	120	77	55	132
富田林市	88	32	120	69	63	132
寝屋川市	204	74	278	160	146	306
河内長野市	19	7	26	15	13	28
松原市	195	71	266	161	132	293
大東市	71	26	97	59	48	107
和泉市	65	24	89	55	43	98
箕面市	96	35	131	95	49	144
柏原市	26	10	36	23	16	39
羽曳野市	177	64	241	131	134	265
門真市	108	39	147	86	76	162
摂津市	35	13	48	34	18	52
高石市	38	14	52	34	23	57
藤井寺市	122	44	166	101	81	182
東大阪市	430	156	586	337	308	645
泉南市	31	11	42	28	19	47
四條畷市	46	17	63	38	30	68
交野市	51	18	69	37	38	75
大阪狭山市	42	15	57	36	28	64
阪南市	22	8	30	17	16	33
島本町	2	1	3	2	0	2
豊能町	0	0	0	0	0	0
能勢町	2	1	3	1	2	3
忠岡町	20	7	27	16	14	30
熊取町	11	4	15	10	7	17
田尻町	3	1	4	4	1	5
岬町	2	1	3	2	1	3
太子町	2	1	3	2	1	3
河南町	4	1	5	3	2	5
千早赤阪村	0	0	0	0	0	0

5. その他の被害

5.1 震災廃棄物量(災害廃棄物)

(3) 上町断層帯②

市区町村名	仮置き場面積(ha)			災害廃棄物量(万t)		
	可燃物	不燃物	合計	解体廃棄物	片付けごみ及び公物	合計
大阪市 都島区	34	12	46	42	8	50
大阪市 福島区	15	6	21	19	4	23
大阪市 此花区	16	6	22	20	5	25
大阪市 西区	16	6	22	20	4	24
大阪市 港区	29	11	40	34	9	43
大阪市 大正区	38	14	52	40	17	57
大阪市 天王寺区	28	10	38	26	16	42
大阪市 浪速区	17	6	23	18	7	25
大阪市 西淀川区	21	8	29	26	5	31
大阪市 東淀川区	36	13	49	42	12	54
大阪市 東成区	68	25	93	62	39	101
大阪市 生野区	137	50	187	125	81	206
大阪市 旭区	63	23	86	58	36	94
大阪市 城東区	38	14	52	41	16	57
大阪市 阿倍野区	100	36	136	89	60	149
大阪市 住吉区	120	44	164	105	75	180
大阪市 東住吉区	106	38	144	95	63	158
大阪市 西成区	95	35	130	84	59	143
大阪市 淀川区	36	13	49	44	10	54
大阪市 鶴見区	14	5	19	15	5	20
大阪市 住之江区	55	20	75	53	30	83
大阪市 平野区	110	40	150	97	67	164
大阪市 北区	18	7	25	22	5	27
大阪市 中央区	35	13	48	35	18	53
堺市 堺区	164	60	224	151	95	246
堺市 中区	208	76	284	184	129	313
堺市 東区	198	72	270	173	124	297
堺市 西区	235	85	320	209	143	352
堺市 南区	82	30	112	78	45	123
堺市 北区	137	50	187	124	82	206
堺市 美原区	50	18	68	45	29	74

大阪市	1,245	455	1,700	1,212	651	1,863
堺市	1,074	391	1,465	964	647	1,611

合計	5,121	1,862	6,983	4,608	3,066	7,674
-----------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

市区町村名	仮置き場面積(ha)			災害廃棄物量(万t)		
	可燃物	不燃物	合計	解体廃棄物	片付けごみ及び公物	合計
岸和田市	283	103	386	237	188	425
豊中市	42	15	57	50	13	63
池田市	2	1	3	2	0	2
吹田市	133	48	181	140	60	200
泉大津市	61	22	83	59	33	92
高槻市	23	8	31	27	7	34
貝塚市	111	40	151	92	75	167
守口市	193	70	263	180	109	289
枚方市	21	8	29	25	6	31
茨木市	26	9	35	30	8	38
八尾市	126	46	172	128	61	189
泉佐野市	149	54	203	126	97	223
富田林市	88	32	120	71	61	132
寝屋川市	110	40	150	86	79	165
河内長野市	53	19	72	40	39	79
松原市	227	82	309	184	156	340
大東市	17	6	23	19	6	25
和泉市	168	61	229	139	114	253
箕面市	3	1	4	5	1	6
柏原市	49	18	67	39	34	73
羽曳野市	158	57	215	118	119	237
門真市	23	8	31	24	11	35
摂津市	18	7	25	18	8	26
高石市	65	24	89	58	40	98
藤井寺市	99	36	135	85	64	149
東大阪市	324	118	442	259	227	486
泉南市	29	10	39	26	17	43
四條畷市	9	3	12	10	3	13
交野市	23	8	31	16	18	34
大阪狭山市	51	19	70	43	33	76
阪南市	16	6	22	12	12	24
島本町	0	0	0	1	0	1
豊能町	0	0	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0	0	0
忠岡町	27	10	37	21	18	39
熊取町	45	16	61	34	34	68
田尻町	18	7	25	17	10	27
岬町	2	1	3	2	1	3
太子町	3	1	4	3	1	4
河南町	6	2	8	5	4	9
千早赤阪村	1	0	1	1	1	2

5. その他の被害

5.1 震災廃棄物量(災害廃棄物)

(4) 生駒断層帯

市区町村名	仮置き場面積(ha)			災害廃棄物量(万t)		
	可燃物	不燃物	合計	解体廃棄物	片付けごみ及び公物	合計
大阪市 都島区	33	12	45	41	8	49
大阪市 福島区	14	5	19	17	4	21
大阪市 此花区	15	6	21	19	4	23
大阪市 西区	14	5	19	18	3	21
大阪市 港区	28	10	38	33	9	42
大阪市 大正区	22	8	30	26	8	34
大阪市 天王寺区	3	1	4	4	1	5
大阪市 浪速区	7	3	10	9	2	11
大阪市 西淀川区	19	7	26	23	4	27
大阪市 東淀川区	29	11	40	35	9	44
大阪市 東成区	15	5	20	19	4	23
大阪市 生野区	24	9	33	29	7	36
大阪市 旭区	22	8	30	25	8	33
大阪市 城東区	25	9	34	29	9	38
大阪市 阿倍野区	5	2	7	5	1	6
大阪市 住吉区	4	2	6	5	1	6
大阪市 東住吉区	9	3	12	10	4	14
大阪市 西成区	13	5	18	14	5	19
大阪市 淀川区	31	11	42	38	8	46
大阪市 鶴見区	13	5	18	15	5	20
大阪市 住之江区	16	6	22	18	6	24
大阪市 平野区	17	6	23	19	6	25
大阪市 北区	14	5	19	17	4	21
大阪市 中央区	9	3	12	11	3	14
堺市 堺区	14	5	19	18	4	22
堺市 中区	4	1	5	5	1	6
堺市 東区	5	2	7	7	1	8
堺市 西区	8	3	11	10	2	12
堺市 南区	1	0	1	1	0	1
堺市 北区	5	2	7	6	1	7
堺市 美原区	20	7	27	18	13	31

大阪市	401	147	548	479	123	602
堺市	57	20	77	65	22	87

合計	2,039	743	2,782	1,953	1,110	3,063
-----------	--------------	------------	--------------	--------------	--------------	--------------

市区町村名	仮置き場面積(ha)			災害廃棄物量(万t)		
	可燃物	不燃物	合計	解体廃棄物	片付けごみ及び公物	合計
岸和田市	13	5	18	10	9	19
豊中市	20	7	27	24	6	30
池田市	1	0	1	1	0	1
吹田市	41	15	56	45	16	61
泉大津市	2	1	3	3	0	3
高槻市	63	23	86	57	37	94
貝塚市	2	1	3	2	1	3
守口市	179	65	244	169	100	269
枚方市	205	75	280	180	128	308
茨木市	23	8	31	28	6	34
八尾市	154	56	210	151	80	231
泉佐野市	0	0	0	0	0	0
富田林市	7	3	10	8	3	11
寝屋川市	121	44	165	101	81	182
河内長野市	1	0	1	1	0	1
松原市	23	8	31	22	12	34
大東市	45	17	62	41	27	68
和泉市	0	0	0	1	0	1
箕面市	1	0	1	1	0	1
柏原市	48	17	65	40	33	73
羽曳野市	47	17	64	38	33	71
門真市	35	13	48	33	20	53
摂津市	12	4	16	14	4	18
高石市	2	1	3	2	0	2
藤井寺市	106	39	145	88	72	160
東大阪市	306	111	417	249	211	460
泉南市	0	0	0	0	0	0
四條畷市	58	21	79	47	40	87
交野市	57	21	78	43	42	85
大阪狭山市	3	1	4	3	1	4
阪南市	0	0	0	0	0	0
島本町	2	1	3	3	1	4
豊能町	0	0	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0	0	0
忠岡町	0	0	0	0	0	0
熊取町	0	0	0	0	0	0
田尻町	0	0	0	0	0	0
岬町	0	0	0	0	0	0
太子町	2	1	3	2	1	3
河南町	2	1	3	2	1	3
千早赤阪村	0	0	0	0	0	0

5. その他の被害

5.1 震災廃棄物量(災害廃棄物)

(5) 有馬高槻断層帯

市区町村名	仮置き場面積(ha)			災害廃棄物量(万t)		
	可燃物	不燃物	合計	解体廃棄物	片付けごみ及び公物	合計
大阪市 都島区	33	12	45	41	8	49
大阪市 福島区	15	5	20	18	4	22
大阪市 此花区	16	6	22	19	4	23
大阪市 西区	14	5	19	18	3	21
大阪市 港区	28	10	38	33	9	42
大阪市 大正区	23	8	31	26	8	34
大阪市 天王寺区	2	1	3	2	1	3
大阪市 浪速区	7	3	10	9	2	11
大阪市 西淀川区	21	8	29	26	5	31
大阪市 東淀川区	35	13	48	41	11	52
大阪市 東成区	13	5	18	17	3	20
大阪市 生野区	18	6	24	22	5	27
大阪市 旭区	20	7	27	23	7	30
大阪市 城東区	23	8	31	27	8	35
大阪市 阿倍野区	2	1	3	3	1	4
大阪市 住吉区	2	1	3	3	0	3
大阪市 東住吉区	4	1	5	5	1	6
大阪市 西成区	13	5	18	14	5	19
大阪市 淀川区	36	13	49	44	10	54
大阪市 鶴見区	9	3	12	10	3	13
大阪市 住之江区	14	5	19	16	5	21
大阪市 平野区	10	3	13	12	3	15
大阪市 北区	15	5	20	18	4	22
大阪市 中央区	8	3	11	10	2	12
堺市 堺区	8	3	11	10	3	13
堺市 中区	1	0	1	1	0	1
堺市 東区	0	0	0	0	0	0
堺市 西区	5	2	7	6	1	7
堺市 南区	0	0	0	0	0	0
堺市 北区	0	0	0	1	0	1
堺市 美原区	0	0	0	0	0	0

大阪市	381	137	518	457	112	569
堺市	14	5	19	18	4	22

合計	2,307	834	3,141	2,241	1,215	3,456
-----------	--------------	------------	--------------	--------------	--------------	--------------

市区町村名	仮置き場面積(ha)			災害廃棄物量(万t)		
	可燃物	不燃物	合計	解体廃棄物	片付けごみ及び公物	合計
岸和田市	1	0	1	1	0	1
豊中市	323	117	440	293	191	484
池田市	70	25	95	67	38	105
吹田市	198	72	270	209	88	297
泉大津市	1	1	2	2	0	2
高槻市	408	148	556	318	294	612
貝塚市	1	0	1	1	0	1
守口市	53	19	72	59	20	79
枚方市	187	68	255	166	114	280
茨木市	219	80	299	216	113	329
八尾市	51	19	70	60	17	77
泉佐野市	0	0	0	0	0	0
富田林市	0	0	0	0	0	0
寝屋川市	47	17	64	48	22	70
河内長野市	0	0	0	0	0	0
松原市	1	0	1	1	0	1
大東市	15	5	20	17	6	23
和泉市	0	0	0	0	0	0
箕面市	70	25	95	72	32	104
柏原市	4	2	6	5	2	7
羽曳野市	0	0	0	1	0	1
門真市	16	6	22	18	7	25
摂津市	25	9	34	24	12	36
高石市	1	0	1	1	0	1
藤井寺市	1	0	1	1	0	1
東大阪市	132	48	180	113	84	197
泉南市	0	0	0	0	0	0
四條畷市	19	7	26	18	11	29
交野市	53	19	72	39	41	80
大阪狭山市	0	0	0	0	0	0
阪南市	0	0	0	0	0	0
島本町	15	5	20	15	7	22
豊能町	1	0	1	1	0	1
能勢町	0	0	0	0	0	0
忠岡町	0	0	0	0	0	0
熊取町	0	0	0	0	0	0
田尻町	0	0	0	0	0	0
岬町	0	0	0	0	0	0
太子町	0	0	0	0	0	0
河南町	0	0	0	0	0	0
千早赤阪村	0	0	0	0	0	0

5. その他の被害

5.1 震災廃棄物量(災害廃棄物)

(6) 中央構造線断層帯

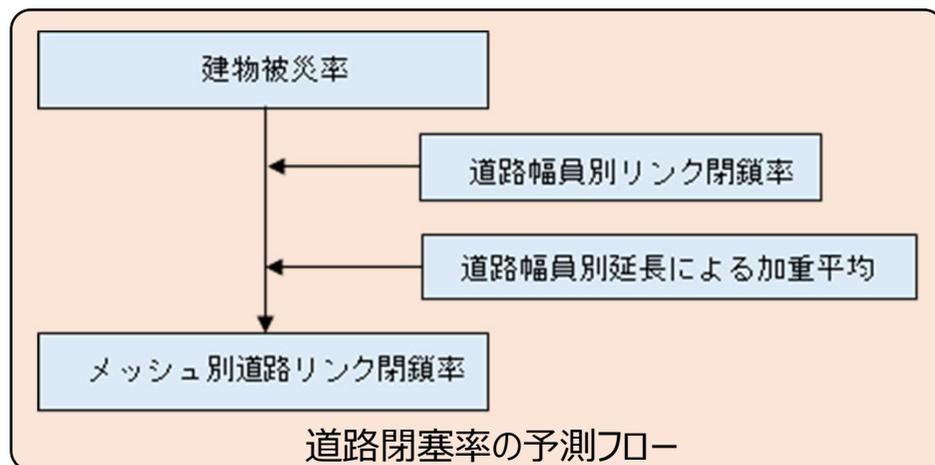
市区町村名	仮置き場面積(ha)			災害廃棄物量(万t)		
	可燃物	不燃物	合計	解体廃棄物	片付けごみ及び公物	合計
大阪市 都島区	32	12	44	40	8	48
大阪市 福島区	14	5	19	17	4	21
大阪市 此花区	15	6	21	19	4	23
大阪市 西区	14	5	19	18	3	21
大阪市 港区	28	10	38	33	9	42
大阪市 大正区	23	8	31	27	8	35
大阪市 天王寺区	3	1	4	3	1	4
大阪市 浪速区	7	3	10	9	2	11
大阪市 西淀川区	19	7	26	24	5	29
大阪市 東淀川区	25	9	34	30	7	37
大阪市 東成区	13	5	18	16	3	19
大阪市 生野区	20	7	27	24	6	30
大阪市 旭区	14	5	19	16	4	20
大阪市 城東区	20	7	27	23	6	29
大阪市 阿倍野区	7	2	9	8	2	10
大阪市 住吉区	11	4	15	12	4	16
大阪市 東住吉区	11	4	15	12	5	17
大阪市 西成区	16	6	22	17	6	23
大阪市 淀川区	30	11	41	37	8	45
大阪市 鶴見区	8	3	11	10	3	13
大阪市 住之江区	19	7	26	22	7	29
大阪市 平野区	16	6	22	18	6	24
大阪市 北区	13	5	18	16	3	19
大阪市 中央区	7	3	10	9	2	11
堺市 堺区	80	29	109	75	45	120
堺市 中区	141	51	192	125	86	211
堺市 東区	162	59	221	143	100	243
堺市 西区	145	53	198	127	90	217
堺市 南区	64	23	87	63	34	97
堺市 北区	70	25	95	64	41	105
堺市 美原区	41	15	56	38	23	61
大阪市	385	141	526	460	116	576
堺市	703	255	958	635	419	1,054
合計	3,158	1,150	4,308	2,865	1,869	4,734

市区町村名	仮置き場面積(ha)			災害廃棄物量(万t)		
	可燃物	不燃物	合計	解体廃棄物	片付けごみ及び公物	合計
岸和田市	201	73	274	167	135	302
豊中市	19	7	26	23	5	28
池田市	0	0	0	1	0	1
吹田市	35	13	48	38	15	53
泉大津市	32	12	44	32	17	49
高槻市	14	5	19	16	5	21
貝塚市	65	23	88	55	41	96
守口市	138	50	188	128	80	208
枚方市	15	5	20	18	5	23
茨木市	5	2	7	6	1	7
八尾市	96	35	131	98	45	143
泉佐野市	107	39	146	93	67	160
富田林市	154	56	210	120	111	231
寝屋川市	84	31	115	66	60	126
河内長野市	80	29	109	60	60	120
松原市	139	50	189	113	95	208
大東市	13	5	18	14	5	19
和泉市	92	34	126	79	59	138
箕面市	0	0	0	0	0	0
柏原市	33	12	45	28	22	50
羽曳野市	153	56	209	114	115	229
門真市	26	9	35	23	16	39
摂津市	7	3	10	9	2	11
高石市	19	7	26	18	10	28
藤井寺市	109	40	149	90	74	164
東大阪市	163	59	222	136	108	244
泉南市	53	19	72	46	33	79
四條畷市	7	3	10	8	3	11
交野市	1	0	1	1	0	1
大阪狭山市	62	23	85	52	40	92
阪南市	28	10	38	21	20	41
島本町	0	0	0	0	0	0
豊能町	0	0	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0	0	0
忠岡町	22	8	30	17	16	33
熊取町	27	10	37	22	19	41
田尻町	18	6	24	17	10	27
岬町	10	4	14	9	7	16
太子町	19	7	26	14	15	29
河南町	19	7	26	14	15	29
千早赤阪村	5	2	7	4	3	7

5. その他の被害

5.2 道路閉塞(道路リンク)

- ✓ 幅員**13m**未満の道路を対象に幅員別の道路リンク閉塞率をメッシュ別に算定。
- ✓ 道路リンク閉塞率は、揺れおよび液状化による建物被災率（全壊率 + 1/2半壊率）から下記の式を用いて算定。



【幅員**3m**未満の道路】

$$\text{道路リンク閉塞率 (\%)} = 1.28 \times \text{建物被災率 (\%)}$$

【幅員**3m**以上**5.5m**未満の道路】

$$\text{道路リンク閉塞率 (\%)} = 0.604 \times \text{建物被災率 (\%)}$$

【幅員**5.5m**以上**13m**未満の道路】

$$\text{道路リンク閉塞率 (\%)} = 0.194 \times \text{建物被災率 (\%)}$$

(メッシュ別道路リンク閉塞率)

$$\frac{\sum \{ (\text{道路幅員別延長}) \times (\text{道路幅員別リンク閉塞率}) \}}{\sum (\text{道路幅員別延長})}$$

南海トラフ巨大地震の被害想定項目及び手法の概要（内閣府、令和7年3月）より

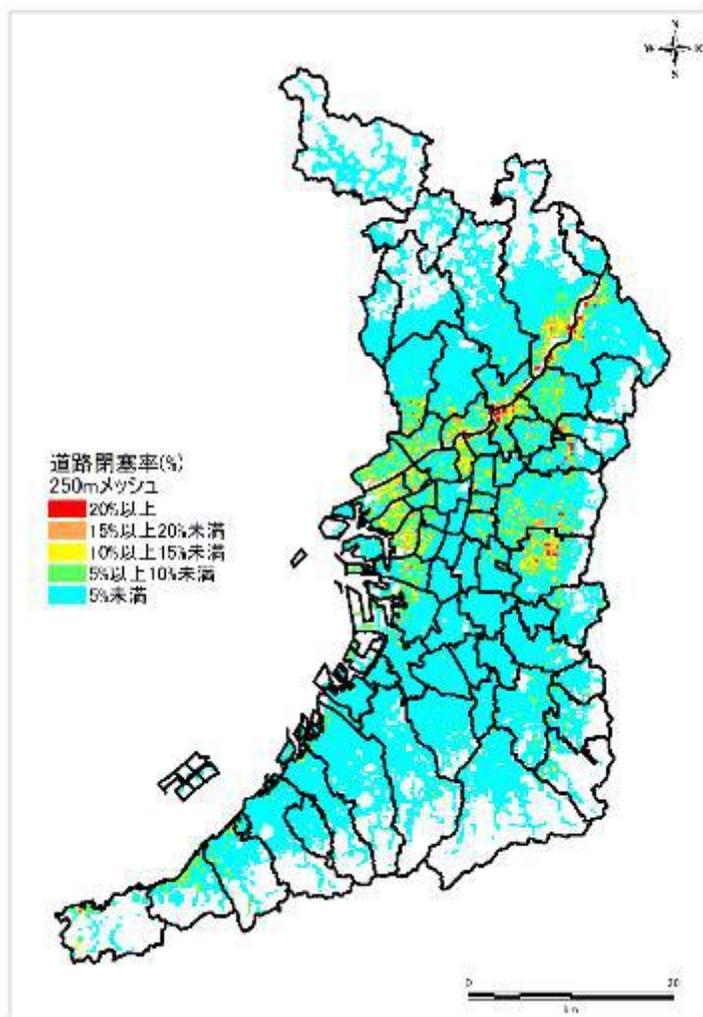
幅員別道路延長

市名	道路幅員別延長(km)			
	5.5m以上 13.0m未満	3.0m以上 5.5m未満	3.0m未満	13m未満道路 延長合計
南海トラフ地震	8,563	15,645	135	24,343
上町断層帯①				
上町断層帯②				
生駒断層帯				
有馬高槻断層帯				
中央構造線断層帯				

5. その他の被害

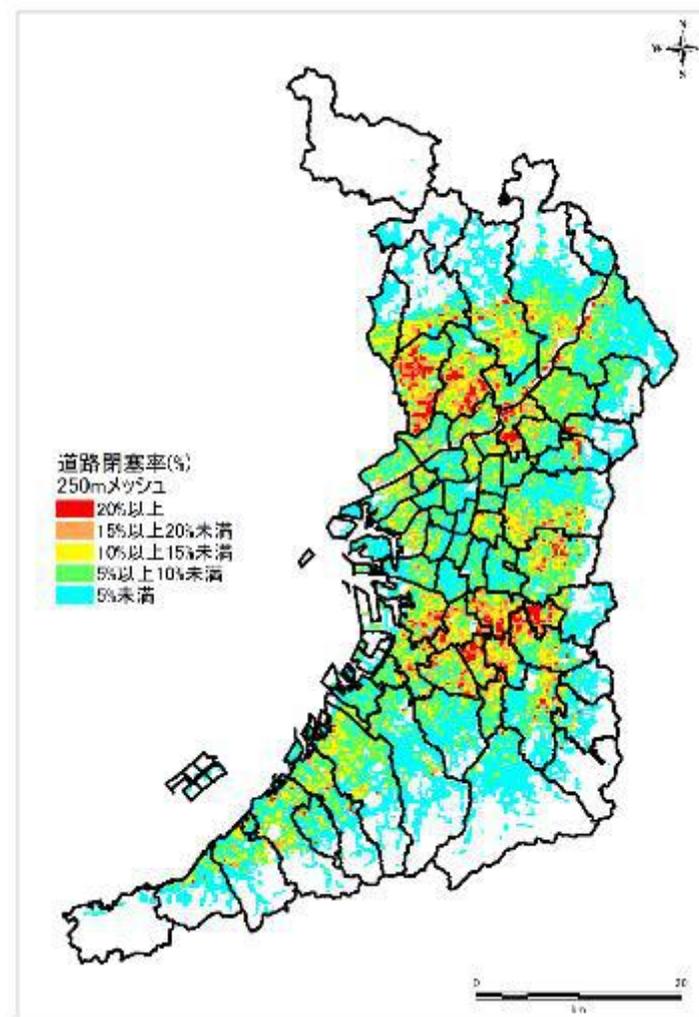
5.2 道路閉塞(道路リンク)

(1) 南海トラフ地震



道路閉塞率

(2) 上町断層帯①

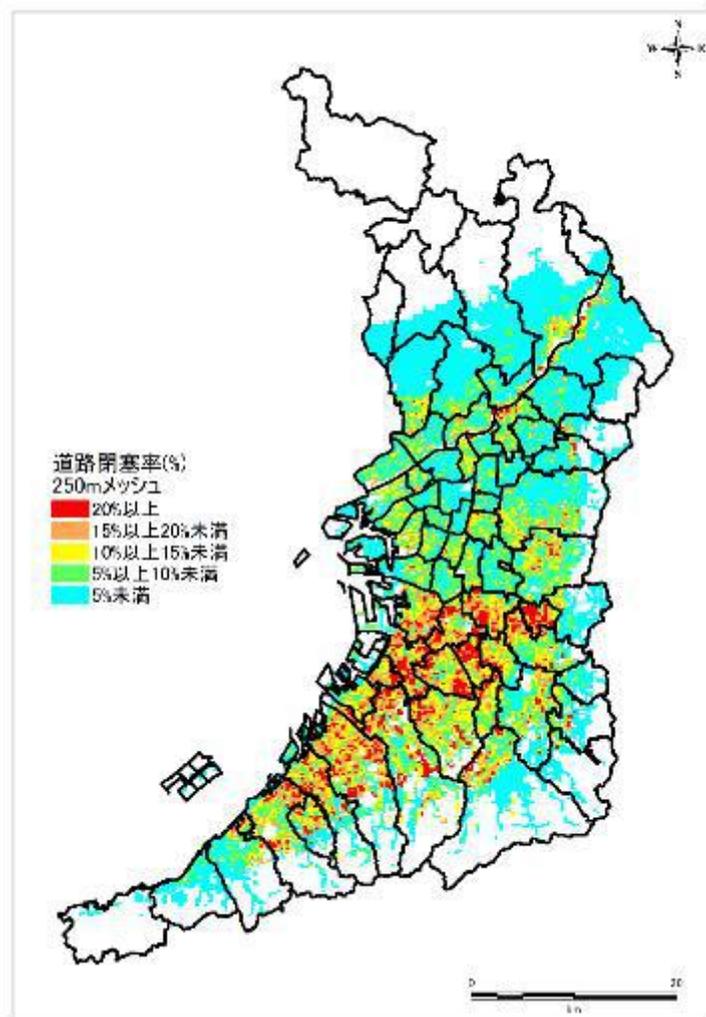


道路閉塞率

5. その他の被害

5.2 道路閉塞(道路リンク)

(3) 上町断層帯②



道路閉塞率

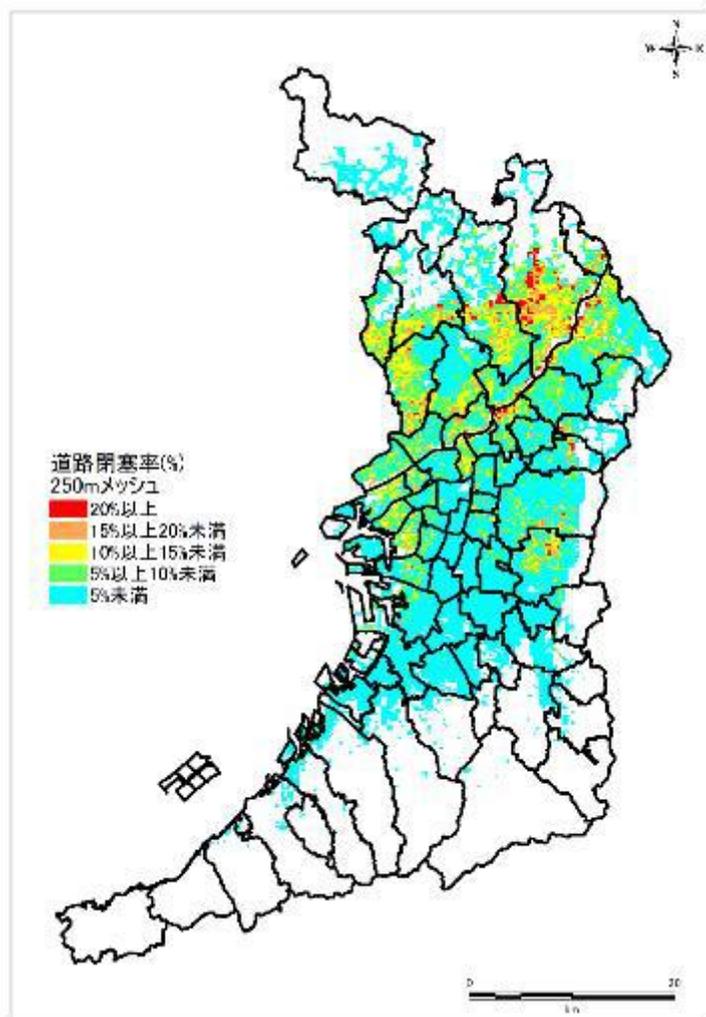
(4) 生駒断層帯

道路閉塞率

5. その他の被害

5.2 道路閉塞(道路リンク)

(5) 有馬高槻断層帯



道路閉塞率

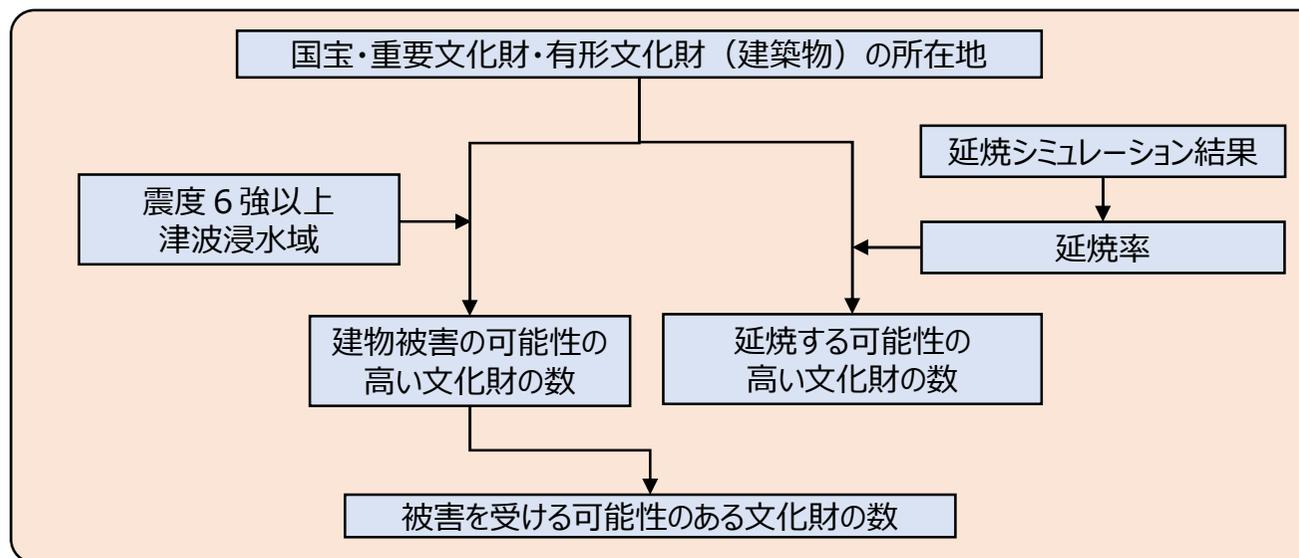
(6) 中央構造線断層帯

道路閉塞率

5. その他の被害

5.3 文化財

- ✓ 津波浸水域、震度6強以上の地域、または焼失可能性の高い地域に存在する国宝・重要文化財・有形文化財（建造物）の数を集計。



文化財被害の予測フロー

被害を受ける可能性のある文化財（箇所）

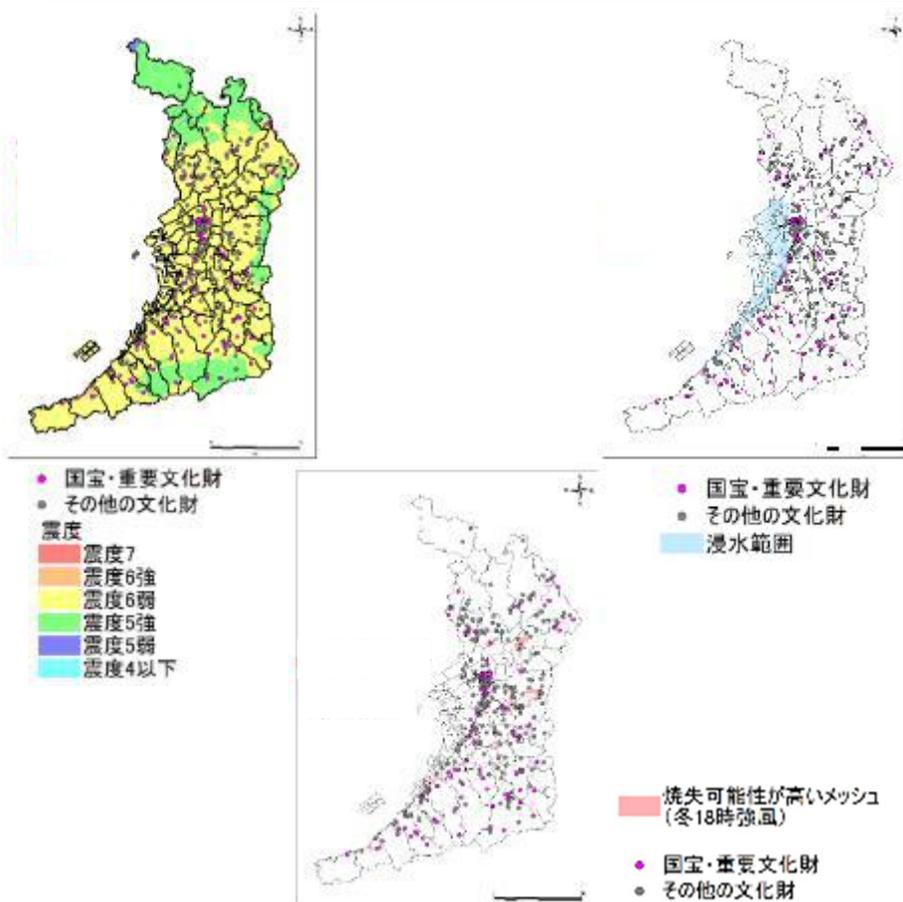
想定地震	前回調査	今回調査
(1) 南海トラフ地震	39	49
(2) 上町断層帯①	78	363
(3) 上町断層帯②	60	278
(4) 生駒断層帯	43	40
(5) 有馬高槻断層帯	24	92
(6) 中央構造線断層帯	48	172

5. その他の被害

5.3 文化財

(1) 南海トラフ地震

✓ 被害を受ける可能性のある全49カ所のうち、津波によるものが過半数を占める。



文化財および震度分布図、津波浸水想定区域
焼失可能性の高いエリア

市区町村名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
大阪市 都島区	0	0	0	0
大阪市 福島区	0	1	0	1
大阪市 此花区	0	4	0	4
大阪市 西区	0	2	0	2
大阪市 港区	0	0	0	0
大阪市 大正区	0	0	0	0
大阪市 天王寺区	0	0	0	0
大阪市 浪速区	0	0	0	0
大阪市 西淀川区	0	2	0	2
大阪市 東淀川区	0	0	0	0
大阪市 東成区	0	0	0	0
大阪市 生野区	0	0	0	0
大阪市 旭区	0	0	0	0
大阪市 城東区	0	0	0	0
大阪市 阿倍野区	0	0	0	0
大阪市 住吉区	0	0	0	0
大阪市 東住吉区	0	0	0	0
大阪市 西成区	0	1	0	1
大阪市 淀川区	0	1	0	1
大阪市 鶴見区	0	0	0	0
大阪市 住之江区	0	1	0	1
大阪市 平野区	0	0	0	0
大阪市 北区	0	0	0	0
大阪市 中央区	0	0	0	0
堺市 堺区	0	1	2	3
堺市 中区	0	0	0	0
堺市 東区	0	0	1	1
堺市 西区	0	6	0	6
堺市 南区	0	0	0	0
堺市 北区	0	0	0	0
堺市 美原区	0	0	0	0

市名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
大阪市	0	12	0	12
堺市	0	7	3	10
合計	1	26	24	49

市区町村名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
岸和田市	0	0	2	2
豊中市	0	0	0	0
池田市	0	0	0	0
吹田市	0	0	0	0
泉大津市	0	1	0	1
高槻市	0	0	0	0
貝塚市	0	4	0	4
守口市	0	0	1	1
枚方市	0	0	0	0
茨木市	0	0	0	0
八尾市	0	0	0	0
泉佐野市	0	0	0	0
富田林市	0	0	8	8
寝屋川市	0	0	0	0
河内長野市	0	0	0	0
松原市	0	0	1	1
大東市	0	0	0	0
和泉市	0	0	0	0
箕面市	0	0	0	0
柏原市	0	0	0	0
羽曳野市	0	0	0	0
門真市	0	0	2	2
摂津市	0	0	0	0
高石市	0	0	0	0
藤井寺市	0	0	0	0
東大阪市	0	0	3	3
泉南市	0	0	0	0
四條畷市	0	0	0	0
交野市	0	0	2	2
大阪狭山市	0	0	0	0
阪南市	1	0	0	1
島本町	0	0	0	0
豊能町	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0
忠岡町	0	2	2	2
熊取町	0	0	0	0
田尻町	0	0	0	0
岬町	0	0	0	0
太子町	0	0	0	0
河南町	0	0	0	0
千早赤阪村	0	0	0	0

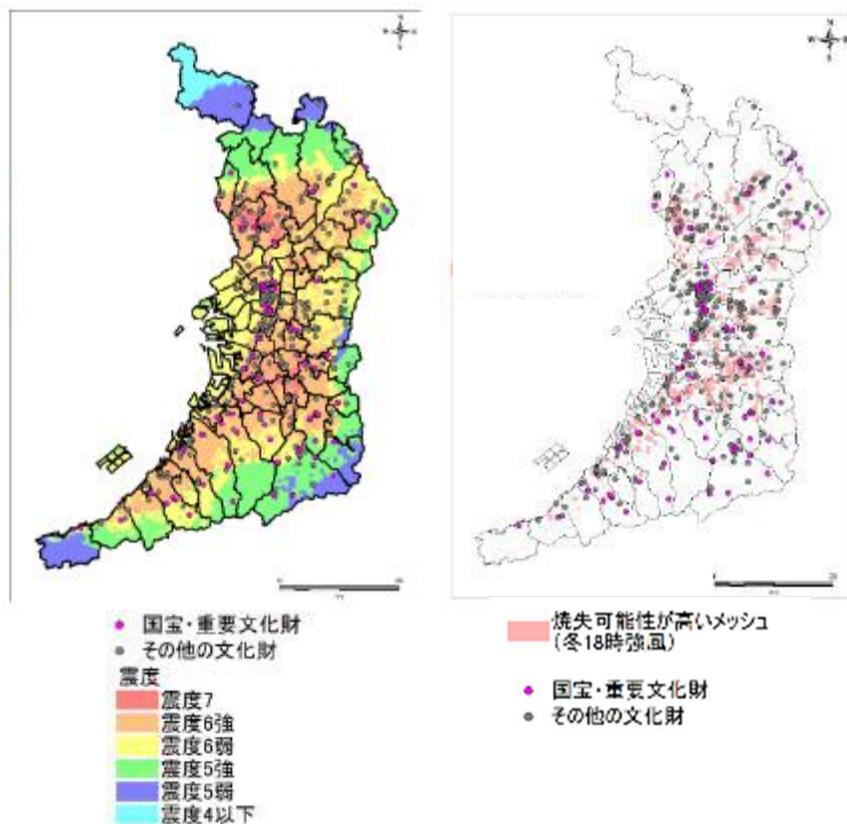
※被害を受ける可能性のある文化財数については、重複するものがあるため
揺れ、津波、火災の合計とは一致しない

5. その他の被害

5.3 文化財

(2) 上町断層帯①

✓ 被害を受ける可能性のある全363カ所のうち、揺れによるものが過半数を占める。



文化財および震度分布図、焼失可能性の高いエリア

市区町村名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
大阪市 都島区	0	0	0	0
大阪市 福島区	1	0	0	1
大阪市 此花区	0	0	0	0
大阪市 西区	2	0	0	2
大阪市 港区	0	0	0	0
大阪市 大正区	0	0	0	0
大阪市 天王寺区	31	0	0	31
大阪市 浪速区	2	0	1	2
大阪市 西淀川区	1	0	0	1
大阪市 東淀川区	0	0	0	0
大阪市 東成区	0	0	0	0
大阪市 生野区	3	0	1	3
大阪市 旭区	0	0	0	0
大阪市 城東区	0	0	0	0
大阪市 阿倍野区	10	0	2	10
大阪市 住吉区	10	0	0	10
大阪市 東住吉区	1	0	0	1
大阪市 西成区	4	0	2	4
大阪市 淀川区	1	0	0	1
大阪市 鶴見区	0	0	0	0
大阪市 住之江区	1	0	0	1
大阪市 平野区	5	0	7	11
大阪市 北区	10	0	2	10
大阪市 中央区	36	0	1	36
堺市 堺区	15	0	8	15
堺市 中区	2	0	1	2
堺市 東区	1	0	1	1
堺市 西区	8	0	3	8
堺市 南区	7	0	0	7
堺市 北区	4	0	1	4
堺市 美原区	2	0	0	2

市名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
大阪市	118	0	16	124
堺市	39	0	14	39
合計	352	0	111	363

市区町村名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
岸和田市	7	0	6	8
豊中市	30	0	10	30
池田市	6	0	0	6
吹田市	15	0	5	15
泉大津市	6	0	2	7
高槻市	11	0	9	11
貝塚市	18	0	3	18
守口市	1	0	1	1
枚方市	6	0	1	6
茨木市	3	0	0	3
八尾市	1	0	1	1
泉佐野市	14	0	5	15
富田林市	12	0	8	12
寝屋川市	4	0	1	4
河内長野市	4	0	3	4
松原市	5	0	2	5
大東市	0	0	0	0
和泉市	5	0	1	5
箕面市	4	0	2	4
柏原市	0	0	0	0
羽曳野市	5	0	4	5
門真市	2	0	2	2
摂津市	1	0	0	1
高石市	1	0	0	1
藤井寺市	4	0	4	4
東大阪市	9	0	5	11
泉南市	3	0	0	3
四條畷市	2	0	2	2
交野市	3	0	2	3
大阪狭山市	3	0	0	3
阪南市	2	0	0	2
島本町	0	0	0	0
豊能町	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0
忠岡町	2	0	2	2
熊取町	1	0	0	1
田尻町	1	0	0	1
岬町	0	0	0	0
太子町	3	0	0	3
河南町	1	0	0	1
千早赤阪村	0	0	0	0

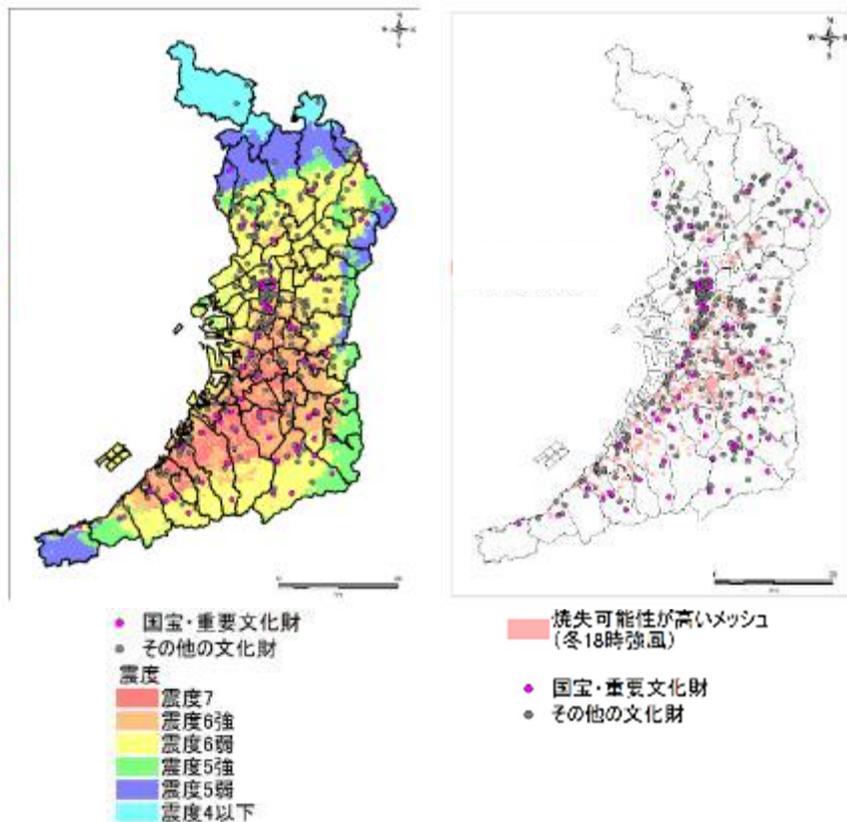
※被害を受ける可能性のある文化財数については、重複するものがあるため揺れ、津波、火災の合計とは一致しない

5. その他の被害

5.3 文化財

(3) 上町断層帯②

✓ 被害を受ける可能性のある全278カ所のうち、揺れによるものが過半数を占める。



文化財および震度分布図、焼失可能性の高いエリア

市区町村名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
大阪市 都島区	0	0	0	0
大阪市 福島区	0	0	0	0
大阪市 此花区	0	0	0	0
大阪市 西区	0	0	0	0
大阪市 港区	0	0	0	0
大阪市 大正区	0	0	0	0
大阪市 天王寺区	31	0	3	31
大阪市 浪速区	2	0	1	2
大阪市 西淀川区	0	0	0	0
大阪市 東淀川区	0	0	0	0
大阪市 東成区	0	0	0	0
大阪市 生野区	2	0	1	3
大阪市 旭区	0	0	0	0
大阪市 城東区	0	0	0	0
大阪市 阿倍野区	10	0	2	10
大阪市 住吉区	10	0	4	10
大阪市 東住吉区	1	0	0	1
大阪市 西成区	4	0	2	4
大阪市 淀川区	0	0	0	0
大阪市 鶴見区	0	0	0	0
大阪市 住之江区	1	0	0	1
大阪市 平野区	5	0	9	11
大阪市 北区	1	0	0	1
大阪市 中央区	15	0	2	15
堺市 堺区	15	0	8	15
堺市 中区	2	0	0	2
堺市 東区	1	0	1	1
堺市 西区	8	0	3	8
堺市 南区	7	0	0	7
堺市 北区	4	0	2	4
堺市 美原区	2	0	0	2

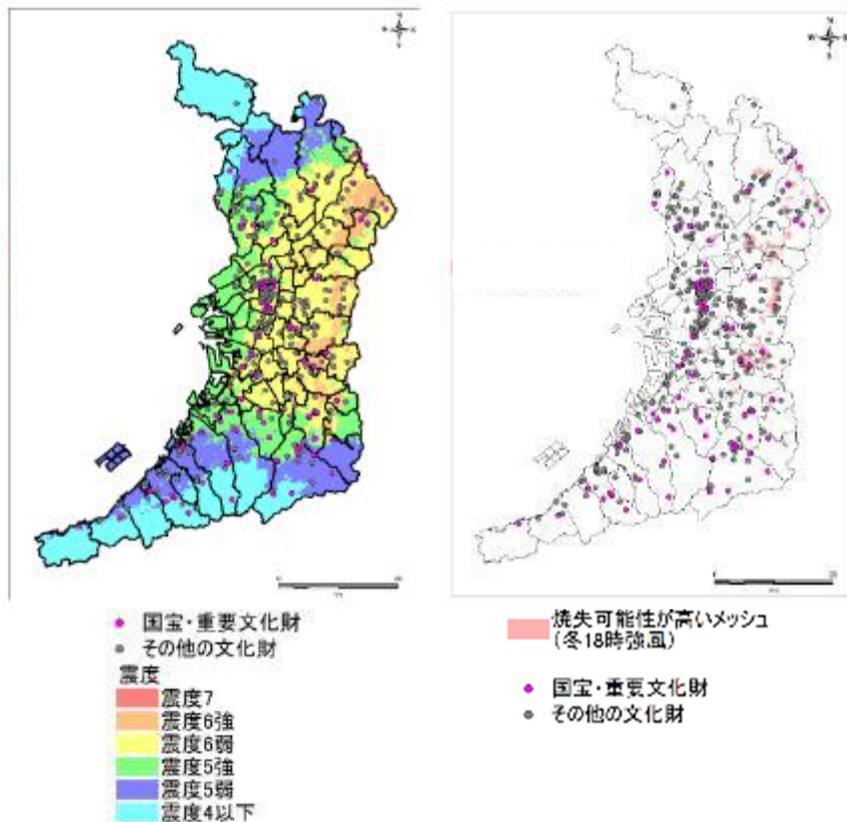
市区町村名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
岸和田市	10	0	3	10
豊中市	1	0	0	1
池田市	0	0	0	0
吹田市	4	0	0	4
泉大津市	8	0	1	8
高槻市	0	0	0	0
貝塚市	19	0	8	20
守口市	0	0	1	1
枚方市	0	0	0	0
茨木市	0	0	0	0
八尾市	1	0	1	1
泉佐野市	15	0	5	15
富田林市	12	0	8	12
寝屋川市	0	0	0	0
河内長野市	27	0	2	27
松原市	5	0	5	5
大東市	0	0	0	0
和泉市	9	0	1	9
箕面市	0	0	0	0
柏原市	0	0	0	0
羽曳野市	5	0	3	5
門真市	0	0	0	0
摂津市	0	0	0	0
高石市	1	0	0	1
藤井寺市	4	0	4	4
東大阪市	4	0	5	8
泉南市	1	0	1	1
四條畷市	0	0	0	0
交野市	0	0	2	2
大阪狭山市	3	0	0	3
阪南市	1	0	0	1
島本町	0	0	0	0
豊能町	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0
忠岡町	2	0	2	2
熊取町	1	0	1	1
田尻町	2	0	2	2
岬町	0	0	0	0
太子町	5	0	0	5
河南町	1	0	0	1
千早赤阪村	1	0	0	1

市名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
大阪市	82	0	24	89
堺市	39	0	14	39
合計	263	0	93	278

※被害を受ける可能性のある文化財数については、重複するものがあるため揺れ、津波、火災の合計とは一致しない

5. その他の被害

5.3 文化財 (4) 生駒断層帯



文化財および震度分布図、焼失可能性の高いエリア

市区町村名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
大阪市 都島区	0	0	0	0
大阪市 福島区	0	0	0	0
大阪市 此花区	0	0	0	0
大阪市 西区	0	0	0	0
大阪市 港区	0	0	0	0
大阪市 大正区	0	0	0	0
大阪市 天王寺区	0	0	0	0
大阪市 浪速区	0	0	0	0
大阪市 西淀川区	0	0	0	0
大阪市 東淀川区	0	0	0	0
大阪市 東成区	0	0	0	0
大阪市 生野区	0	0	0	0
大阪市 旭区	0	0	0	0
大阪市 城東区	0	0	0	0
大阪市 阿倍野区	0	0	0	0
大阪市 住吉区	0	0	0	0
大阪市 東住吉区	0	0	0	0
大阪市 西成区	0	0	0	0
大阪市 淀川区	0	0	0	0
大阪市 鶴見区	0	0	0	0
大阪市 住之江区	0	0	0	0
大阪市 平野区	0	0	0	0
大阪市 北区	0	0	0	0
大阪市 中央区	0	0	0	0
堺市 堺区	0	0	0	0
堺市 中区	0	0	0	0
堺市 東区	0	0	0	0
堺市 西区	0	0	0	0
堺市 南区	0	0	0	0
堺市 北区	0	0	0	0
堺市 美原区	0	0	0	0

市区町村名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
岸和田市	0	0	0	0
豊中市	0	0	0	0
池田市	0	0	0	0
吹田市	0	0	0	0
泉大津市	0	0	0	0
高槻市	0	0	0	0
貝塚市	0	0	0	0
守口市	0	0	1	1
枚方市	7	0	7	10
茨木市	1	0	1	1
八尾市	2	0	0	2
泉佐野市	0	0	0	0
富田林市	0	0	0	0
寝屋川市	0	0	0	0
河内長野市	0	0	0	0
松原市	0	0	0	0
大東市	0	0	0	0
和泉市	0	0	0	0
箕面市	0	0	0	0
柏原市	0	0	0	0
羽曳野市	3	0	2	4
門真市	0	0	2	2
摂津市	0	0	0	0
高石市	0	0	0	0
藤井寺市	4	0	4	4
東大阪市	4	0	4	6
泉南市	0	0	0	0
四條畷市	0	0	2	2
交野市	3	0	3	3
大阪狭山市	0	0	0	0
阪南市	0	0	0	0
島本町	1	0	0	1
豊能町	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0
忠岡町	0	0	0	0
熊取町	0	0	0	0
田尻町	0	0	0	0
岬町	0	0	0	0
太子町	3	0	0	3
河南町	1	0	0	1
千早赤阪村	0	0	0	0

市名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
大阪市	0	0	0	0
堺市	0	0	0	0
合計	29	0	26	40

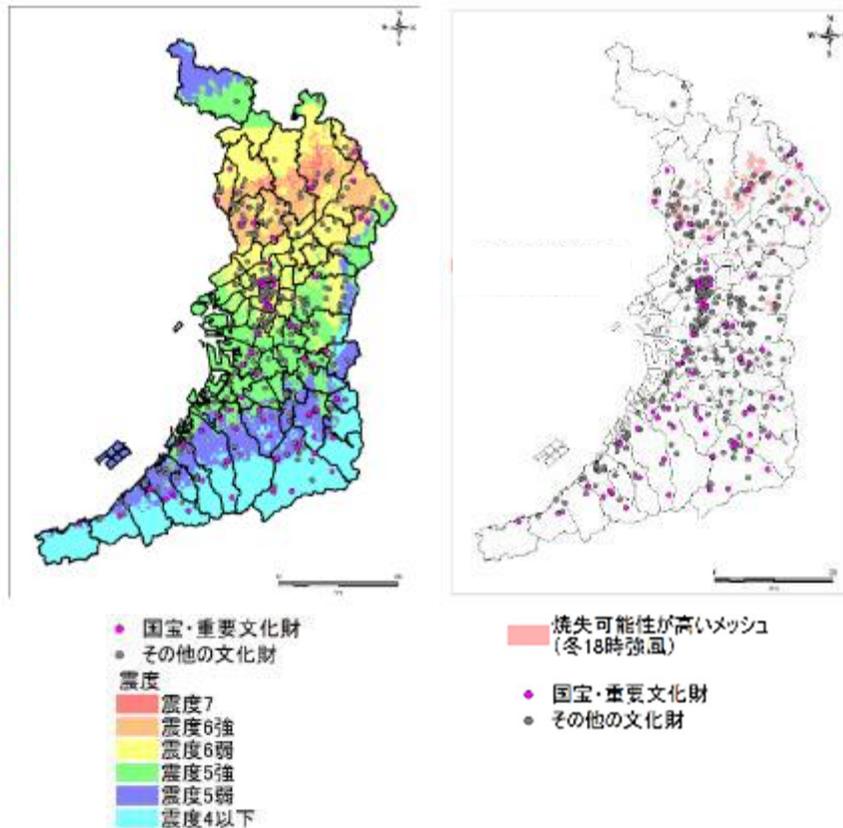
※被害を受ける可能性のある文化財数については、重複するものがあるため揺れ、津波、火災の合計とは一致しない

5. その他の被害

5.3 文化財

(5) 有馬高槻断層帯

✓ 被害を受ける可能性のある全92カ所のうち、揺れによるものが過半数を占める。



文化財および震度分布図、焼失可能性の高いエリア

市区町村名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
大阪市 都島区	0	0	0	0
大阪市 福島区	0	0	0	0
大阪市 此花区	0	0	0	0
大阪市 西区	0	0	0	0
大阪市 港区	0	0	0	0
大阪市 大正区	0	0	0	0
大阪市 天王寺区	0	0	0	0
大阪市 浪速区	0	0	0	0
大阪市 西淀川区	0	0	0	0
大阪市 東淀川区	0	0	0	0
大阪市 東成区	0	0	0	0
大阪市 生野区	0	0	0	0
大阪市 旭区	0	0	0	0
大阪市 城東区	0	0	0	0
大阪市 阿倍野区	0	0	0	0
大阪市 住吉区	0	0	0	0
大阪市 東住吉区	0	0	0	0
大阪市 西成区	0	0	0	0
大阪市 淀川区	0	0	0	0
大阪市 鶴見区	0	0	0	0
大阪市 住之江区	0	0	0	0
大阪市 平野区	0	0	0	0
大阪市 北区	0	0	0	0
大阪市 中央区	0	0	0	0
堺市 堺区	0	0	0	0
堺市 中区	0	0	0	0
堺市 東区	0	0	0	0
堺市 西区	0	0	0	0
堺市 南区	0	0	0	0
堺市 北区	0	0	0	0
堺市 美原区	0	0	0	0

市名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
大阪市	0	0	0	0
堺市	0	0	0	0
合計	88	0	36	92

市区町村名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
岸和田市	0	0	0	0
豊中市	25	0	9	26
池田市	7	0	1	7
吹田市	11	0	0	11
泉大津市	0	0	0	0
高槻市	17	0	13	17
貝塚市	0	0	0	0
守口市	0	0	0	0
枚方市	11	0	7	11
茨木市	3	0	0	3
八尾市	0	0	0	0
泉佐野市	0	0	0	0
富田林市	0	0	0	0
寝屋川市	0	0	0	0
河内長野市	0	0	0	0
松原市	0	0	0	0
大東市	0	0	0	0
和泉市	0	0	0	0
箕面市	4	0	0	4
柏原市	0	0	0	0
羽曳野市	0	0	0	0
門真市	0	0	0	0
摂津市	0	0	0	0
高石市	0	0	0	0
藤井寺市	0	0	0	0
東大阪市	0	0	3	3
泉南市	0	0	0	0
四條畷市	0	0	0	0
交野市	3	0	3	3
大阪狭山市	0	0	0	0
阪南市	0	0	0	0
島本町	7	0	0	7
豊能町	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0
忠岡町	0	0	0	0
熊取町	0	0	0	0
田尻町	0	0	0	0
岬町	0	0	0	0
太子町	0	0	0	0
河南町	0	0	0	0
千早赤阪村	0	0	0	0

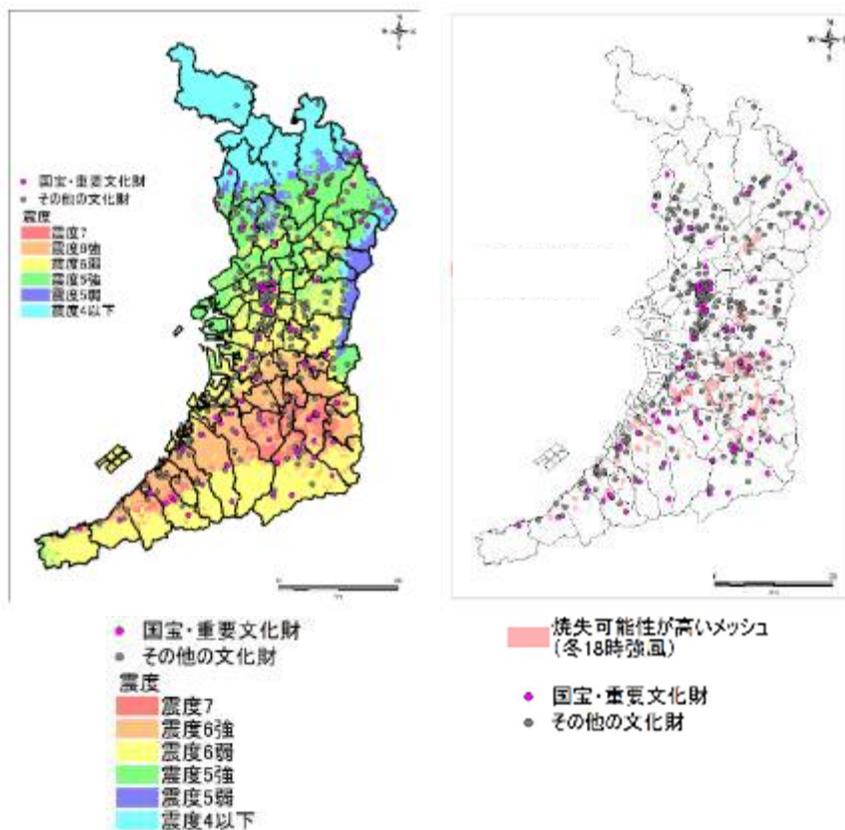
※被害を受ける可能性のある文化財数については、重複するものがあるため揺れ、津波、火災の合計とは一致しない

5. その他の被害

5.3 文化財

(6) 中央構造線断層帯

✓ 被害を受ける可能性のある全172カ所のうち、揺れによるものが過半数を占める。



文化財および震度分布図、焼失可能性の高いエリア

市区町村名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
大阪市 都島区	0	0	0	0
大阪市 福島区	0	0	0	0
大阪市 此花区	0	0	0	0
大阪市 西区	0	0	0	0
大阪市 港区	0	0	0	0
大阪市 大正区	0	0	0	0
大阪市 天王寺区	0	0	0	0
大阪市 浪速区	0	0	0	0
大阪市 西淀川区	0	0	0	0
大阪市 東淀川区	0	0	0	0
大阪市 東成区	0	0	0	0
大阪市 生野区	0	0	0	0
大阪市 旭区	0	0	0	0
大阪市 城東区	0	0	0	0
大阪市 阿倍野区	0	0	0	0
大阪市 住吉区	2	0	0	2
大阪市 東住吉区	0	0	0	0
大阪市 西成区	0	0	0	0
大阪市 淀川区	0	0	0	0
大阪市 鶴見区	0	0	0	0
大阪市 住之江区	0	0	0	0
大阪市 平野区	0	0	0	0
大阪市 北区	0	0	0	0
大阪市 中央区	0	0	0	0
堺市 堺区	5	0	4	7
堺市 中区	2	0	1	2
堺市 東区	1	0	1	1
堺市 西区	5	0	2	5
堺市 南区	7	0	0	7
堺市 北区	4	0	2	4
堺市 美原区	2	0	0	2

市名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
大阪市	2	0	0	2
堺市	26	0	10	28
合計	163	0	60	172

市区町村名	被害を受ける可能性のある文化財数			
	揺れ	津波	火災	
岸和田市	8	0	4	8
豊中市	0	0	0	0
池田市	0	0	0	0
吹田市	0	0	0	0
泉大津市	5	0	1	6
高槻市	0	0	0	0
貝塚市	18	0	4	19
守口市	0	0	1	1
枚方市	0	0	0	0
茨木市	0	0	0	0
八尾市	1	0	1	1
泉佐野市	15	0	5	15
富田林市	13	0	10	13
寝屋川市	0	0	0	0
河内長野市	31	0	3	31
松原市	4	0	1	4
大東市	0	0	0	0
和泉市	8	0	1	8
箕面市	0	0	0	0
柏原市	0	0	0	0
羽曳野市	5	0	3	5
門真市	0	0	2	2
摂津市	0	0	0	0
高石市	0	0	0	0
藤井寺市	4	0	4	4
東大阪市	0	0	2	2
泉南市	3	0	1	3
四條畷市	0	0	0	0
交野市	0	0	0	0
大阪狭山市	3	0	0	3
阪南市	2	0	0	2
島本町	0	0	0	0
豊能町	0	0	0	0
能勢町	0	0	0	0
忠岡町	2	0	2	2
熊取町	1	0	0	1
田尻町	2	0	2	2
岬町	1	0	0	1
太子町	5	0	2	5
河南町	1	0	1	1
千早赤阪村	3	0	0	3

※被害を受ける可能性のある文化財数については、重複するものがあるため揺れ、津波、火災の合計とは一致しない

5. その他の被害

5.6 道路上の自動車への落石・崩土

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
<ul style="list-style-type: none"> 伊豆大島近海地震 (S53.1.14) 	<p>1978年伊豆大島近海地震では、全死者25人のうち、ほぼ全員が土砂崩れによる被害であった。特に、道路走行中の自動車やバスが土砂崩れに巻き込まれ、埋没する死亡事故が発生したことが、本地震における人的被害の大きな特徴である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 新潟県中越地震 (H16.7.16) 	<p>2004年新潟県中越地震では、長岡市妙見堰付近で土砂崩落が発生し、道路上の自動車が巻き込まれる要救助事案が発生した。新潟県警察航空隊のヘリコプターによる捜索により、ヘリコプターから降下したレンジャー隊員が、発災当初から行方不明となっていた母子3人の車両の一部であることを確認した。その後、災害救助犬の捜索により車内に生存者がいることが判明し、警察・消防などの関係機関が連携して救助活動を行った結果、男児1人が発災から4日後に救出された。</p>

- ✓ 過去の災害実績や震度6弱以上の地震による被害想定から、道路上の自動車への落石・崩土について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
道路上の自動車への落石・崩土	直後	<ul style="list-style-type: none"> 走行中の自動車が、地震による落石や崩土に巻き込まれ、死傷者等が発生 落石や崩土に巻き込まれた被災者を発見・救助するため、赤外線探知機などの専門的な機材が必要 危険な場所での作業となることから、レスキュー部隊などの特殊な人的資源を投入する必要
	数日後	<ul style="list-style-type: none"> 二次的な土砂崩壊を回避するため、適切な指示を行う専門家などの派遣が必要 救出・救助作業中の余震などにより、落石や崩土が再度発生し、被災者や救助部隊が二次被災するおそれ

5. その他の被害

5.7 交通人的被害(道路)

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
➤ 阪神・淡路大震災 (H7.1.17)	3号神戸線及び5号湾岸線で16名の死者、79名の負傷者が発生した（「大阪府地震被害想定調査」(H9大阪府)）
➤ 東日本大震災 (H23.3.11)	停電状況下で交通施設が機能停止することにより交通事故が発生した。

出典：内閣府、南海トラフ巨大地震の被害想定項目及び手法の概要（令和7年3月）

✓ 過去の災害実績や震度6弱以上の地震による被害想定から、道路に関する交通人的被害について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
交通人的被害 (道路)	直後	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 運転ミスによる交通事故、橋梁の落橋・倒壊に伴う事故、道路への落石・斜面崩壊・道路の陥没等による交通事故、津波に巻き込まれる、交通施設が機能停止に伴う交通事故等が発生 ➤ 地下トンネルや地下駐車場が津波浸水することにより人的被害が発生 ➤ 倒壊した建物や落下物等による道路閉塞、交通事故の発生等により、緊急搬送車両の通行の支障となり、二次的な人的被害が発生 ➤ 地下トンネルや地下駐車場が津波浸水することにより人的被害が発生
	数日後	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 道路渋滞による緊急搬送車両（医師や負傷者の搬送等）の遅れによる症状悪化

5. その他の被害

5.8 交通人的被害(鉄道)

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
➤ 東日本大震災 (H23.3.11)	JR仙台駅でホーム天井のパネルが落下する等の施設被害が発生した。(人的被害はなし) →状況によってはけが人が発生する可能性がある。
➤ 大阪北部の地震 (H30.6.18)	駅間停車は153本(約14万人)、影響人員は約240万人に上った。

出典：内閣府、南海トラフ巨大地震の被害想定項目及び手法の概要(令和7年3月)

✓ 過去の災害実績や震度6弱以上の地震による被害想定から、鉄道に関する交通人的被害について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
交通人的被害(鉄道)	直後	<ul style="list-style-type: none">➤ 運行中の揺れによる脱線・衝突事故、運行中の列車が津波にのみ込まれる、急停車等の措置に伴う人的被害等が発生➤ 乗客が列車から避難する際に軌道上等の避難ルートで負傷➤ 列車の脱線や高架からの落下事故等が発生し、線路周辺の地域の住民に人的被害が発生➤ 地下鉄に津波が流入し構内が浸水し、人的被害が発生

5. その他の被害

5.9 治安

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 東日本大震災（H23.3.11） 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 住民が避難した留守宅を狙った空き巣被害が発生する。 ➤ 休業中の商店や金融機関に侵入し、商品やATMから現金を盗難する被害が発生する。 ➤ 被災車両の盗難（転売目的）が発生する。 ➤ 避難生活などによるストレスを背景として、暴行・傷害事件が発生する。 ➤ 震災後、「被害を点検する」と称して住民に接触し、代金を徴収する一方で実際には点検などを行わない悪質商法が発生する。※警視庁や国民生活センターでは、相談窓口の設置や注意喚起のチラシ配布などの対応が行われた。 ➤ 製油所で発生した火災を契機として、「有害物質が発生し、雨とともに地上に降る」といった誤情報やチェーンメールが流布され、製油所がWeb上で否定する事例がみられた。

✓ 過去の災害実績から、治安について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
治安	直後	<ul style="list-style-type: none"> ➤ SNSで多く閲覧されることで収益を得る「インプ稼ぎ」を目的とした偽情報が相次ぐ ➤ 虚偽の救助要請情報に対してリソースが割かれ、救急救助活動に影響 ➤ 数日後にさらに大きな被害が発生するなど、不安を煽るデマ情報が流布され、被災者の混乱や疲労につながる
	数日後	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 避難エリアにおける空き巣等、暴行・傷害行為、悪質商法や義援金詐欺、デマ等が発生 ➤ 避難所などでプライバシーを守られないことや、様々な制約やストレスが重なることで性暴力やDVが発生

5. その他の被害

5.10 海岸保全施設・河川管理施設の沈下

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災 (H23.3.11) 	<ul style="list-style-type: none"> 石巻市などでは大規模な地盤沈下が発生し、満潮の度に市街地が浸水する事態となった。防潮堤・防波堤の洗掘や地盤沈下、液状化により海岸保全施設などの機能が低下し、震災前には防ぐことができていた水害などが発生するおそれが生じた。 (参考) 東北地方整備局の調査(平成23年4月11日)によれば、仙台平野ではゼロメートル地帯の面積が約5倍に拡大したことが明らかとなっている。

✓ 過去の災害実績や震度6弱以上の地震、津波浸水による被害想定から、海岸保全施設・河川管理施設の沈下について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
海岸保全施設・河川管理施設の沈下等	直後	<ul style="list-style-type: none"> 施設設計の基準を超える強い揺れや液状化により、海岸保全施設などが沈下・損壊 堤防や護岸等の基礎地盤が液状化した場合や地震動により損傷等発生した場合、沈下や目地ずれ等が生じ、ゼロメートル地帯が浸水する可能性 地震動により水門等に損傷や傾き等が発生した場合、地震の発生後の台風の上陸時等に、水門が完全に閉鎖できず、高潮等による浸水を抑止できなくなる可能性 港湾施設等に沈下が発生した場合、船舶による緊急輸送に支障が生じ、岸壁の浸水等も発生する可能性
	数日後	<ul style="list-style-type: none"> 避難者が増加する一方で、浸水などにより利用可能な避難所数が減少し、避難スペースの不足や衛生環境の確保が困難となる。その結果、被災地外への広域避難を余儀なくされる 物資や人員の被災地への輸送や、救急救助活動の拠点確保が困難となり、救急救助活動の円滑な実施が阻害 湛水エリアが通行不能となることから、避難所などへの物資配送が困難
	1か月後	<ul style="list-style-type: none"> 湛水エリアにおける排水、土地の高上げ、海岸保全施設・河川管理施設の整備など、インフラや建物建設を開始する前の基盤整備が必要となり、復旧作業の長期化、作業人員の不足、膨大なコストの発生といった課題が発生

5. その他の被害

5.11 孤立集落

- ✓ 幅員**3m**以上の道路を対象として、各集落※（始点）から防災拠点（終点）への到達可否の判定を行い、孤立する可能性がある集落を抽出。
- ✓ 到達可否の判定については、内閣府と同様に始点から終点までの道路上に「震度**6**強以上かつ土砂災害警戒区域等」や「津波浸水域」が位置する場合は通行不可とした。
- ✓ 集落内の全道路からも防災拠点へ到達できない可能性がある集落を孤立する可能性が高い集落と判定した。

※集落は、農林水産省「農林業センサスの農業集落境界」(2020)を用いた。

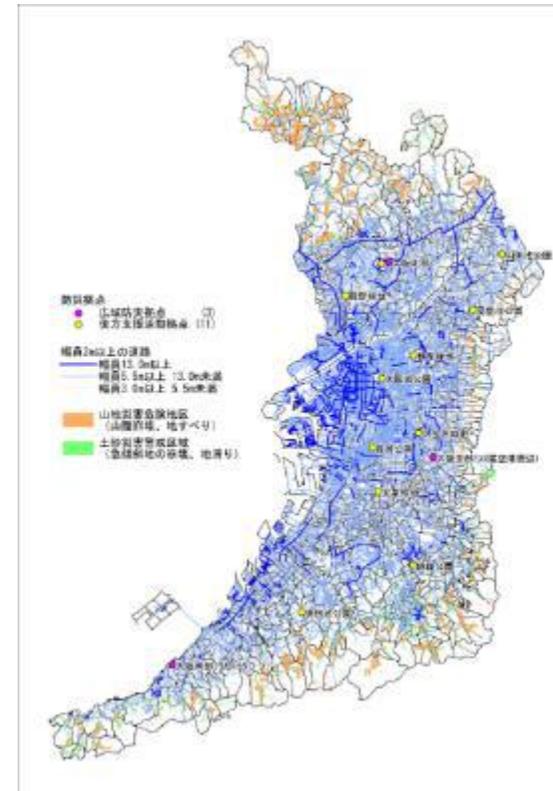
・防災拠点

- 広域防災拠点：3箇所
- 後方支援活動拠点：11箇所

大阪府選定の防災拠点

区分	対象地区	所在地
広域防災拠点	1 大阪北部	吹田市千里万博公園 5-5
	2 大阪中部（八尾空港周辺）	八尾市空港1丁目 209-7
	3 大阪南部（りんくうタウン）	泉南市りんくう南浜 2-14
後方支援活動拠点	※1 日本万国博覧会記念公園	吹田市千里万博公園 1-1
	※2 服部緑地	豊中市服部緑地 1-1
	3 大阪城公園	大阪市中央区大阪城
	4 鶴見緑地	大阪市鶴見区緑地公園 2-163
	5 長居公園	大阪市東住吉区長居公園 1-1
	※6 寝屋川公園	寝屋川市寝屋川公園 1707
	※7 久宝寺緑地	八尾市西久宝寺 323
	8 山田池公園	枚方市山田池公園 1-1
	※9 大泉緑地	堺市北区金岡町 128
	10 錦織公園	富田林市錦織 1560
	11 蜻蛉池公園	岸和田市三ヶ山町大池尻 701

※ 地震に係る広域的支援部隊の集結場所候補地



防災拠点、幅員**3m**以上の道路、土砂災害警戒区域等の位置

5. その他の被害

5.11 孤立集落

✓ 孤立する可能性の高い集落の想定結果を示した。

孤立する可能性の高い集落

地震名	集落数	孤立する可能性の高い集落
南海トラフ地震	1,614 集落	17 集落
上町断層帯①		0 集落
上町断層帯②		4 集落
生駒断層帯		1 集落
有馬高槻断層帯		0 集落
中央構造線断層帯		20 集落

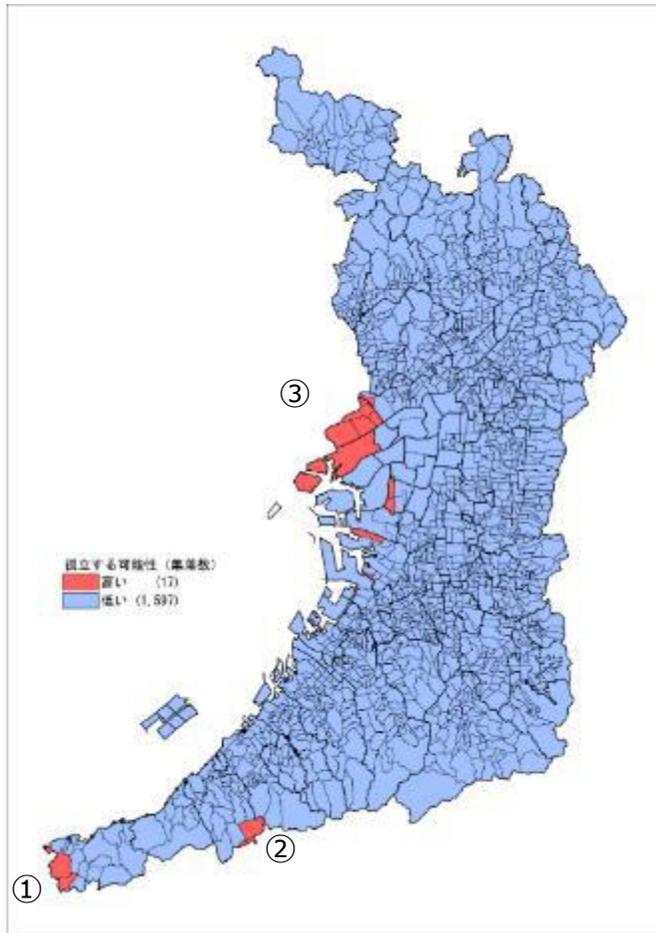
孤立する可能性の高い集落（市区町別結果）

市区町村	孤立する可能性の高い集落数						市区町村	孤立する可能性の高い集落数						
	南海トラフ地震	上町断層帯①	上町断層帯②	生駒断層帯	有馬高槻断層帯	中央構造線断層帯		南海トラフ地震	上町断層帯①	上町断層帯②	生駒断層帯	有馬高槻断層帯	中央構造線断層帯	
大阪市	都島区	0	0	0	0	0	0	岸和田市	0	0	0	0	0	0
	福島区	0	0	0	0	0	0	豊中市	0	0	0	0	0	0
	此花区	1	0	0	0	0	0	池田市	0	0	0	0	0	0
	西区	0	0	0	0	0	0	吹田市	0	0	0	0	0	0
	港区	0	0	0	0	0	0	泉大津市	0	0	0	0	0	0
	大正区	0	0	0	0	0	0	高槻市	0	0	0	0	0	0
	天王寺区	0	0	0	0	0	0	貝塚市	0	0	0	0	0	0
	浪速区	0	0	0	0	0	0	守口市	0	0	0	0	0	0
	西淀川区	5	0	0	0	0	0	枚方市	0	0	0	0	0	0
	東淀川区	0	0	0	0	0	0	茨木市	0	0	0	0	0	0
	東成区	0	0	0	0	0	0	八尾市	0	0	0	0	0	0
	生野区	0	0	0	0	0	0	泉佐野市	0	0	0	0	0	0
	旭区	0	0	0	0	0	0	富田林市	0	0	0	0	0	0
	城東区	0	0	0	0	0	0	寝屋川市	0	0	0	0	0	0
	阿倍野区	0	0	0	0	0	0	河内長野市	0	0	2	0	0	7
	住吉区	0	0	0	0	0	0	松原市	0	0	0	0	0	0
	東住吉区	0	0	0	0	0	0	大東市	0	0	0	0	0	0
	西成区	2	0	0	0	0	0	和泉市	0	0	2	0	0	0
	淀川区	1	0	0	0	0	0	箕面市	0	0	0	0	0	0
	鶴見区	0	0	0	0	0	0	柏原市	0	0	0	0	0	0
	住之江区	1	0	0	0	0	0	羽曳野市	0	0	0	0	0	0
平野区	0	0	0	0	0	0	門真市	0	0	0	0	0	0	
北区	0	0	0	0	0	0	摂津市	0	0	0	0	0	0	
中央区	0	0	0	0	0	0	高石市	0	0	0	0	0	0	
堺市	堺区	2	0	0	0	0	0	藤井寺市	0	0	0	0	0	0
	中区	0	0	0	0	0	0	東大阪市	0	0	0	0	0	0
	東区	0	0	0	0	0	0	泉南市	2	0	0	0	0	4
	西区	0	0	0	0	0	0	四條畷市	0	0	0	0	0	0
	南区	0	0	0	0	0	0	交野市	0	0	0	1	0	0
	北区	0	0	0	0	0	0	大阪狭山市	0	0	0	0	0	0
	美原区	0	0	0	0	0	0	阪南市	0	0	0	0	0	0
							島本町	0	0	0	0	0	0	
							豊能町	0	0	0	0	0	0	
							能勢町	0	0	0	0	0	0	
							忠岡町	0	0	0	0	0	0	
							熊取町	0	0	0	0	0	0	
							田尻町	0	0	0	0	0	0	
							岬町	3	0	0	0	0	3	
							太子町	0	0	0	0	0	0	
							河南町	0	0	0	0	0	2	
							千早赤阪村	0	0	0	0	0	4	
							合計	17	0	4	1	0	20	

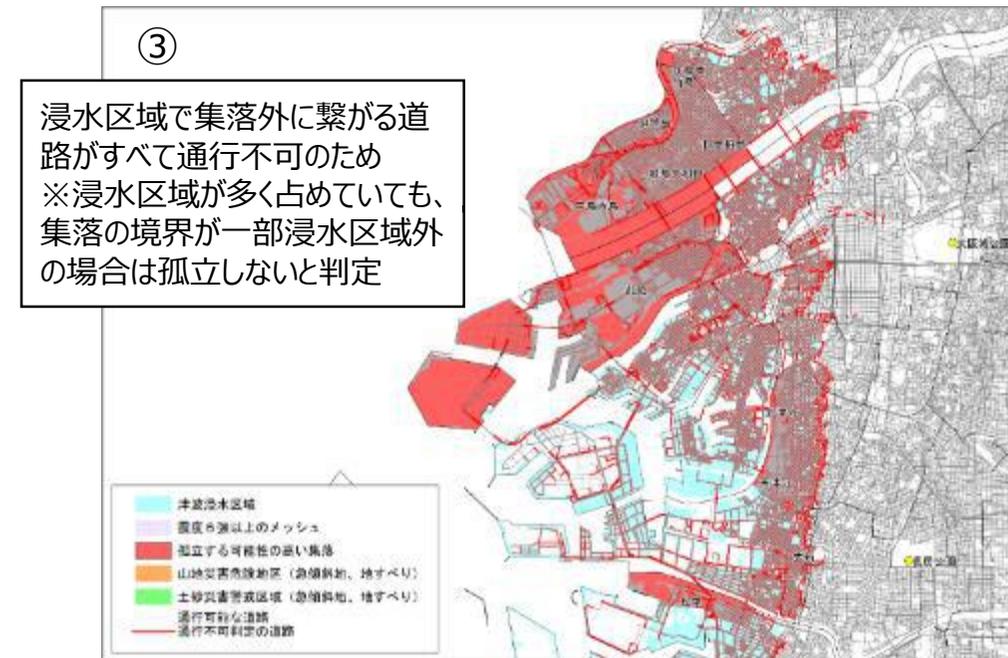
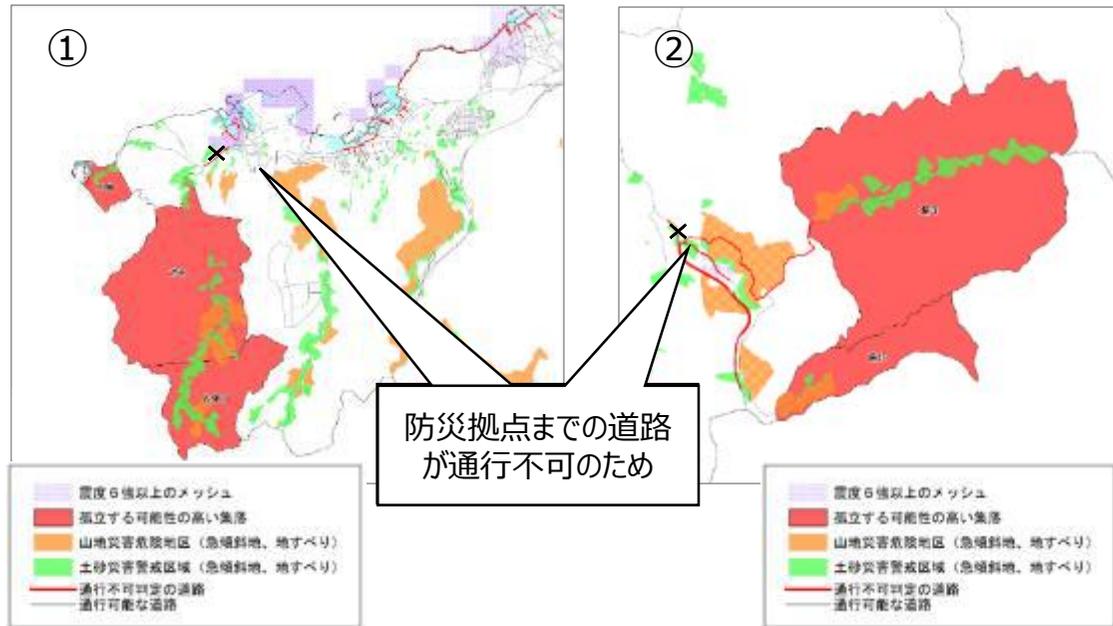
5. その他の被害

5.11 孤立集落

(1) 南海トラフ地震



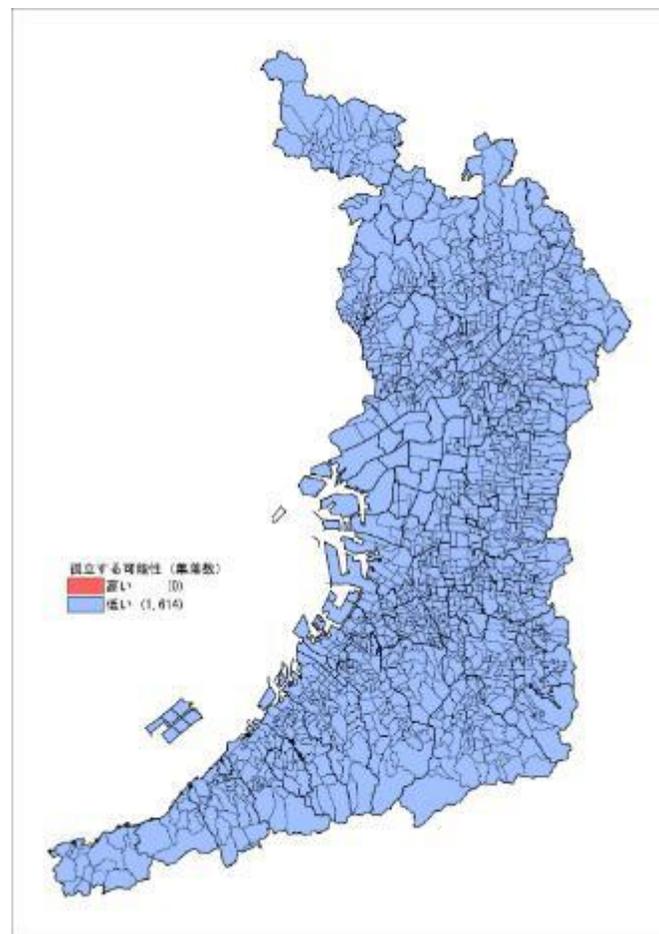
孤立する可能性の高い集落



5. その他の被害

5.11 孤立集落

(2) 上町断層帯①



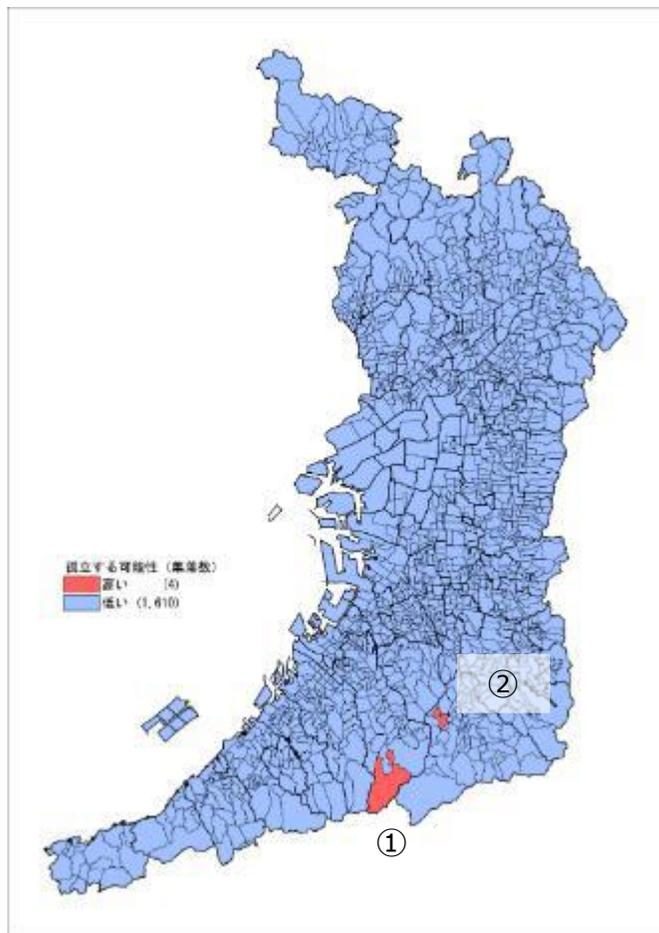
孤立する可能性の高い集落

✓ 孤立する可能性の高い集落はなし

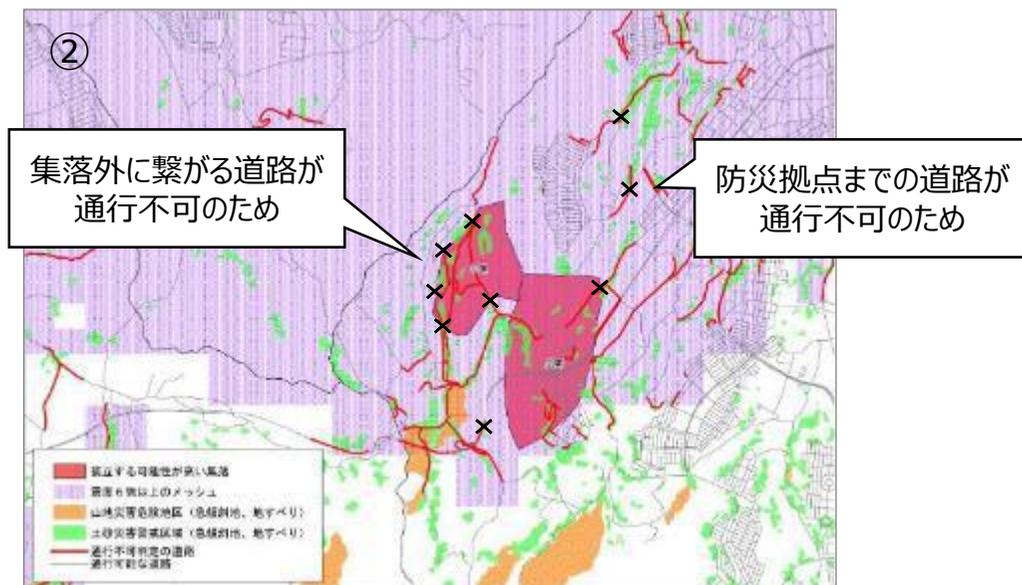
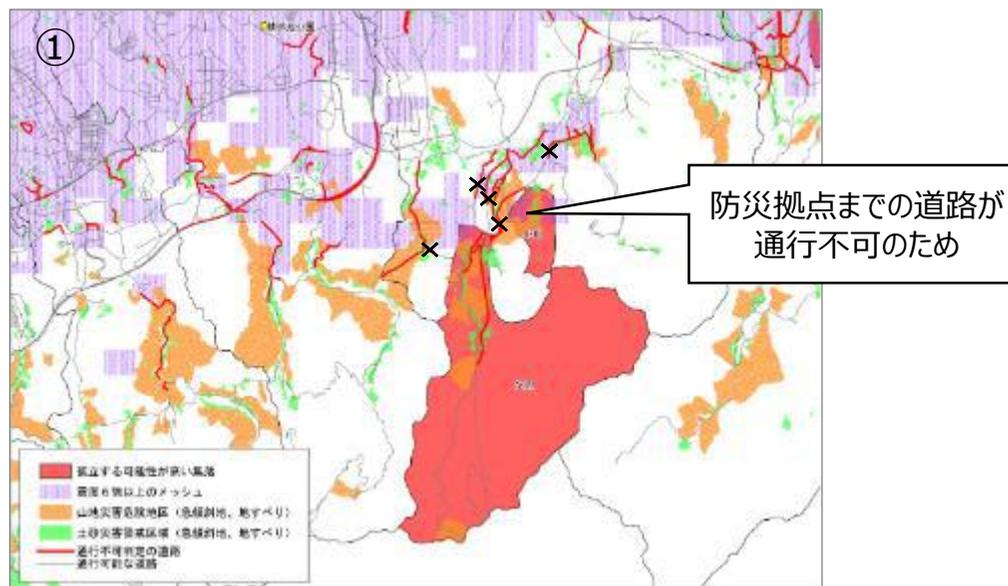
5. その他の被害

5.11 孤立集落

(3) 上町断層帯②



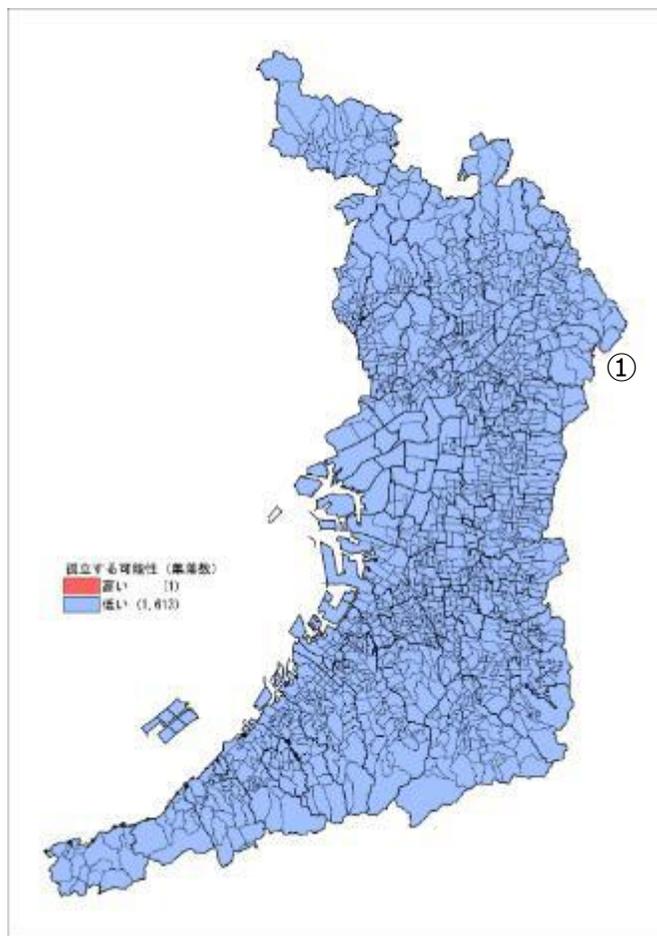
孤立する可能性の高い集落



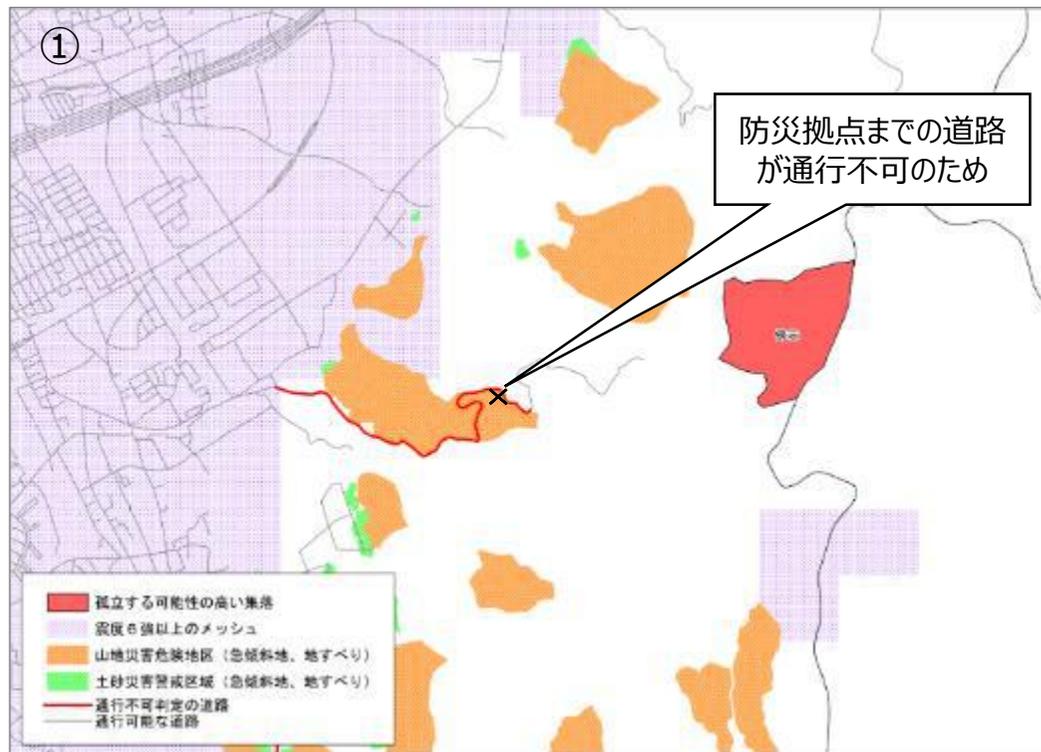
5. その他の被害

5.11 孤立集落

(4) 生駒断層帯



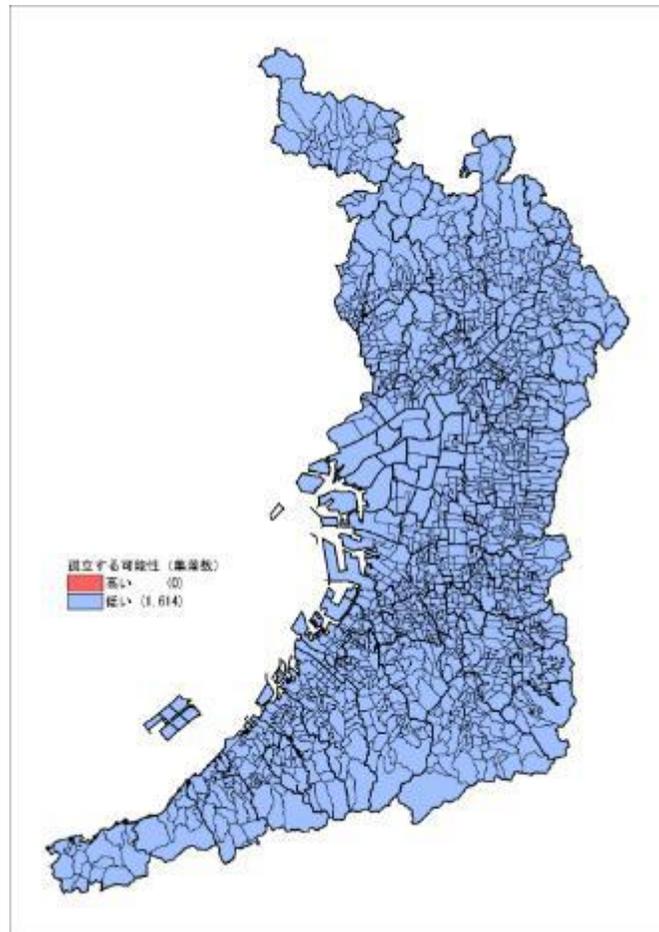
孤立する可能性の高い集落



5. その他の被害

5.11 孤立集落

(5) 有馬高槻断層帯



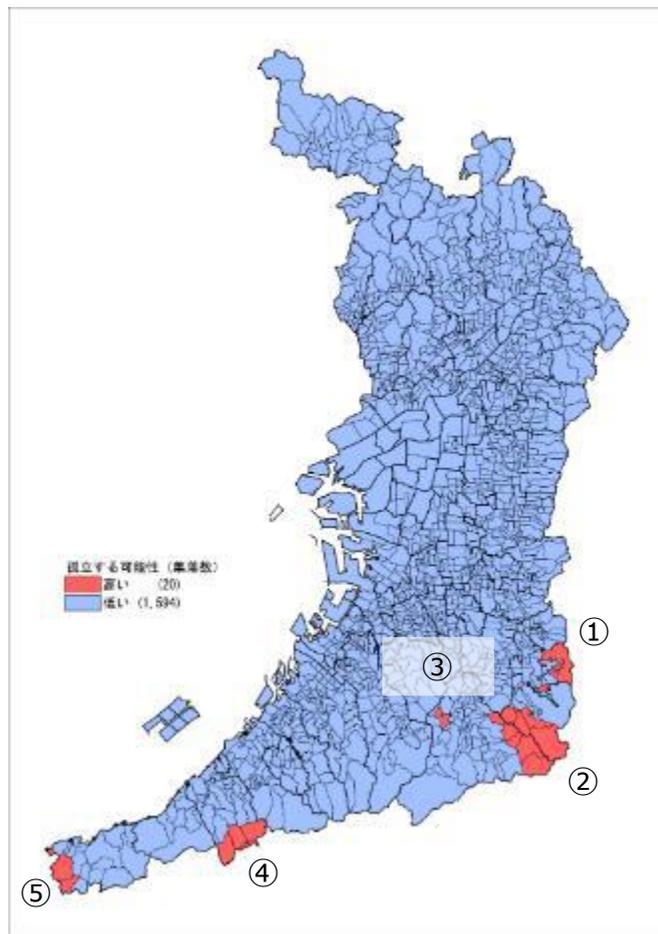
孤立する可能性の高い集落

✓ 孤立する可能性の高い集落はなし

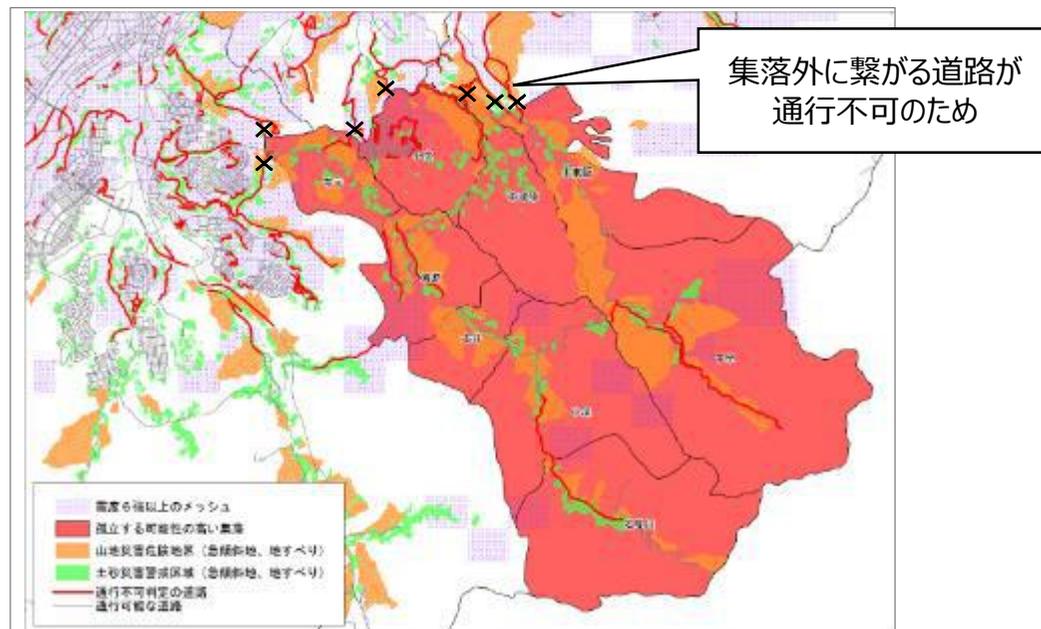
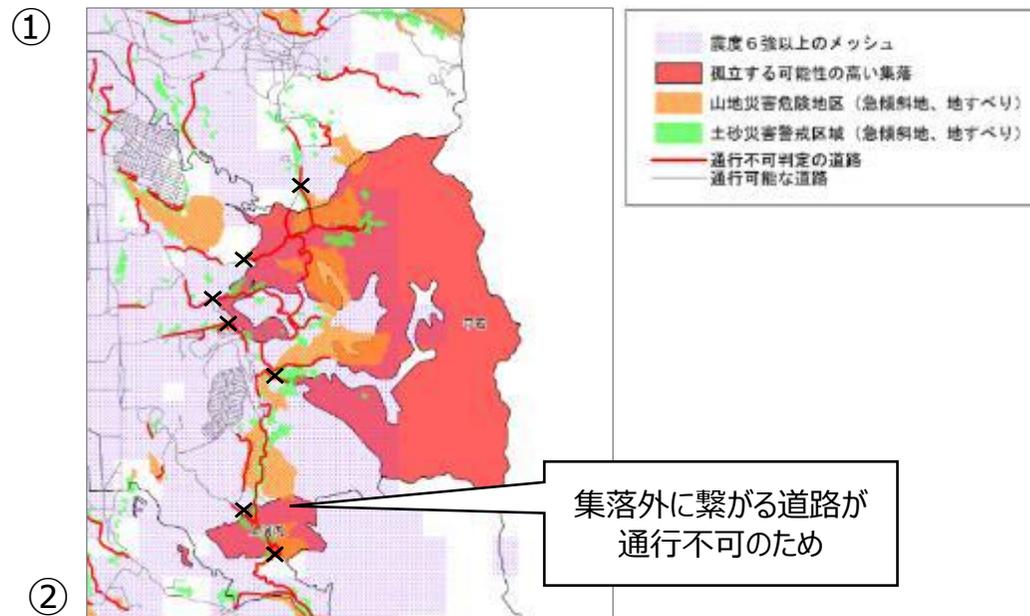
5. その他の被害

5.11 孤立集落

(6) 中央構造線断層帯



孤立する可能性の高い集落

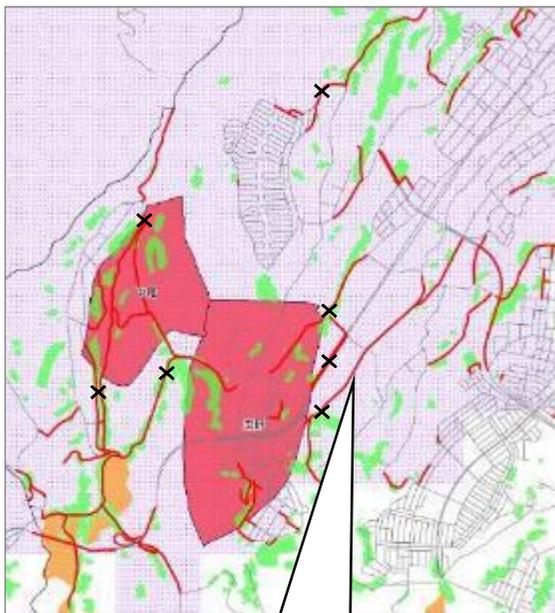


5. その他の被害

5.11 孤立集落

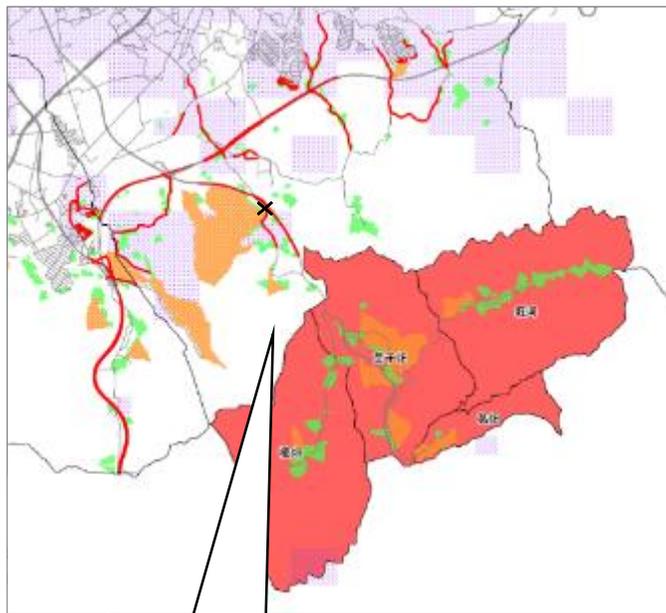
(6) 中央構造線断層帯

③



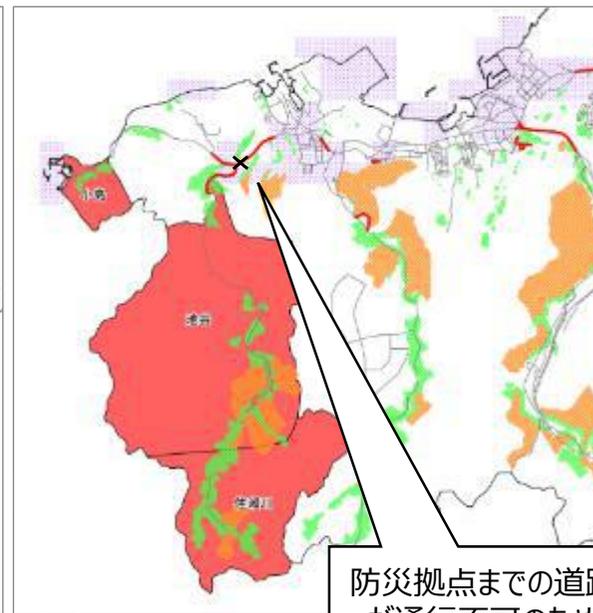
防災拠点までの道路
が通行不可のため

④

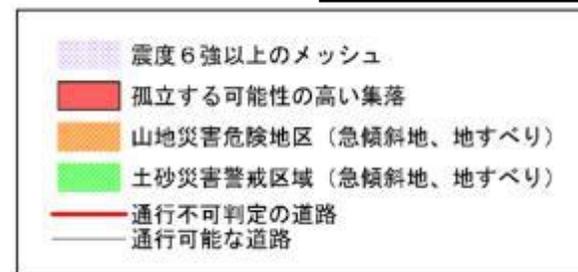


防災拠点までの道路
が通行不可のため

⑤



防災拠点までの道路
が通行不可のため



5. その他の被害

5.12 地域コミュニティ関係

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
<ul style="list-style-type: none"> 阪神・淡路大震災 (H7.1.17) 	倒壊した家屋等に閉じ込められ救助された人々の多くが家族や近所の住民によって救助された。
<ul style="list-style-type: none"> 平成28年熊本地震 (H28.4.14) 	避難所運営マニュアルがない避難所が多く、対応の遅れによる混乱が発生。被災自治体職員が1人体制で避難所本部の運営を担っており、避難所内の清掃や片づけ、衛生管理まで手が回らない状況。

✓ 過去の災害実績や震度6弱以上の地震による被害想定から、地域コミュニティに与える影響について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
地域コミュニティ関係	直後	<ul style="list-style-type: none"> 町会・自治会等の地域コミュニティの担い手不足により、災害時の救助活動や避難所運営等の継続が困難
	数日後	<ul style="list-style-type: none"> 担い手の高齢化が進んでいる地域では、担い手となる高齢者が、災害時に過労等により体調を崩し、震災関連死に至る可能性
	1か月後	<ul style="list-style-type: none"> 仮設住宅への入居等に伴い、従前のコミュニティが分断され、生活再建やまちの復興にとって重要な住民同士のつながりが弱くなる 地域の文化・スポーツ活動など、日頃の生きがいを失う可能性

5. その他の被害

5.13 行政機能

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災（H23.3.11） 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の市町村の中には、庁舎が地震や津波などにより大きく被災し、庁舎を移転せざるを得なくなった事例が発生した。首長や職員も被災したことなどから、災害対策本部機能や行政機能が喪失し、災害応急対策の実施に支障が生じた。
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年能登半島地震（R6.1.1） 	<ul style="list-style-type: none"> 業務継続計画（BCP）で想定する発動要件が本庁舎の被災であったため、計画に基づく「最低限の業務継続」に限定する意識が十分に共有されず、災害対応要員の確保に苦慮する状況が生じた。 その結果、職員間での業務負担の偏りや、一部職員の連続勤務が発生した。

✓ 過去の災害実績や震度 6 弱以上の地震による被害想定から、行政機能への影響について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
行政機能	直後	<ul style="list-style-type: none"> 地震の揺れや津波浸水により庁舎が被災 キャビネット等の転倒や、照明器具等の落下等により職員が負傷 電源喪失により庁舎内ネットワークがダウンし、システムが稼働せず大混乱 通信途絶により情報伝達等の初動対応ができず、応急対応に遅れ 自治体職員の多くが被災し、とくに首長、幹部職員等の被災による指揮命令権者の不在により、災害対応が混乱 膨大な量の災害応急対策業務に対して自治体職員や資機材が不足 組織横断チームの編成など臨機応変に対応したが、危機管理室に情報を集約する意識や体制となっておらず、府庁内での連携に支障が発生する 職員等用の物資備蓄の不足、会議室スペースの不足、WEB会議システムに不具合が発生、応援職員との連携に苦慮 情報収集・情報共有等で多くの課題が発生（SNS情報の対処・活用ノウハウが不足、発災直後のインフラ被害が地上で把握できない、避難者が必要とする支援を支援団体等と共有できていない等） 業務継続計画で想定する災害と異なり、動員調整に苦慮 職員間での業務負担の偏りや一部職員の連続勤務が発生
	数日後	<ul style="list-style-type: none"> 応援者の宿泊地、現地情報、執務スペース等の不足 災害廃棄物の仮置場、ライフラインの復旧拠点、応急仮設住宅の建設候補地などオープンスペース等が不足 被災者支援に関し、担当部署が多岐にわたる中、庁内での連携が限定的③ 人的支援受入チームが調整すべき範囲や担当者等が不明確
	1か月後	<ul style="list-style-type: none"> 膨大な量の災害応急対策業務に対して国・自治体の職員や資機材の絶対数の不足が継続 土地不足のため、応援が到着しても資機材置き場が不足 被災自治体の職員は自らが被災者でありながらも災害応急対策業務に従事することとなり、心身の負荷が高まるため、過労死やメンタルヘルス不調等のリスクが上昇

5. その他の被害

5.14 宅地造成地

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災（H23.3.11） 	<ul style="list-style-type: none"> 過去に被害を受けて対策工事を実施した箇所では、被害を防止できた事例が確認されている。一方で、被害が軽微であったことから対策工事を実施しなかった箇所では再び被害が発生しており、対策工事には一定の被害抑止効果が認められる。 また、造成地のうち被害が発生した箇所はいずれも盛土高が高い箇所に位置している。
<ul style="list-style-type: none"> 新潟県中越地震（H16.7.16） 	<ul style="list-style-type: none"> 谷や沢を埋めた造成宅地、または傾斜地盤上に腹付けした大規模な造成宅地において、盛土内部を滑り面とする盛土の大部分の変動や、盛土と地山との境界面などにおける盛土全体の地滑り的変動（滑動崩落）が発生する。この結果、造成宅地において崖崩れや土砂の流出による被害が発生する。

✓ 過去の災害実績や震度6弱以上の地震による被害想定から、宅地造成地について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
宅地造成地	直後	<ul style="list-style-type: none"> 宅地造成地の崩壊により建物被害が発生 海拔が低い宅地造成地では、水はけが悪く長期湛水
	数日後	<ul style="list-style-type: none"> 崩壊した地盤が降雨等によって再度崩れ、建物被害や人的被害が拡大
	1か月後	<ul style="list-style-type: none"> 建物の被害が比較的軽微であっても、地盤が崩壊しているために所有者が別の場所への建て替えを希望するが、復旧費用の十分な補助が得られず復旧が困難 再建方針が定まらず避難所等での生活が長期化



図7-3 東日本大震災の宅地被災状況
（仙台市泉区）（写真出典：朝日新聞）

出典：大阪府「大阪府自然災害総合防災対策検討（南海トラフ巨大地震被害想定）報告書」（平成26年3月）

5. その他の被害

5.15 危険物・コンビナート施設

過去の災害で見られた被害の概要

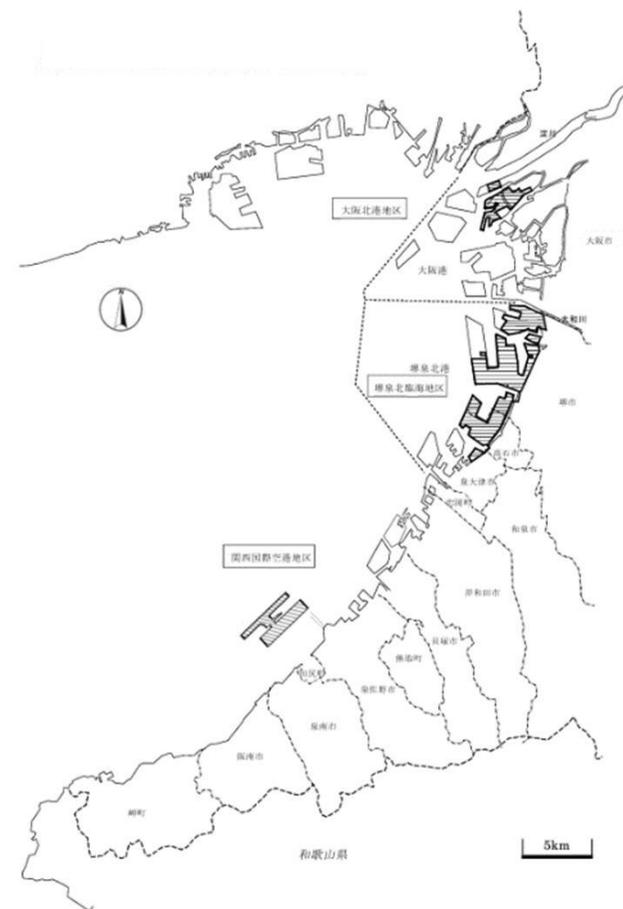
定性

災害	被害の概要
▶ 東日本大震災 (H23.3.11)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 危険物施設（石油コンビナート地区以外を含む）では、大規模な地震や津波を原因として、火災、危険物の流出、施設の破損などの被害が発生する。 ▶ 長周期地震動の影響が大きい場合には、石油タンク内の原油が揺動するスロッシング現象により、タンクの損傷などの被害が発生する。 ▶ 千葉県の石油コンビナート地区では、開放検査中であったことと地震が重なったことに起因し、高圧ガス施設（LPGタンク）においても地震による火災が発生した。

✓ 過去の災害実績や震度6弱以上の地震、長周期地震動による被害想定から、危険物・コンビナート施設について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
危険物・コンビナート施設	直後	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地震や津波の影響が大きい場合には、タンクや配管等の火災、流出等の被害が発生 ▶ 地震や液状化により配管が破損し、操業の継続が困難 ▶ 長周期地震動の影響が大きい場合には、石油タンクの原油等が振動するスロッシングによる被害が発生 ▶ 小規模な燃料タンク（漁港、農地等に設置されている個人・商用のもの）が液状化や津波により流出する可能性 ▶ 毒性ガスや可燃性ガスが大量に漏洩した場合には、コンビナート区域を越えて周辺に影響が及ぶ可能性
	1か月後	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地震被害の範囲が大きい場合には点検及び修復に期間を要する ▶ 浸水の影響が大きい場合には、浸水した機器の復旧等のために、事業再開に期間を要する



特別防災区域

出典：大阪府石油コンビナート等防災計画
(令和6年9月修正)

5. その他の被害

5.16 堰堤・ため池等の決壊

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災（H23.3.11） 	<ul style="list-style-type: none"> 福島県須賀川市では貯水池が決壊し、下流において死者7人、行方不明者1人が発生したほか、流失または全壊した家屋19棟、床上・床下浸水家屋55棟、田畑の土壌流失といった被害が発生した。被害調査の結果、地震動によって堤防が崩壊した可能性が高いと考えられている。（参考）農林水産省および学術団体などで構成される日本大ダム会議によれば、地震による貯水池・農業用ダムの決壊で死傷者が発生した事例は、1930年（昭和5年）以降、世界的にも報告例がないとされている。

✓ 過去の災害実績や震度6弱以上の地震による被害想定から、堰堤・ため池等の決壊について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
堰堤、ため池等の決壊	直後	<ul style="list-style-type: none"> 施工年次の古いフィル型式の堰堤・ため池の中には、当時の一般的な方法・技術水準で施工されており、点検で異常が認められない場合であっても、築堤材料や締固め度によっては、強い地震動により決壊する 決壊により下流域の住宅等が流失し、死傷者が発生 救助・救援活動時に余震によって決壊し、死傷者の発生などの二次被害が発生
	3か月後	<ul style="list-style-type: none"> ため池の水が流失し、水源を失った農業の生産が減少
	1年後	<ul style="list-style-type: none"> ため池等が決壊した周辺の土地の再建が進まない



図11-2 藤前ダム(震災前)



図11-2 決壊後

出典：大阪府「大阪府自然災害総合防災対策検討（南海トラフ巨大地震被害想定）報告書」145（平成26年3月）

5. その他の被害

5.17 漁船・船舶・水産関連施設

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災（H23.3.11） 	<ul style="list-style-type: none"> 船舶の打ち上げにより、救命・救急活動や通行の妨げが生じた。また、大型船舶も陸上に打ち上げられ、移動や撤去に難航した。 船舶の転覆や燃料貯蔵タンクの転倒により、重油などが海上へ流出し、引火した結果、湾内全体が海上火災に見舞われた。 水産加工場や魚市場などで保存されていた大量の魚介類が腐敗した。 浮き桟橋などの港湾・漁港施設が洋上に流出し、海外にまで到達する事例が確認された。

✓ 過去の災害実績や震度 6 弱以上の地震、津波による被害想定から、漁船・船舶・水産関連施設について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
漁船・船舶、水産関連施設	直後	<ul style="list-style-type: none"> 漂流漁船・船舶、燃料、運搬物等の流出により、陸上での被害の拡大が発生 養殖業において設備の被害や養殖している魚介類の流失等の被害が発生するなど、漁船、漁港、水産関連施設等が被災
	数日後	<ul style="list-style-type: none"> 漁船等に加え大型の船舶が打ち上げられることで、交通の妨げとなり救助・救急活動や応急復旧作業に遅れ 所有者が不明の船舶が多数陸上に打ち上げられ、解体・廃棄まで時間を要する 魚介類等の冷凍・冷蔵保存を伴う業務が広範囲でできず、腐敗した魚介類や水産加工品等が大量に発生し、処分する必要 工業製品を出荷していた港湾が利用できず、港湾周辺に大量の工業製品等が滞留し、劣化して経済的な損失
	1 か月後	<ul style="list-style-type: none"> 津波被災地域では漁船、漁港及び沿岸部の市場・加工施設等が壊滅的な被害を受け、国内外への流通品が減少 漁港等の被害等による係留・陸揚げ機能の麻痺が続き、漁業活動の再開が困難 ライフラインの途絶、水産加工場の施設の復旧、敷地内のがれきの撤去及び用地の整備等のため、沿岸部に立地する水産加工場の操業の再開が困難
	1 年後	<ul style="list-style-type: none"> 漁港の流通・加工機能が十分に回復せず、外来漁船の利用・陸揚げが低迷 個別の事業者（漁師）の収入が回復せず、漁船や漁網等、漁業再開のための資機材確保が困難 養殖業や海藻、魚介等の漁獲量が、津波による施設被害や海底地形の変動、災害廃棄物の堆積等の影響によって震災前と同様の水準に戻らない状態が続く 漁獲量の回復や水産加工関係の施設の復旧に時間を要し、水産加工品の生産量が震災前と同様の水準に戻らない状況が続く

6. 地域別の被害

6.1 繁華街(商業施設、雑居ビル、地下街等)

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 北海道胆振東部地震 (H30.9.6) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 多数の観光客(外国人を含む)が市内中心部で帰宅困難となり、地下歩行空間において一夜を過ごす事態が発生した。
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平成28年熊本地震 (H28.4.14) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 健軍商店街アーケードおよび店舗ビルが倒壊した。

✓ 過去の災害実績や震度6弱以上の地震、津波による被害想定から、繁華街(商業施設、雑居ビル、地下街等)について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
繁華街(商業施設、雑居ビル、地下街等)	直後	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日本語が不自由な訪日外国人や土地勘のない府外からの観光客等の来街者への避難誘導や救出救助活動が困難 ▶ 雑居ビル等において、建物の損壊や飲食店等からの火災が発生し、多数の死傷者が発生 ▶ 雑居ビル等が多い繁華街や、看板等が多くある商店街等においては、看板や窓ガラス、外壁パネルやコンクリート片が落下・直撃し、多数の死傷者が発生 ▶ 地下街において停電が発生すると、昼間であっても採光ができず、歩行困難となり、事故リスクが増大 ▶ 発災後に、滞留者が狭い通路や出口付近の階段に殺到することで群集雪崩等が発生し、死傷者が多数発生する可能性 ▶ 多くの利用者が滞留した状況下において、停電や火災の発生、情報提供の遅れなど複数の条件が重なり、利用者の中で混乱、パニックが発生 ▶ 津波浸水による人的被害が発生するおそれ。施設管理者などによる津波警報の伝達や避難誘導が遅れた場合、利用者が逃げ遅れ、多数の人的被害が発生



地下歩行空間

出典：札幌市HP「平成30年北海道胆振東部地震～震災を忘れない～」

6. 地域別の被害

6.2 ターミナル駅

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災（H23.3.11） 	<ul style="list-style-type: none"> 東北新幹線の各駅では、駅構内にいた利用者や店舗スタッフが、駅舎の外へ一時避難した。 特に被害が大きかった仙台駅では、駅構内にいた利用者や、ホームに停車中の列車の乗客、構内店舗スタッフなどの安全確保のため、駅構内からペDESTリアンデッキへ誘導が行われた。その結果、ペDESTリアンデッキ上は多くの人で埋め尽くされた。 ペDESTリアンデッキ上では、駅舎からの飛来物による危険性があったことから、駅社員を中心に、利用者を1階の駅前広場へ再度誘導した。

✓ 過去の災害実績や震度 6 弱以上の地震、津波による被害想定から、ターミナル駅について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
ターミナル駅	直後	<ul style="list-style-type: none"> ターミナル駅には、膨大な利用客や駅周辺の滞留者が、公共交通機関に関する情報や当面の間の居場所等を求めて殺到 公共交通機関の停止に伴い、大量の帰宅困難者が発生 ターミナル駅や接続する店舗・商業施設において、階段等で転倒・転落や、落下物・ガラス飛散による負傷者が発生 上下水道の寸断によりトイレが使用不可 地下鉄に津波が流入し構内が浸水し、人的被害が発生 浸水による人的被害が発生するおそれがある。また、施設管理者などによる津波警報の伝達や避難誘導が遅れた場合、利用者が逃げ遅れ、多数の人的被害が発生 多くの利用者が滞留した状況下において、停電や火災の発生、情報提供の遅れなど複数の条件が重なり、利用者の中で混乱、パニック等により群集雪崩等が発生して多数が死傷する可能性
	数日後 ～	<ul style="list-style-type: none"> ターミナル駅などにおいて、非常用発電機や燃料タンクなどが低層階・地下階に設置されている場合、浸水により使用不能となり、停電下では施設運営が困難

6. 地域別の被害

6.3 超高層オフィスビル街

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災（H23.3.11） 	<ul style="list-style-type: none"> 2011年東日本大震災では、震源である三陸沖から約770km離れた大阪府の咲洲庁舎（55階建て）においても、長周期地震動による影響が確認された。周辺の震度は3であったが、建物は約10分間にわたり横方向に最大約2.7m揺れ、全32基のエレベーターが停止したほか、天井や壁などの内装材の損傷が360か所に及ぶ被害が発生した。

✓ 過去の災害実績や震度6弱以上の地震、長周期地震動による被害想定から、超高層オフィスビル街について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
超高層オフィスビル街	直後	<ul style="list-style-type: none"> 地震動の卓越周期と建物の固有周期が一致した場合、揺れが大きく増幅 超高層免震建物では、免震層の許容変位量を超える大変位や、エキスパンションジョイントの被害などが発生する可能性がある。 固定していない家具・什器の転倒や、コピー機などのキャスター付き什器の滑動により、人的被害が発生 超高層オフィスビル街では、膨大な滞留者への救助活動や避難誘導、大量の帰宅困難者への対応等が必要となるが、対象者数が多いため、混乱が生じ、施設管理者だけでは避難誘導等が困難 上層階では、長周期地震動による揺れにより、動作上の支障が生じるほか、吐き気やめまいを感じる人が発生 揺れに対する不安から、地上へ避難しようとする人が多数発生 建築物の防災設計は、火災時の特定階避難を前提としていることから、「全館一斉避難」が発生した場合には、非常階段等に在館者が殺到し、転倒などによる二次災害が発生するおそれ ビル内の多数の就業者や利用者が屋外にあふれ出し、行き場のない人が多数滞留 震度が大きくなくても、長周期地震動が発生した場合、中高層階を中心に、歩いたり動いたりすることが困難となるほどの、船に乗っているような大きくゆっくりとした揺れが長く続く
	数日後	<ul style="list-style-type: none"> オフィスビルでは、非常用発電機の無給油連続運転時間が最長3日程度であるため、タンクローリー不足による燃料枯渇や系統電力の供給停止が長期化した場合、事業継続が困難
	1か月	<ul style="list-style-type: none"> 被災の影響により、構造安全性を確認する技術者が不足し、詳細な構造安全性確認に1か月以上を要することから、その間、オフィスや住居の使用が困難

6. 地域別の被害

6.4 タワーマンション

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
▶ 阪神・淡路大震災（H7.1.17）	▶ 122棟の分譲マンションにおいて、建て替えや大規模補修を要する程度の大きな被害が発生した。

✓ 過去の災害実績や震度6弱以上の地震、長周期地震動による被害想定から、タワーマンションについて、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
タワーマンション街	直後	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地震動の卓越周期と建物の固有周期が一致した場合、揺れが大きく増幅。 ▶ 超高層免震建物では、免震層の許容変位量を超える大変位や、エキスパンションジョイントの被害などが発生 ▶ 震度が大きくなくても、長周期地震動が発生した地域では、中高層階を中心に、歩いたり動いたりすることが困難となる、船に乗っているような揺れが長く続く。特に高層ビルの上層階では、著しく大きい揺れによって、屋内にいる人が転倒したり、収容物の移動・転倒に巻き込まれ、死傷者がさらに増加 ▶ エレベーターの停止により、多くの建物で閉じ込めが発生 ▶ 揺れに対する不安から、地上へ避難しようとする人が多数発生 ▶ 建築物の防災設計は、火災時の特定階避難を前提としていることから、「全館一斉避難」が発生した場合には、非常階段などに在館者が殺到し、転倒などによる二次災害が発生するおそれ ▶ 高層階の負傷者の救助には長時間を要したり、孤立者が発生 ▶ 停電した場合、空調、上下水道、エレベーター、照明機器等が停止①
	1日後	<ul style="list-style-type: none"> ▶ マンションでは、停電・断水等によりいわゆる「高層難民」となる上層階居住者が多数発生 ▶ 階段の昇降に必要な体力が低下している高齢者等は、生活を継続することが困難になる
	1か月後	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 管理組合の活動が不活発なマンションでは被災後の対応等の意思決定に時間を要し、住居の修繕等が遅れる可能性



出典：大阪市天王寺区役所 市民協働課
安全まちづくり室「高層マンション防災ハンドブック」（写真提供：神戸市）

6. 地域別の被害

6.6 海抜ゼロメートル地帯

定性

- ✓ 大阪府域には、台風期の朔望平均満潮位（T.P. + 0.9m）よりも低い地域である海抜ゼロメートル地帯が存在し、津波浸水想定区域においては、長期湛水が発生する可能性が想定される。
- ✓ これらの状況から、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
海抜ゼロメートル地帯	直後	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 堤防及び水門の沈下、強い揺れによる破損に伴い、ゼロメートル地帯が浸水する可能性
	1日後	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 湛水エリアが通行できないことによる避難所等への物資配送が困難 ➢ 自宅等で生活可能な人々が、湛水エリアを通行できないことにより日常生活上で様々な不便が発生
	数日後	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 応援部隊やライフライン・インフラなどの復旧部隊の駐留場所、資材置場、がれき仮置場等のオープンスペースが不足
	1か月後	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 湛水エリアでは、排水、土地の嵩上げ、防潮堤の新設などの基盤整備が必要となり、復旧作業の長期化、作業人員の不足、膨大なコストなどの問題が発生 ➢ 居住不可能となった湛水エリアの居住者について、移転可能な場所の確保が困難



標高の低いエリア
出典：国交省HP

6. 地域別の被害

6.7 山間部

定性

過去の災害で見られた被害の概要

災害	被害の概要
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年能登半島地震 (R6.1.1) 	<ul style="list-style-type: none"> 孤立が見込まれる集落について、避難先や避難方法が事前に想定されていなかった。 通信途絶や道路寸断により、市町を経由した状況把握が困難となり、孤立状況や人数などの把握に支障が生じた。 通信途絶などの影響により、被災状況の把握や避難者名簿などのデータ化に遅れが発生した。

✓ 過去の災害実績や震度 6 弱以上の地震による被害想定から、山間部について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
山間部	直後	<ul style="list-style-type: none"> 山間部は、土砂災害警戒区域等において、揺れに伴い急傾斜地の崩壊などが多発する 周辺に大量の土砂が堆積し、道路や鉄道の寸断、崩壊による孤立集落、河川の閉塞が発生 集落住民のほか、温泉施設等への観光客等も孤立 通信手段が断絶し、情報の確認や伝達が困難な状況が発生
	1 日後	<ul style="list-style-type: none"> 孤立地区や中山間集落における物資の不足が深刻化 高齢者等を中心に体調悪化、持病等の悪化 急峻な地形も多く地すべり、土砂崩れ等に伴う天然ダム（河道閉塞）により、背後地区の家屋が水没 高齢化の進む集落においては外部へ助けを呼ぶための通信機器を取り扱える住民や、徒歩・バイクで直接連絡を取ることができる住民がおらず、外部に孤立発生状況を知らせることが困難 ヘリ、マンパワーが不足するため、物資輸送が滞る 2 次避難に向けた調整（情報の共有）が滞る
	1 週間後	<ul style="list-style-type: none"> インフラ・ライフラインの復旧が遅れる 高齢化や人口減少、生活の質の回復が遅れることで、災害関連死が増加
	1 か月後	<ul style="list-style-type: none"> 道路被害による通行止めが長期化 集落の復旧・復興が難しく、集団移転等を検討する必要性
	1 年後	<ul style="list-style-type: none"> 応急仮設住宅等に分散して居住するうちに、従前のコミュニティが崩壊し、従前の集落等での復旧・復興が困難 事前の復興計画などが策定されていない地域では、地域の維持そのものが困難 広域避難した住民が避難先で生活基盤を再建してしまい、地域の縮退が急速に進行

7. 複合災害

7.1 複合災害(高潮・河川氾濫・感染症拡大等)

定性

複合災害の事例

災害	種別	様相
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 令和6年能登半島地震 (R6.1.1) ➢ 令和6年9月能登半島豪雨 (R6.9.21~23) 	地震 + 水害・土砂災害	震災からの復旧・復興途上にあつた被災地において、同年9月の記録的な大雨により、再度、甚大な被害が発生した。
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 東日本大震災 (H23.3.11) ➢ 平成23年台風第15号 (H23.9.15~22) 	地震 + 洪水	平成23年台風第15号では、石巻市、女川町などにおいて仮設住宅居住者の避難が実施されたほか、宅地の崩壊や停電、道路寸断による半島部の孤立などの被害が発生した。
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 福井地震 (S23.6.28) ➢ 豪雨災害 (S23.7.23) 	地震 + 豪雨	福井地震の発生から約1か月後、九頭竜川の氾濫により福井市街が濁流に洗われ、被害が拡大した。

✓ 過去の災害実績や震度6弱以上の地震による被害想定から、複合災害（同種もしくは異種の災害が時間差で発生し、被害が拡大する災害）について、以下に想定される被害の様相を示す。

想定される被害様相

被害想定項目	時間	被害様相
複合災害	直後	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 複数の自然災害の同時発生により、被害が拡大 ➢ 人的・物的資源や活動場所の確保等において、災害対策本部等の対応体制が混乱 ➢ 堤防・護岸・砂防ダムなどが、揺れ・液状化・津波により機能低下し、台風や集中豪雨に伴う洪水・高潮などを防ぎきれず、建物被害や死傷者が増加 ➢ 地震発生時に悪天候であり、地震と風水害が重なった場合、自宅外への避難行動が遅れ、津波による死傷者が増加 ➢ 波浪・高潮・暴風・冠水などにより、道路交通や空港・港湾などの利用が制限され、被災地内での人員・車両・重機などの移動、また被災地外からの応援が困難となり、救急・救助活動が遅延
	数日後	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 繰り返し避難することによる心身の疲労・ストレスの増大、健康被害の発生に繋がる ➢ 避難所において感染症、熱中症・低体温症の発生
	1か月後	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 広域・長期間に及ぶ電力供給不足による災害応急対策、復旧活動の困難 ➢ 豪雨や台風被害などの複合災害による再度の被害 ➢ 斜面や地盤の崩壊が起こりやすくなり、道路閉塞などにより孤立する集落が多く発生 ➢ 復旧作業中の作業員が被害を受ける可能性 ➢ 再度の被害や避難により、心身の疲労・ストレスの増大や健康被害につながる ➢ 社会経済機能の復旧の遅延

7. 複合災害

7.2 時間差での地震の発生

- ✓ 時間差で発生する地震を検討することで、後発地震発生までの対策により被害を軽減できる可能性や、大規模な地震が繰り返し発生することで被害の増加や社会の混乱につながる可能性を示す。
- ✓ 大阪府では、先発・後発地震ともに半割れによる影響が顕著となる「**東側半割れの数日後、西側半割れが発生するケース**」について、揺れによる建物被害、津波による人的被害を災害シナリオ作成の参考値として算定。
- ✓ 揺れによる建物被害、津波による人的被害は全割れには及ばないものの、先発、後発で被害が生じるため、耐震化や避難意識の向上などの対策を進めることが重要になる。

大阪府の計算条件

項目		先発（東側）	後発（西側）
地震動予測		R7内閣府の工学的基盤面の地震動を基に、震度増分を考慮した簡便法により、地表面の地震動を予測	
津波浸水想定		R7津波浸水想定と同条件 ※波源設定については内閣府公表データを採用	
被害想定	シーン	夏12時	夏12時
	揺れによる建物被害	R7内閣府の被害率関数	先発地震による半壊建物は、全壊率を大きくした被害率関数を適用
	津波被害	早期避難率低	早期避難率高+呼びかけ

想定結果

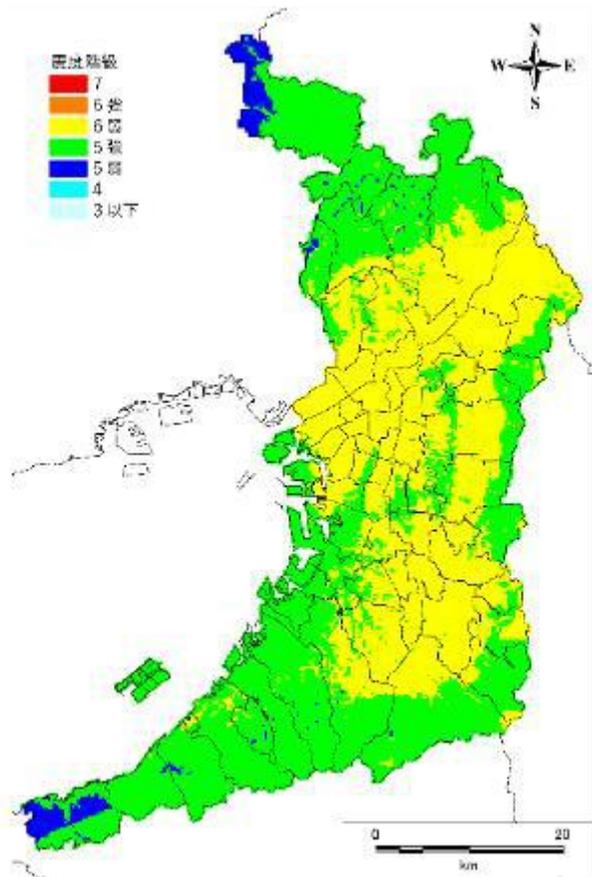
ケース	揺れによる全壊棟数（棟）			津波による死者数（人）（夏12時）		
	先発地震	後発地震	合計	先発地震	後発地震	合計
全割れ (最大クラス地震)	—	—	21,589	—	—	5,056
半割れ (東側→数日後、西側)	5,148	8,800	13,948	1,197	13	1,210

※半割れの全壊棟数、死者数は他の項目との重複処理は行っていない。

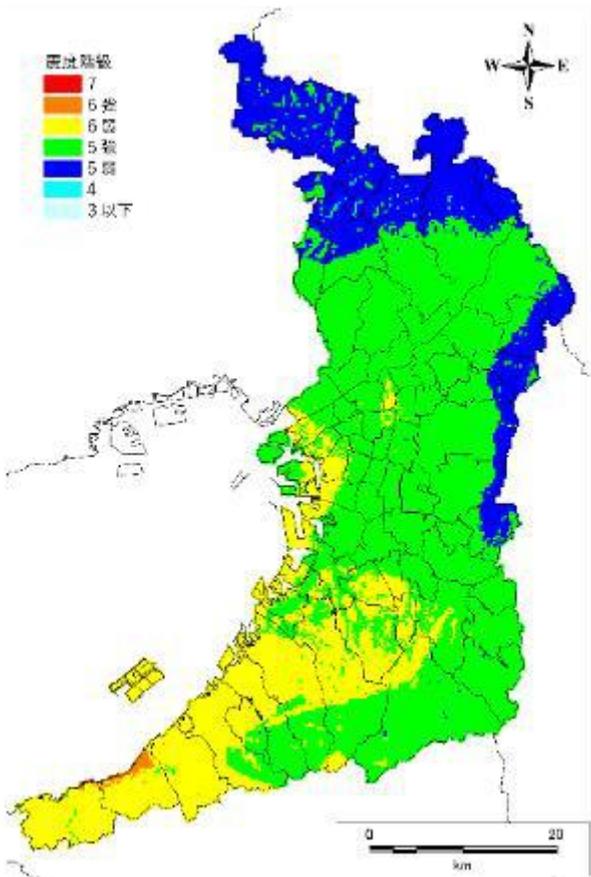
7. 複合災害

7.2 時間差での地震の発生

東側半割れ



西側半割れ



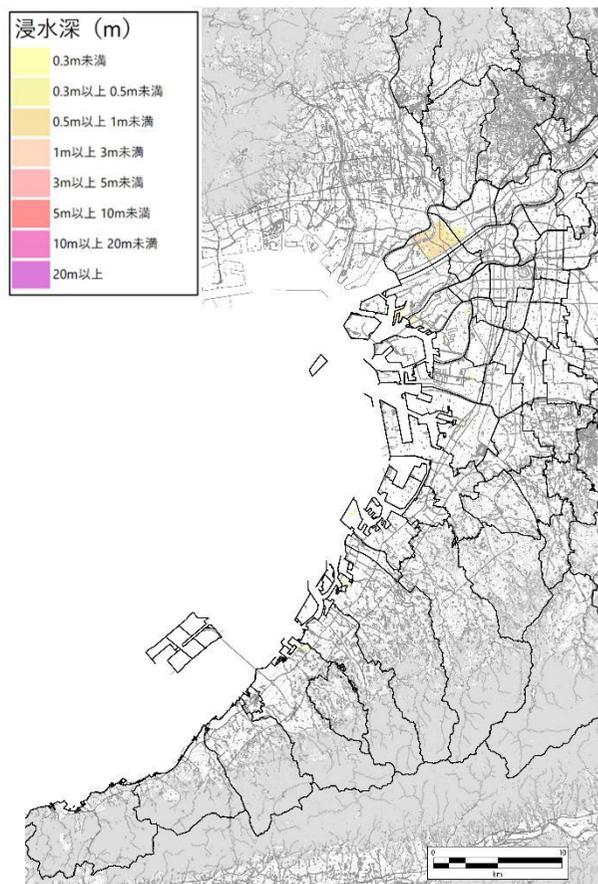
数日後

震度分布図

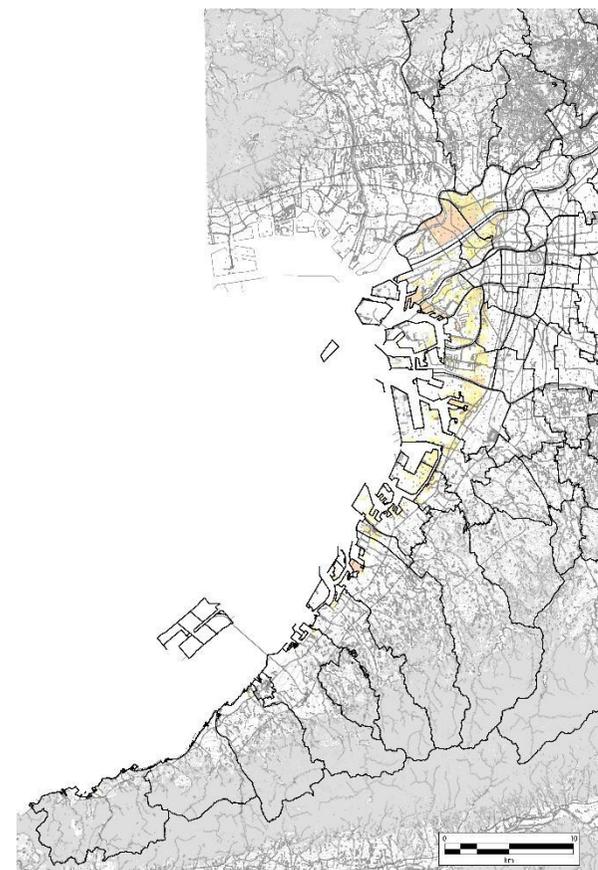
7. 複合災害

7.2 時間差での地震の発生

東側半割れ



西側半割れ



数日後

津波最大浸水深分布図